MultiWriter 1250

ユーザーズマニュアル

～より進んだ使い方～

PR-L1250-UM（2/2）
808-878920-002-A
第2版

商標について

PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoftとそのロゴ、およびWindows、Windows NT、MS-DOS、Visual Basicは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscapeは米国Netscape Communications Corporationの米国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Incの登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。
Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1、Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating system、Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。
Windows NT 3.5/3.51/4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5/3.51/4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5/3.51/4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 1250は高性能CPUを搭載し、1分間に最大約8枚の高速な印刷を可能にしたプリンターです。また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」を採用しています。このソフトウエアの機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピュータ側から行うことができます。

MultiWriter 1250には3種類のマニュアルとCD-ROMが添付されています(枠内が本書です)。

MultiWriter 1250　セットアップマニュアル

～箱を開けてから印刷するまで～

初心者にもわかりやすいように、キャラクターとともにとりあえず文書を試し印刷するところまでの手順を記載しています。
初心者、上級者にかかわらず、本プリンターを開けたら、まずこの本を読んでセットアップを行ってください。

[主な目次]

STEP 1　安全にお使いいただくために
STEP 2　プリンターを設置します
STEP 3　ソフトウエアをインストールします
STEP 4　データを印刷してみましょう

MultiWriter 1250　ユーザーズマニュアル

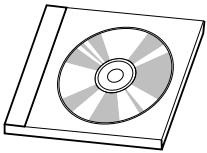
～より進んだ使い方～

本書です。セットアップマニュアルを読み終わったら、こちらをお読みください。
本プリンターについて操作の基本から、さらに進んだ使い方までを記載しています。また、カートリッジの交換方法などの保守のしかた、故障かなと思ったときの対処方法、その他詳細な技術情報なども合わせて記載されています。

[主な目次]

操作の基本
さらに進んだ使い方
日常の保守
故障かな？と思ったら
オプション
付録

MultiWriter 1250　操作パネルクイックリファレンス

操作パネルのランプの意味やスイッチの使い方などを記載した3つ折りの印刷物です。
操作パネルのことですぐに調べたいときに役立ちます。

プリンターソフトウエアCD-ROM

［MANUAL］フォルダーという「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧できるマニュアルがあります。
下記の内容が含まれています。

- メモリースイッチの詳細
  - メモリースイッチ設定モード
  - メモリースイッチの内容
- 技術情報
  - 使用できるコンピューターとプリンターケーブル
  - 印刷範囲
  - NPDLの初期状態
  - インターフェース
  - 制御コード一覧
  - 機能拡張制御コード
  - 文字の種類
  - テスト印刷のプリント結果
  - 文字コード表
  - PrintAgent通知一覧

ユーザーズマニュアルの概要

本マニュアルではMultiWriter 1250の持っている機能を使いこなせるように詳しく説明しています。
プリンターのセットアップや、普通に印刷するにはセットアップマニュアルをご覧ください。
初めてネットワークプリンターを使う方のために「ネットワークの基礎知識」という章をたてて、ネットワークについて簡単に説明しています。必要に応じてお読みください。
また付録にはプリンターソフトウエアのウィンドウクイックリファレンスがあります。画面の簡単な説明が載っています。

操作の基本

操作パネルについてや、いろいろな用紙のセット方法など、基本的な操作に関する情報を記載しています。

より進んだ使い方

MultiWriter 1250がもついろいろな機能、便利な印刷方法やPrintAgentの使い方などMultiWriter 1250を使いこなすための情報を実際の画面を例に取ってわかりやすく説明しています。

日常の保守

トナーカートリッジや、ドラムカートリッジの交換方法とプリンターの清掃方法を説明しています。

故障かな？と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態が良くなかったりしたときは修理に出される前にまずこの章をお読みください。

オプション

MultiWriter 1250で使用できるオプションの紹介と取り付け、取り外しなどを説明しています。

付録

プリンターソフトウエアのウィンドウクイックリファレンス、プリンターの仕様、用紙の規格などに関する情報を記載しています。

なお、巻末には用語解説と索引がありますので必要に応じて活用してください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 1250に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows98/95、Windows NT 4.0、Winsdows NT 3.51、Windows 3.1のコンピューター環境に対し、次のようなソフトウエアを提供しています。

フォルダー	内　　容
ルート	「MWSETUP.EXE」はメニュープログラムです。
MW1250	MultiWriter 1250用のプリンターソフトウエアです。MultiWriter 1250で印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
PAREPRN	PrintAgent リプリントです。 このソフトウエアをインストールすることにより、再印刷の設定をわかりやすい画面で、印刷ジョブの選択や部数指定などを簡単に設定でき、印刷が行えます。
MW2650	MultiWriter 2650用のプリンターソフトウエアです。
MW2650E	MultiWriter 2650E用のプリンターソフトウエアです。
MW2250	MultiWriter 2250用のプリンターソフトウエアです。
MW2050	MultiWriter 2050用のプリンターソフトウエアです。
MANUAL	メモリースイッチ設定モードで変更するプリンタの設定内容など技術情報とプリンタ管理ユーティリティの使い方を納めたマニュアルです。フォルダー内の「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧します。詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
BARCODE	NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウエアをインストールすることによりWindows環境でバーコードフォント（5種類）の印刷をすることができます。 1　Industrial 2 of 5（モジュール比2.2、3.0） 2　NW-7（モジュール比2.2、3.0） 3　CODE39（モジュール比2.2、3.0） 4　JAN 5　カスタマーバーコード（郵便バーコード） 詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
FONTS	NEC FontAvenue True Typeフォント　3書体
FORMPRN	帳票エディタ、「帳楽」のお試し版です。 詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
MW2200X2	MultiWriter 2200X2用のプリンターソフトウエアです。
MW2200XE	MultiWriter 2200XE用のプリンターソフトウエアです。
MW2000X2	MultiWriter 2000X2用のプリンターソフトウエアです。
MW1400X	MultiWriter 1400X用のプリンターソフトウエアです。
FDCONV	CD-ROMに納められたプリンターソフトウエアを3.5インチフロッピーディスクにコピーするツールです。詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。 MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2、1400X、2650、2650E、2250プリンタソーフトウエアに対応しています。 MultiWriter 1250プリンターソウフトウエアのフロッピーディスクへのコピーについては、ユーザーズマニュアルの94ページ「インストール媒体の作成」をご覧ください。

このCD-ROMはISO9660フォーマットにしたがって作成されています。Macintoshでこのcd-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMにより行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに入っているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスク作成の手順については「インストール媒体の作成」(94ページ)をご覧ください。
もし「CD-ROMドライブを持っていない」等でフロッピーディスクにコピーできない場合は、必要事項を下記宛先までFAXまたは電話でご連絡ください。ご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

① プリンター品名	MultiWriter 1250
② プリンターの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ	1.44MBタイプ*1、または3.5インチの1.2MBタイプ*2
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*1 PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT100%互換機(DOS/V対応機)
*2 PC-9800シリーズ用

連絡先

NECカスタマサービス(株)　サプライ品販売促進部
TEL:　044-813-2400
FAX:　044-813-2610

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれ次のように定義されています。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

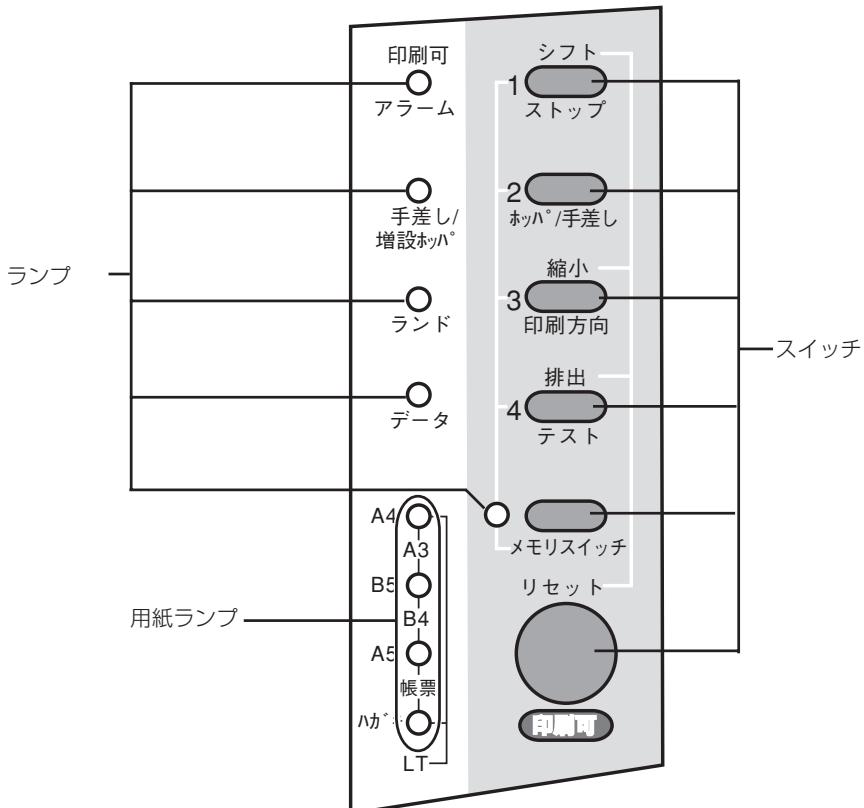
操作の基本

本章では操作パネルやいろいろな用紙のセット方法などプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルについて

操作パネルはユーザーがプリンターの設定を行うためのものです。

ここでは主に、操作パネル上の「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。
メモリースイッチ設定モードに関しては75〜90ページをご覧ください。

MultiWriter 1250には、「操作パネル　クイックリファレンスカード」が添付されています。
プリンターのそばに置いて、ランプ表示の意味が分かるようにしておくことをお勧めします。

操作パネル

ランプ

MultiWriter 1250には全部で9個のランプがあります。それぞれ、点灯、点滅（1秒おき）、早い点滅（1/4秒おき）、消灯の4通りで表示されます。

ランプの表示は点灯＝　、点滅＝　、早い点滅＝で表します。

印刷可ランプ（緑）

点灯	プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。
消灯	プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。

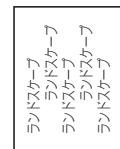
アラームランプ（赤）

点灯	指定された用紙がありません。
早い点滅	その他のアラームが発生しています。 データ、ランド、手差しランプが同時に点滅してアラーム内容を示します。アラームの内容については188ページをご覧ください。

手差し/ホッパランプ（緑）

点灯	手差しトレーから用紙が給紙されます。
点滅	増設ホッパーから用紙が給紙されます。オプションの増設ホッパー装着時のみ有効です。
消灯	ホッパーから用紙が給紙されます。

ランドランプ（緑）

点灯	ランドスケープで印刷します。
消灯	ポートレートで印刷します。

データランプ（橙）

点灯	プリンター内に印刷データが残っています。
点滅	プリンターが印刷データを受信中です。
消灯	● プリンター内にデータが残っていません。 ● プリンターはデータを受信中ではありません。

メモリスイッチランプ（橙）

点滅	メモリスイッチ設定モードに入りました。 各スイッチのパラメーターをON/OFFして設定を変更することができます。 メモリスイッチ設定モードについては75〜90ページをご覧ください。
消灯	通常動作中です。

A4
A3
B5
B4
A5
帳票
ﾊｶﾞｷ
LT

用紙ランプ(緑)

4つのランプ組み合わせにより、現在選ばれている用紙または縮小率を表示します。

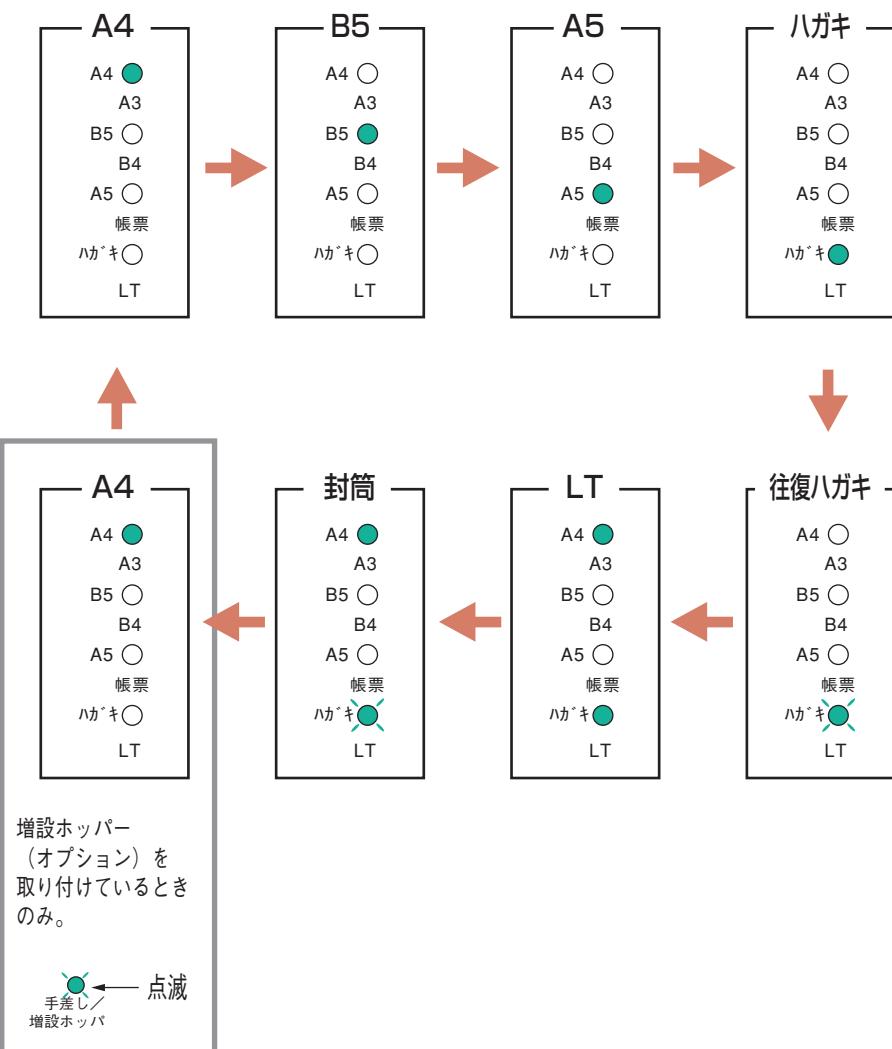
用紙サイズの表示

選択されている給紙方法によって違います。

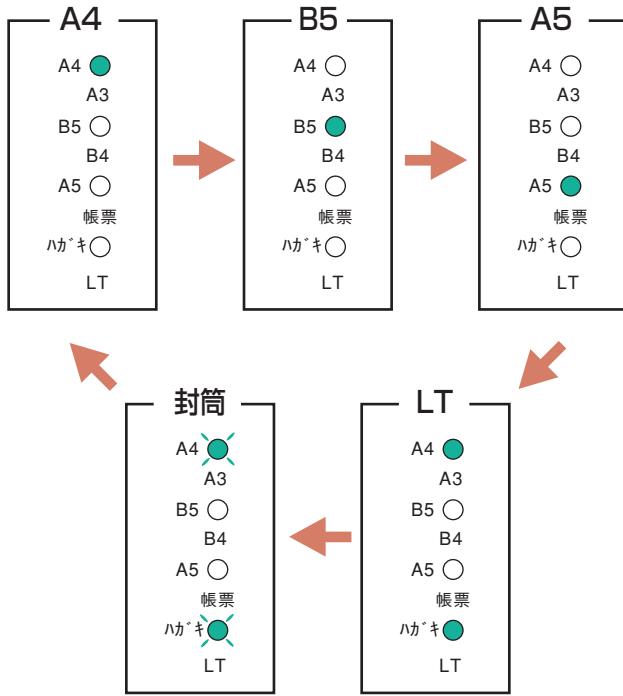
- ホッパー給紙選択(ホッパランプ消灯)時

[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にしてから、[ホッパ/手差し]スイッチを押すと用紙サイズが次のように変わります。

[A4] ⇒ [B5] ⇒ [A5] ⇒ [はがき] ⇒ [往復はがき] ⇒ [レター] ⇒ [封筒] ⇒ [A4*] ⇒ (繰り返し)

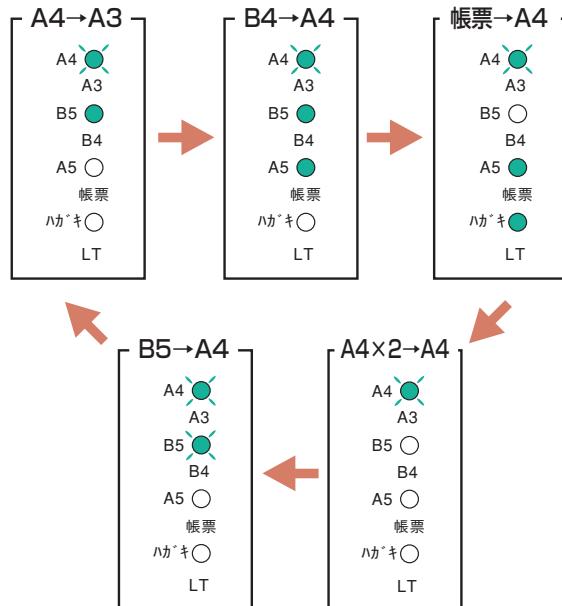
* 増設ホッパーを取り付けているときのみ。

● 手差しトレー給紙選択(ホッパランプ点灯)時

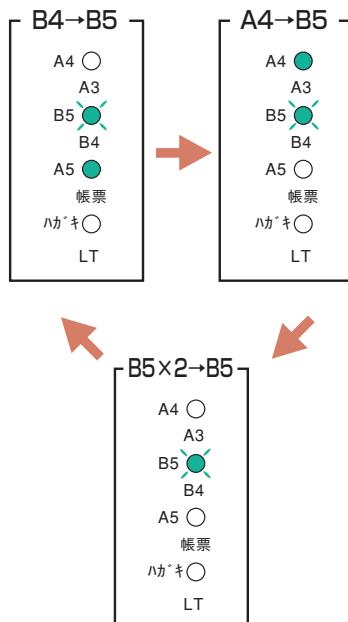
[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にしてから、[シフト]スイッチを押しながら、[ホッパ/手差し]スイッチを押すと用紙サイズが次のように変わります。

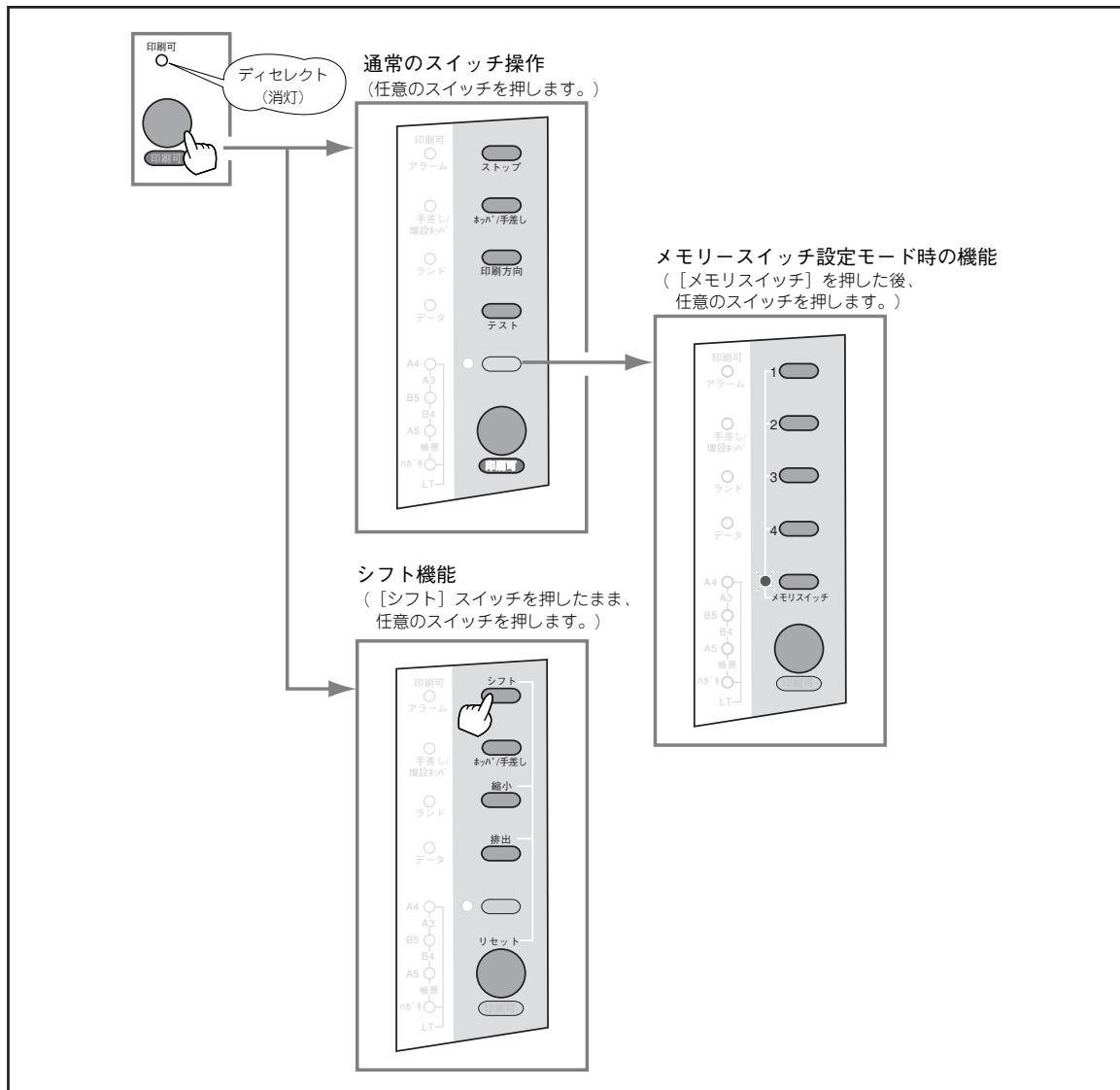
[A4] ⇒ [B5] ⇒ [A5] ⇒ [レター] ⇒ [封筒] ⇒(繰り返し)

縮小率の表示

[シフト]スイッチを押しながら、[印刷方向]スイッチを押すたびに縮小率が次のように変わります。
選択されている用紙サイズによって、設定できる縮小率が違います。

- A4サイズが選択されているとき

[標準(A4)] ⇒ [A3→A4] ⇒ [B4→A4] ⇒ [帳票→A4] ⇒ [A4×2→A4] ⇒ [B5→A4] ⇒ (繰り返し)

- B5サイズが選択されているとき

[標準(B5)] ⇒ [B4→B5] ⇒ [A4→B5] ⇒ [B5×2→B5] ⇒(繰り返し)

スイッチ

プリンターの操作パネルには6個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能を持っています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能 — ［印刷可］スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（［ストップ］スイッチを除く）。

メニューモード時のスイッチ機能 — ［メニュー］スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 — ［シフト］スイッチを押しながら押すと働く機能です。

✔チェック

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」（188ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能

[ストップ]スイッチ

このスイッチはプリンターの電源がONの間、常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にします。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

[ホッパ/手差し]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯しているとき、オプションの増設ホッパーを装着しているときに機能します。

ホッパーランプ消灯(ホッパー給紙選択)時

ホッパーから給紙される用紙サイズを決定します。ランプの表示を見ながら選んでください(4ページ参照)。

ホッパーランプ点灯(手差しトレー給紙選択)時

ホッパー給紙に切り替えます。

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択します。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。
このときランドランプが押すたびに消灯/点灯します。(ランドスケープを選択したときは点灯、ポートレートを選択したときは消灯)
縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。

[テスト]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯しているときに機能します。

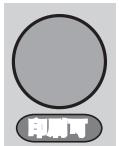
テスト印刷を開始する。

テスト印刷の内容はMSW5-1の設定によって、ステータス印刷にするか16進ダンプ印刷にするか切り替えることができます。
16進ダンプ印刷を選択した場合は[リセット]スイッチを押して、印刷を終了してください。

[メモリスイッチ]

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯しているときに機能します。

メモリースイッチ設定モードに入ります。

このスイッチを押すと、メモリースイッチ設定モードに入り、メモリスイッチランプが点滅します。
メモリースイッチの詳細については75～90ページをご覧ください。

[印刷可]スイッチ

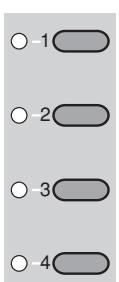
このスイッチはプリンターが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替えます。

メモリースイッチ設定モード時のスイッチ機能

[メモリースイッチ]

メモリースイッチ(MSW)を切り替えます。
メモリースイッチ設定モード時(メモリスイッチランプ点灯時)にこのスイッチを押すごとに、MSWを切り替えます。詳しくは75～90ページをご覧ください。

[1]～[4]スイッチ

MSWの各ビットのON/OFFを切り替えます。

MSWの各パラメーターのON/OFFを切り替えてプリンターの設定を変更します。
このときそれぞれの横のランプが点灯/点滅します。詳しくは75～90ページをご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

[シフト]スイッチ

シフト機能を使いたいときはこのスイッチを押したままにします。

[ホッパ/手差し]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯している時に機能します。

ホッパーランプ消灯(ホッパー給紙選択)時

[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと、手差しトレー給紙に切り替えます。

ホッパーランプ点灯(手差しトレー給紙選択)時

[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと手差しトレーから給紙される用紙サイズを決定します。ランプの表示を見ながら行ってください(5ページ参照)。

[縮小]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、データランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯している時に機能します。

拡大・縮小率を決定します。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すと拡大/縮小率を決定します。
用紙ランプの表示を見ながら設定してください。(6ページ参照)

- A4サイズが選択されているとき
  [標準(A4)] ⇒ [A3→A4] ⇒ [B4→A4] ⇒ [帳票→A4] ⇒ [A4×2→A4] ⇒ [B5→A4] ⇒ (繰り返し)

- B5サイズが選択されているとき
  [標準(B5)] ⇒ [B4→B5] ⇒ [A4→B5] ⇒ [B5×2→B5] ⇒ (繰り返し)

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯している時に機能します。

未印刷データが印刷されます。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っている印刷されていないデータが印刷されます。

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプ、アラームランプ、メモリースイッチランプが消灯している時に機能します。

プリンターを初期化します。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチ2回を押すとプリンターは初期化され、プリンター内に残っている印刷されていないデータは消去されます。

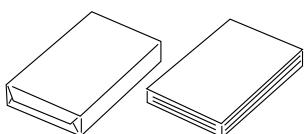
いろいろな用紙に印刷する

MultiWriter 1250は普通紙だけでなく、いろいろな用紙に印刷できます。

使用できる用紙について

MultiWriter 1250で使用できる用紙は次のとおりです。用紙の設定はメモリースイッチ設定モードで行うか、プリンタードライバーによって行います。なお、「用紙の規格」については225ページ、「印刷範囲」については227ページをご覧ください。

- 用紙のセット方向は縦のみです。
- 用紙は印刷したい面を上にしてセットしてください。

普通紙

「乾式PPC用紙」が最適です。連量55～70kgのものを使用してください。A4判、A5判、B5判、レターサイズが使用できます。

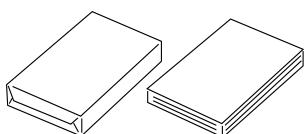
セットできる枚数

標準ホッパー ：150枚
手差しトレー ：1枚
増設ホッパー ：500枚（A4のみ）

メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別を普通紙にしてください。

MSW8-1 OFF
MSW8-2 OFF

厚紙

「乾式PPC用紙」が最適です。連量71～135kgのものを使用してください。A4判、A5判、B5判、レターサイズが使用できます。

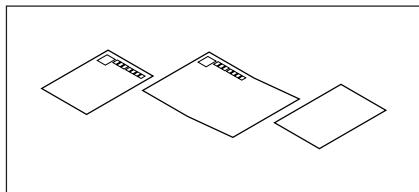
セットできる枚数

標準ホッパー ：10枚

メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別を厚紙にしてください。

MSW8-1 ON
MSW8-2 OFF

はがき

官製はがき、官製往復はがき、あるいははがきと同等のものを使用してください。

セットできる枚数

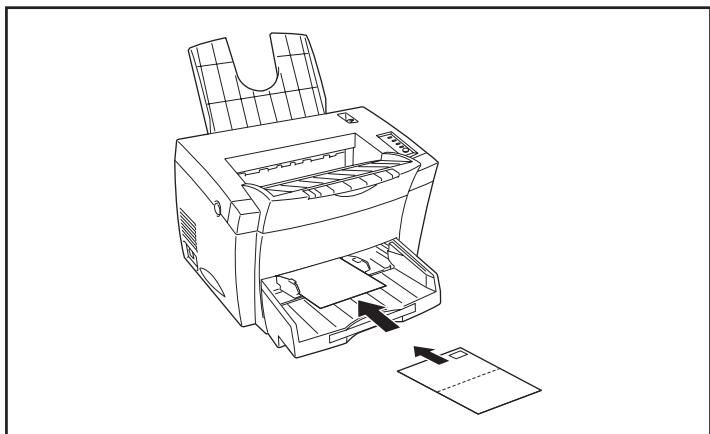
標準ホッパー ：50枚

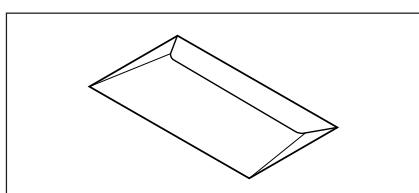
メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別をはがきにしてください。

MSW8-1 ON
MSW8-2 ON

セット方向

縦方向でセットします。

はがきに印刷する前に、はがきサイズの用紙で試し印刷をして、印刷位置や印刷の向きを確認してから、実際にはがきへ印刷してください。

封筒

洋形4号（LIFE洋封筒E506 ライフ（株）製）の封筒を使用してください。
長形3号、DL封筒、C5封筒、Commercial-10（C10）、Monarch（MON）等は[ユーザ定義]サイズを設定することで使用可能です。これらの封筒を使用する前には必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

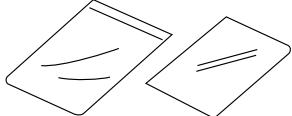
セットできる枚数

標準ホッパー ：10枚
手差しトレー ：1枚

メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別を封筒にしてください。

MSW8-1 ON
MSW8-2 ON

OHPフィルム

乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、表面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。
標準ホッパーまたはトレーにセットすることができます。

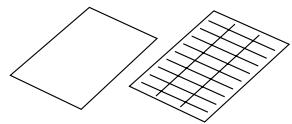
セットできる枚数

標準ホッパー ：5枚
手差しトレー ：1枚

メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別をOHPにしてください。

MSW8-1 OFF
MSW8-2 ON

ラベル紙

台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判が使えます。

セットできる枚数

標準ホッパー ：10枚

メモリースイッチ設定モード

MSW8-1～2の用紙種別を厚紙にしてください。

MSW8-1 ON
MSW8-2 OFF

セットできる用紙サイズについて

標準ホッパー、手差しトレー、増設ホッパー（オプション）にセットできる用紙は次のとおりです。
なお、「用紙の規格」については225ページ、「印刷範囲」については227ページをご覧ください。

- 標準ホッパーにセットできる用紙サイズ
  A4、A5、B5、レター、はがき、定形外用紙、往復はがき、封筒（洋形4号）

- 手差しトレーにセットできる用紙サイズ
  A4、A5、B5、レター、定形外用紙、封筒（洋形4号）

- 増設ホッパーにセットできる用紙サイズ
  A4のみ

用紙のセット

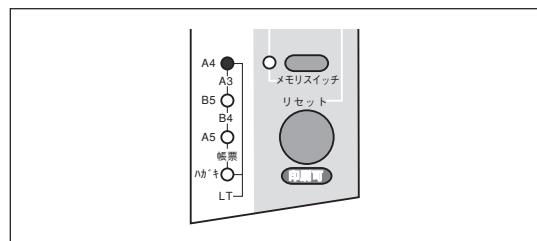
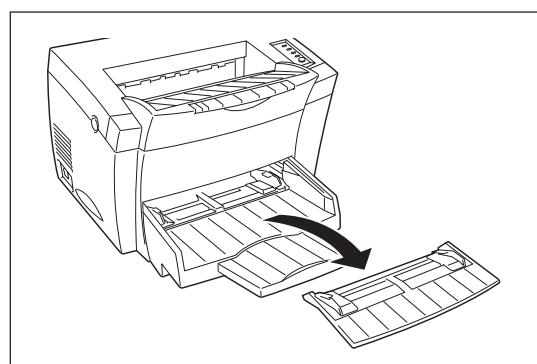
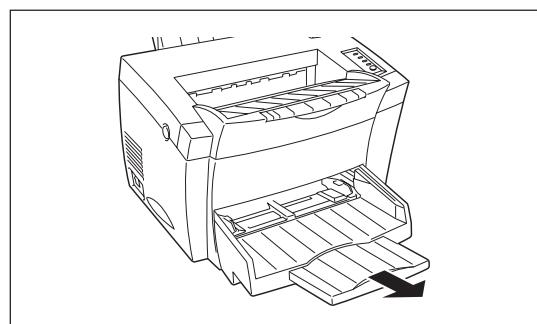
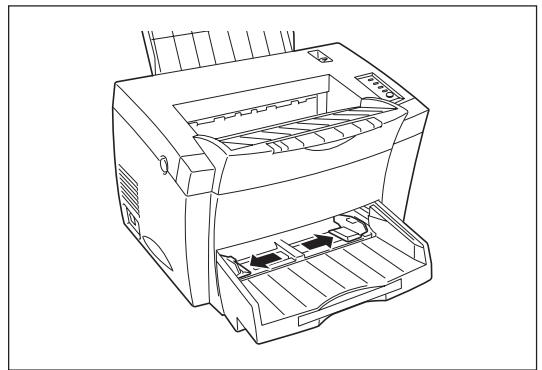
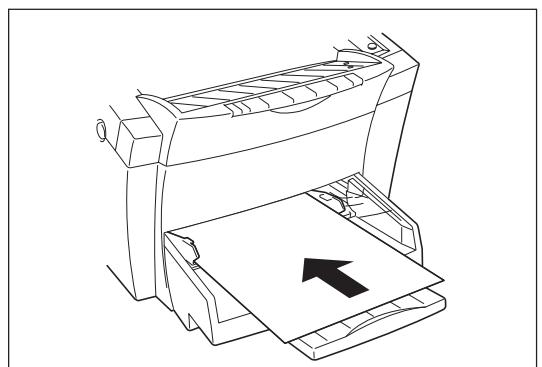
ここでは標準ホッパーと手差しトレーに用紙をセットする方法について説明します。
増設ホッパー(オプション)に用紙をセットする場合は210ページを参照してください。

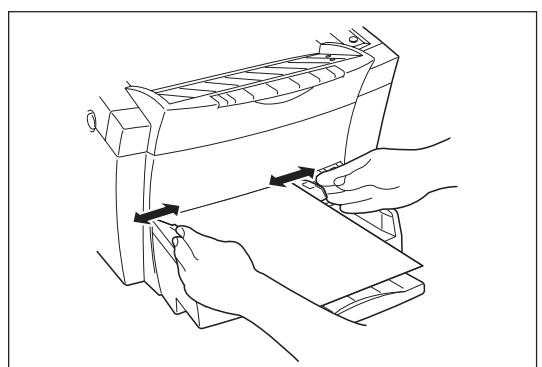
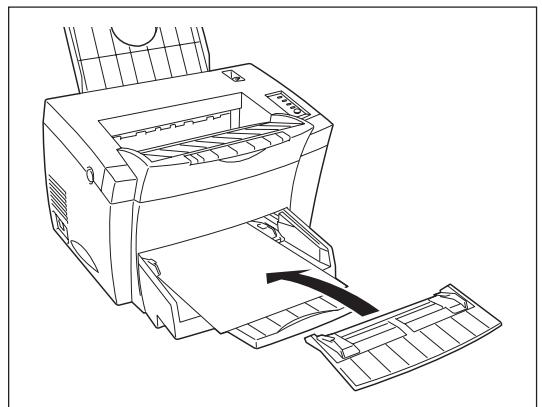
標準ホッパーにセットする

標準ホッパーにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙を標準ホッパーにセットすることはできません。片面印刷した用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとすると給紙できなかったり、紙づまりになったりするばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

どのサイズの用紙でもセットする手順は同じです。ここではA4サイズの普通紙をセットする方法を説明します。

1. **操作パネルのランプの表示を確認します。**

   標準ホッパーにA4用紙をセットする場合、右のようにランプを点灯させます。

2. **手差しトレーを取り外す。**

3. **ペーパーサポートを引き出す。**

4. 用紙ガイドを開く。

5. 印刷したい面を上にして用紙をプリンターの奥に突き当たるまで挿入する。

6. 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせる。

用紙ガイドがきちんと合っていないと紙づまりの原因になります。用紙ガイドを合わせるときは両手で行ってください。

7. 手差しトレーをセットする。

手差しトレーにセットする

手差しトレーには普通紙、ラベル紙、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

手差しトレーには用紙を1枚づつセットしてください。[印刷可]スイッチを押すと印刷を開始します。
OHP、封筒を使用する際は、プリンタードライバー、リモートパネルまたはメモリースイッチ設定モードで用紙種別設定をそれぞれ変更する必要があります。

重要

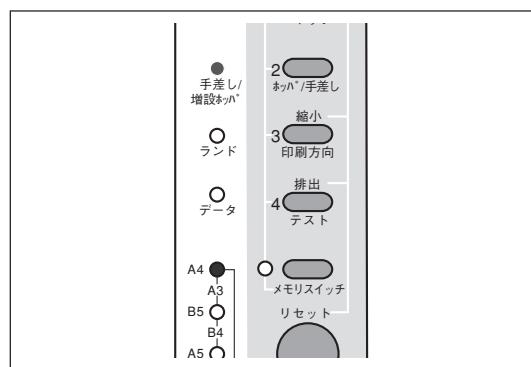
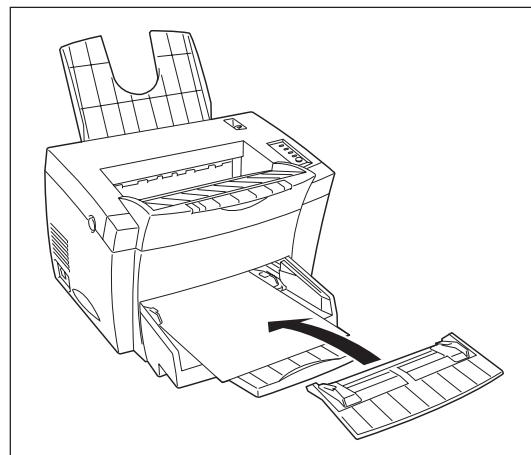
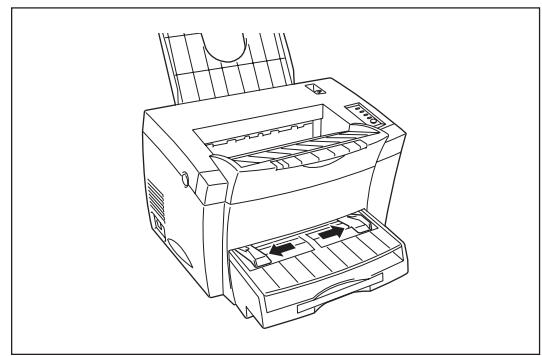
手差しトレーにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙を手差しトレーにセットすることはできません。片面印刷した用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとすると給紙できなかったり、紙づまりになったりするばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

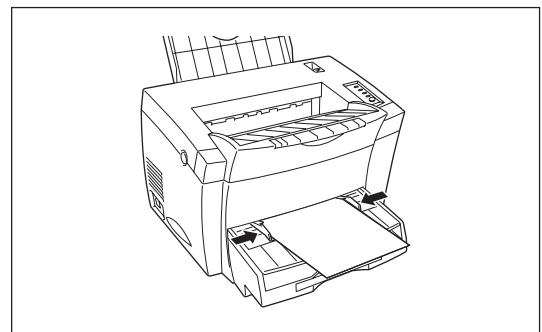
チェック

手差しトレーに用紙をセットすると、プリンタードライバーなどの設定によらず手差しトレーから給紙します。

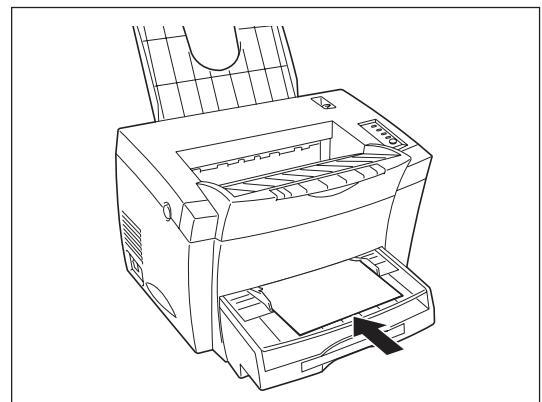
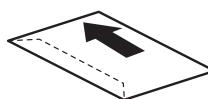
手差しトレーにセットする方法はどのサイズの用紙でも同じです。

1. 操作パネルのランプの表示を確認します。

手差しトレーから給紙する場合、右のようにランプを点灯させます。

2. 手差しトレーがホッパーに正しくセットされていることを確認する。

3. 用紙ガイドを開く。

4. 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせる。

右側の用紙ガイドを動かすと左側の用紙ガイドも一緒に動きます。

5. 印刷したい面を上にして、用紙ガイドに沿って封筒を1枚突き当たるまで挿入する。

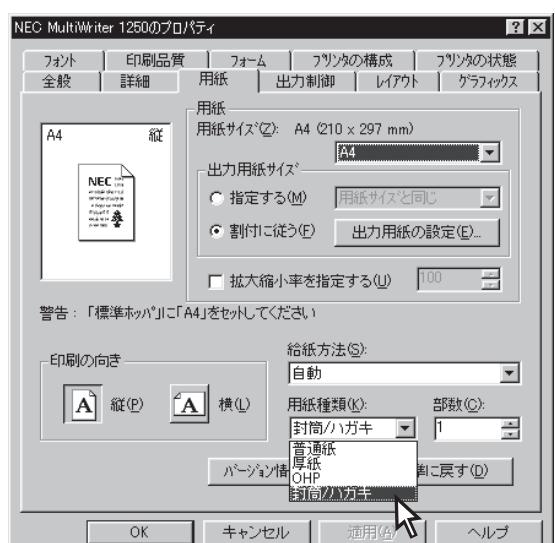
ヒント

封筒をセットした場合はフラップ部が左下向きになるようにセットしてください。

6. 用紙の種類を変更する。

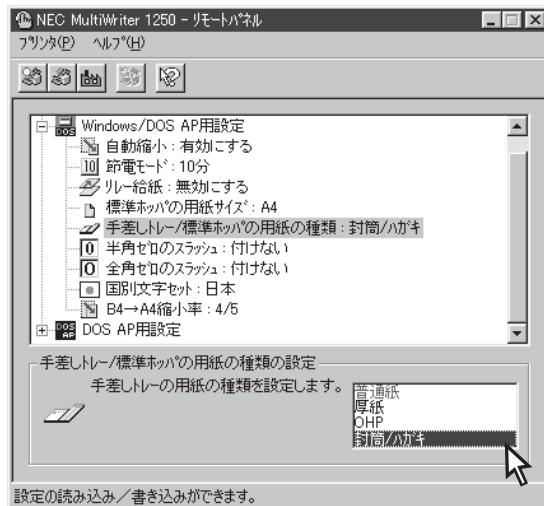
プリンタードライバー、リモートパネルまたはメモリースイッチ設定モードで用紙の種類を封筒に設定します。

プリンタードライバーで変更する場合

プリンターのプロパティの[用紙]シートの[用紙の種類]をクリックし、用紙の種類を選びます。

右の画面は用紙種別を[ハガキ/封筒]にしたときの例です。

リモートパネルで変更する場合

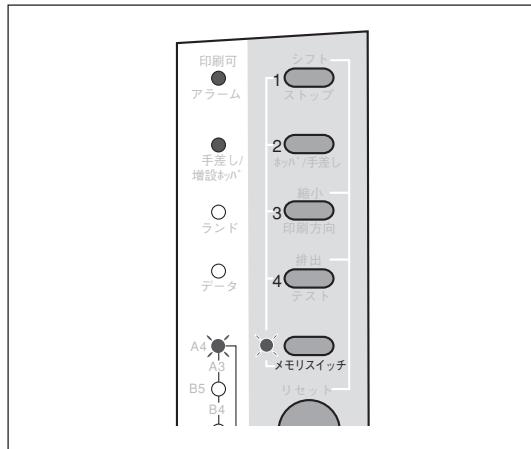
リモートパネルを表示させて、ツリービューより[用紙の種類]を選んで、用紙の種類を設定します。

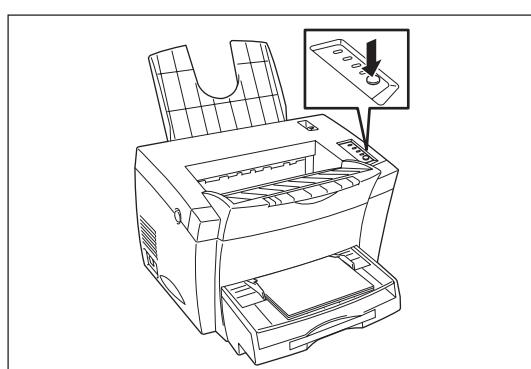
右の画面は手差しトレー/標準ホッパの用紙種別を[ハガキ/封筒]にしたときの例です。

メモリースイッチ設定モードで変更する場合

MSW8-1と MSW8-2の組み合わせてで用紙の種類を設定します。

右の図は「ハガキ/封筒」に設定している例です。

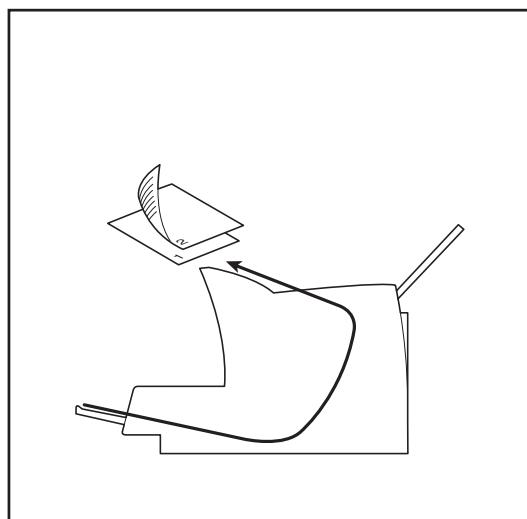
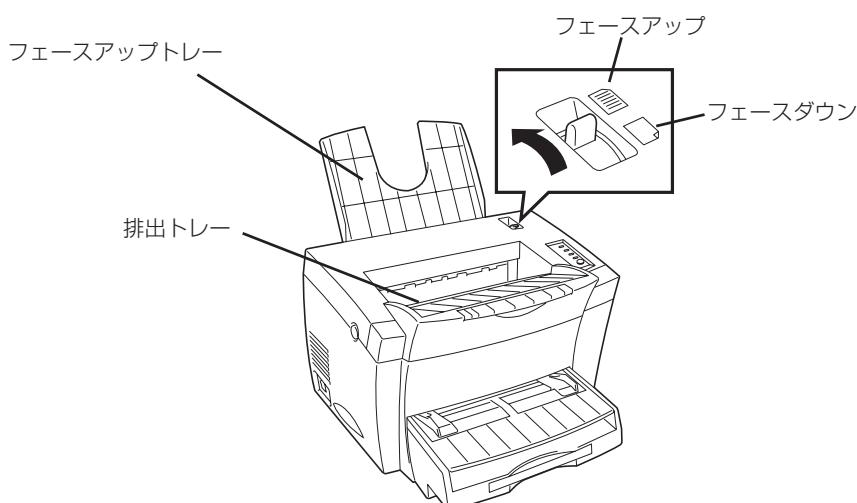
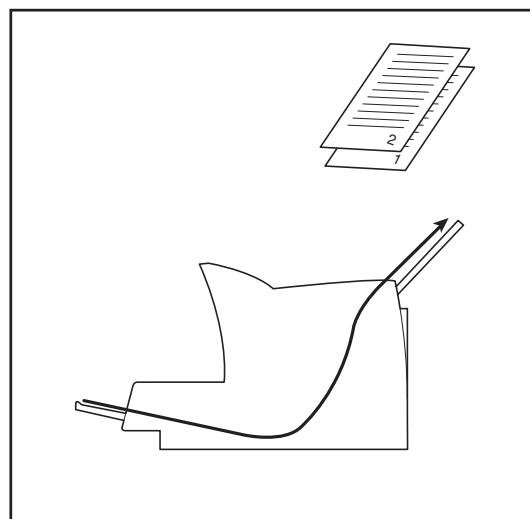
用紙種別	8-1	8-2
普通紙	**OFF**	**OFF**
厚紙	ON	OFF
OHP	OFF	ON
ハガキ/封筒	ON	ON

表内の太字は工場設定を表します。

7. [印刷可]スイッチを押す。

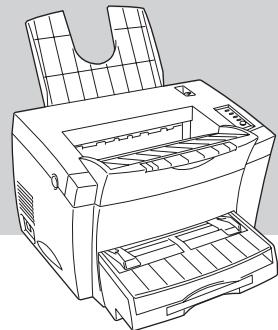
手差しトレーにセットされた用紙は、[印刷可]スイッチを押すごとに1枚づつ給紙します。

フェースダウン/フェースアップ排紙

MultiWriter 1250では印刷した用紙を排出するときに、フェースダウンにするかフェースアップにするかレバーひとつで切り替えることができます。

はがきや封筒など、厚手の紙に印刷する場合はフェースアップ排紙にしてください。

フェースダウンにした場合は排紙トレーに、フェースアップにした場合はフェースアップトレーにそれぞれスタックされます。

フェースダウン
最大100枚までスタックできます。

フェースアップ
最大20枚までスタックできます。

便利な印刷機能

より進んだ使い方

本章ではPrintAgentやメモリースイッチ設定モードを使って、プリンターの設定を変更する方法や、便利な印刷機能について説明しています。
まず、次ページからの「機能の概要」でどのような機能なのかをイラスト入りでわかりやすく説明し、その後、機能を具体的に設定する方法(「設定方法」)を説明しています。

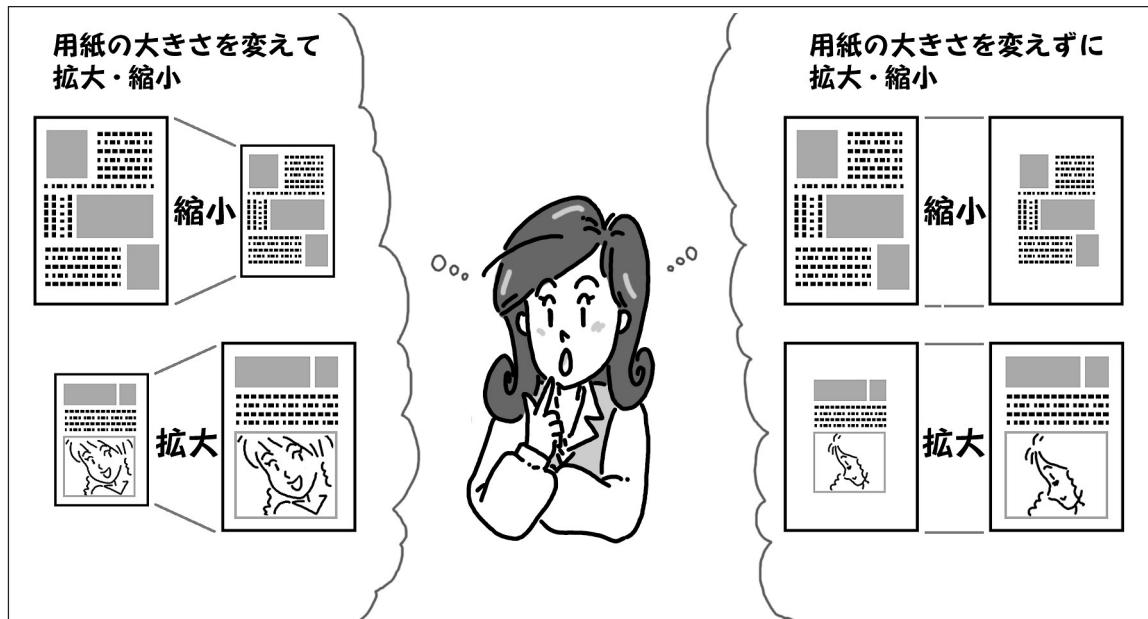
また、章の終りに「ネットワークの基礎知識」として、ネットワークについてや、プリンター管理者について簡単に説明しています。必要に応じて参考にしてください。

本章で使われている記号の意味

Net	ネットワーク環境でないと使えません。
管理	プリンター管理者による設定が必要です。
OP	別途指定されたオプションの購入が必要です。

機能の概要

印刷データを任意のサイズに縮小・拡大したい

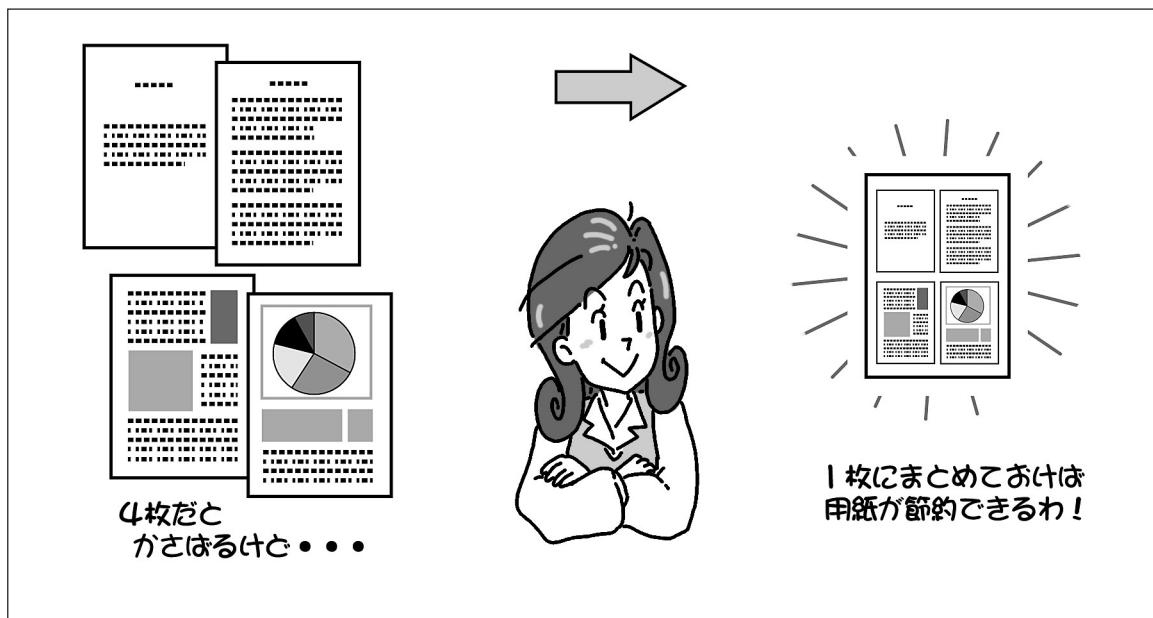
拡大・縮小印刷 38ページ

この機能を使うと印刷データを任意のサイズに拡大・縮小して印刷することができます。拡大・縮小印刷を設定するには次の2つの方法があります。

- 出力用紙サイズを指定する 38ページ
  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。
  - プリンタードライバーを使って設定する場合 38ページ
  - 操作パネルを使って設定する場合 41ページ
- 拡大・縮小率を指定する 42ページ
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。
  前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

使用条件

Windows 3.1、Windows NT 3.51をお使いの方は「操作パネルを使って設定する場合」以外はご利用になれません。

1枚の用紙で複数ページ印刷したい

複数ページ印刷 43ページ

この機能を使うと連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。

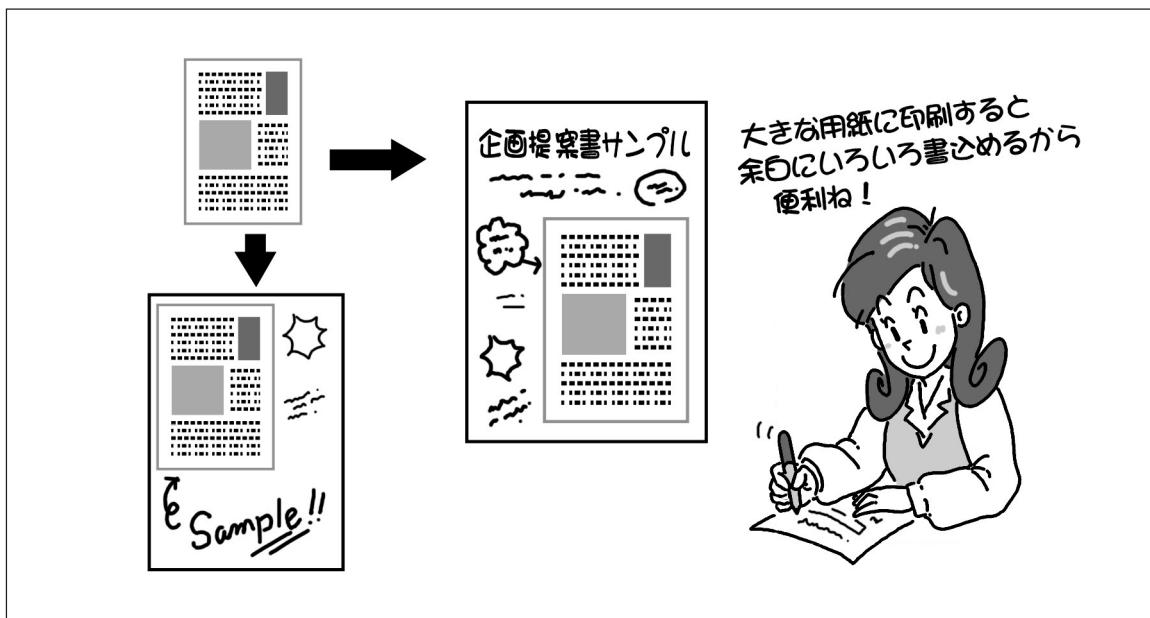
この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [用紙]シートや[詳細設定]ダイアログボックスで拡大・縮小印刷を設定している
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4

使用条件

この機能はWindows 98/95/NT 4.0でのみご利用になれます。

用紙のどのあたりに印刷するかを自由に決めたい

印刷位置の調整 45ページ

B5サイズのデータをA4サイズの用紙の右下に印刷したいときなど、任意に印刷位置を変える機能です。

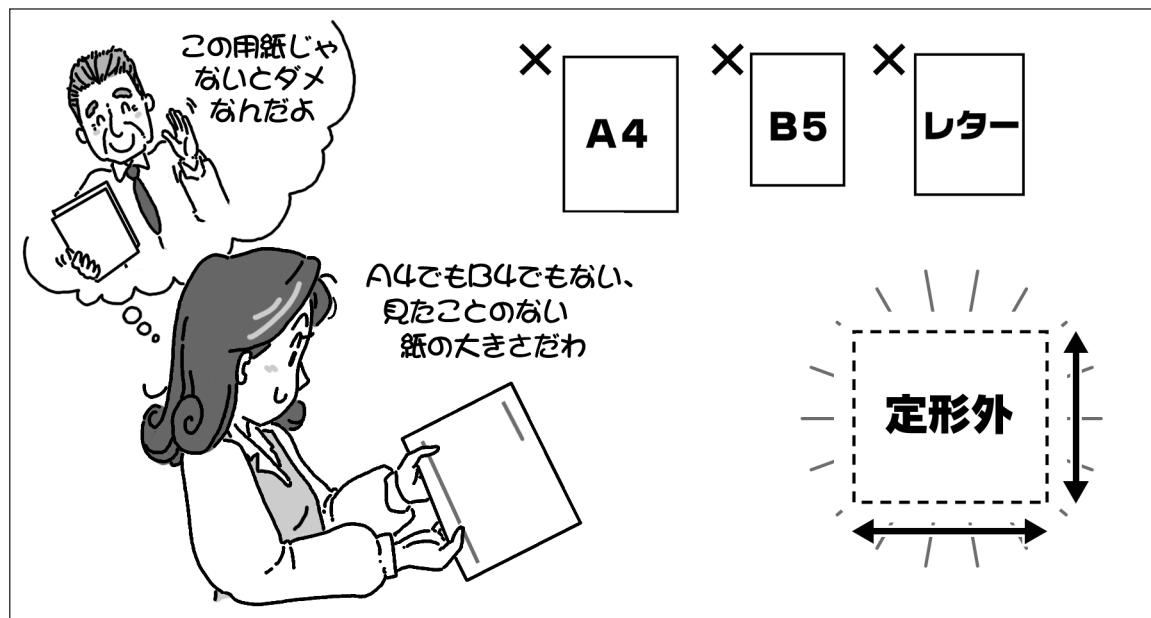
この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4

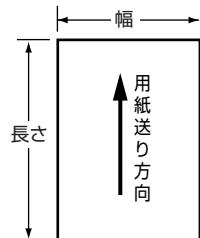
使用条件

なし

好きな大きさの紙に出力したい

定形外用紙サイズの設定 46ページ

A4、B5、A5、レターサイズなど定形の用紙サイズとは別の用紙サイズ（定形外用紙）を［ユーザ定義］サイズとして設定して印刷する機能です。

長形3号、DL封筒、Commercial-10（C10）、Monarch（MON）等の封筒に印刷するときは必ず［ユーザ定義］サイズとして設定してください。

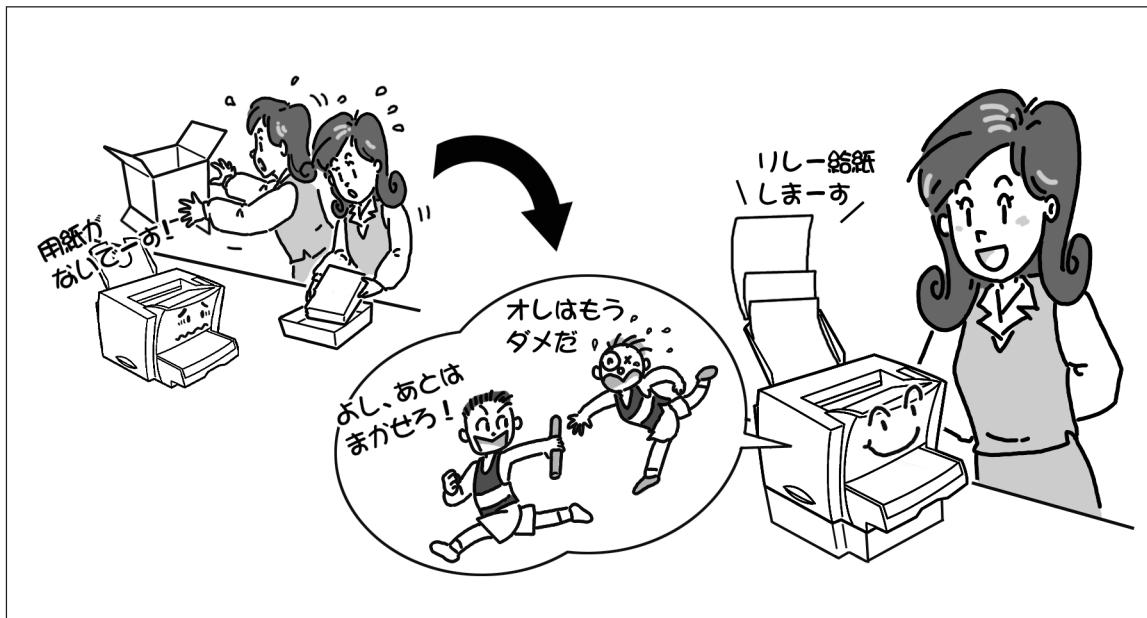
定形外の用紙をセットする場合は、あらかじめ用紙のサイズ（幅と長さ）を確認しておいてください。

✔チェック

- 使用できる定形外用紙の規格についてはユーザーズマニュアルの225ページ「用紙の規格」を参照してください。
- アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙の印刷が行えないことがあります。また対応可能な用紙の厚み（連量）は定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認する事を強くお勧めします。
- 以下の項目について、あらかじめ確認しておいてください。
  - 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は正常な給紙ができません。
  - 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
  - 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
  - 印刷された用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

使用条件

なし

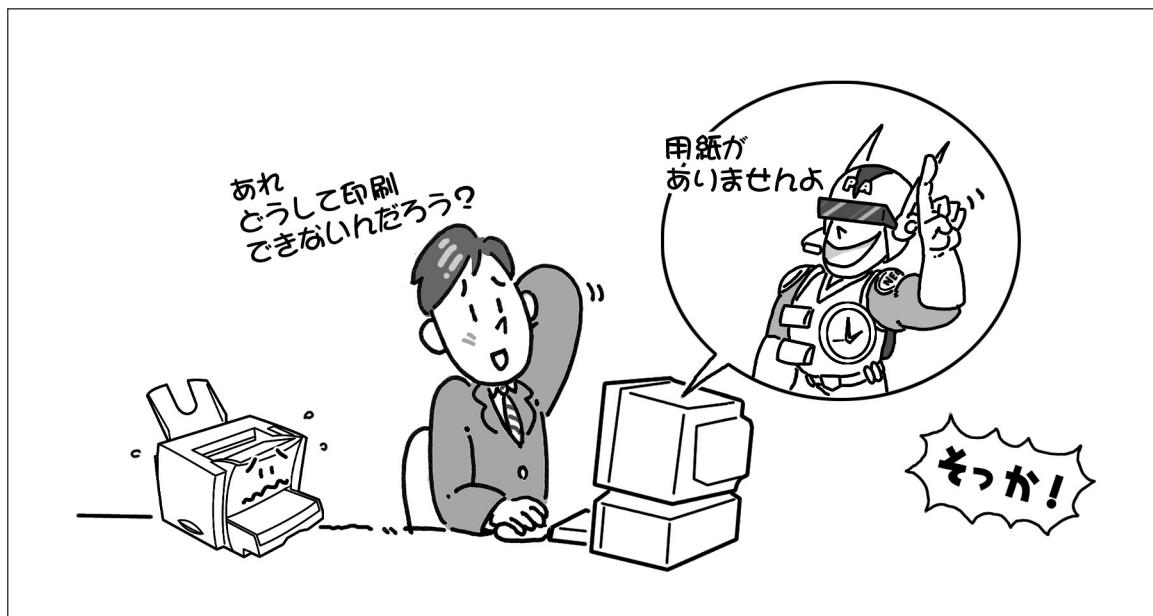
自動的に給紙を切り替えてほしい

リレー給紙……51ページ

オプションの増設ホッパーを装着することで、実現できる機能です。リレー給紙は標準ホッパーと増設ホッパーの間で行われます。
使用しているホッパーの用紙がなくなったときに、自動的に別のホッパーから用紙を吸入し印刷を続けます。

使用条件 OP

- オプションの増設ホッパ(PR-L1250-03)が必要です。
- 使用できる用紙はA4の普通紙のみです。
- 標準ホッパー、増設ホッパーの両方にA4サイズの普通紙をセットしてください。
- 標準ホッパーの用紙種別を普通紙に設定してください。

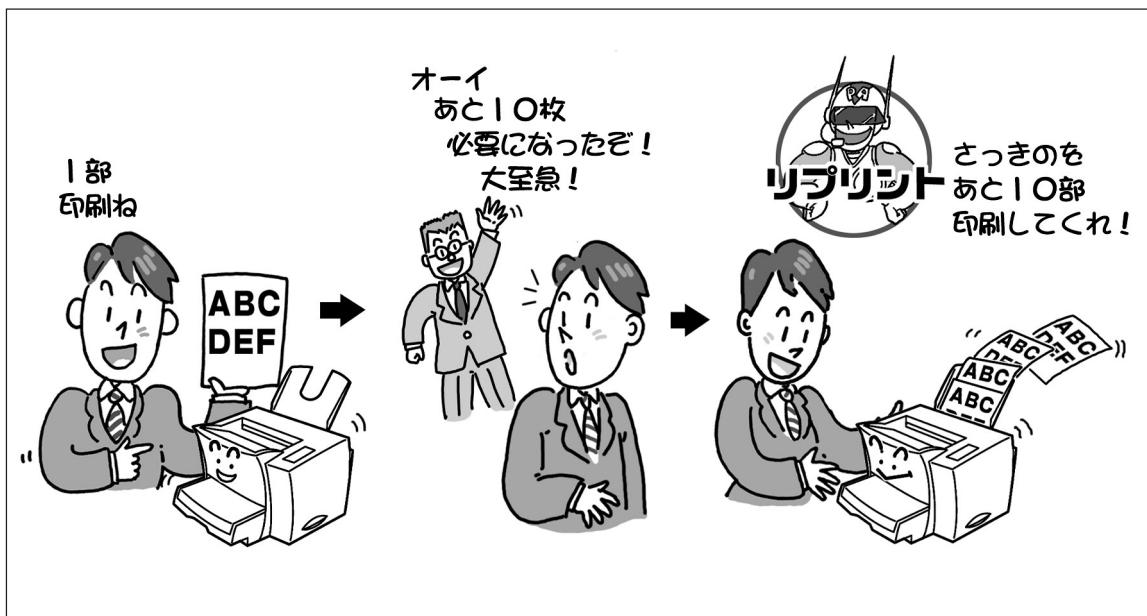
プリンターの状態や印刷状況を見る

プリンタステータスウィンドウ(PSW) 55ページ

印刷開始や終了、用紙切れなどプリンターの状態をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知します。
また、印刷の一時停止や印刷とりやめなどの指示もこのウィンドウから行うことができます。

使用条件

プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。

さっきの文書をもう一度印刷したい

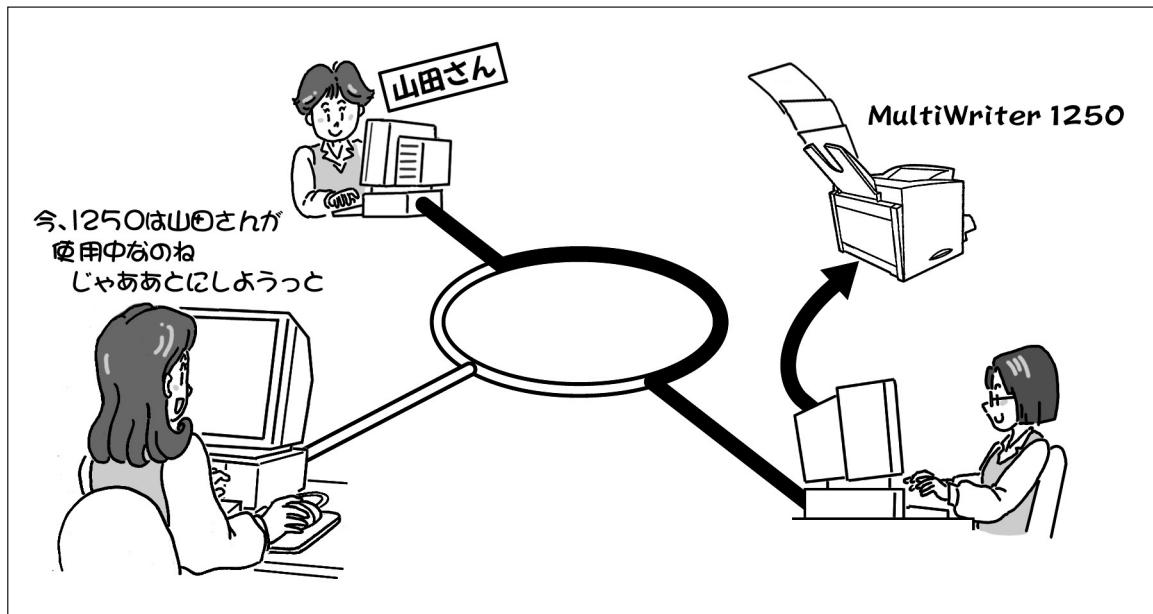
リプリント機能 57ページ

一度印刷した文書をアプリケーションを再起動させずにプリンタステータスウィンドウ(PSW)を操作することにより、短時間で再出力を実現する機能です。追加印刷する場合に便利です。

MultiWriter 1250に添付されているプリンターソフトウエアCD-ROMには「PrintAgent リプリント」というソフトウエアが入っています。この「PrintAgent リプリント」はわかりやすい画面で簡単に再印刷できるようにするソフトウエアです。リプリント機能を使用する方はこの「PrintAgent リプリント」をインストールすることをお勧めします。
インストール方法は63ページをご覧ください。

使用条件

プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。

ブラウザーを使ってプリンターの状況を見る

Web PrintAgent機能 68ページ

汎用のブラウザーでネットワークプリンターの状態を知ることができます。どんなOSを使っているクライアントからでもWeb PrintAgentでMultiWriterシリーズのプリンターが見えます。

使用条件 Net

Webサーバーとクライアントのコンピューターはそれぞれ以下の環境が必要です。

サーバーコンピューター

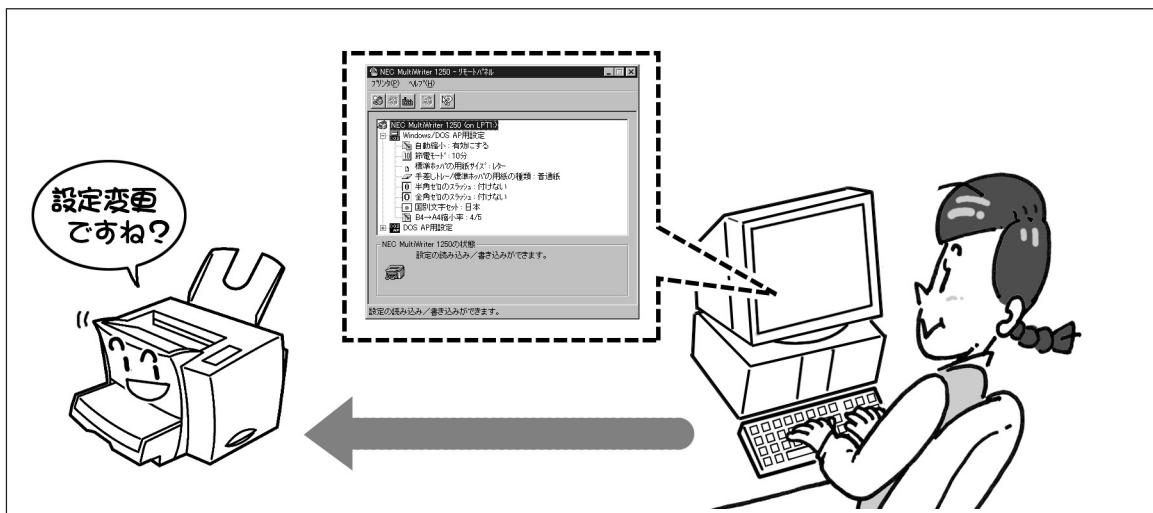
次のいずれかの組み合わせ

- OS　Microsoft Windows NT Server 4.0（日本語版）
  Webサーバー　Microsoft Internet Information Server 2.0以上
- OS　Microsoft Windows NT Workstation 4.0（日本語版）
  Webサーバー　Microsoft Peer Web Services
  または
  Microsoft Personal Web Server（Windows NT Workstation 4.0用）
- OS　Microsoft Windows 95（日本語版）
  Webサーバー　Microsoft Personal Web Server（Windows 95用）
- OS　Microsoft Windows 98（日本語版）
  Webサーバー　Microsoft Personal Web Server（Windows 98用）

クライアントコンピューター

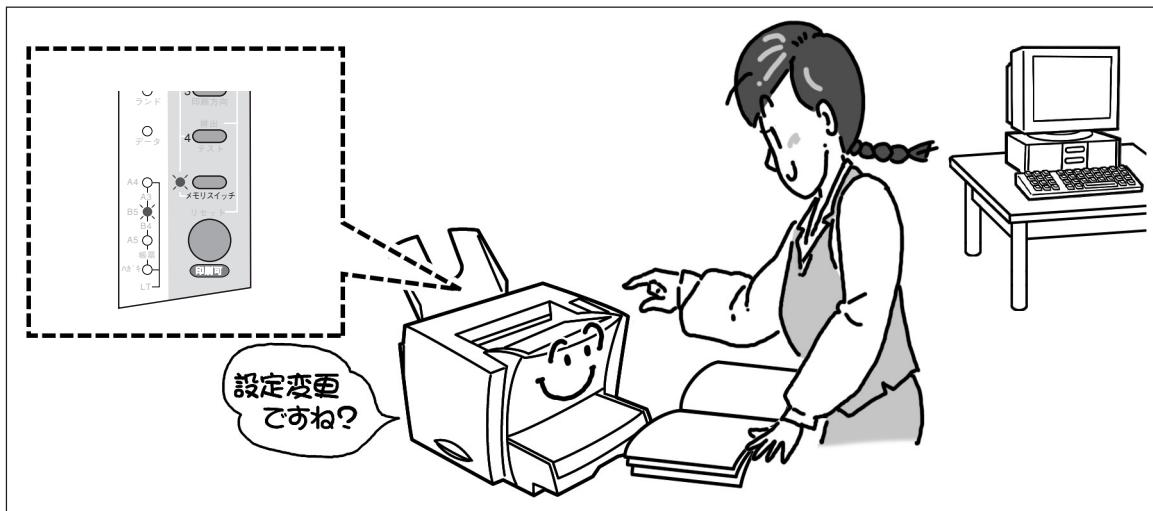
- OS　下記指定のWebブラウザーが動作するもの
  Webブラウザー　Microsoft Internet Explorer 3.0以上
  または
  Netscape Navigator 3.0以上

プリンターの設定を変更したい

リモートパネルを使って変更する 69ページ

コンピューターに直接つながっているプリンターやネットワーク上にあるプリンターの設定を管理者のパソコン上の画面で参照・設定変更するものです。

使用条件　管理

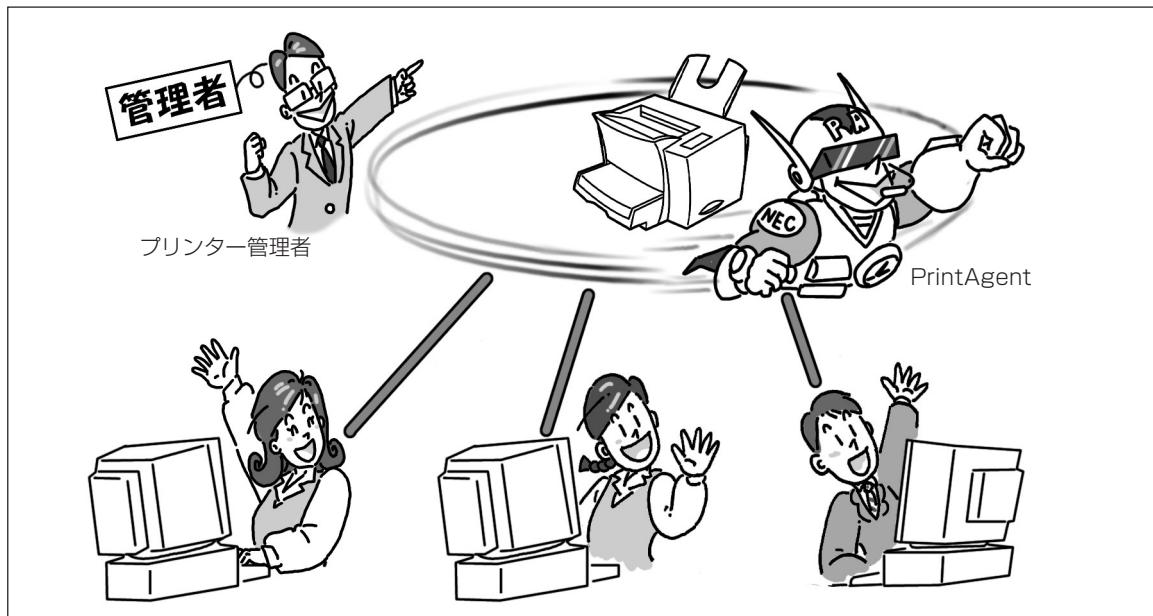
- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- プリンターソフトウエアを「管理者」としてインストールすると利用できるようになります。
  「管理者」としてインストールできるのはWindows 98/95/NT 4.0のみです。

メモリースイッチ設定モードを使って設定する 75ページ

プリンターの設定を操作パネルのメモリースイッチ（MSW）を使って変更します。

使用条件

なし

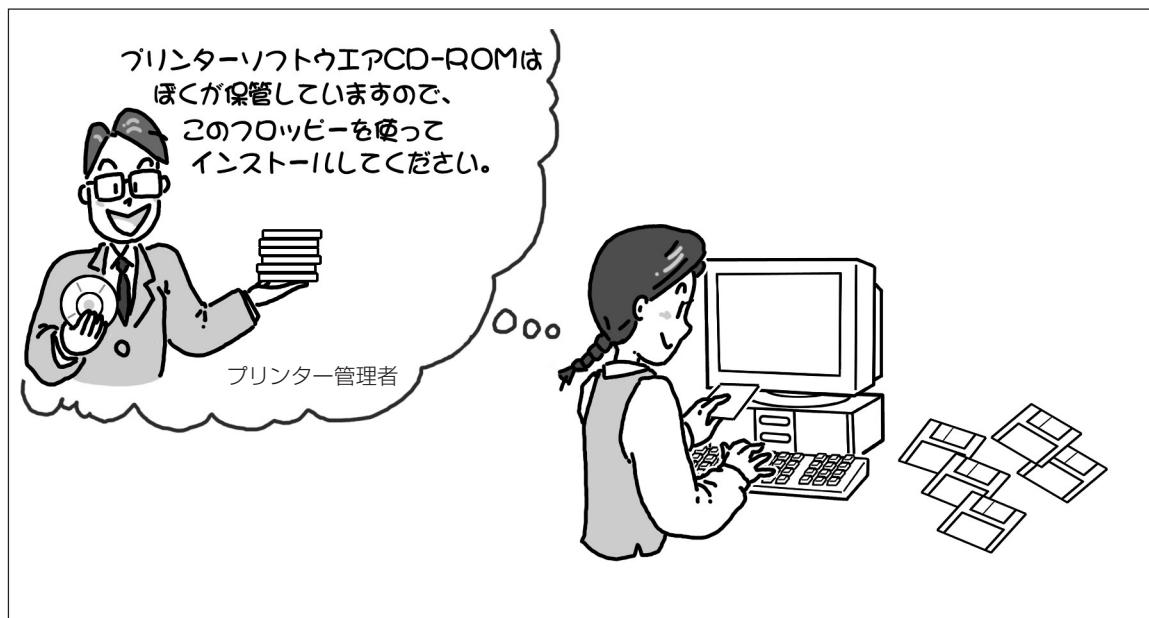
プリンターを一元管理したい

プリンタ管理ユーティリティ 91ページ

プリンターの稼働状況の確認、負荷の分散など、プリンターを一元管理するための機能です。
コンピューターにインストールしてあるプリンターを一覧形式で表示し、状態などの参照ができます。また印刷前に各プリンターのPSWで詳細な現在の状態を確認した上で、使用するプリンターを簡単に切り替えることができます。

使用条件　Net 管理

- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- プリンターソフトウエアを「管理者」としてインストールすると利用できるようになります。
「管理者」としてインストールできるのはWindows 98/95/NT 4.0のみです。

フロッピーディスクを使ってインストールしたい

インストール媒体の作成 94ページ

プリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、ハードディスクなどの任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。
プリンターソフトウエアCD-ROMから「管理者」を選択して媒体を作成します。

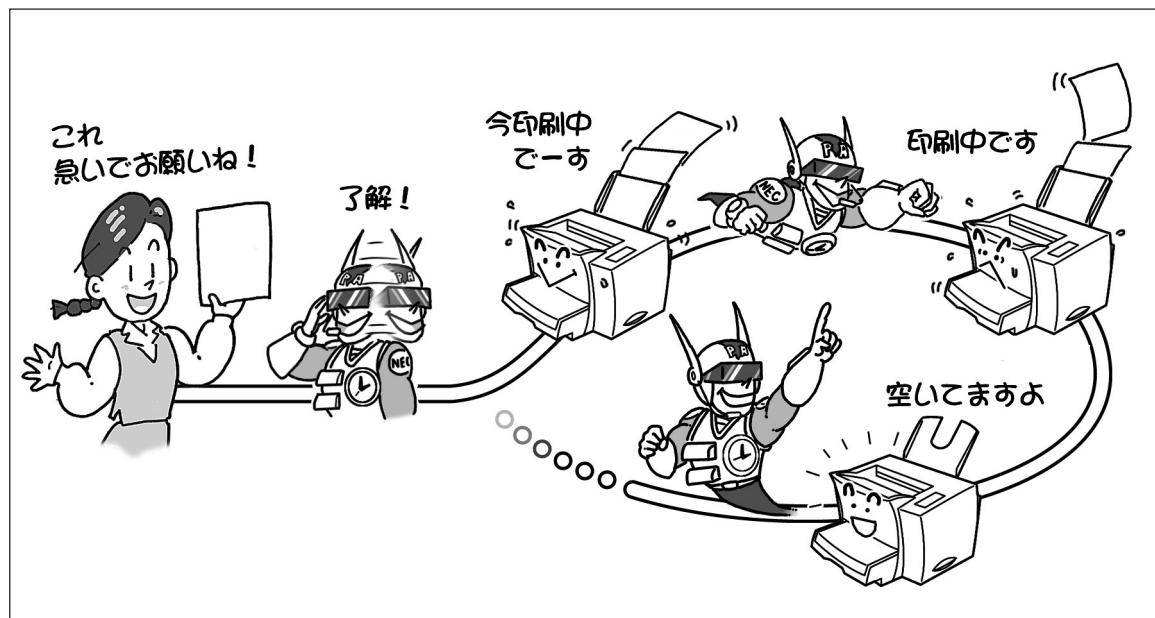
コピーする形式は次の2通りです。

- マスターとして　　MultiWriter 1250用プリンターソフトウエアすべてコピーする。（フロッピーディスクにコピーする場合は、フロッピーディスクが6枚必要です。）
- インストール用として　　メニューで「標準」を選んだときとにインストールされる機能項目を選択してコピーする。
選択した機能項目はインストール時に変更できません。

使用条件

なし

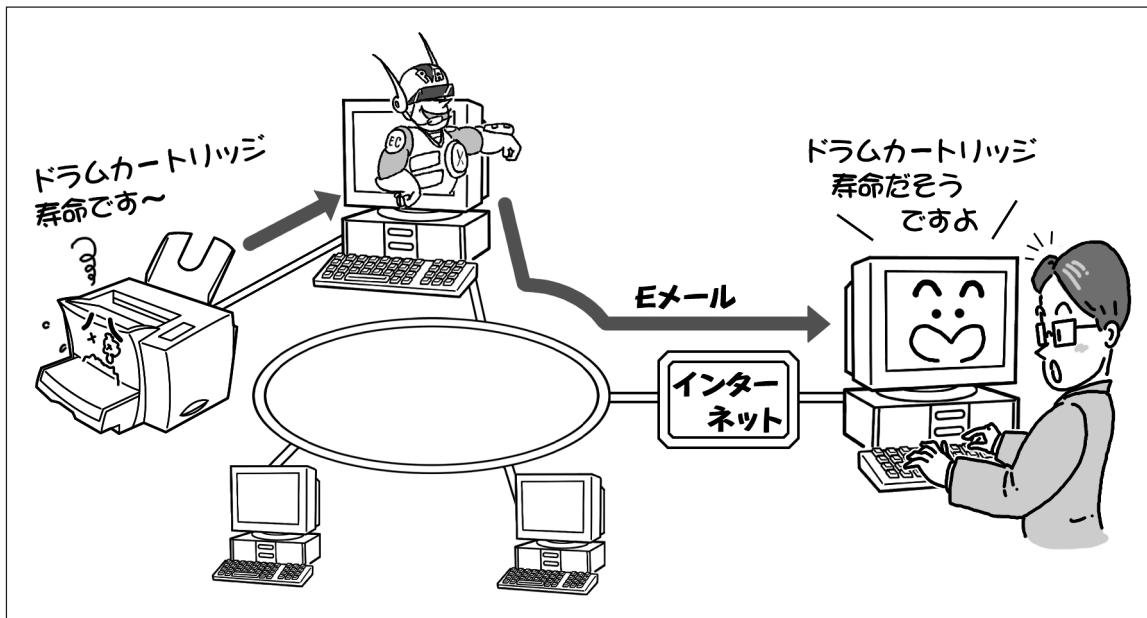
空いてるプリンターで出力してほしい

プリンター自動切替 97ページ

プリンターをグループ化しておきますと、自動的に空いているプリンターへ印刷出力します。
印刷は自動的に空いているプリンターで行われますのでプリンターの負荷が分散されます。

使用条件 Net

- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- MultiWriter 1250を複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- プリンター管理者が複数のMultiWriter 1250をグループプリンターとして登録することが必要です。
- グループプリンターの設定が可能なプリンターはMultiWriter 1250のみです。

保守の必要な時期を知らせてほしい

電子メールによるアラーム通知(NEC e-mailメンテナンス) 107ページ

接続されているプリンターにドラムカートリッジ寿命を検出したとき、または総印刷枚数が5万枚、10万枚になった時に自動的に電子メールでプリンター管理者に通知する機能です。保守担当部門など別の通知先を設定することができるのでスムーズな保守・管理が期待できます。

使用条件 Net 管理

- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- プリンターソフトウエアを「管理者」としてインストールすると利用できるようになります。
「管理者」としてインストールできるのはWindows 98/95/NT 4.0のみです。
- 電子メールが使用できるコンピューター以外は利用できません。

プリンターの使用状況を知りたい

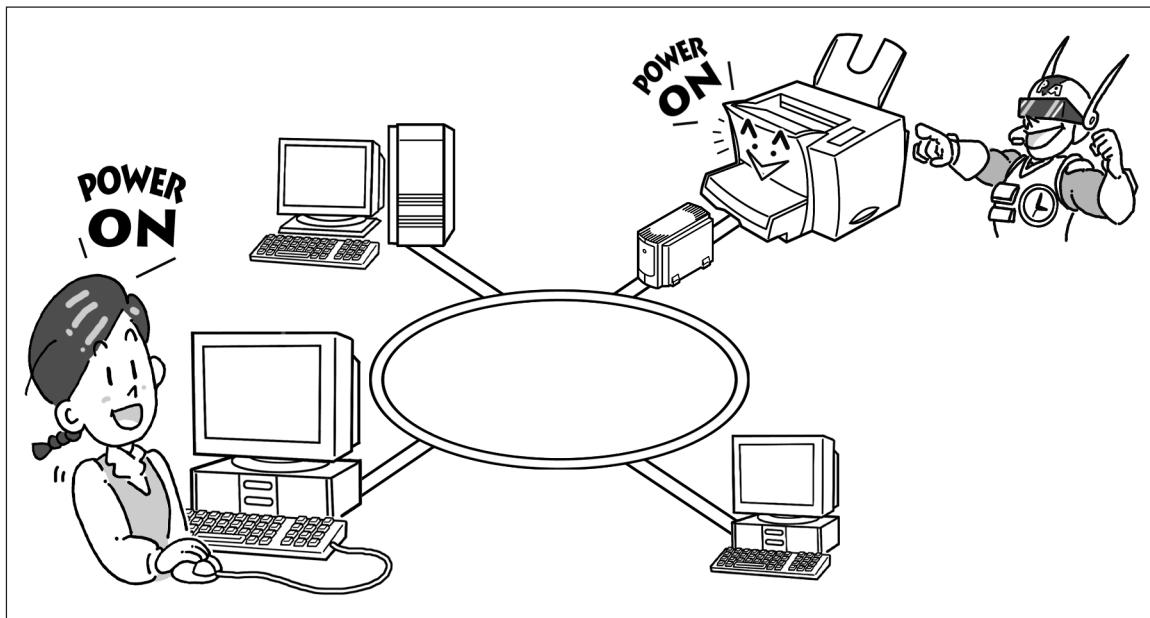
印刷ログの出力 111ページ

プリンターが、どのクライアントに一番多く使用されているか、毎月何日頃に多く使用されているか、一回の印刷で使用されている用紙の枚数はどの程度かなどを、集計することができます。これらの情報から、年間・月ごとやクライアント別のプリンターの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理ができます。

使用条件　Net　管理

- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- プリンターソフトウエアを「管理者」としてインストールすると利用できるようになります。
  「管理者」としてインストールできるのはWindows 98/95/NT 4.0のみです。
- プリントサーバーのOSがWindows NT 4.0/3.51であることが必要です。

プリンターの電源を入れたい

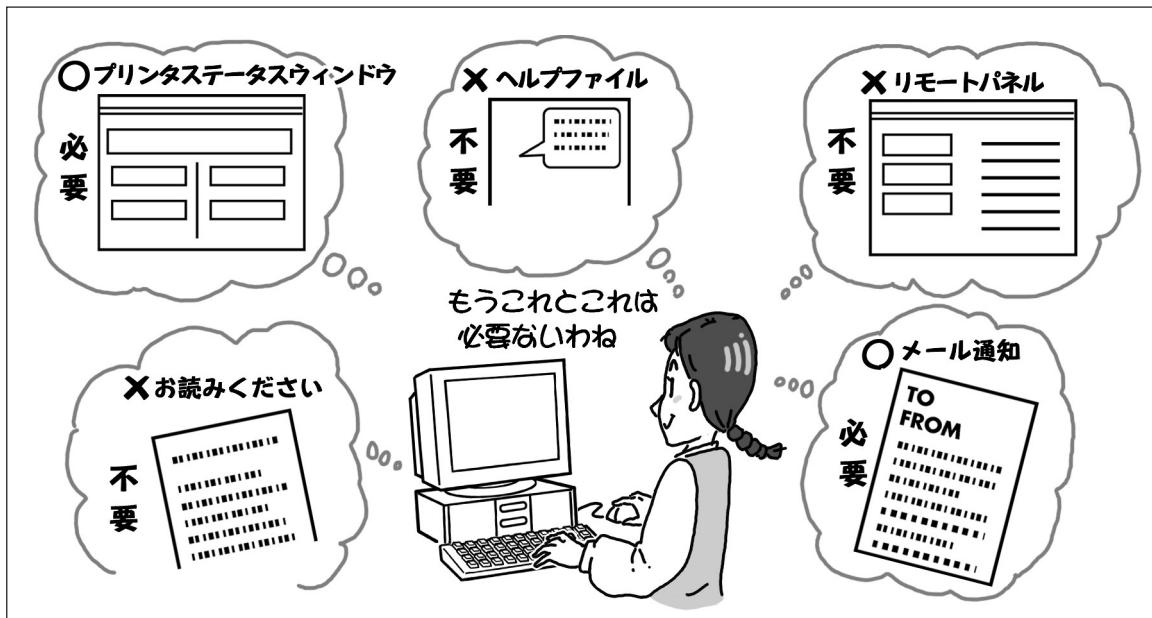
リモート電源制御 116ページ

管理者のパソコン上の操作でLANアダプターに接続されているプリンターの電源をON/OFFできる機能です(管理者以外の方でも電源ONは可能です)。

使用条件　Net　管理　OP

- プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。
- オプションのLANアダプタ(TCP/IP)PR-NP-03TR2が必要です。

リモート電源制御の設定方法はLANアダプターのマニュアルをご覧ください。
プリンター管理者以外の方がリモート電源制御(ONのみ)を行う場合の設定方法は120ページをご覧ください。

インストールし直したい

プリンターソフトウエアの追加・削除 121ページ

以前のインストールで組み込まなかった機能を追加したり、あまり使わない機能をアンインストールすることができます。無駄のないコンピューター環境を整えることにより快適にプリンターを使うことができます。

使用条件

プリンターソフトウエアを「標準」でインストールした方が、管理者の機能を追加インストールするには、プリンターソフトウエアCD-ROMからセットアッププログラムを起動した場合にのみ行えます。
[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]または[MultiWriter 1250]グループ内の[PrintAgentセットアップ]から起動するセットアッププログラムからは、管理者の機能を追加インストールできません。

設定方法

ここでは、「機能の概要」で紹介した機能の設定方法について説明します。

拡大・縮小印刷

出力用紙サイズを指定する

プリンタードライバーを使って設定する場合

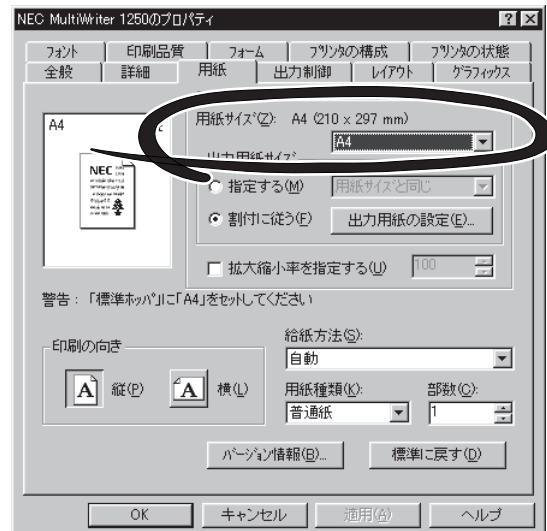
ここでは、設定方法をWindows 98の場合について説明します。Windows 95およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. **プリンターのプロパティの[用紙]シートを開く。**

2. **[用紙サイズ]のボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。**

選択できる用紙のサイズは次の20種類です。
A2、A3、A4、A5、B4、B5、Letter、帳票、はがき、往復はがき、封筒洋形4号、ユーザ定義*、A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4。

* ユーザ定義を選択した場合の設定方法については「定形外用紙サイズの設定」(46ページ)を参照してください。

Windows NT 4.0の場合は、お使いのコンピューターで使用できる用紙のサイズがすべて選択できます。

以下の用紙サイズを指定した場合は、[出力用紙サイズ]が固定となり[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4

3. [出力用紙サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

(a) **[指定する]を選択する。**

サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合はこちらを選択してください。

(b) **[割付に従う]を選択する。**

すで設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合はこちらを選択してください。

[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

3-(a) [指定する]をクリックし、ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。

A4、A5、B5、Letter、はがき、往復はがき、封筒洋形4号、ユーザ定義から選択できます。

Windows NT 4.0の場合は、お使いのコンピューターで使用できる用紙サイズのうち、幅100～216mm、長さ148～356mmの範囲内の用紙が選択できます。

[給紙方法]に増設ホッパーが設定されている場合はA4以外を指定したときは標準ホッパーまたは手差しトレーから印刷されます。

手順7に進んでください。

3-(b) [割付に従う]をクリックする。

現在、[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてある出力用紙サイズが自動的に設定されます。

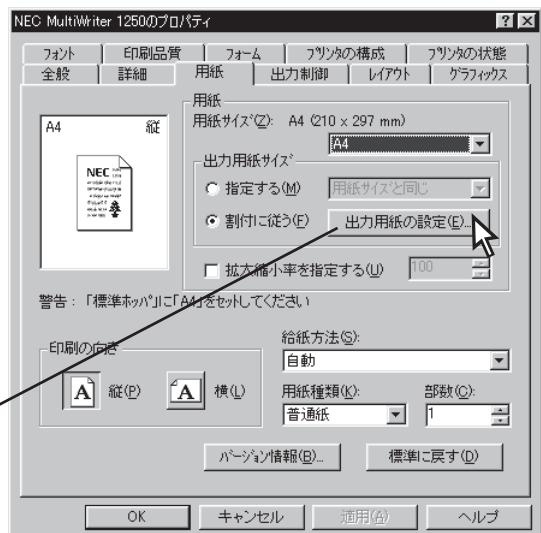
[給紙方法]に増設ホッパーが設定されている場合はA4以外を指定したときは標準ホッパーまたは手差しトレーから印刷されます。

用紙割り付けの設定を変更したい場合は手順 4 に進んでください。
変更しない場合は手順7に進んでください。

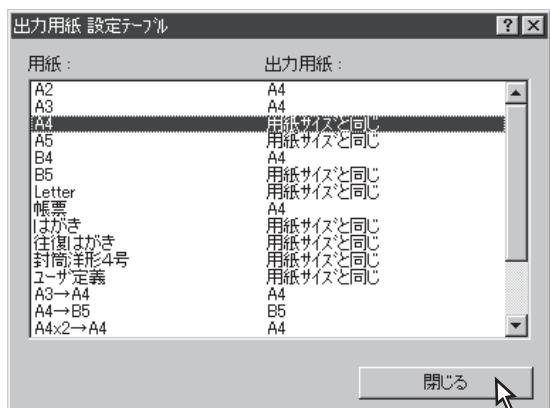
4. [出力用紙の設定]をクリックする。

[出力用紙設定テーブル]ダイアログボックスが開き、現在設定されている用紙サイズと出力用紙サイズの割り付けの組み合わせが表示されます。

Windows NT 4.0の場合は、組み合わせの表示のみを行います。組み合わせを変更したいときは[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で行ってください。

Windows NT 4.0の場合は、[割付内容の表示]ボタンとなります。

5. 設定したい出力用紙サイズを選択する。

6. [閉じる]をクリックする。

[出力用紙 設定テーブル]ダイアログボックスが閉じます。

7. [OK]をクリックする。

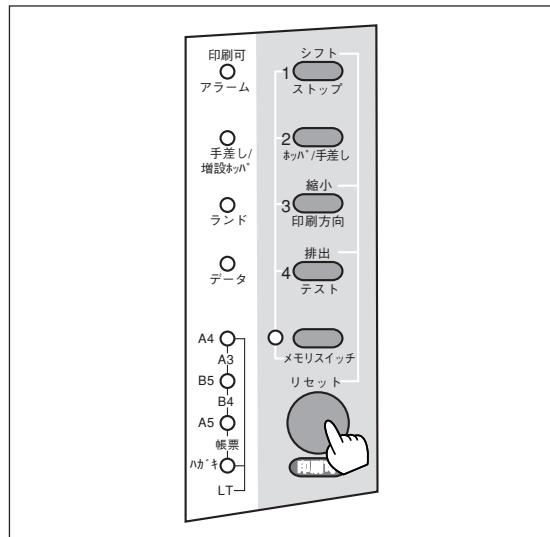
操作パネルを使って設定する場合

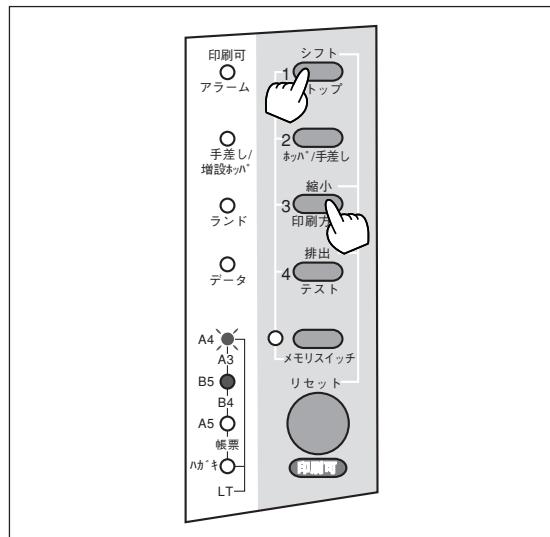
操作パネルを使って縮小・拡大率を設定する場合は出力用紙サイズによって設定できる縮小率が違います。用紙ランプの表示を見ながら設定してください。(6ページ参照)

- A4サイズが選択されているとき
  [標準(A4)] ⇒ [A3→A4] ⇒ [B4→A4] ⇒ [帳票→A4] ⇒ [A4×2→A4] ⇒ [B5→A4] ⇒(繰り返し)

- B5サイズが選択されているとき
  [標準(B5)] ⇒ [B4→B5] ⇒ [A4→B5] ⇒ [B5×2→B5] ⇒(繰り返し)

次の手順で設定します。

1. [印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にする。

2. [シフト]スイッチを押しながら、[縮小]スイッチを押す。

右のイラストは「A3→A4」にセットしたときの例です。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [レイアウト]シートで複数ページ印刷を設定している
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4

ここでは、設定方法をWindows 98の場合について説明します。Windows 95およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. プリンターのプロパティの[用紙]シートを開く。

2. [拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。

選択できる拡大・縮小率は10%～400%です。

複数ページ印刷

ここでは、設定方法をWindows 98の場合について説明します。Windows 95およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. **プリンターのプロパティの[レイアウト]シートを開く。**

2. **[複数ページ印刷]の[ページ数]ボックスから縮小配置するページ数を選択する。**

選択できるページ数は次の7通りです。

- 1ページ→1ページ
- 2ページ→1ページ
- 4ページ→1ページ
- 6ページ→1ページ
- 8ページ→1ページ
- 9ページ→1ページ
- 16ページ→1ページ

3. **[複数ページ印刷]の[配置]ボックスから配置方法を選択する。**

選択できる配置パターンは次の通りです。

- 2ページ→1ページの場合は以下の2通り
  ー印刷の向きがポートレートのとき
  　左→右、右→左
  ー印刷の向きがランドスケープのとき
  　上→下、下→上
- 4/6/8/9/16ページ→1ページの場合は以下の4通り
  (Z型、逆Z型、 逆N型、N型)

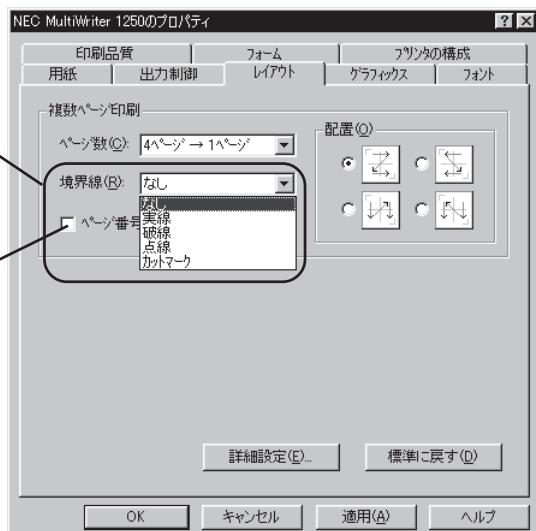
[16ページ→1ページの場合]

4. 必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。

縮小配置した各ページ単位に境界線を入れたい場合は[境界線]のボックスから境界線の種類を選択します。次の5つの中から選択することができます。

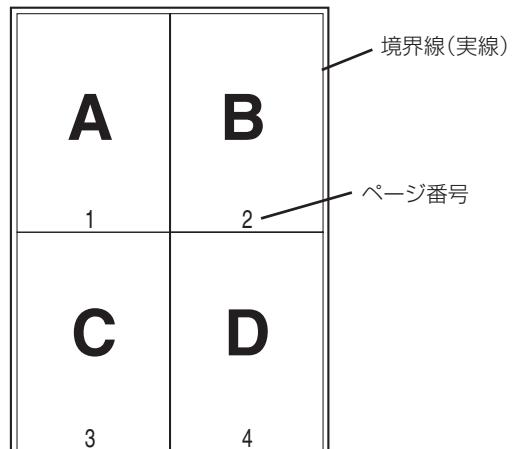
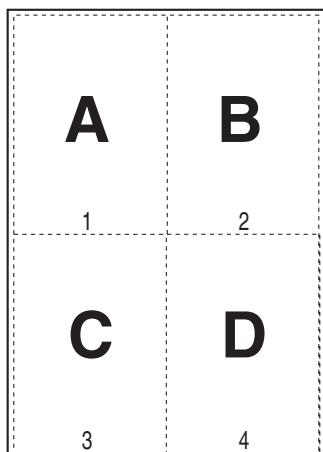
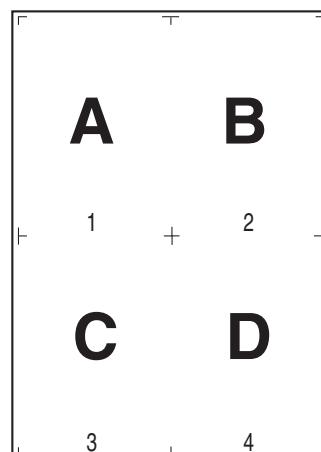
なし、実線、破線、点線、カットマーク

縮小配置した各ページにページ番号を付けたい場合は[ページ番号を付加する]のボックスをチェックします。

ページ番号は縮小配置された各ページの下部中央に印刷されます。また、ページ番号は最小でも4ポイント相当のゴシック体で印刷されます。

5. [OK]をクリックする。

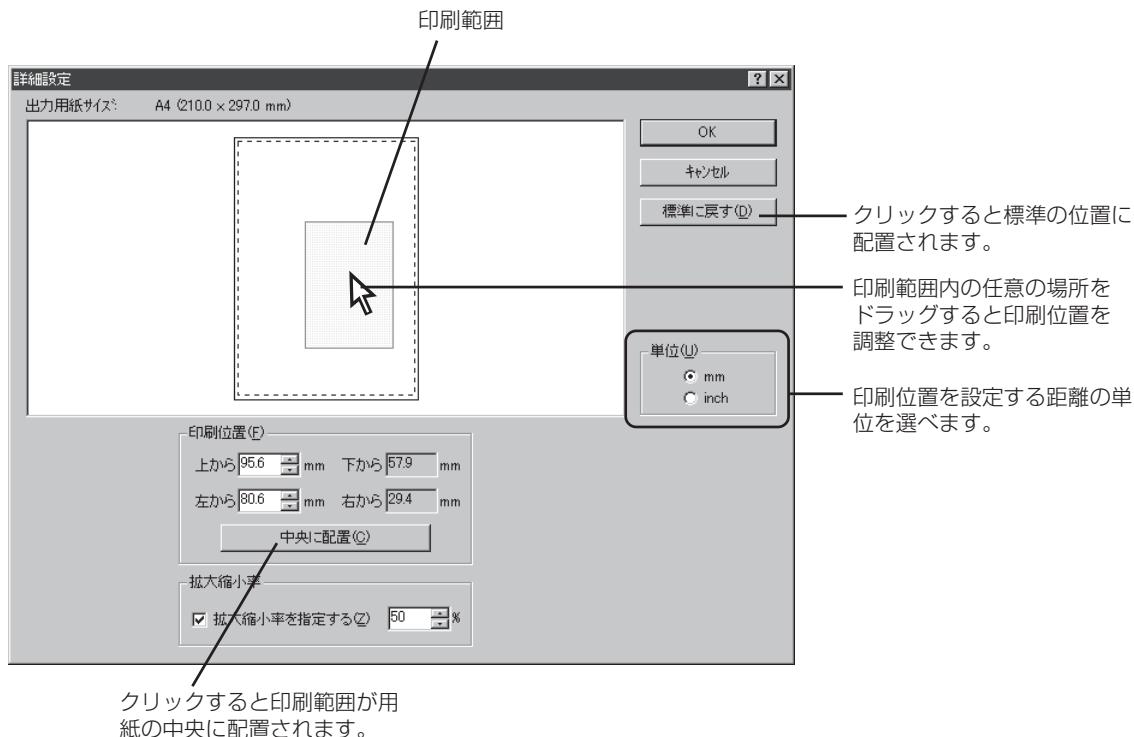
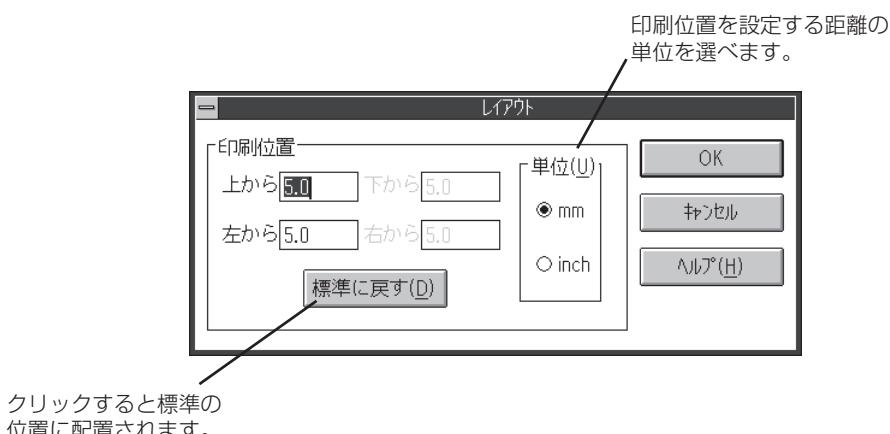
右図のように印刷されます。

✔チェック

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、印刷内容によっては見づらくなる場合があります。ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

境界線(実線)、ページ番号付加の場合

境界線(破線)、ページ番号付加の場合

境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

印刷位置の調整

[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス(Windows 98/95/NT 4.0)または[出力制御]シートの[詳細設定]ダイアログボックス(Windows 3.1)を使うと印刷位置を細かく調整して印刷することができます。以下は印刷するときのダイアログボックスの例です。

印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します(ボックスに入力はできません)。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます(Windows 3.1は除く)。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。

[詳細設定]ダイアログボックス(Windows 98/95/NT 4.0/3.51)

[レイアウト]ダイアログボックス(Windows 3.1)

定形外用紙サイズの設定

定形外用紙サイズの用紙に出力するには次のステップが必要です。

Step 1　ユーザー定義サイズを設定する
Step 2　用紙サイズに[ユーザ定義]を選択する

Step1のユーザー定義サイズの設定方法は各OSごとに説明します。

Step 1　ユーザー定義サイズを設定する

Windows 98/95/3.1の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。Windows 98の例で説明します。

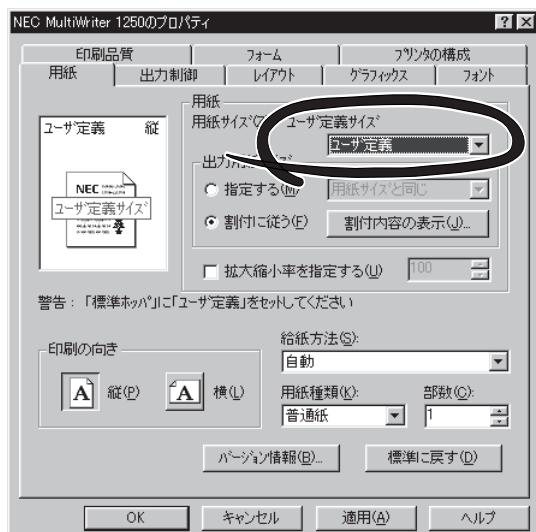
1. プリンターのプロパティの[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義サイズ]を選ぶ。

[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが開きます。

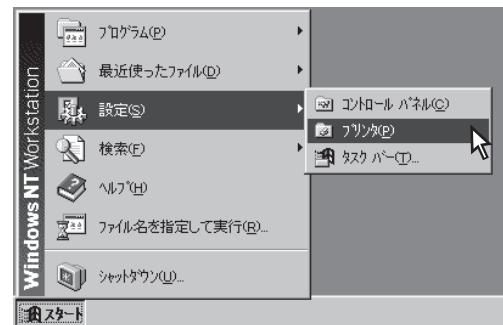
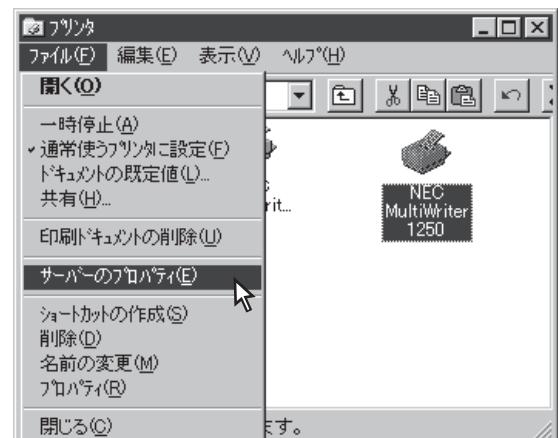
Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスで行ってください。

連量が70kgを越える用紙の場合、[用紙の種類]から[厚紙]を選ぶか、リモートパネルまたは、MSW8-1～2で「厚紙」を指定してください。

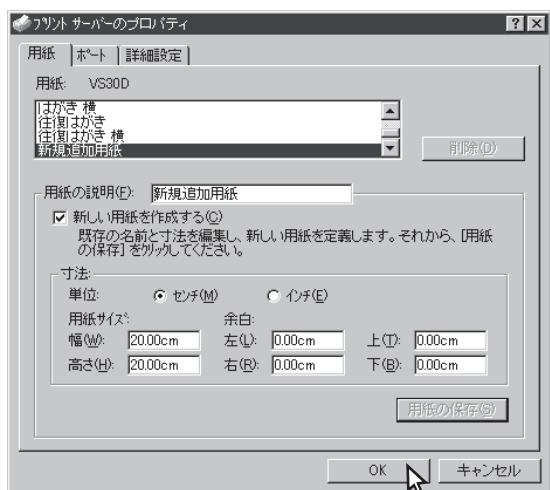
2. 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

設定できる範囲が入力ボックスの横に表示されています。

Windows NT 4.0の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

2. **[ファイル]から[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログボックスが開く。

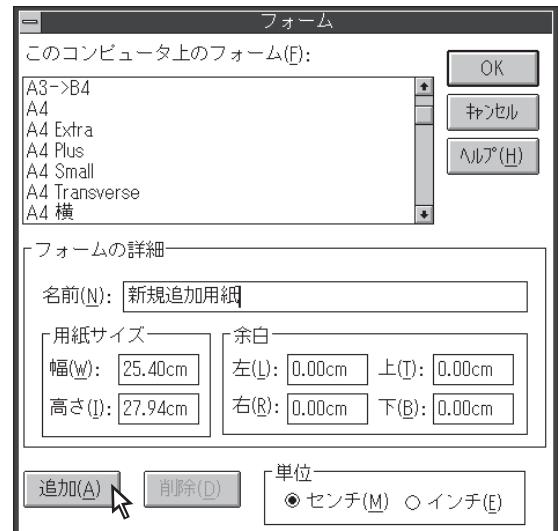
3. [新しい用紙を作成する]をチェックして、任意の用紙名、サイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

4. ボックスに新規作成した用紙名が追加されたのを確認して[OK]をクリックする。

Windows NT 3.51 の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。

1. [プリントマネージャ]を開く。

2. [プリンタ]メニューの[フォーム]をクリックして[フォーム]ダイアログボックスを開く。

3. [フォームの詳細]グループの[名前]ボックスに任意の用紙名、用紙サイズを入力してから[追加]をクリックする。

4. ボックスに新規作成した用紙名が追加されたのを確認して[OK]をクリックする。

Step 2　用紙サイズに[ユーザ定義]を選択する

次の手順で定形外用紙を選択します。Windows 98の例で説明します。

1. プリンターのプロパティの[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

Windows NT 4.0/3.51の場合は作成した用紙名を選びます。

2. 通常通り[印刷]ダイアログホックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

リレー給紙の設定方法

この機能を使うには次のステップが必要です。

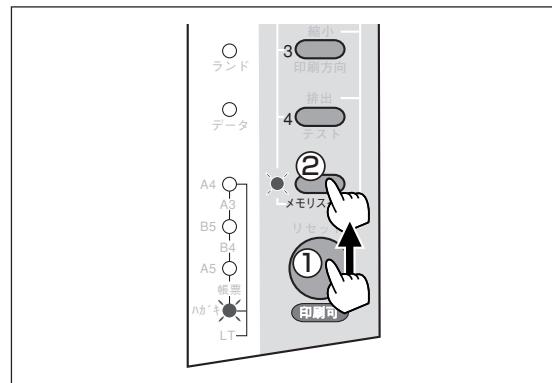
Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

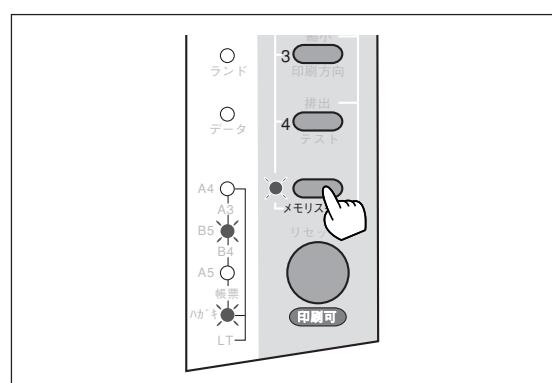
Step1のリレー給紙の設定方法は次の2種類です。

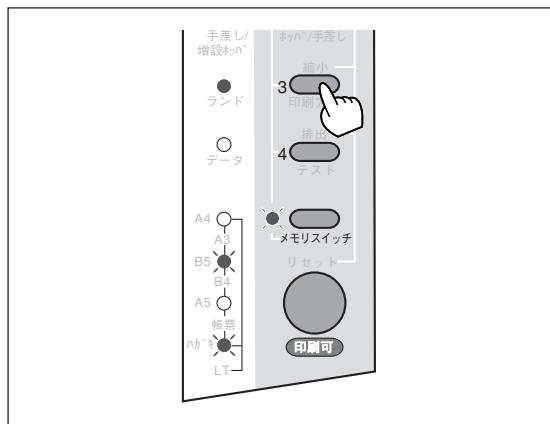
Step 1　リレー給紙を有効にする

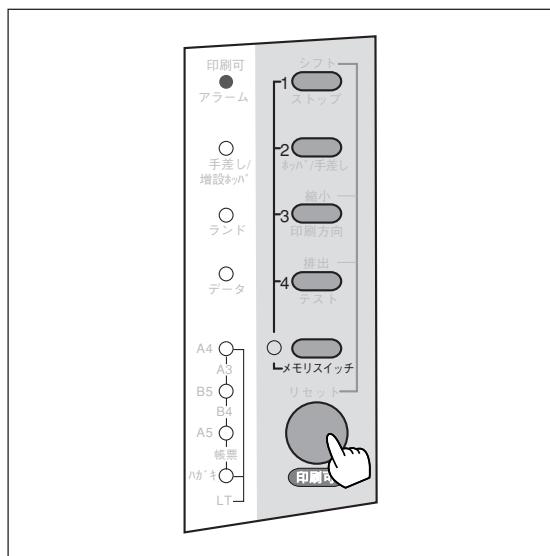
メモリースイッチ設定モードで設定する場合

1. **メモリースイッチ設定モードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メモリスイッチ]を2秒以上押してメモリスイッチランプを点滅させます。

2. **[メモリスイッチ]を4回押す。**

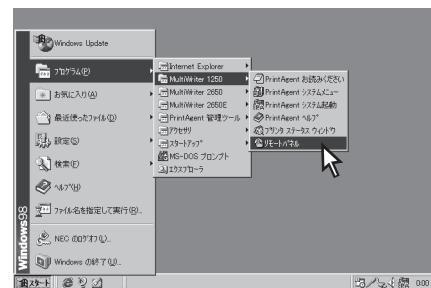
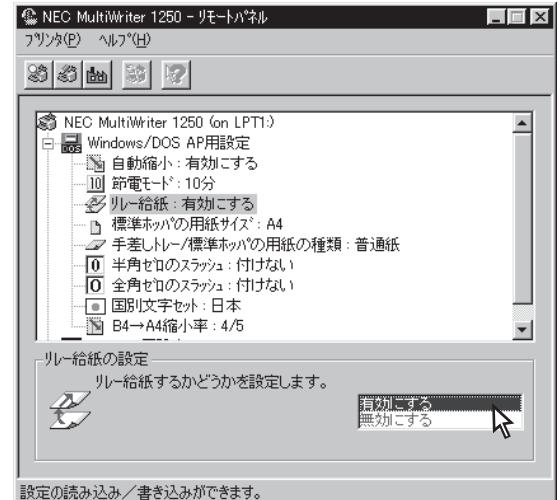
メモリスイッチランプと用紙ランプが次のように点滅します。

3. MSW5-3をONにする。

[3]スイッチを押してその横のランプを点灯させます。

4. [印刷可]スイッチを押す。

メモリースイッチ設定モードを抜けて印刷可ランプが点灯します。

リモートパネルを使って設定する場合

プリンター管理者が設定を行ってください。

1. **リモートパネルを起動する。**

[スタート]ー[プログラム]から[MultiWriter 1250]フォルダーの[リモートパネル]を開きます。

2. **ツリービューでリレー給紙を選び、[有効にする]をクリックする。**

3. **[設定書き込み]ボタンを押してリモートパネルを閉じる。**

Step 2　給紙方法を設定する

実際に印刷を開始するときに[用紙]プロパティシートの[給紙方法]で[自動]を選択します。

1. [印刷]ダイアログボックスを開く。

右の画面はワードパットを使ったときの例です。

2. [プロパティ]をクリックする。

3. [用紙]シートで、[給紙方法]から[自動]を選ぶ。

4. [OK]をクリックして印刷を開始する。

プリンタステータスウィンドウ

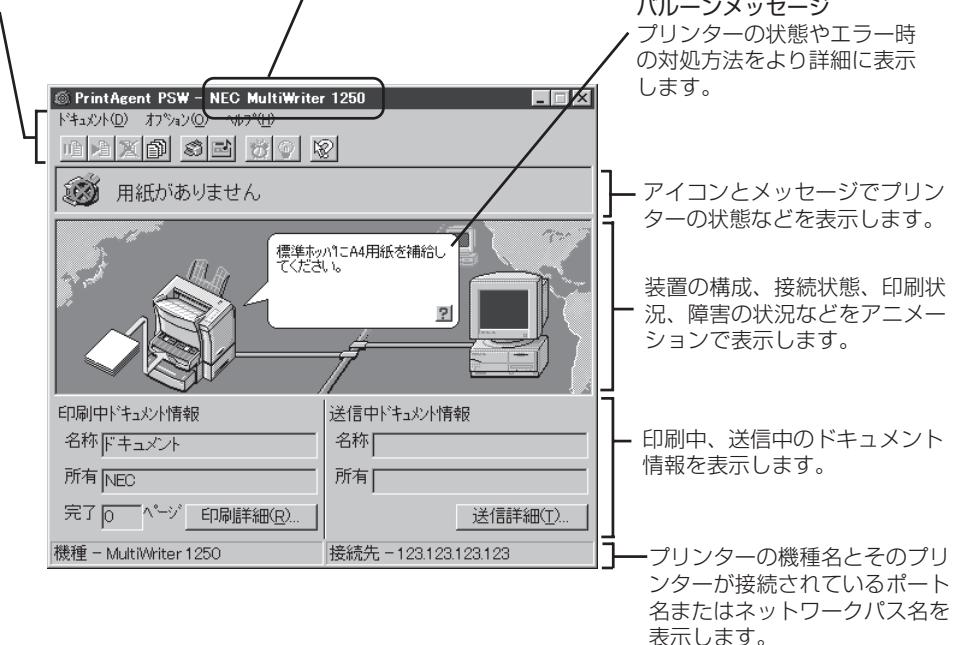
通常プリンターが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生するとプリンタステータスウィンドウ(PSW)が自動的に起動し、画面上に下のようなウィンドウを表示します。

任意で起動する方法は次の2種類です。

- スタートボタンから起動する .... 次ページ
- PAアイコンから起動する .... 次ページ

PSWは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷の一時停止やとりやめなどの指示もこのウィンドウから行うことができます。

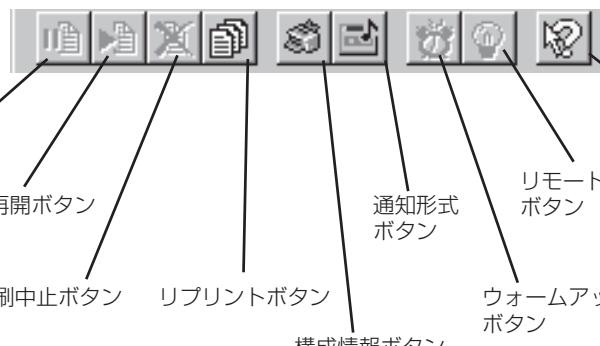
メニュー＆ツールバー
送信中ドキュメントの制御(中止・再開・一時停止)したりリプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

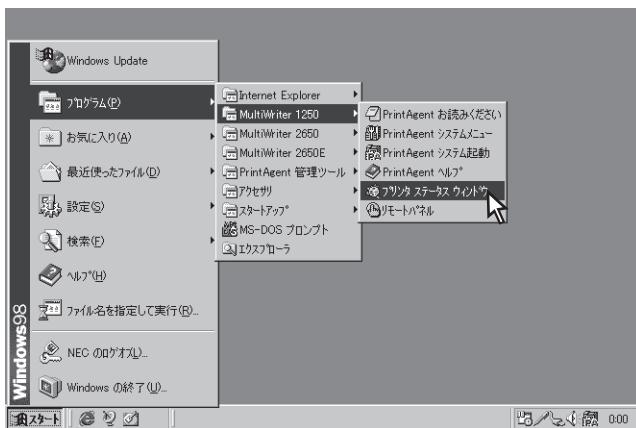
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダーや「プリントマネージャ」で設定した名前です。

バルーンメッセージ
プリンターの状態やエラー時の対処方法をより詳細に表示します。

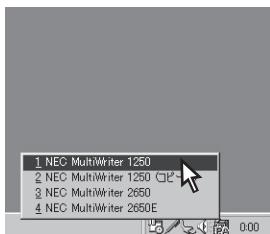
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

装置の構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。

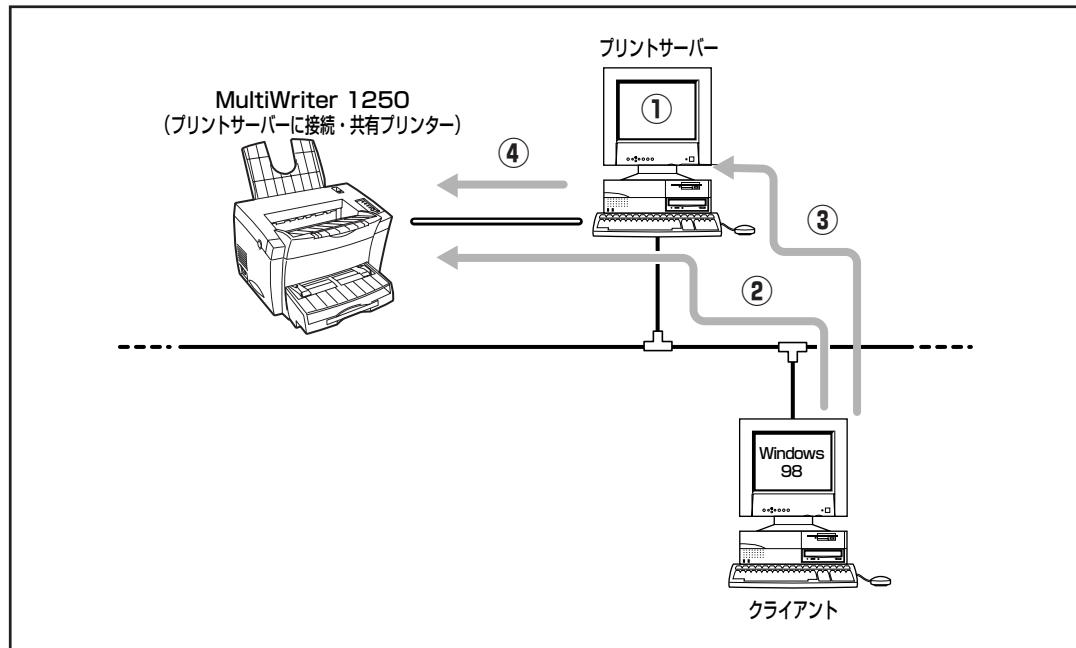
印刷中、送信中のドキュメント情報を表示します。

プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。

スタートボタンから起動する

[スタート]ー[プログラム]から[MultiWriter 1250]フォルダーの[プリンタステータスウィンドウ]を選ぶと起動します。
次の画面はWindows 98で行ったときの例です。

PAアイコンから起動する

トレイアイコンの[PA]から[MultiWriter 1250]をクリックすると起動します。

リプリント機能

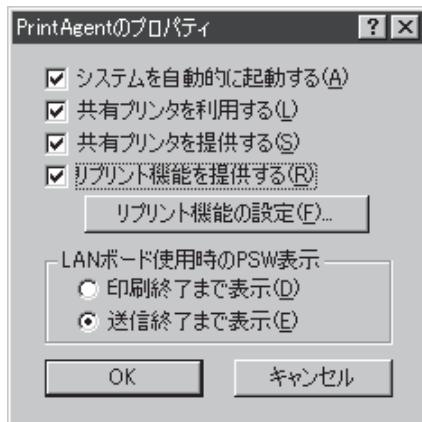
リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　プリントサーバーのリプリント設定：リプリント機能の提供
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリント印刷したい（スプールファイルの選択）
Step 4　選択された印刷ドキュメントがプリンターからリプリントされる（スプールファイルの出力）

このイラストはWindows 98のクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。

Step 1　プリントサーバーの設定

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバのPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、[リプリント機能を提供する]をチェックする。

重要

プリントサーバーがWindows NT 4.0/NT 3.51の場合、Administratorの権限がないと、この設定はできません。

[リプリント機能を提供する]

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには以下のボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

[リプリント機能の設定]

クリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。

*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。
すでに他のPrintAgent対応プリンターをご使用になり、PrintAgentをインストールしている場合に、MultiWriter 1250のPrintAgentをインストールすると、リプリント機能のスプールファイルの「ドキュメント数」は、すでにインストールされているPrintAgentの設定値になります。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

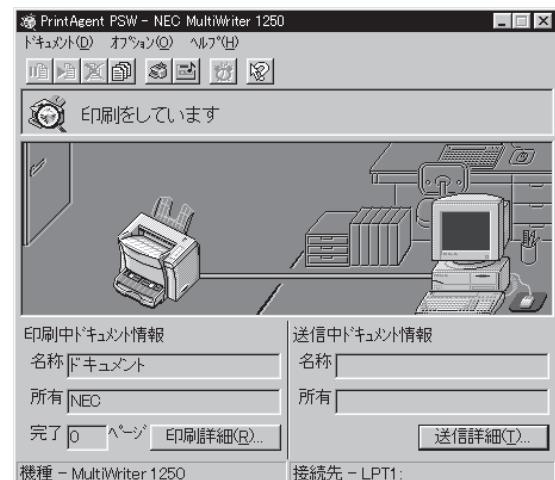
Step 2　印刷する

1. リプリント機能を利用するコンピューターでプリンターのプロパティの[出力制御]シートを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。

- Windows NT 4.0の場合は、[ドキュメントの既定値]の[出力制御]シートを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックします。
- Windows NT 3.51の場合は、[プリンタ情報]－[詳細]－[標準設定]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックします。

リプリント機能は標準で有効になっています。

2. アプリケーションでドキュメントを印刷する。

同時にリプリント用文書データがローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーに保管(スプール)されます。

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

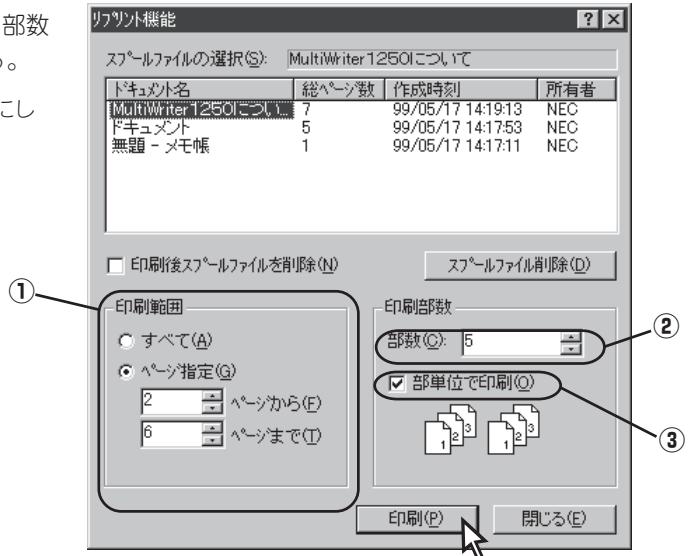
PSWの[リプリント機能]ダイアログボックスを開き、リプリントしたいドキュメントを選ぶ。

標準ではリプリントできるドキュメント数は「1」に設定されています。

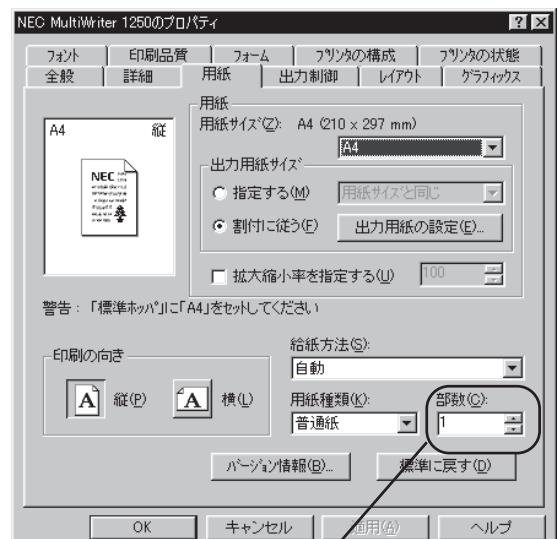
変更するときは58ページを参照してください。

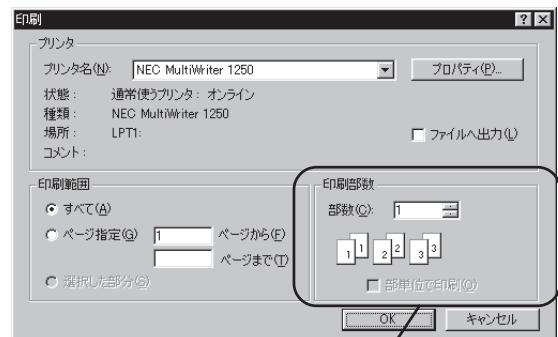
Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷範囲(①)、印刷部数(②)、部数単位で印刷(③)を設定し、印刷する。

「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

リプリント機能を使用するときの注意事項

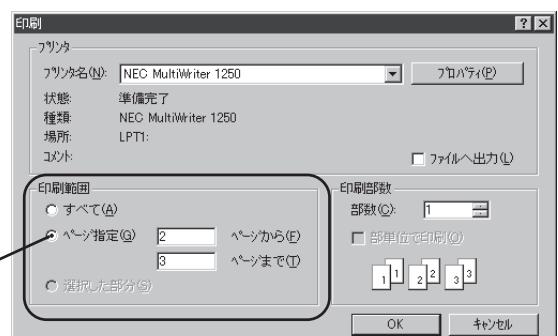
リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

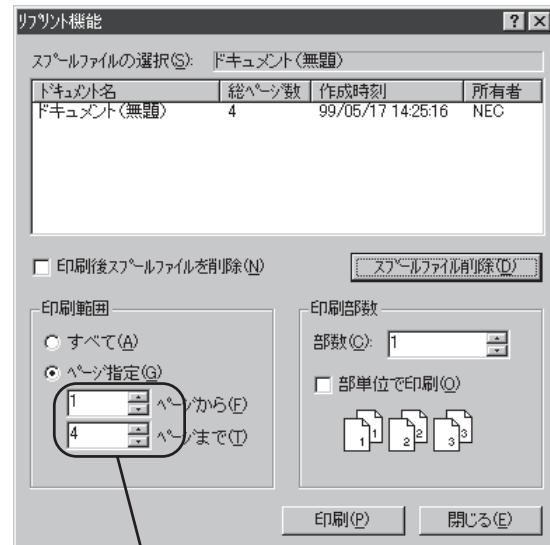
- **リプリントされるページは最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**

リプリント出力時は無効

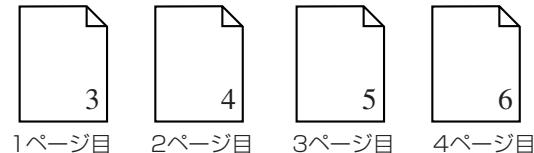
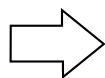
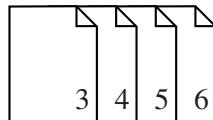
たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などをそのまま使って印刷されます。ただし部数、部単位で印刷するかの設定はクリアされますので「リプリント機能」ダイアログボックスで再設定することになります。

リプリント出力時は無効

- **リプリント機能で印刷できるページは最初にアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

たとえば10ページある文書の中から右の「印刷」ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1、4～10ページをリプリントすることはできません。

リプリントに有効なページは2～3ページです。

- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

  たとえば文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

アプリケーションでの印刷：
[3]ページから
[6]ページまで

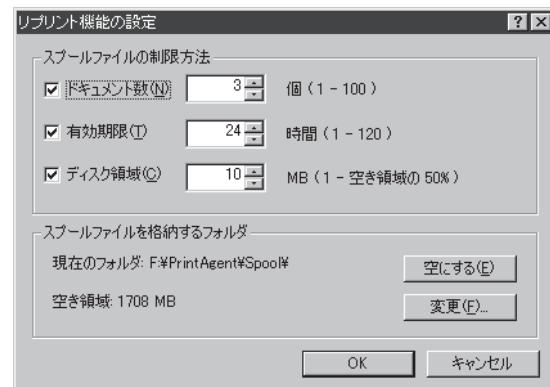
リプリント機能での印刷：
[1]ページから
[4]ページまで

1ページ目

2ページ目

3ページ目

4ページ目

- **ネットワーク環境ではプリントサーバーやMultiWriter 1250を共有プリンターとして他のクライアント(利用者)に提供しているコンピューターにスプールされます。**

  スプールされたファイルは「リプリント機能の設定」ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

PrintAgent リプリント

リプリント機能をより使いやすくするためにPrintAgent リプリントをインストールすることをお勧めします。

PrintAgent リプリントの動作環境

対応コンピューター

- ハードウエア　PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT100%互換機（DOS/V対応機）
  PC-98シリーズ
- OS　Microsoft Windows 95　日本語版（サービスパック1以上）
  Microsoft Windows 98　日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0　日本語版（サービスパック3以上）
  Microsoft Windows NT Server 4.0　日本語版（サービスパック3以上）

必要なハードディスク容量 6MB

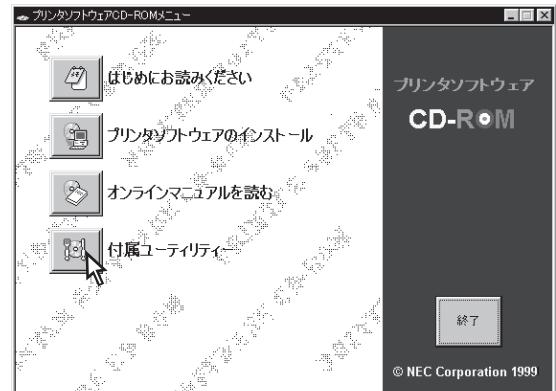
インストール方法

- このソフトウエアはMicrosoft Visual Basic Version6.0を使用して作成しています。Visual Basic Version6.0より以前の開発環境をご使用の場合は本ソフトウエアをインストールしないでください。
- プリンタードライバーとPrintAgentがインストールしてあることを確認してください。

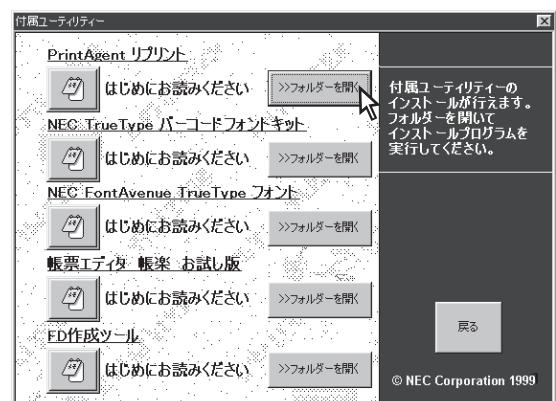
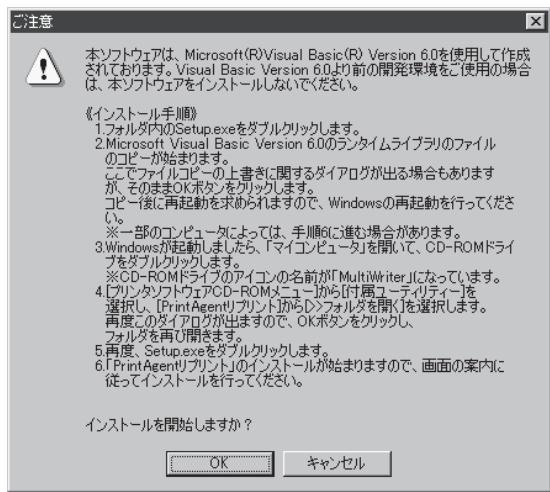
1. **起動しているアプリケーションをすべて終了する。**

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMを挿入する。**

プリンタソフトウエアCD-ROMメニューが起動します。

3. **［添付ユーティリティ］をクリックする。**

4. **［PrintAgent リプリント］を選んで［>>フォルダーを開く］を選択する。**

［ご注意］ダイアログボックスが表示されます。

より進んだ使い方

5. [OK]をクリックする。

6. [Setup.exe]をダブルクリックする。

Microsoft Visual Basic Version6.0のランタイムライブラリのコピーが始ります。
ここでファイルコピーの上書きに関するダイアログが出る場合もありますが、そのまま[OK]をクリックしてください。

7. コピー終了後再起動をする。

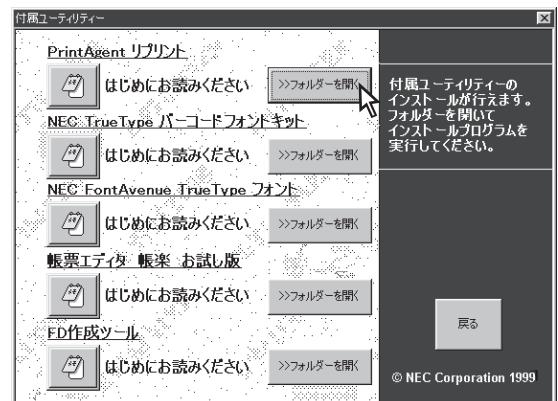
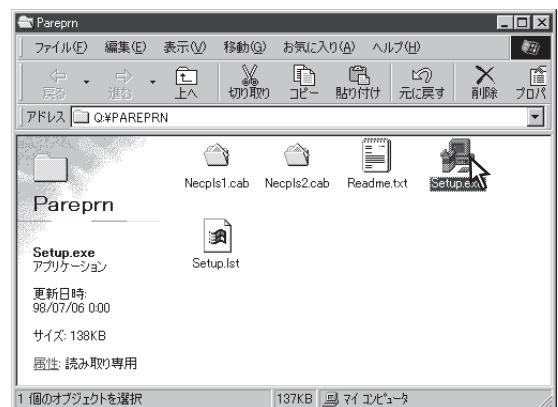
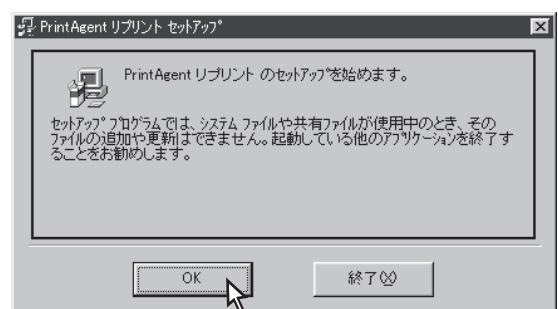
一部のコンピューターによっては、手順12に進む場合があります。

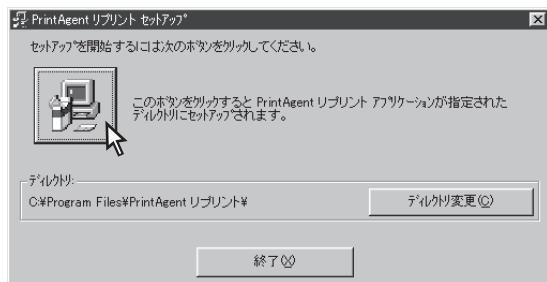
8. Windowsが起動したら[マイコンピュータ]を開いてCD-ROMドライブをダブルクリックする。

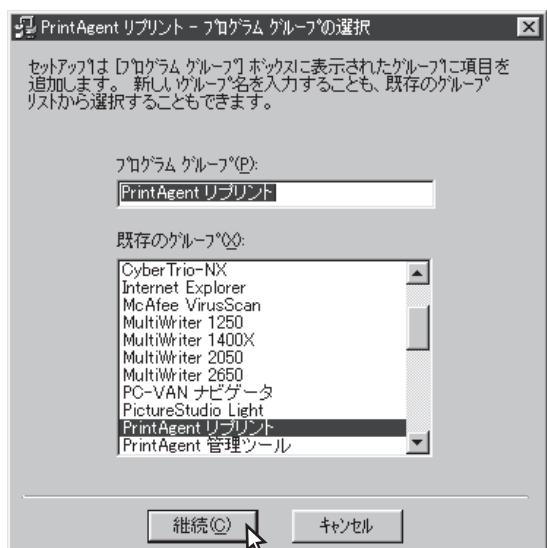
CD-ROMドライブの名前は[MultiWriter]になっています。

9. **[プリンタソフトウエアCD-ROM]メニューから[付属ユーティリティ]をクリックする。**

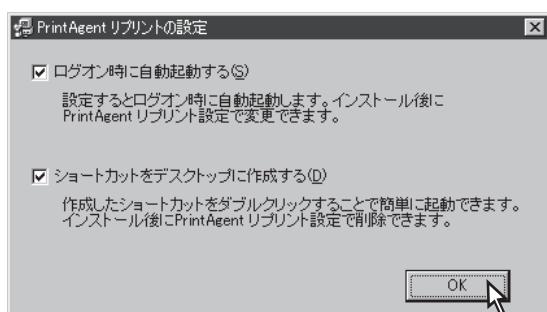
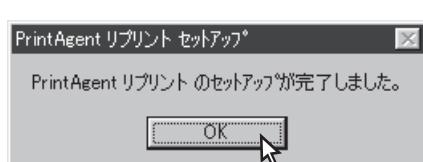
10. **[PrintAgent リプリント]を選んで[>>フォルダーを開く]を選択する。**

手順5の画面が再度表示されるので[OK]をクリックします。

11. **[Setup.exe]をダブルクリックする。**

12. **[OK]をクリックする。**

13. **左上のボタンをクリックする。**

[ディレクトリ変更]を押すとインストール先ディレクトリを変更できます。

14. **[継続]をクリックする。**

プログラムグループを変更できます。

[PrintAgent リプリント]のインストールが始ります。

15. **[OK]をクリックする。**

ログオン時に自動起動しない場合または、ショートカットをデスクトップに作成しない場合は、それぞれのチェックを外して[OK]をクリックします。

16. **[OK]をクリックしてインストールを完了する。**

PrintAgentリプリントの使い方

PrntAgentリプリントの使い方を説明します。普通のリプリント機能と手順は同じです。

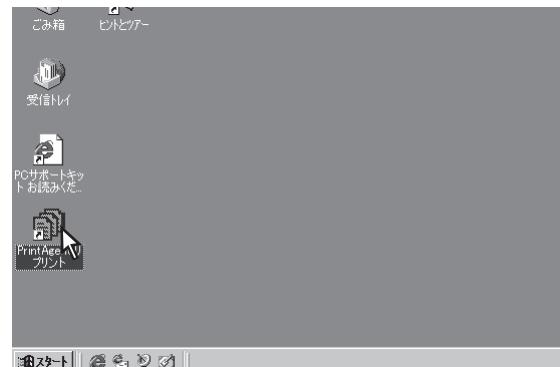
1. **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

   PreintAgentリプリントを使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は58ページ）

2. **印刷する。**

   リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は59ページ）

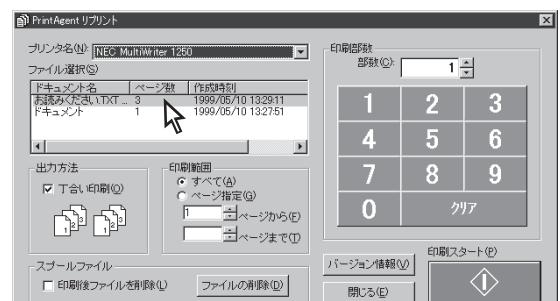
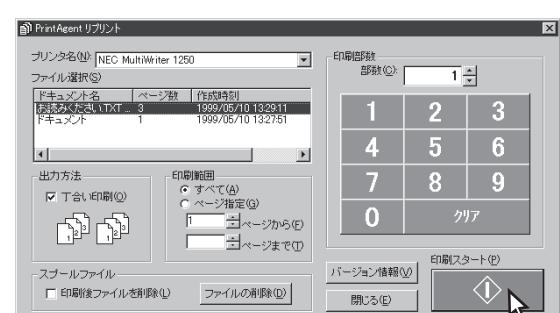
3. **PrintAgentリプリントを起動する。**

   [PrintAgentリプリント]アイコンをダブルクリックします。
   [PrintAgentツールボタン]が表示されます。

4. **[再印刷]をクリックする。**

   PrintAgentリプリントダイアログボックスが表示されます。

5. **プリンターを選択する。**

   リプリント機能が使用できるプリンターのみ表示されます。

6. **再印刷したいファイルを選択する。**

7. **再印刷するドキュメントの出力方法、印刷範囲、印刷部数を設定し、[印刷スタート]をクリックする。**

Web PrintAgent

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

1. **プリントサーバーのコンピューターにWebサーバーをインストールする。**

   Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

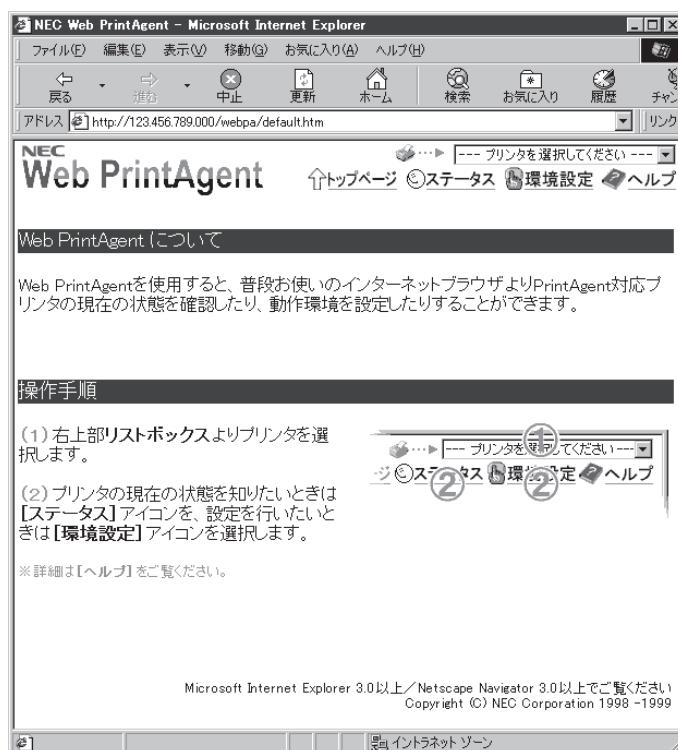
2. **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

3. **プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentをインストールする。**

   プリンターソフトウエアを管理者としてインストールします。

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはヘルプを参照ください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/default.htm

（下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。）

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 4.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

プリンターの設定を変更する

設定変更の方法は2通りあります。

リモートパネルを使って変更する方法 .... 69～74ページ
メモリースイッチ（MSW）を使って変更する方法...... 75～90ページ

リモートパネルを使って変更する

リモートパネルを使って設定できる項目は次の通りです。

リモートパネル設定項目一覧（1/2）

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
自動縮小	**有効にする**／無効にする	○	○
節電モード	無効／5／**10**／30／60／90分	○	○
リレー給紙*2	有効にする／**無効にする**	○	○
標準ホッパの用紙サイズ	• **A4** • A5 • B5 • レター • ハガキ • 往復ハガキ • 封筒	○	○
手差しトレー/標準ホッパの用紙の種類	• **普通紙** • 厚紙 • OHP • 封筒/ハガキ	○	○
半角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
全角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
国別文字セット	• **日本** • アメリカ • イギリス • ドイツ • スウェーデン	○	○
B4→A4縮小率	• **4/5** • 2/3	○	○
給紙方法	• **標準ホッパ** • 手差しトレー • 増設ホッパ*2	○	×
手差しトレーの用紙サイズ	• **A4** • A5 • B5 • レター • 封筒	○	×
印刷部数	**1** ～ 99枚	○	×
印刷方向	• **ポートレート** • ランドスケープ	○	×
エミュレーションの設定	• ページプリンタ（NPDL） • **201PLエミュレーション**	○	×
201PLエミュレーション時の設定 DC1, DC3コード *3 グラフィックモード *3 8/7ビットデータ *3	 **有効**／無効 **ネイティブ**／コピー **8ビット**／7ビット	○	×

*1 太字で書かれている設定が初期設定です。
*2 オプションの増設ホッパーを装着したときのみ設定が可能です。
*3 201PLエミュレーションが設定されているときのみ設定が可能です。

リモートパネル設定項目一覧(2/2)

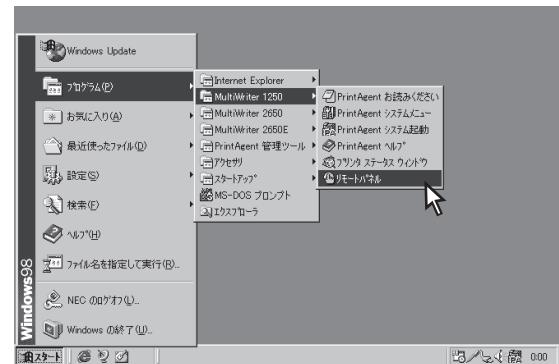
設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
印刷位置調整	• **レフトマージン初期設定** • 136桁モード	○	×
レフトマージン初期設定 レフトマージン量	**0** ～ 15/10インチ	○	×
136桁モード 印刷位置基準 印刷位置調整方向 印刷位置調整量	**左端**／中央 **左へ**／右へ **0** ～ 15/10インチ	○	×
A4ポートレート桁数	• **78桁** • 80桁	○	×
半角フォント	• **標準** • イタリック • クーリエ • ゴシック	○	×
全角フォント	• **明朝** • ゴシック	○	×
文字セット	• **JIS1978** • JIS1983 • JIS1990	○	×
印刷濃度	（淡）1 ～ **3** ～ 5（濃）	○	×
SET機能	**使用する**／使用しない	○	×
トナー節約モード	使用する／**使用しない**	○	×
パラレルインターフェース	• **NPDL** • ESC/P 自動切り換え： する／**しない**	○	×
オプションインターフェース*2	• **NPDL** • ESC/P 自動切り換え： する／**しない**	○	×
ジョブタイムアウト	• 5秒 • **30秒**	○	×
自動排出時間	• **無効** • 5秒 • 15秒 • 30秒	○	×
ESC c 1（リセット）コードで登録データを消す	**消す**／消さない	○	×
FFコードでの白紙出力	**出力する**／出力しない	○	×
自動復帰改行	• **復帰改行** • 復帰のみ	○	×
CRコードの機能	• **復帰のみ** • 復帰改行	○	×
印刷開始コード	• **CRコードのみ** • CRコードやその他のコード	○	×

*1 太字で書かれている設定が初期設定です。
*2 オプションのLANボードを装着したときのみ設定が可能です。

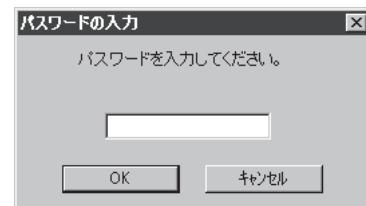
① リモートパネルを起動する

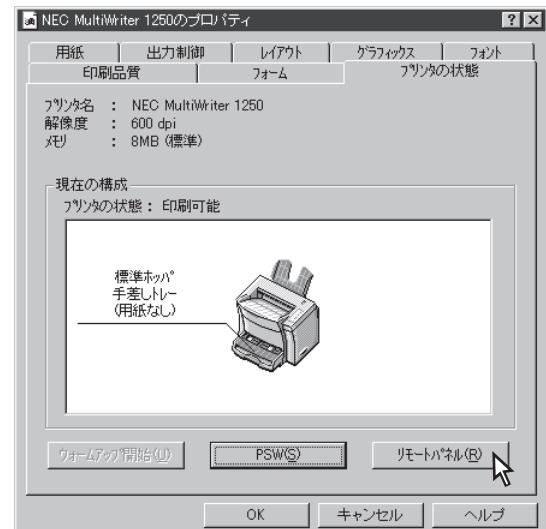
リモートパネルは次の起動方法があります。

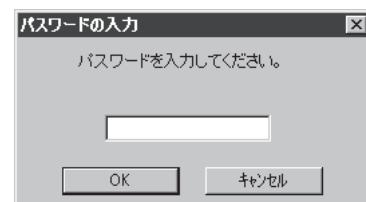
Windows 98/95/NT 4.0の場合

スタートボタンから起動する

1. [スタート]ー[プログラム]から[MultiWriter 1250]フォルダーの[リモートパネル]を開きます。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は[ツール]メニューで行えます。

プリンタの[プロパティ]から起動する

1. プリンタのプロパティの[プリンタの状態]シートにある[リモートパネル]から起動します。

2. パスワードを入力する。

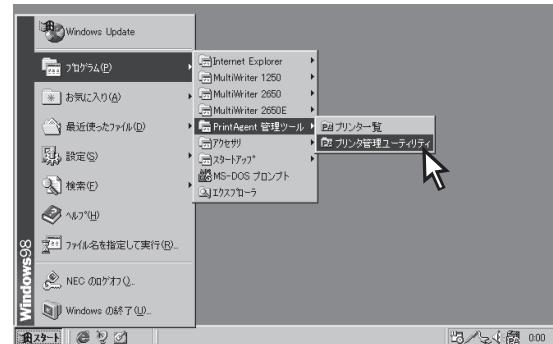
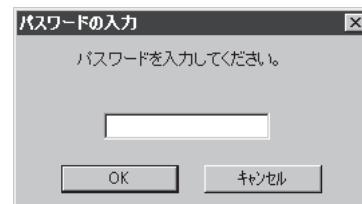
管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は[ツール]メニューで行えます。

[スタート]を使って[プリンタ管理ユーティリティ]から起動する

次の手順で[プリンタ管理ユーティリティ]からリモートパネルを起動します。

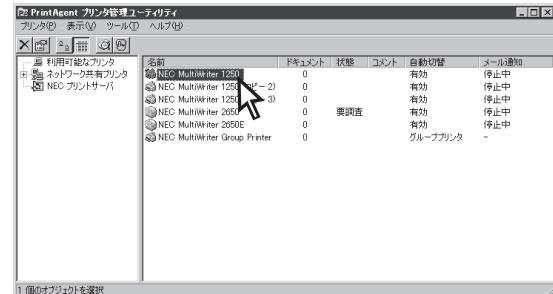
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は[ツール]メニューで行えます。

パスワードの入力
パスワードを入力してください。
OK キャンセル

3. 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

4. 対象のプリンターを選ぶ。

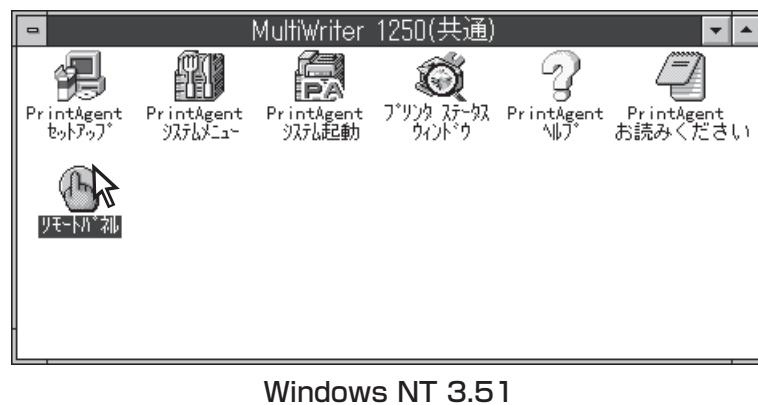
ウィンドウの右側のボックスに表示されるリストの中から選びます。

5. リモートパネルを起動する。

対象のプリンターを右クリックするか[プリンタ]メニューの[リモートパネル]をクリックするとリモートパネル画面が現れます。

ヒント

ツールバーのリモートパネルボタンからも起動できます。

Windows NT 3.51の場合

[プログラムマネージャ]から[MultiWriter 1250共通]の[リモートパネル]を開きます。
(プリンターのプロパティからも表示できます。)

Windows NT 3.51

② 設定を変更する

リモートパネルで共通に使うボタン類の機能について説明します。
リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

プリンターの設定内容を読み込みます。

プリンターに設定内容を書き込みます。

設定値を工場出荷時の設定に戻します。

対象とするプリンターを変更します。クリックすると「プリンタの選択」ダイアログボックスが表示されます。

ポインタでウィンドウ内の各部分をクリックすると対応する説明が表示されます。

プリンターに付けられた名前を表示します。

メニュー

ツリービュー

ツリービューで選択した項目の説明が表示され設定の変更ができます。

ステータスバー
現在のプリンターの状態、またはポインターが指している機能の説明が表示されます。

NEC MultiWriter 1250 - リモートパネル
プリンタ(P) ヘルプ(H)
NEC MultiWriter 1250 (on LPT1:)
Windows/DOS AP用設定
自動縮小：有効にする
節電モード：10分
標準ホッパの用紙サイズ：レター
手差しトレー/標準ホッパの用紙の種類：普通紙
半角ゼロのスラッシュ：付けない
全角ゼロのスラッシュ：付けない
国別文字セット：日本
B4→A4縮小率：4/5
DOS AP用設定
NEC MultiWriter 1250の状態
設定の読み込み／書き込みができます。
設定の読み込み／書き込みができます。

プリンター名

「プリンタ変更」ボタン

1. 設定を変えたいプリンターかどうか確認する。

タイトルバーのプリンター名で確認してください。もし希望のプリンターでない場合は[プリンタの変更]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[プリンタの変更]を選んで変更します。

[プリンタの変更]はプリンターが複数ある場合のみ可能です。

選択された項目

現状の設定

2. ツリービューから希望の設定項目を選ぶ。

ツリービューから希望の設定項目をクリックしてください。選択されると反転表示になります。

もし設定項目が表示されない、見つからない場合は[設定読み込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の読み込み]を選びます。それでも表示されない場合はプリンターとコンピューターが双方向通信していない可能性があります。「グループプリンタを作成する前に」の「双方向通信していること」を参照して設定を確認してください。

3. 設定ウィンドウで目的を変更する。

ダイアログボックスで設定を変えた場合、必ず最後に[OK]をクリックします。

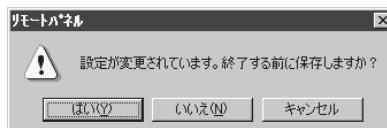
4. 変更した設定内容をプリンターに書き込む。

[設定書き込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の書き込み]を選びます。

「設定書き込み」ボタン

5. [プリンタ]メニューから[終了]を選びリモートパネルを終了する。

これでリモートパネルの設定変更は終了です。

もし変更した設定内容が書き込まれていないと次のようなダイアログボックスが表示されますので該当するボタンをクリックしてください。

メモリースイッチを使って変更する

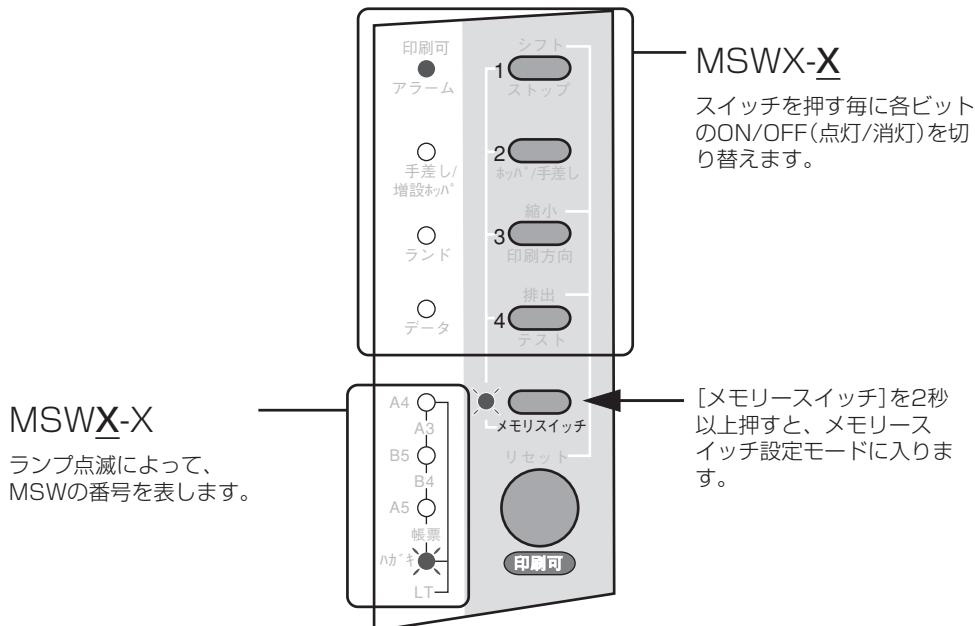
メモリースイッチ（MSW）で設定できる項目は次の通りです。

メモリースイッチ設定一覧

<table>
<tr><th>MSW</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr>
<tr><td>1</td><td>パラレルインターフェースでの動作モード</td><td>2バイト系フォント選択</td><td>A4ポートレート桁数</td><td>136桁モード/LM初期設定</td></tr>
<tr><td>2</td><td>用紙位置を切り替える</td><td>印刷位置微調整方向</td><td colspan="2">印刷位置微調整</td></tr>
<tr><td>3</td><td>新JIS切り替え</td><td>節電モードの設定</td><td>自動排出の設定</td><td>FFコードでの白紙出力</td></tr>
<tr><td>4</td><td>受信方式</td><td>ESC c1での登録データの初期化</td><td>印刷命令の切り替え</td><td>CRの機能</td></tr>
<tr><td>5</td><td>テスト印刷の種別</td><td>ストローブラッチモード</td><td>リレー給紙</td><td>設定初期化の実行</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="2">ビジィアクノリッジ（BUSY-$\overline{\text{ACK}}$）のタイミング</td><td colspan="2">アクノリッジ（$\overline{\text{ACK}}$）の幅</td></tr>
<tr><td>7</td><td>トナー節約機能</td><td colspan="3">印刷濃度</td></tr>
<tr><td>8</td><td colspan="2">用紙種別</td><td>AES動作自動切り替え</td><td>AES動作自動切り替えのタイムアウトまでの時間</td></tr>
<tr><td>9</td><td colspan="2">セントロ双方向通信モード設定</td><td>未使用</td><td>未使用</td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="3">節電モード開始までの時間</td><td>ドラムカートリッジ寿命クリア</td></tr>
<tr><td>11</td><td>オプションインターフェース動作エミュレーション</td><td>オプションインターフェースでのAES動作自動切り替え</td><td colspan="2">オプションインターフェースでの双方向通信モード設定</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="4">標準ホッパー/手差しトレーのトップマージン設定</td></tr>
<tr><td>13</td><td colspan="4">標準ホッパー/手差しトレーのレフトマージン設定</td></tr>
<tr><td>14</td><td colspan="4">増設ホッパーのトップマージン設定</td></tr>
<tr><td>15</td><td colspan="4">増設ホッパーのレフトマージン設定</td></tr>
</table>

メモリースイッチ設定モードの入り方

印刷可ランプ(緑)、アラームランプ(赤)、データランプ(緑)が消灯している時に[メモリスイッチ]を2秒以上押すとメモリースイッチ設定モードに入ります。
メモリースイッチ設定モードに入るとメモリースイッチランプ(橙)が点滅(1秒周期)します。

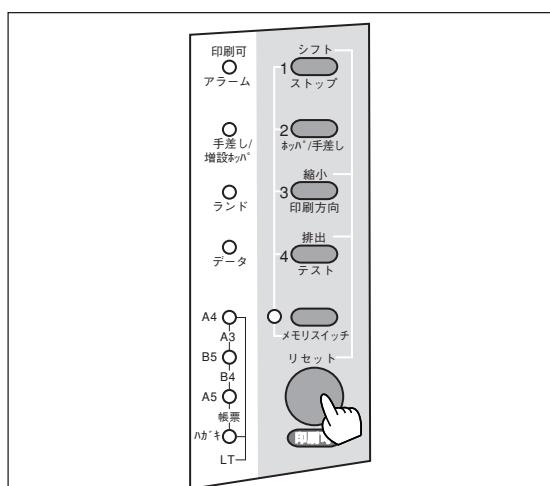
ランプの表示は点灯＝●　、点滅＝●　で表します。

この例はMSW1-1がONであることを示しています。

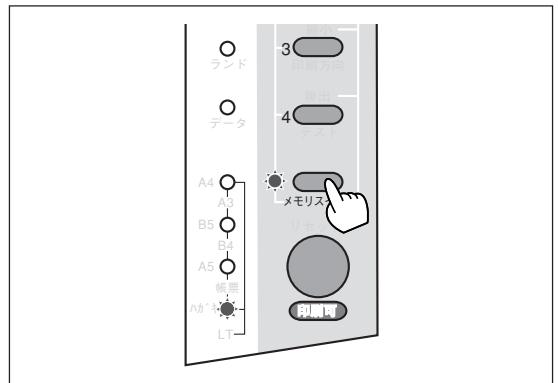
メモリースイッチ設定の手順

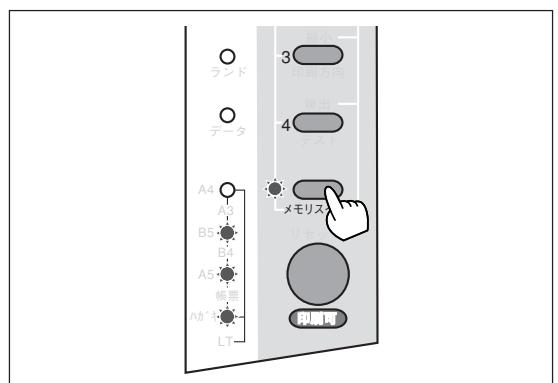
次にメモリースイッチ設定モードに入りプリンターの設定を変更するための手順を例を挙げて説明します。
例以外の設定を変えたいときは「メモリースイッチの詳細」をみながら例を参考にして変更してください。
本プリンターは表示用パネルを持っていないため、設定の過程は操作パネルのランプの点滅で確認します。

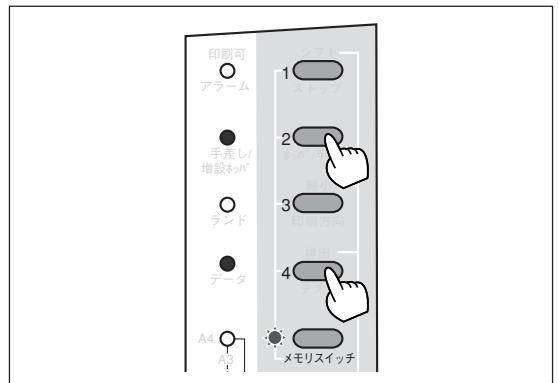
例　印刷濃度を濃くしたい場合

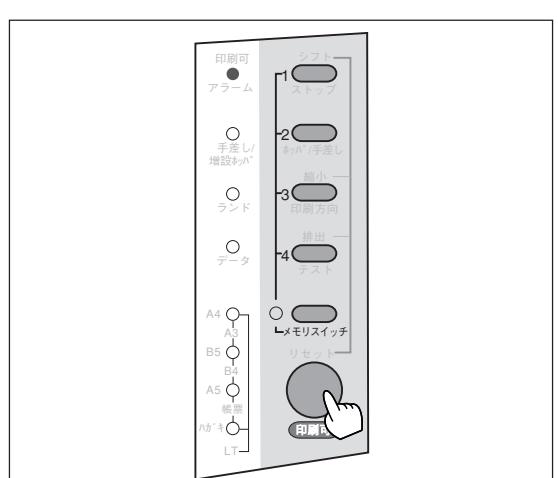
1. **[印刷可]スイッチを押してディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

2. ［メモリスイッチ］を2秒以上押す。

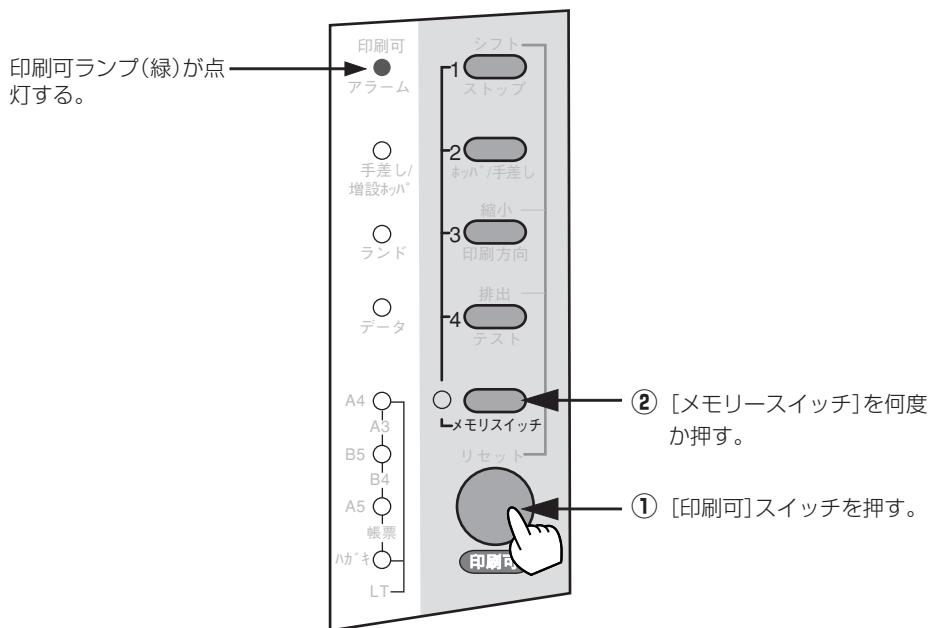
メモリスイッチランプと用紙ランプが点滅します。

3. ［メモリスイッチ］を6回押す。

メモリスイッチランプと用紙ランプが次のように点滅します。

4. MSW7-2とMSW7-4をONにする。

［2］スイッチと［4］スイッチを押してその横のランプを点灯させます。

5. ［印刷可］スイッチを押す。

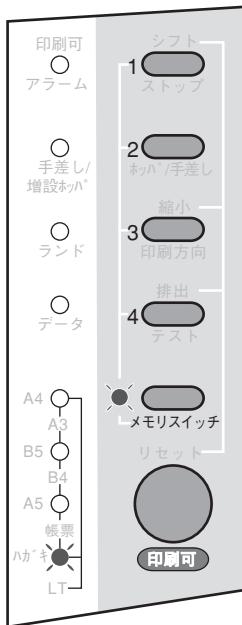
メモリースイッチ設定モードを抜けて印刷可ランプが点灯します。

メモリースイッチ設定モードの終了

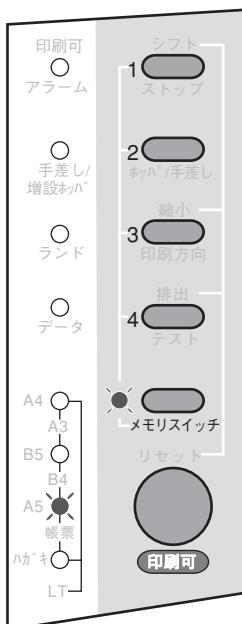
印刷可ランプ(緑)点灯させてメモリースイッチ設定モードを終了します。
モードの終了方法は次の2通りがあります。

① [印刷可]スイッチを押す。
② MSW15を越すまで[メモリスイッチ]を押し続ける。

メモリースイッチの詳細

メモリースイッチのランプの表示、設定値について各スイッチ毎に説明します。

工場出荷時の値はすべてOFFです。ランプの表示は点灯＝、点滅＝で表します。

MSW1

MSW	機　能	OFF	ON
1-1	パラレルインターフェースでの動作モード	NPDL	ESC/P
1-2	2バイト系フォント選択	明朝	ゴシック
1-3	A4ポートレート桁数	78桁	80桁
1-4	136桁モード/LM初期設定	LM初期設定	136桁モード

- **MSW1-1　パラレルインターフェース動作エミュレーション**
  電源投入、および操作パネルのボタンを使ってリセットした後のパラレルインターフェースでの動作モードを指定します。MSW1-1 を ON（ESC/P）にする場合は MSW4-1 を OFF にしてください。
- **MSW1-2　2 バイト系フォントの選択**
  2 バイト系フォントを明朝を使うか、ゴシックを使うかを選択します。
- **MSW1-3　A4 ポートレート桁数**
  用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの 1 行あたりの文字数をパイカ文字で 78 桁にするか 80 桁にするかを設定します。
- **MSW1-4　136 桁モード /LM 初期設定**
  136 桁モードを有効にするか無効にするかを切り替えます。201PL エミュレーション時に有効です。

MSW2

MSW	機　能	OFF	ON
2-1	用紙位置を切り替える	左端合わせ	中央合わせ
2-2	印字位置微調整方向	左	右
2-3	印字位置微調整	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
2-4			

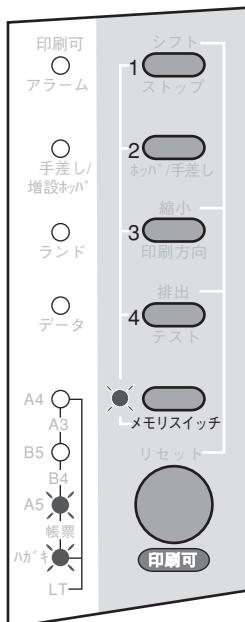
- **MSW2-1　用紙位置を切り替える**
  136 桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。136 桁モード時に有効です。201PL モード時に有効です。
- **MSW2-2　印刷位置微調整方向**
  136 桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。136 桁モード時に有効です。201PL エミュレーション時に有効です。

MSW2-3～4　印刷位置微調整

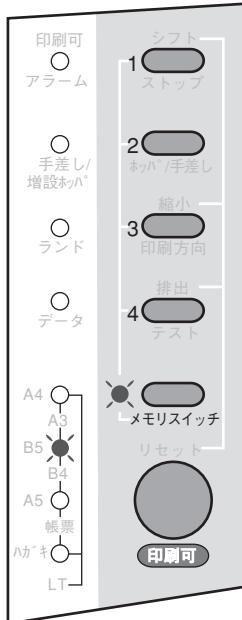
用紙位置がずれた場合、用紙位置を調整します。136 桁モード時に有効です。201PL エミュレーション時に有効です。
用紙位置調整量は 2 つのメモリースイッチの組み合わせにより 4 通りに設定出来ます。
組み合わせについては次の表をご覧ください。

印刷位置微調整量	2-3	2-4
0インチ	**OFF**	**OFF**
2/10インチ	ON	OFF
4/10インチ	OFF	ON
6/10インチ	ON	ON

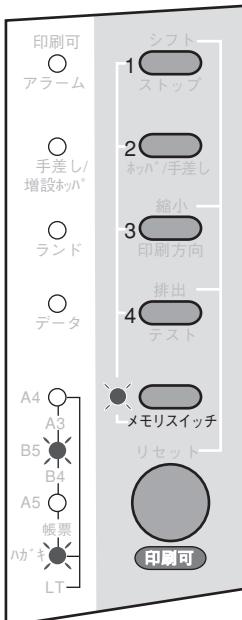
表中の太文字は工場設定を表します。

MSW3

MSW	機　能	OFF	ON
3-1	新JIS切り替え	JIS1978	JIS1983
3-2	節電モードの設定	有効	無効
3-3	自動排出の設定	なし	あり
3-4	FFコードでの白紙出力	する	しない

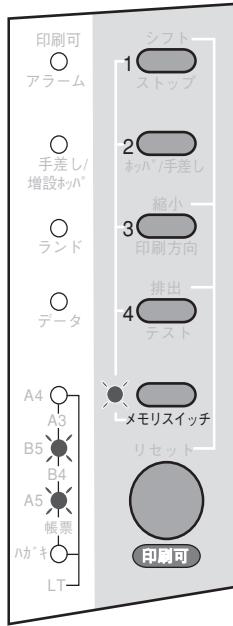
- **MSW3-1　新 JIS 切り替え**
  新 JIS の文字セットを JIS1978 にするか、JIS1983 にするかを切り替えます。
- **MSW3-2　節電モードの設定**
  節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。
- **MSW3-3　自動排出の設定**
  タイムアウト検出による自動排出をするか、しないかを切り替えます。
  タイムアウト検出時間は 30 秒です。
- **MSW3-4　FF コードでの白紙出力**
  FF コードのみで白紙出力をするか、しないかを切り替えます。

MSW4

MSW	機　能	OFF	ON
4-1	受信方式	DMA	割り込み
4-2	ESC c1での登録データの初期化	する	しない
4-3	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他
4-4	CRの機能	CR	CR+LF

- **MSW4-1　受信方式**
  受信方式をDMA方式にするか、割り込み式にするかを切り替えます。MSW4-1をON（割り込み）にする場合は、MSW1-1とMSW11-1をOFFにしてください。
- **MSW4-2　ESC c1の仕様**
  制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。初期化をしないときは、ESC c8と同じ機能になります。
- **MSW4-3　印刷指令の切り替え**
  印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。
- **MSW4-4　CRの機能**
  指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

MSW5

MSW	機　能	OFF	ON
5-1	テスト印刷の種別	ステータス印刷	16進ダンプ
5-2	ストローブラッチモード	前縁	後縁
5-3	リレー給紙	無効	有効
5-4	設定初期化の実行	初期化しない	初期化する

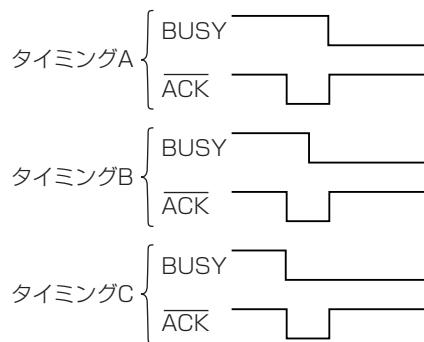
- **MSW5-1　テスト印刷の種別**
  テスト印刷をステータス印刷でするか、16進ダンプ印刷でするかを切り替えます。
- **MSW5-2　ストローブデータラッチモード**
  ストローブデータ信号のラッチタイミングを前縁にするか後縁にするかを切り替えます。
  前縁にした場合は、高速データを受信することができます。ただし、接続するコンピューターによってはうまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。
- **MSW5-3　リレー給紙**
  増設ホッパーを取り付けた場合、増設ホッパーと標準ホッパー間のリレー給紙を有効にします。MSW5-3をON（有効）にする場合は、MSW8-1とMSW8-2をOFFにしてください。
- **MSW5-4　設定初期化の実行**
  メモリースイッチで設定した機能を初期化をするか、しないかを選択します。
  このビットをONにしてメモリースイッチ設定モードを終了（78ページ参照）した場合、すべてのメモリースイッチを初期化します。

MSW6

MSW	機　能	OFF	ON
6-1	ビジィアクノリッジ（BUSY-ACK）のタイミング	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
6-2			
6-3	アクノリッジ（ACK）の幅	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
6-4			

- **MSW6-1～2　ACK のタイミング制御**

2 つのメモリースイッチの組み合わせにより、BUSY-ACK のタイミングを切り替えます。

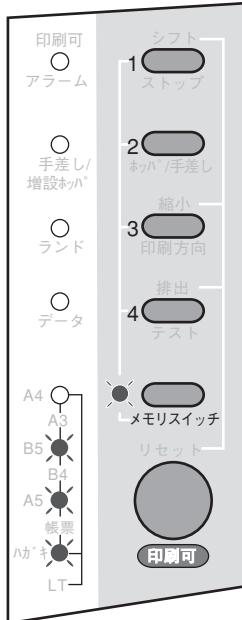
ACKのタイミング	6-1	6-2
タイミングA	**OFF**	**OFF**
タイミングB	ON	ON
タイミングC	OFF	ON
タイミングA	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

- **MSW6-3～4　ACK の幅**

2 つのメモリースイッチの組み合わせにより、ACK の幅を設定します。

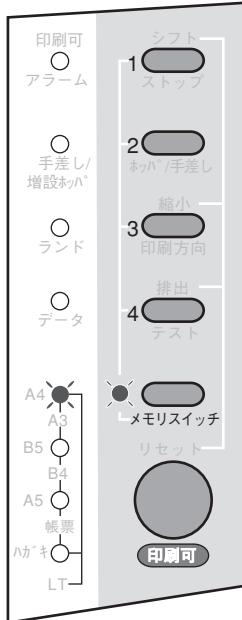
ACKの幅	6-3	6-4
1μs	**OFF**	**OFF**
2μs	OFF	ON
4μs	ON	OFF
10μs	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

MSW7

MSW	機　能	OFF	ON
7-1	トナー節約機能	無効	有効
7-2	印刷濃度	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
7-3			
7-4			

- **MSW7-1　トナー節約**
  トナー節約を有効にするか無効にするか切り替えます。
- **MSW7-2～4　印刷濃度**
  2つのメモリースイッチの組み合わせにより、印刷濃度を5段階に設定します。

印刷濃度	7-2	7-3	7-4
0	**OFF**	**OFF**	**OFF**
-2（薄い）	ON	OFF	OFF
-1　↑	OFF	ON	OFF
0（普通）	ON	ON	OFF
+1　↓	OFF	OFF	ON
+2（濃い）	ON	OFF	ON
0	OFF	ON	ON
0	ON	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

MSW8

MSW	機　能	OFF	ON
8-1	用紙種別	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
8-2			
8-3	AES動作自動切り替え	有効	無効
8-4	AES動作自動切り替えのタイムアウトまでの時間	30秒	5秒

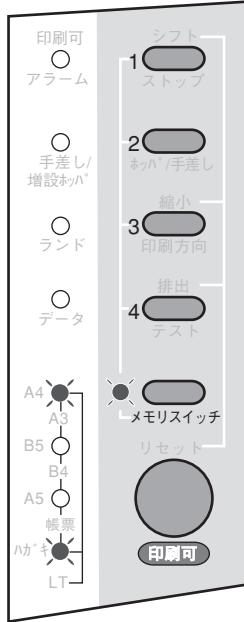
- **MSW8-1～2　用紙種別**
  2つのメモリースイッチの組み合わせにより、標準ホッパー/手差しトレーで使用する用紙の種類を設定します。

用紙種別	8-1	8-2
普通紙	**OFF**	**OFF**
厚紙	ON	OFF
OHP	OFF	ON
ハガキ/封筒	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

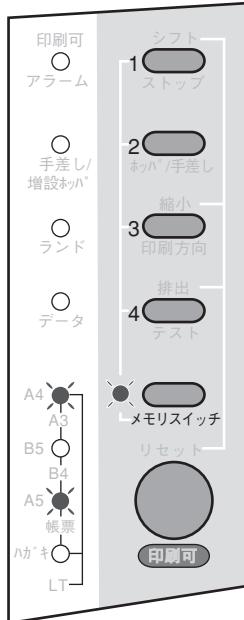
- **MSW8-3　AES 有効**
  パラレルインターフェースの AES 動作自動切り替えの有効 / 無効を選択します。AES 有効時、判定に失敗すると MSW1-1 の設定に従います。

- **MSW8-4　AES 判定時間**
  AES 動作自動切り替えのタイムアウトまでの時間を設定します。

MSW9

MSW	機　能	OFF	ON
9-1	セントロ双方向通信モード設定	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
9-2			
9-3	未使用	－	－
9-4	未使用	－	－

- **MSW9-1 ～ 2　セントロ双方向通信モード設定**
  2 つのメモリースイッチの組み合わせにより、セントロ双方向通信モードを選択します。MSW9-1 ～ 2 を変更した場合は、必ずプリンターの電源を再投入してください。
  また、ESC/P モード中に MSW4-1 を ON にしないでください。

双方向通信	9-1	9-2
ニブル	**OFF**	**OFF**
ECP	ON	OFF
無し	OFF	ON
ニブル	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

MSW10

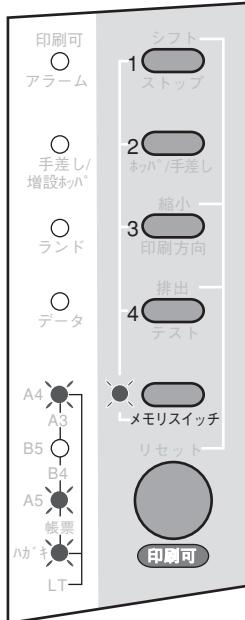
MSW	機　能	OFF	ON
10-1	節電モード開始までの時間	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
10-2			
10-3			
10-4	OPC寿命検出カウンター	クリアしない	クリアする

- **MSW10-1 ～ 3 節電機能**
  3 つのメモリースイッチの組み合わせにより、節電モード開始までの時間を設定します。

時間	10-1	10-2	10-3
10分	**OFF**	**OFF**	**OFF**
5分	ON	OFF	OFF
30分	OFF	ON	OFF
60分	ON	ON	OFF
90分	OFF	OFF	ON
無効	ON	OFF	ON
無効	OFF	ON	ON
無効	ON	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

● **MSW10-4　ドラムカートリッジ寿命クリア**
このビットをONにしてメモリースイッチ設定モードを終了（78ページ参照）した場合、ドラムカートリッジ寿命検出用のカウンターをクリアします。

MSW11

MSW	機　能	OFF	ON
11-1	オプションインターフェース動作エミュレーション	NPDL	ESC/P
11-2	オプションインターフェースでのAES動作自動切り替え	無効	有効
11-3	オプションインターフェース出の双方向通信モード設定	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
11-4			

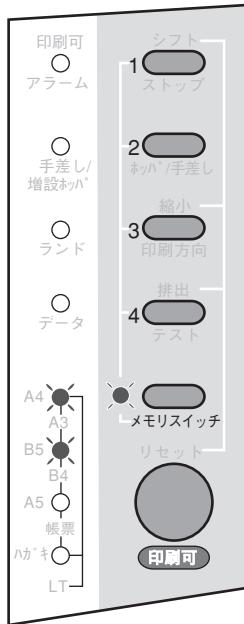
● **MSW11-1　オプションインターフェース動作エミュレーション**
電源投入、および操作パネルのボタンを使ってリセットした後のオプションインターフェースでの動作モードを指定します。MSW11-1をON（ESC/P）にする場合はMSW4-1をOFFにしてください。

● **MSW11-2　オプションインターフェースでのAES判定**
オプションインターフェースでのAES動作自動切り替えの有効/無効を切り替えます。AES有効時、判定に失敗するとMSW1-1の設定に従います。

● **MSW11-3～4 オプションインターフェースでの双方向通信モード設定**
2つのメモリースイッチの組み合わせにより、オプションインターフェースでの双方向通信モードを選択します。MSW11-3～4を変更した場合は、必ずプリンターの電源を再投入してください。
また、ESC/Pモード中にMSW4-1をONにしないでください。

双方向通信	11-1	11-2
ニブル	**OFF**	**OFF**
ECP	ON	OFF
無し	OFF	ON
ニブル	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

MSW12

MSW	機　能	OFF	ON
12-1	標準ホッパー/手差しトレーのトップマージン設定	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
12-2			
12-3			
12-4			

● **MSW12-1～4 標準ホッパー / 手差しトレーのトップマージン量**
4つのメモリースイッチの組み合わせにより、標準ホッパー / 手差しトレーのトップマージンの量を設定します。

トップマージン	12-1	12-2	12-3	12-4
0mm	**OFF**	**OFF**	**OFF**	**OFF**
+0.4mm	ON	OFF	OFF	OFF
+0.8mm	OFF	ON	OFF	OFF
+1.2mm	ON	ON	OFF	OFF
+1.6mm	OFF	OFF	ON	OFF
+2.0mm	ON	OFF	ON	OFF
+2.4mm	OFF	ON	ON	OFF
+2.8mm	ON	ON	ON	OFF
0mm	OFF	OFF	OFF	ON
-0.4mm	ON	OFF	OFF	ON
-0.8mm	OFF	ON	OFF	ON
-1.2mm	ON	ON	OFF	ON
-1.6mm	OFF	OFF	ON	ON
-2.0mm	ON	OFF	ON	ON
-2.4mm	OFF	ON	ON	ON
-2.8mm	ON	ON	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

MSW13

MSW	機 能	OFF	ON
13-1	標準ホッパー/手差しトレーのレフトマージン設定	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
13-2			
13-3			
13-4			

- **MSW13-1 ～ 4 標準ホッパー / 手差しトレーのレフトマージン量**
  4つのメモリースイッチの組み合わせにより、標準ホッパー / 手差しトレーのレフトマージンの量を設定します。

レフトマージン	13-1	13-2	13-3	13-4
0mm	**OFF**	**OFF**	**OFF**	**OFF**
+0.4mm	ON	OFF	OFF	OFF
+0.8mm	OFF	ON	OFF	OFF
+1.2mm	ON	ON	OFF	OFF
+1.6mm	OFF	OFF	ON	OFF
+2.0mm	ON	OFF	ON	OFF
+2.4mm	OFF	ON	ON	OFF
+2.8mm	ON	ON	ON	OFF
0mm	OFF	OFF	OFF	ON
-0.4mm	ON	OFF	OFF	ON
-0.8mm	OFF	ON	OFF	ON
-1.2mm	ON	ON	OFF	ON
-1.6mm	OFF	OFF	ON	ON
-2.0mm	ON	OFF	ON	ON
-2.4mm	OFF	ON	ON	ON
-2.8mm	ON	ON	ON	ON

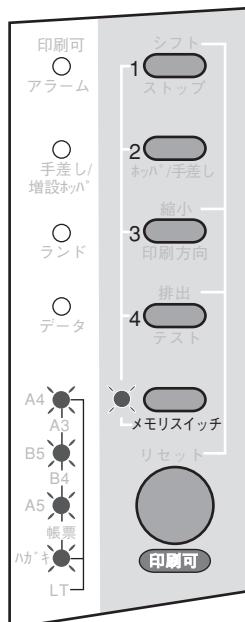
表中の太文字は工場設定を表します。

MSW14

MSW	機　能	OFF	ON
14-1	増設ホッパー（オプション）のトップマージン設定	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
14-2			
14-3			
14-4			

- **MSW14-1 ～ 4 増設ホッパー（オプション）のトップマージン量**
  4 つのメモリースイッチの組み合わせにより、増設ホッパーのトップマージンの量を設定します。

  トップマージン量の設定方法は MSW12-1 ～ 4 と同じです。

MSW15

MSW	機　能	OFF	ON
15-1	増設ホッパー（オプション）のレフトマージン設定	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせで切り替えます。	
15-2			
15-3			
15-4			

- **MSW15-1 ～ 4 増設ホッパー（オプション）のレフトマージン量**
  4 つのメモリースイッチの組み合わせにより、増設ホッパーのトップマージンの量を設定します。

  レフトマージン量の設定方法は MSW13-1 ～ 4 と同じです。

ESC/Pエミュレーションでの機能

プリンターのメモリースイッチ設定モードで設定できる内容のうち、一部はESC/Pエミュレーションでは無効となります。ESC/Pエミュレーションで有効なもの、無効なものは次の表のとおりです。（無効とは、そのときのエミュレーションの印刷に影響を与えないということで、メモリースイッチの切り替えは可能です。）

MSW	設定内容	ESC/P
1-1	セントロニクスインターフェースでの動作モード	○
1-2	2バイト系フォント選択	○
1-3	A4ポートレート桁数	○
1-4	136桁モード/LM初期設定	○*
2-1	用紙位置を切り替える	○
2-2	印刷位置微調整方向	○
2-3 〜4	印刷位置微調整	○
3-1	新JIS切り替え	○
3-2	節電モードの設定	○
3-3	自動排出の設定	○
3-4	FFコードでの白紙出力	×
4-1	受信方式	×
4-2	ESC c1での登録データの初期化	×
4-3	印刷命令の切り替え	×
4-4	CRの機能	○
5-1	テスト印刷の種別	○
5-2	ストローブラッチモード	○
5-3	リレー給紙	○
5-4	設定初期化の実行	○
6-1 〜2	ビジィアクノリッジ（BUSY-ACK）のタイミング	○
6-3 〜4	アクノリッジ（ACK）の幅	○

MSW	設定内容	ESC/P
7-1	トナー節約機能	○
7-2 〜4	印刷濃度	○
8-1 〜2	用紙種別	○
8-3	AES動作自動切り替え	○
8-4	AES動作自動切り替えまでのタイムアウト	○
9-1 〜2	セントロ双方向通信モード設定	○
10-1 〜3	節電モード開始までの時間	○
10-4	ドラムカートリッジ寿命クリア	○
11-1	オプションインターフェース動作エミュレーション	○
11-2	オプションインターフェースでのAES動作自動切り替え	○
11-3 〜4	オプションインターフェース出の双方向通信モード設定	○
12-1 〜4	標準ホッパー/手差しトレーのトップマージン設定	○
13-1 〜4	標準ホッパー/手差しトレーのレフトマージン設定	○
14-1 〜4	増設ホッパーのトップマージン設定	○
15-1 〜4	増設ホッパーのレフトマージン設定	○

○：有効　　×：無効　　*136桁モード固定

- ESC/Pエミュレーションでは、文字セットは常に“JIS1983”になります。
- ESC/Pエミュレーションでは、常に136桁モードになります。
- MSW3-3「自動排出の設定」では、アプリケーションによっては設定時間以上にデータの送信が停止すると印刷が正常に行えない場合があります。この場合には、「無効」に設定してください。

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、MSW4-1を「有効(ON)」にし(本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。)、それ以外のメモリースイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままでお使いください。メモリースイッチの出荷時設定はすべてOFFです。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メモリースイッチの設定

(MSW3-2)	節電モードの設定
(MSW5-2)	ストローブラッチモード
(MSW6-1〜2)	ビジィアクノリッジ(BUSY-$\overline{\text{ACK}}$)のタイミング
(MSW6-3〜4)	アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅

PC-PTOS環境でプリンターをご使用になる前に、セットアップマニュアルの「PC-PTOS環境でプリンターを選択する」(79ページ)をお読みください。

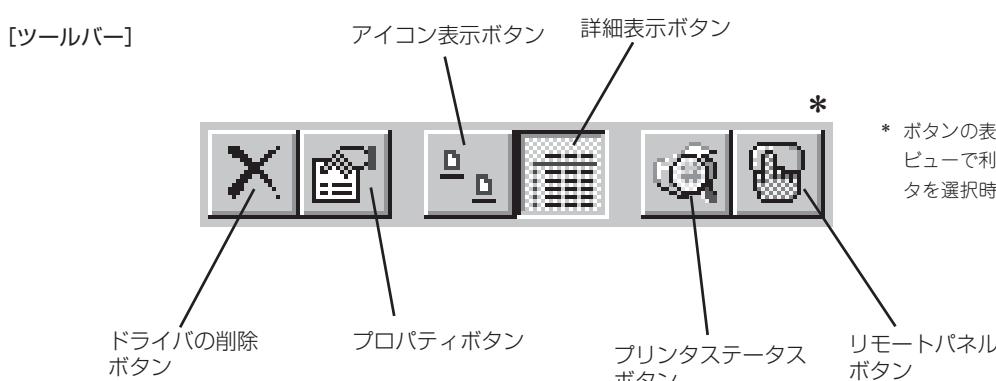
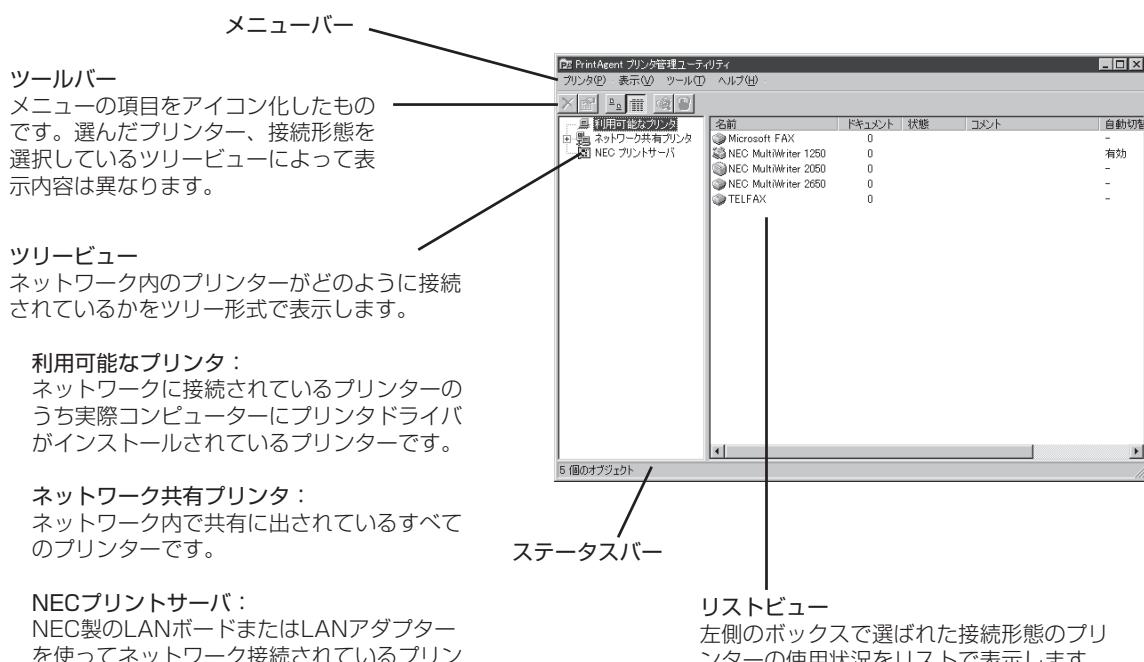
プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定・管理することができます。

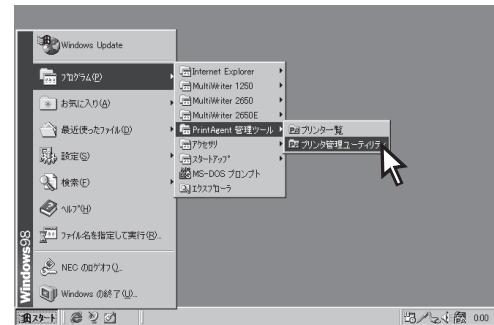
- プリンターの使用状況の確認
- リモートパネルの起動
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
- グループプリンターの作成・設定
- LANボード/LANアダプターの設定（NEC製のみ）→LANボードまたはLANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

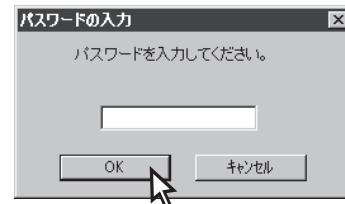
プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定・管理します。

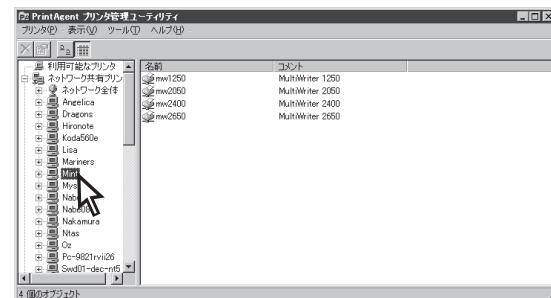
[ツールバー]

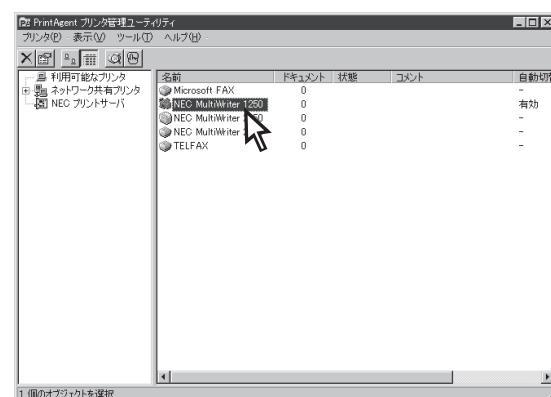
* ボタンの表示は、ツリービューで利用可能なプリンタを選択時です。

次の手順でプリンターを設定・管理します。

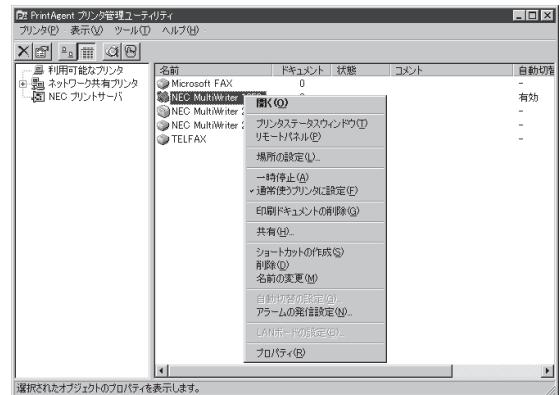
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

Windows 98/95/NT 4.0の場合[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は「ツール」メニューで行えます。

3. 対象のプリンターの接続形態を選ぶ。

ウィンドウの左側のボックスからプリンターの接続形態をクリックします。[ネットワーク共有プリンタ]の場合ネットワークコンピューターを表示させてからクリックします。

4. 対象のプリンターを選ぶ。

ウィンドウの右側のボックスに表示されるリストの中から選びます。

5. 設定・管理項目を選んで実行する。

対象のプリンターを右クリックするかウィンドウ上部のメニューバーをクリックしてメニューを表示させ、希望の項目をクリックします。

✔チェック

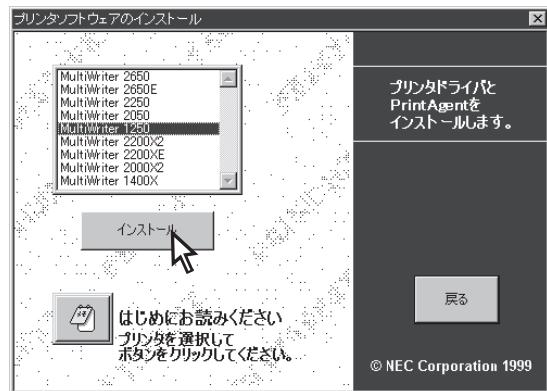
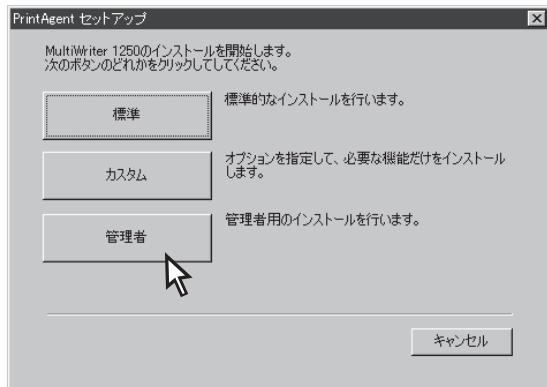
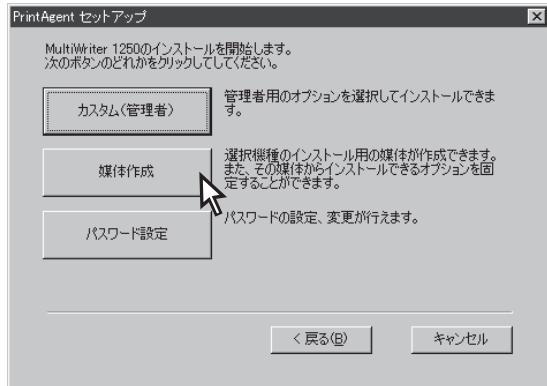
- 各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。
- プリンターの接続形態として「NECプリントサーバ」を選んで行うネットワークの設定に関してはLANボードまたはLANアダプターに添付の「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。
- メール通知の設定とグループプリンターの作成は、ご利用のコンピューターで「利用可能なプリンタ」としてインストールされたプリンターに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

インストール媒体の作成（媒体作成）

ここではインストール媒体を作成する手順を説明します。

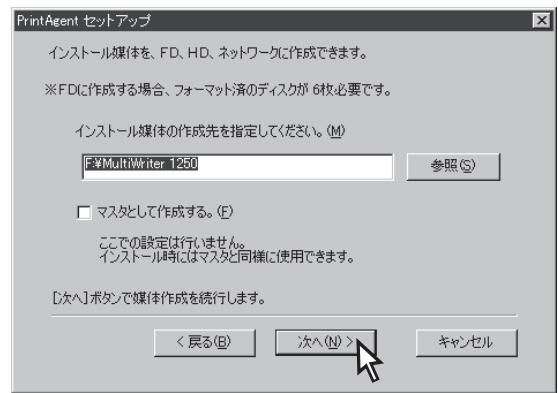
1. プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブにセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

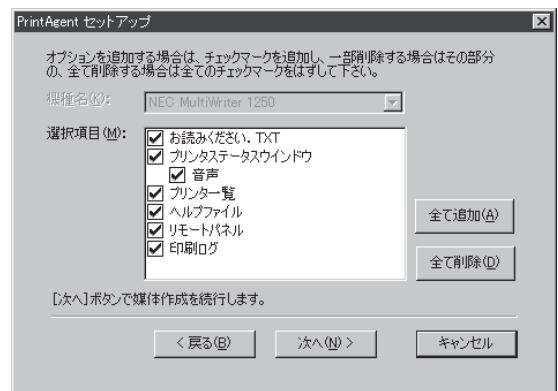
「MultiWriter 1250」を選んで[インストール]をクリックします。

2. [管理者]をクリックする。

3. [媒体作成]をクリックする。

4. インストール媒体の作成先を指定する。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。
媒体作成先は、フロッピーディスク、ハードディスク、ネットワークを指定することができます。

「マスタとして作成する。」をチェックするとCD-ROMと同様の内容ですべての機能をインストールできる媒体を作成することができます。

媒体作成先は、フロッピーディスク、ハードディスク、ネットワークを指定することができます。

5. 任意の機能を選ぶ。

[全て追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全て削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

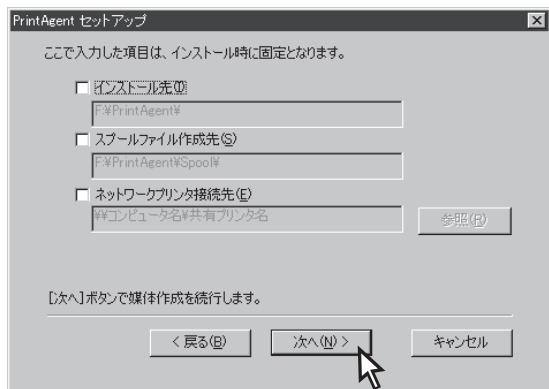
ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールしたあとクライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除はできます。

以下のオプションが選択可能です。

■ MultiWriter 1250
- □ お読みください。TXT
- □ プリンタステータスウィンドウ
  - □ 音声
- □ プリンター覧
- □ ヘルプファイル
- □ リモートパネル*
- □ 印刷ログ*

＊ Windows NT 3.51 環境でのみインストール可能です。

6. インストール時に固定する設定を指定する。

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

[次へ]をクリックするとコピーが開始されます。

7. 画面の指示に従ってダイアログボックスを終了する。

プリンター自動切替

プリンター自動切替機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　複数台のMultiWriter 1250をグループプリンターとして設定する
Step 2　グループプリンターへ出力する

Step 1　グループプリンターの設定

ここではグループプリンターの作成・編集方法を説明します。グループプリンターへの印刷方法とグループプリンター使用時のプリンタステータスウィンドウについては106ページをご覧ください。
グループプリンターを作成するには、次のステップが必要です。

グループプリンターを作成する前に確認する 97ページ
場所の設定 99ページ
グループプリンターの作成 100ページ
グループプリンターの編集 102ページ

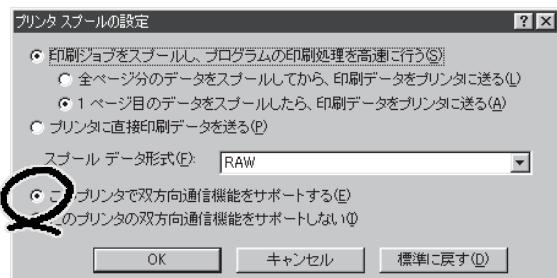
①　グループプリンターを作成する前に

グループプリンターを作成する前に以下の点を確認してください。

● **グループを構成できるプリンターについて**

グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

— **双方向通信していること**

Windows 98/95の場合、プリンターのプロパティの[詳細]シートで[スプールの設定]ダイアログボックスを表示させ、「双方向通信機能をサポートする」設定になっていることを確認します。

Windows NT 4.0の場合、プリンターのプロパティの[ポート]シートで「双方向サポートを有効にする」設定になっていることを確認します。

— **双方向のポートに接続していること**

それぞれの接続形態において双方向が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続
Windows 98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBx
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	―――

注）　接続先がネットワーク共有プリンターの場合はグループを構成できません。

● **「設置場所」の表示について**

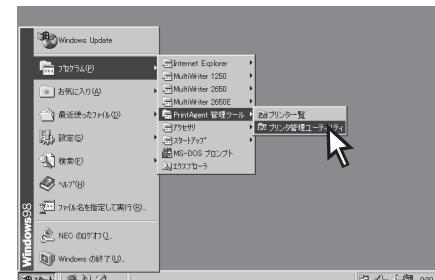
グループプリンターの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。もしこのダイアログボックスに[設置場所]が表示されないと、どのプリンターで印刷されたかわからず利用者が困ることになります。

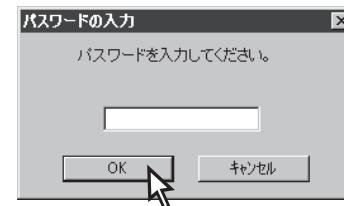
Windows 98/95の場合[プリンタ管理ユーティリティ]を使って[利用可能なプリンタ]に[設置場所]を設定することができます。入力方法については次ページをご覧ください。Windows NT 4.0の場合Administratorの権限で[設置場所]を設定することができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

②　場所の設定

プリンターの設置場所を設定しておくとPrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。Windows 98/95の場合、以下の手順でプリンターの場所を設定します。

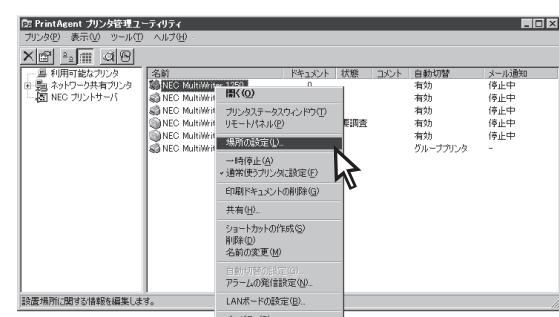
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

［スタート］をクリックし、［プログラム］、［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に「プリンタ管理ユーティリティ」をクリックします。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は「ツール」メニューで行えます。

3. ［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

ウィンドウの左側のボックスから「利用可能なプリンタ」をクリックします。

4. 対象のプリンターを右クリックし［場所の設定］を選ぶ。

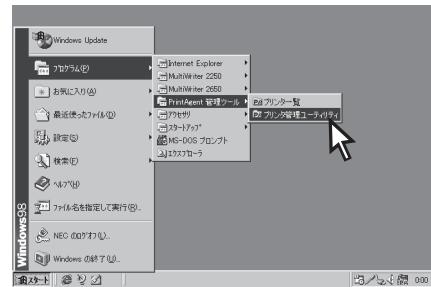
［場所の設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. 場所を設定する。

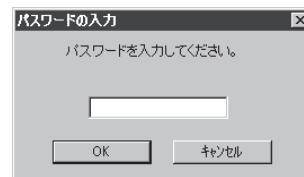
テキストボックスに文字を入力し［OK］をクリックします（半角31文字まで）。

③ グループプリンターの作成

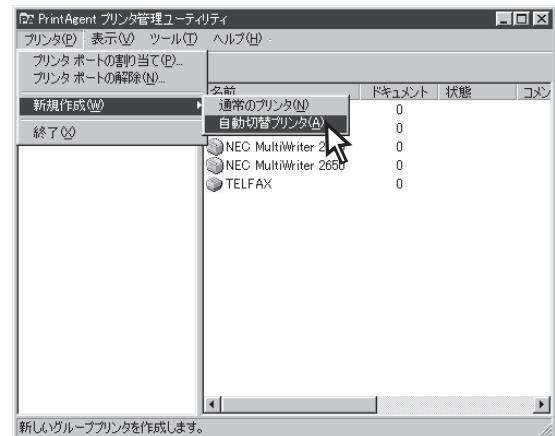
以下の手順でグループプリンターを作成します。

1. ［プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

［スタート］をクリックし、［プログラム］、［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

2. パスワードを入力する。

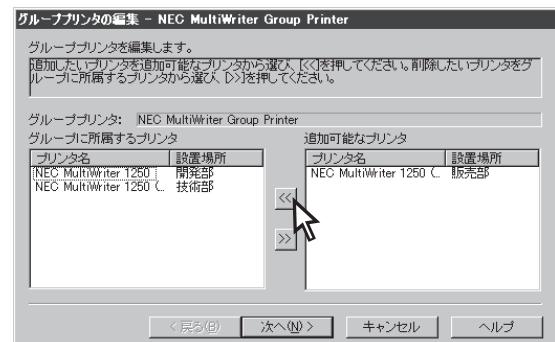
管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は「ツール」メニューで行えます。

3. 左側のボックスから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

4. ［自動切替プリンタの作成］ウィザードを起動する。

［プリンタ］メニューの［新規作成］をクリックし［自動切替プリンタ］を選ぶ。

5. グループプリンターの名前を入力する。

基本となるプリンタードライバーも選択します。

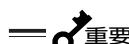
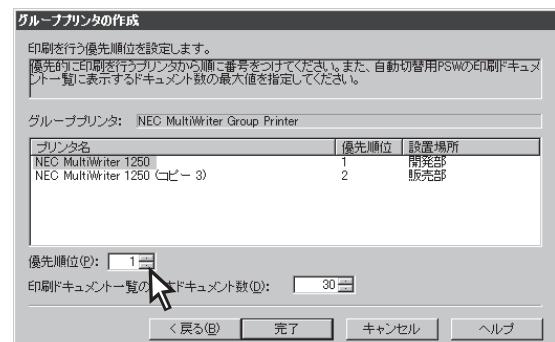
6. グループを構成するプリンターを選ぶ。

[追加可能なプリンタ]ボックスから希望のプリンターを選び[<<]をクリックします。

7. 印刷の優先順位を設定する。

希望のプリンタ名を選び、[▲]か[▼]をクリックして順位を変更します。

また、ここでグループプリンター用PSWの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。（設定可能範囲は1〜100）

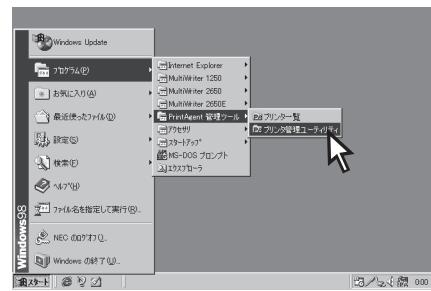
グループプリンターの作成を終了する場合は[完了]を、変更する場合は[戻る]をクリックします。

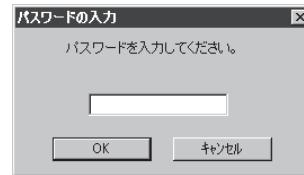
重要

Windows 98/95をプリントサーバのOSとしてご使用になる場合、グループプリンターを構成できるプリンターは2台までです。

④　グループプリンターの編集

以下の手順でグループプリンターを編集します。

1. **[プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。**

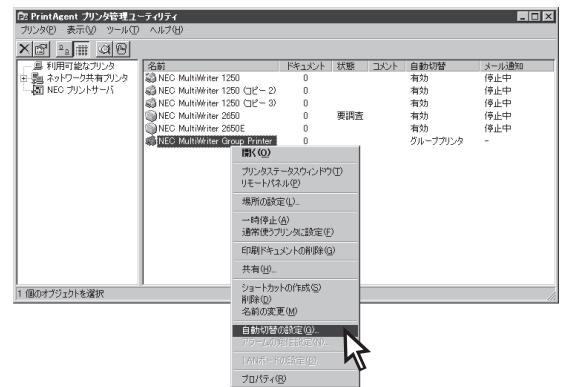
[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

2. **パスワードを入力する。**

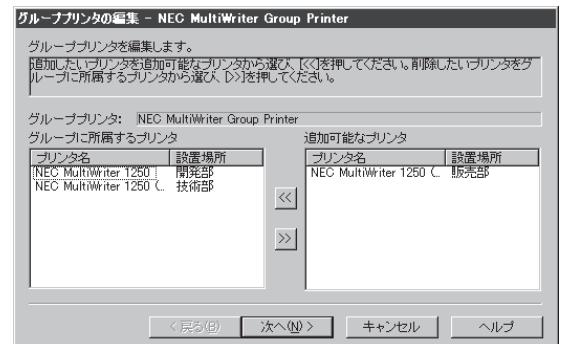
管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は[ツール]メニューで行えます。

3. **左側のツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

4. **右側のリストビューから希望のグループプリンターを右クリックする。**

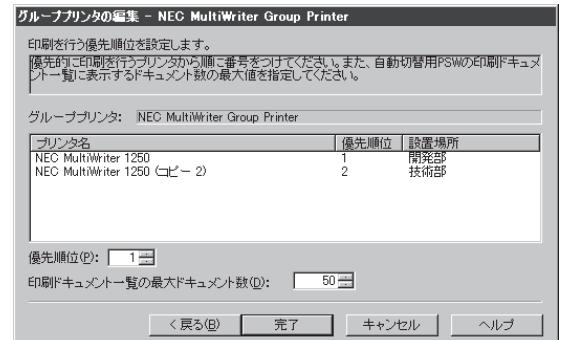
グループプリンターはカラムの[自動切替]の項目が[グループプリンタ]になっています。

5. [自動切替の設定]をクリックする。

[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが現れます。

6. 必要に応じてプリンターを追加・削除する。

[次へ]をクリックすると[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが現れます。

7. 必要に応じて印刷の優先順位を変更する。

グループプリンター用PSWの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1～100)

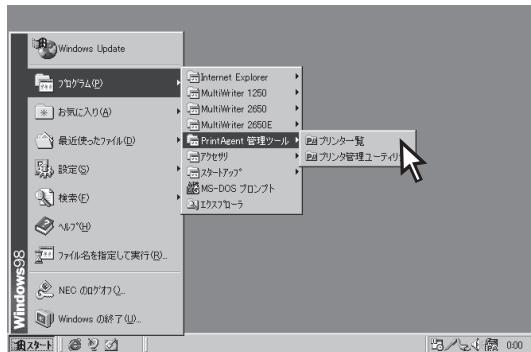
グループプリンターの編集を終了する場合は[完了]を、変更する場合は[戻る]をクリックします。

Step 2　グループプリンターへ出力する

ここではグループプリンターへの印刷方法とグループプリンター使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

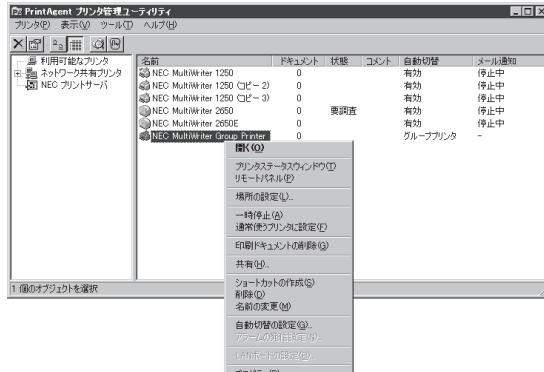
印刷方法

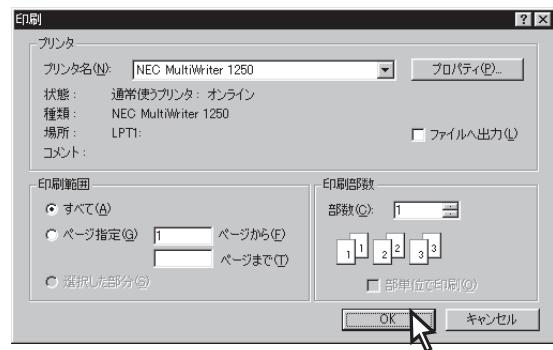
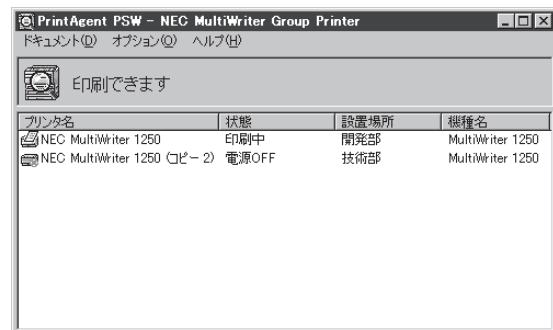
1. **[プリンタ管理ユーティリティ]または[プリンター覧]を起動する。**

Windows 98/95/NT 4.0の場合[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]または[プリンター覧]をクリックします。

[プリンター覧]を起動した場合は手順3に進んでください。

2. **左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

3. **リストの中から希望のグループプリンターを右クリックする。**

[自動切替]の項目が[グループプリンタ]になっているのがグループプリンターです。

4. **[通常使うプリンタ]に設定する。**

5. [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が開始されると画面上にこのようなグループプリンター用PSWが現れます。

印刷が終了するとこのような「印刷終了通知」が現れます。

プリンタステータスウィンドウ

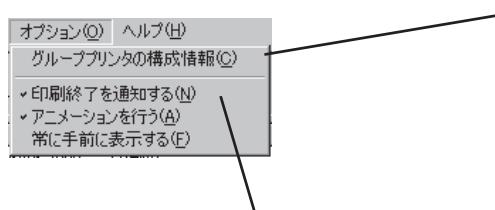
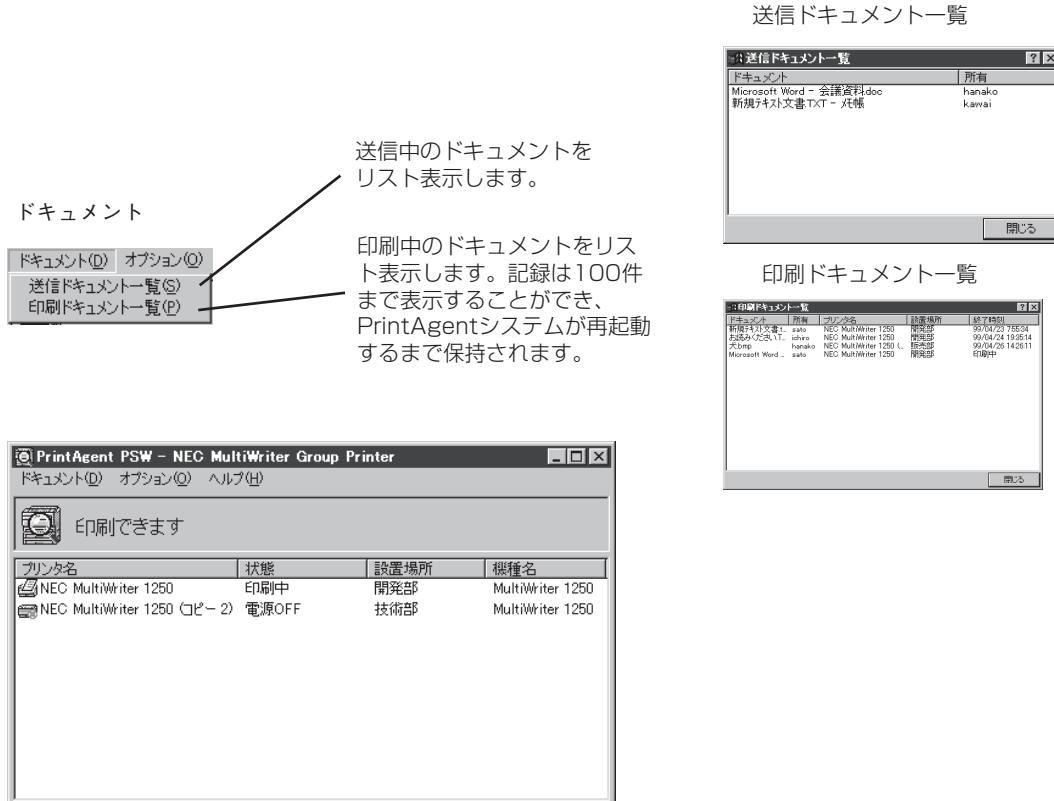
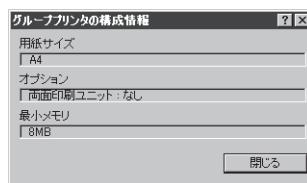
グループプリンター使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のウィンドウを簡略したものが表示されます。このPSWは複数台のプリンターステータスを扱うので印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は[プリンタ管理ユーティリティ]か[プリンター一覧]で行うことになります。

送信ドキュメント一覧

ドキュメント

印刷ドキュメント一覧

オプション(O)　ヘルプ(H)
グループプリンタの構成情報(C)
✔印刷終了を通知する(N)
✔アニメーションを行う(A)
常に手前に表示する(F)

グループプリンターに実際に入っているすべての用紙サイズ、オプションの有無、メモリの容量を表示します。

印刷終了とともに通知を出すかどうかを設定します。設定されているとタイトルの前に「✔」が表示されます。

保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）

To：xxxx, ####
From：日電太郎<nichitaro>
Reply-To：日電太郎<nichitaro>
Cc：yyyy, zzzz
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent　メール通知

通知概要：　ドラムカートリッジ交換
プリンター名：　NEC MultiWriter 1250
通知アラーム：　ドラムカートリッジ寿命エラー
通知アラーム検出：　1999/06/15

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。

****

NEC　☆※部

日電太郎

東京都○×区△1丁目2番3号

□■ビル　1F

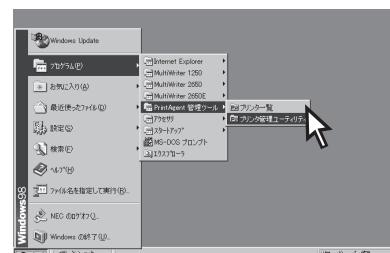
03-XXXX-XXXX

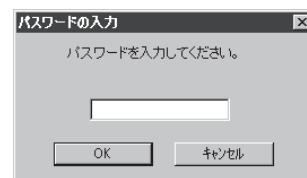
****

保守情報の通知例

以下の手順で保守情報の自動通知を設定します。

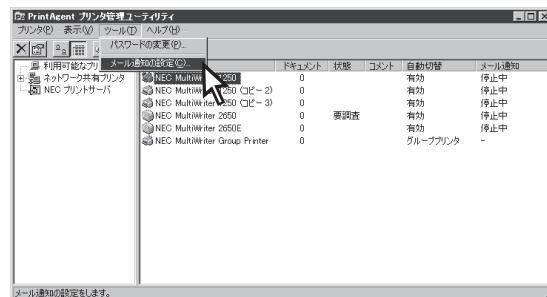
1. ［プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

［スタート］をクリックし、［プログラム］、［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は「ツール」メニューで行えます。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

3. 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

4. [ツール]メニューの[メール通知の設定]をクリックする。

[メール通知の設定]ダイアログボックスが現れます。

5. メール送信情報とユーザー情報を入力する。

重要

メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のいずれかが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は共通の設定となります。一度入力してしまえば他のプリンターにも自動通知の設定をする場合、ここの項目は改めて入力する必要はありません。

[メール送信情報]シート

[ユーザ情報]シート

6. **右側のボックスから希望のプリンターを右クリックし、メニューの[アラームの発信設定]をクリックする。**

[アラームの発信設定]ダイアログボックスが現れます。

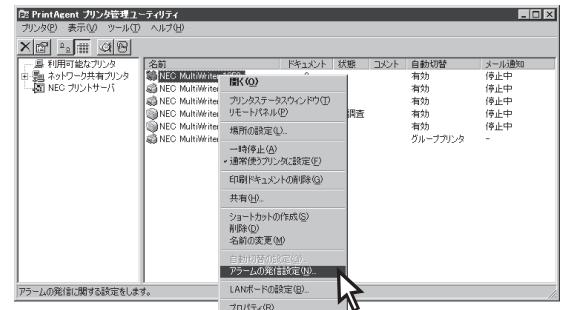
7. **必要に応じてドラムカートリッジの交換と定期保守の通知先情報を入力する。**

通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。

[通知内容の確認]をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

ヒント

[デフォルト]をクリックすると[メール通知の設定]ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

[ドラムカートリッジの交換]と[定期保守]の通知は発信者(プリンター管理者)には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの[写し]に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

[ドラムカートリッジの交換]シート

[定期保守]シート

重要

「ドラムカートリッジの交換」通知は一度発信されたらドラムカートリッジが交換されたことを検知したのち再びドラムカートリッジ寿命を検出するまでは再発信しない設定になっています。ドラムカートリッジを交換したら必ず、ドラムカートリッジ寿命検出カウンターをクリア(MSW10-4をON)してください。詳しくは「ドラムカートリッジの交換手順」(164ページ)をご覧ください。

また、「定期保守」通知は印刷枚数が5万ページ、10万ページに達したら発信されます。

メール通知ログファイルの出力

MultiWriter 1250には保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの[PrintAgent]フォルダーに出力し記録させせることができます。

メール通知が行われるとPrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成されます。また、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成され、メール通知履歴情報が記録されます。

Cドライブ上にPrintAgentをインストールしメール通知を行ったときログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

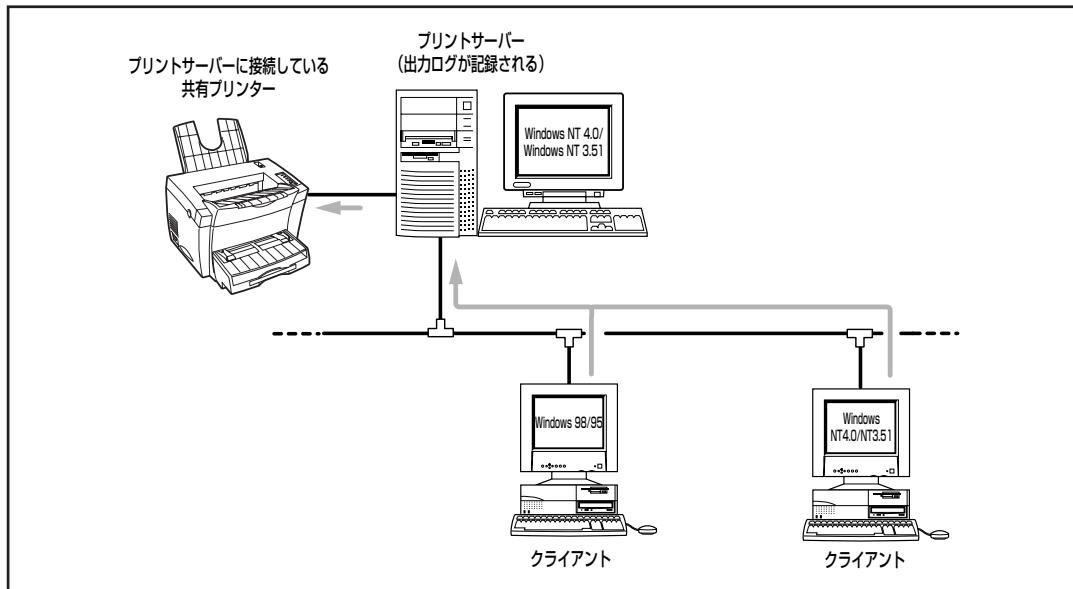
エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

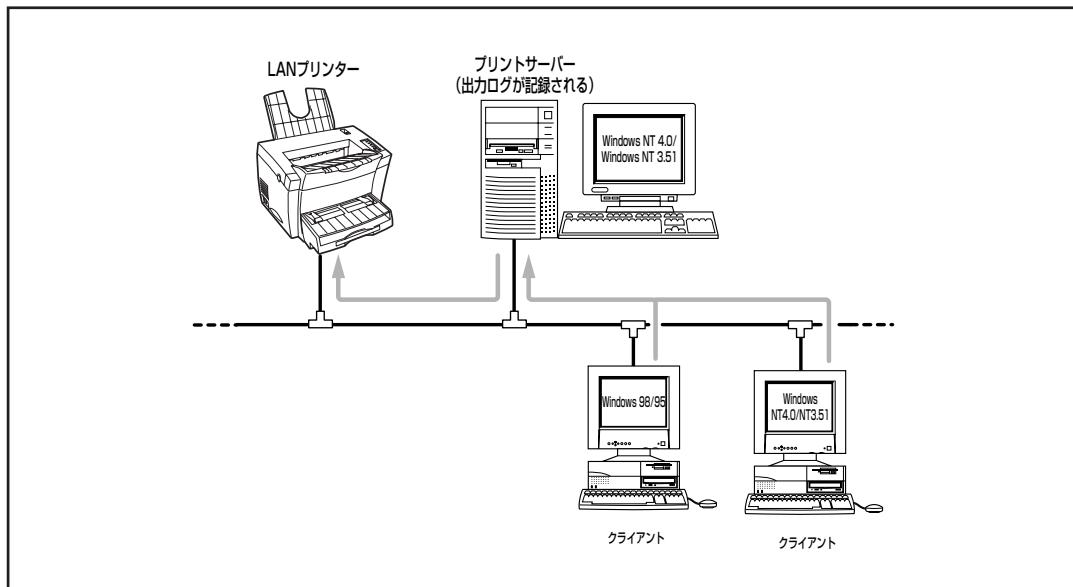
印刷ログの出力

この機能を利用するにはプリントサーバー(Windows NT 4.0/NT 3.51)とMultiWriter 1250が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが直接接続されているMultiWriter 1250を共有プリンターに設定している形態です。

ローカル接続されたプリンターの共有

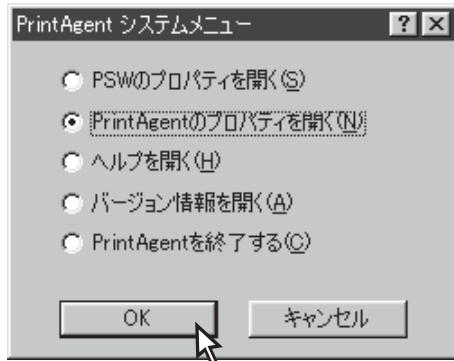
ネットワーク接続

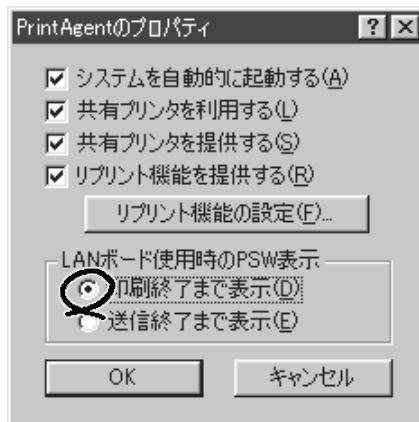
プリントサーバーがLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワークに接続されているMultiWriter 1250を共有プリンターに設定している形態です。

LANボード/LANアダプターで接続されたプリンターの共有

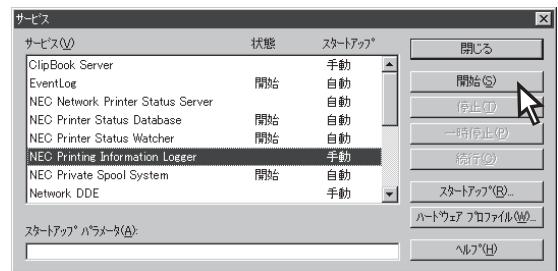
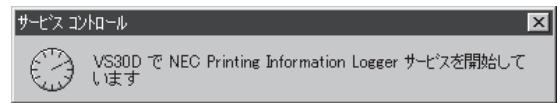
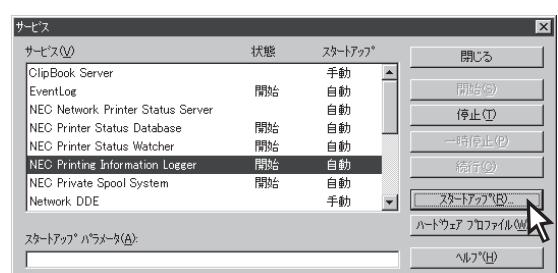
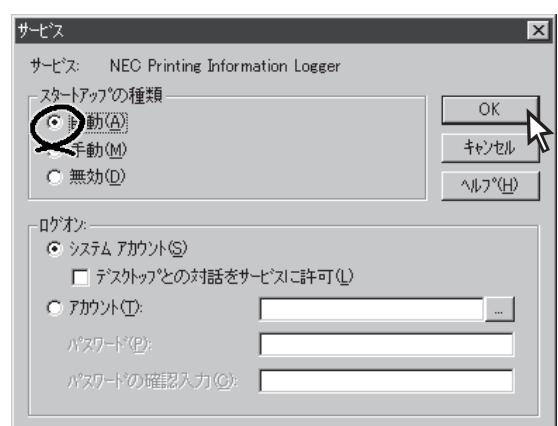
印刷ログ出力機能を利用するためには次のステップが必要です。

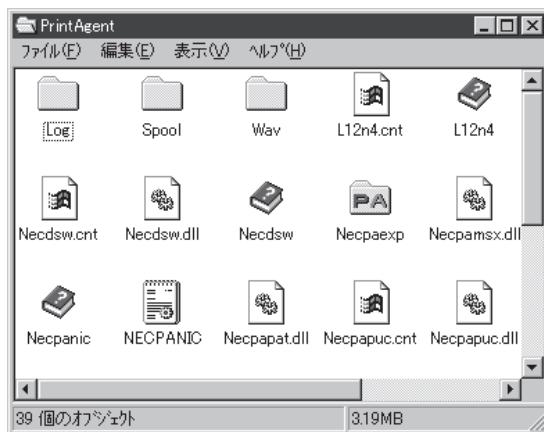
Step1　印刷ログ出力機能を設定する
Step2　印刷ログファイルを出力する

Step 1　印刷ログ出力機能を設定する

1. **[MultiWriter 1250]の[PAシステムメニュー]からPrintAgentのプロパティを開く。**

2. **「LANボード使用時のPSW表示」を「印刷終了まで表示」にする。**

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで設定してください。

3. **プリントサーバー(Windows NT 4.0/NT 3.51)の[コントロールパネル]から[サービス]ダイアログボックスを開く。**

4. [サービス]リストボックスから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[開始]をクリックする。

サービスが起動されます。

5. 次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]をクリックする。

6. スタートアップの種類を[自動]にして、[OK]をクリックする。

Step 2　印刷ログファイルの出力

印刷ログ出力機能を利用する設定にして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成されます。

また印刷が行われると、そのサブフォルダー内に「NEC MultiWriter 1250.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

Cドライブにprintagentをインストールし、NEC MultiWriter 1250で印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダー/ディレクトリーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 1250.log

ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダもしくはプリントマネージャに登録した名前になります。

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”,“ドキュメント名”,“ドキュメント所有者名”,印刷開始日,印刷開始時刻,印刷終了日,印刷終了時刻,印刷枚数

ヒント

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".001", "002"...のようになります。

（例） ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 1250", "お読みください - メモ帳", "近藤", 99/06/10, 午後 07:12:20,99/06/10, 午後 07:12:44, 5,
"NEC MultiWriter 1250", "海辺の思い出", "小川", 99/06/10, 午後 07:13:53, 99/06/10, 午後 07:14:05, 1,
"NEC MultiWriter 1250", "NEC MultiWriter 1250 - メモ帳", "鈴木", 99/06/10, 午後 07:17:49, 99/06/10, 午後 07:17:57, 1,
"NEC MultiWriter 1250", "network", "田中", 99/06/10, 午後 07:20:45, 99/06/10, 午後 07:21:40, 16,

リモート電源制御

この機能を利用するためには次のステップが必要です。

Step1　電源制御の設定をする
Step2　プリンターの電源をONにする

Step 1　電源制御の設定をする

次の手順で設定します。

- Windows NT 3.51、Windows 3.1からはこの機能は利用できません。
- プリンターがリモート電源制御対応LANアダプターに接続されている場合のみ有効な機能です。
- LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。）

Windows 98/95の場合

1. プリンターのプロパティを開く。

MultiWriter 1250のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

2. [詳細]タブをクリックする。

[詳細]タブを表示します。

3. **[ポートの設定]をクリックする。**

[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログを表示します。

4. **[電源制御する]をチェックする。**

5. **[MACアドレス]の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し[OK]をクリックする。**

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、[検索]をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。

6. **[OK]をクリックして、プロパティを閉じる。**

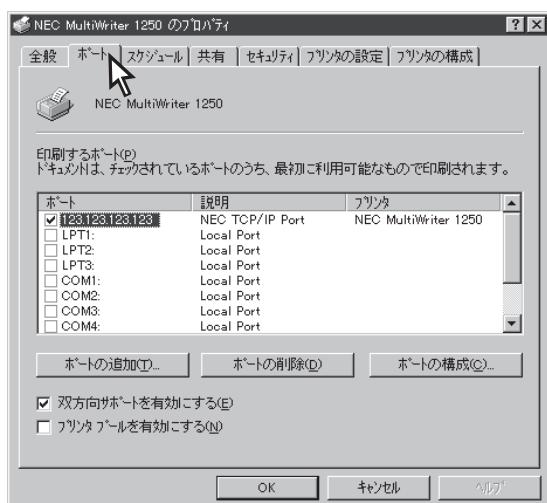
Windows NT4.0の場合

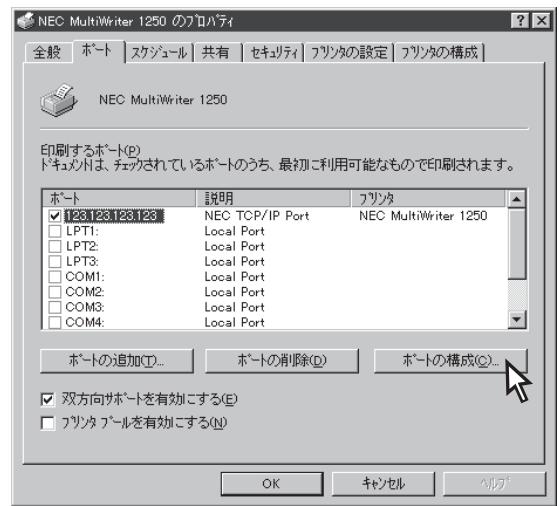
Administrator権限のユーザーが設定してください。

1. プリンターのプロパティを開く。

MultiWriter 1250のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

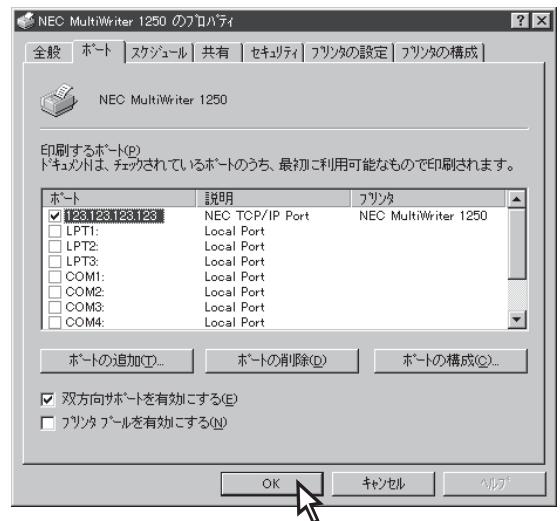
2. [ポート]タブをクリックする。

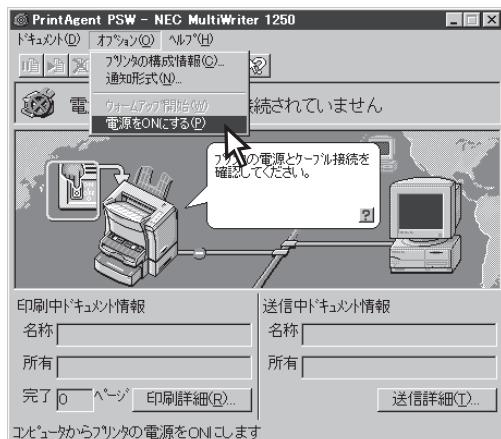
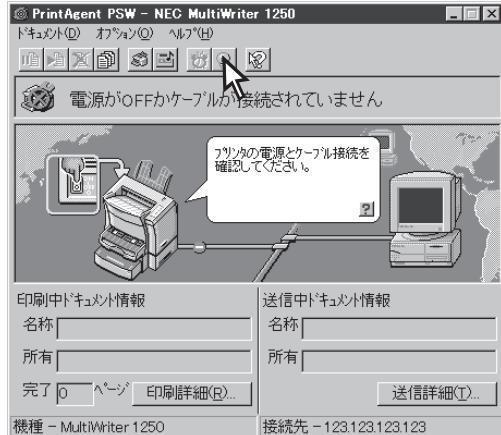
[ポート]タブを表示します。

3. [ポートの構成]をクリックする。

[NEC Network Port]ダイアログを表示します。

4. [電源制御する]をチェックする。

5. [MACアドレス]の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し[OK]をクリックする。

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、[検索]をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。

6. [OK]をクリックして、プロパティを閉じる。

Step 2　プリンターの電源をONにする

PSWのリモート電源制御ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択します。

PSWからプリンターの電源をOFFすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンター管理者のみがプリンタ管理ユーティリティを利用して行える機能です。詳しくはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

プリンターソフトウエアの追加・削除

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンタが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールすることがあります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除(アンインストール)してから行います。またプリンターソフトウエアの機能を追加したい時、既にインストールされているプリンターソフトウエアを削除せずに追加できます。ここではそういったプリンターソフトウエアの削除・追加方法を説明します。

プリンターソフトウエアの追加と削除方法について、OS別に説明します。

Windows 98/95の場合

- すでに他のMultiWriterをお使いの場合

  すでに他のMultiWriterのプリンタソフトウエアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウエアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために」(181ページ)をご覧ください。

- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのディレクトリー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているディレクトリー名をインストール時のディレクトリ名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 1250が印刷中はソフトウエアの削除を行えません。印刷が終了してから行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

PrintAgentの追加と削除

[アプリケーションの追加と削除]を使った方法

1. [コントロールパネル]フォルダーを開く。

2. [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3. [インストールと削除]タブをクリックする。

4. 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

PrintAgentインストーラの画面が表示されます。

「NEC PrintAgent」が表示されている

5. 対象機種を選択してからボックスのチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

オプションの追加・削除が開始されます。
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除です。

- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- 必要な場合、プリンターの接続先を機種分設定してください。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

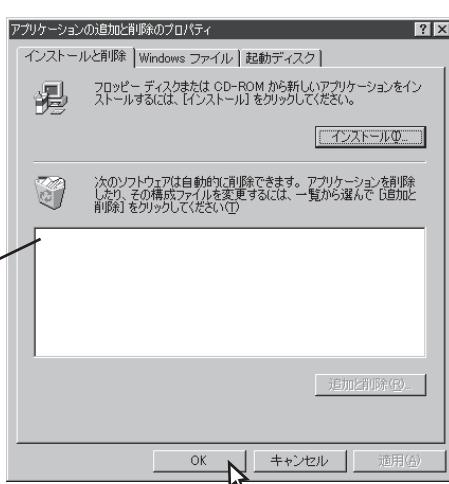
複数機種のチェックマークを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

6. 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

7. すべてのオプションを削除した場合は「NEC PrintAgent」が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが閉じます。

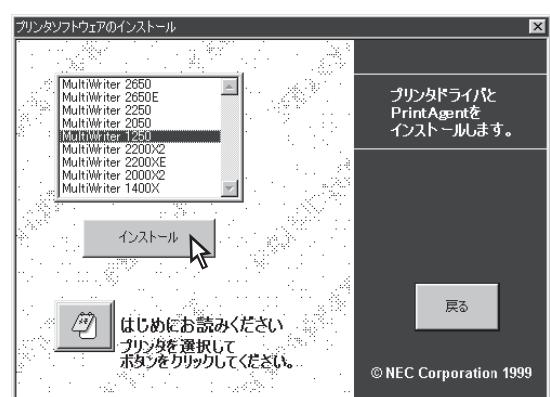
「NEC PrintAgent」の表示が消えている

[カスタム]インストールを使った方法

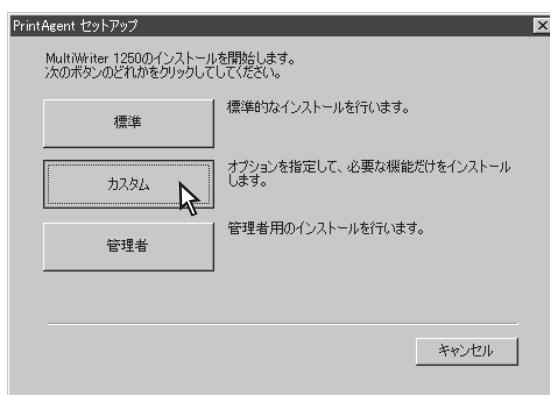
1. OSが起動したら、MultiWriter 1250の電源をONにする。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

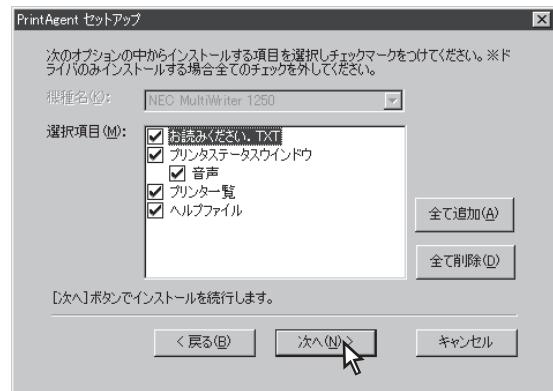
CD-ROMをセットすると、「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」ダイアログボックスが自動表示されます。

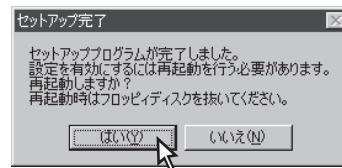
3. [プリンタソフトウエアのインストール]をクリックする。

4. [MultiWriter 1250]を選んで、[インストール]をクリックする。

5. [カスタム]をクリックする。

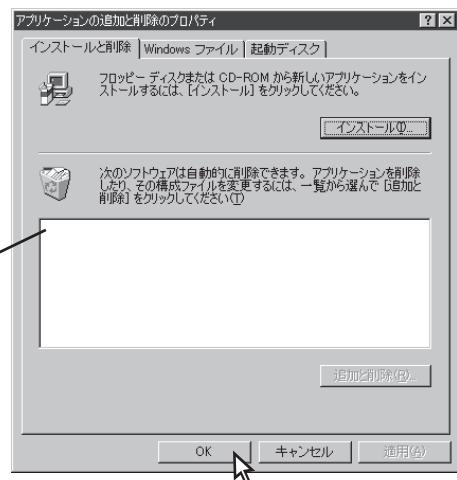
[カスタム]は機能を選択してインストール、またはアンインストールする場合に選びます。
プリンタードライバーのみインストールするときは[標準]ではなく[カスタム]を選びます。

6. **[NEC MultiWriter 1250]を選択してからボックスのチェックを変更し、[次へ]をクリックする。**

チェックを付けるとインストール(追加)、チェックを外すとアンインストール(削除)です。

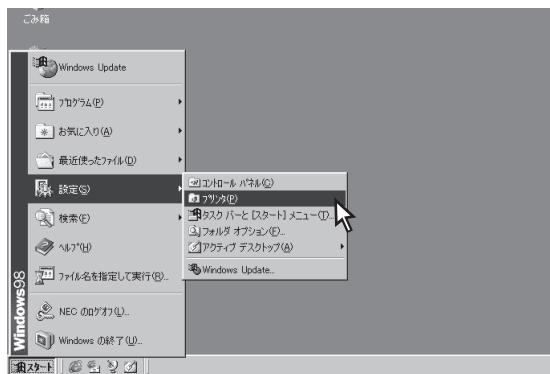
MultiWriter 1250のオプションが既にインストールされているとすでにインストールされているオプションにチェックがついて表示されます。
プリンタードライバーのみインストールするときはチェックをすべて外してインストールしてください。

7. **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

8. **すべてのオプションを削除した場合は「NEC PrintAgent」が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが閉じます。

「NEC PrintAgent」の表示が消えている

プリンタードライバーの削除

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

2. **「NEC MultiWriter 1250」アイコンをクリックする。**

3. **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

4. **[はい]をクリックする。**

MultiWriter 1250のプリンタードライバーが削除されます。

Windows NT 4.0の場合

- すでに他のMultiWriterをお使いの場合

  すでに他のMultiWriterのプリンタソフトウエアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウエアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために。」（181ページ）をご覧ください。

- PrintAgentを削除する場合は、実施者が「Administrators」または「Domain Admins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、削除できません。
- PrintAgentを削除するときに指定した、PrintAgentモジュールのディレクトリー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）を変更していると正常に削除が行えません。変更されているディレクトリ名をインストール時のディレクトリ名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 1250で印刷中はソフトウエアの削除を行えません。印刷が終了してから行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

PrintAgentの追加と削除

［アプリケーションの追加と削除］を使った方法

1. ［コントロールパネル］フォルダーを開く。

2. **[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3. **[インストールと削除]タブをクリックする。**

4. **自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。**

PrintAgentセットアップの画面が表示されます。

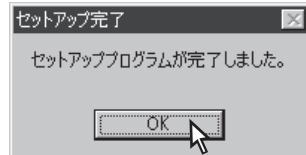
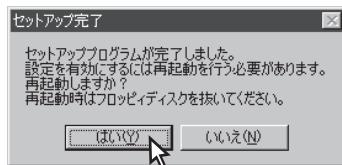
「NEC PrintAgent」が表示されている

5. **[NEC MultiWriter 1250]を選択してからボックスのチェックを変更し、[次へ]をクリックする。**

オプションの追加・削除が開始されます。
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除です。

- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- 必要な場合、プリンターの接続先を機種分設定してください。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

複数機種のチェックマークを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

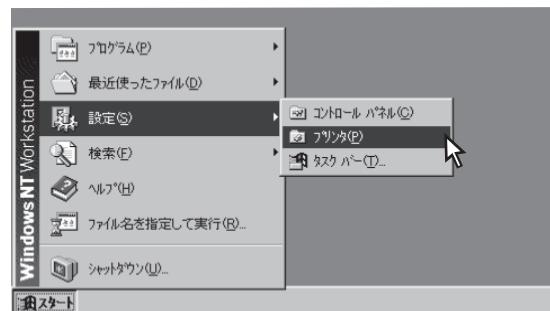
6. **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

7. **すべてのオプションを削除した場合[NEC PrintAget]が削除されたことを確認し[OK]をクリックする。**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが閉じます。

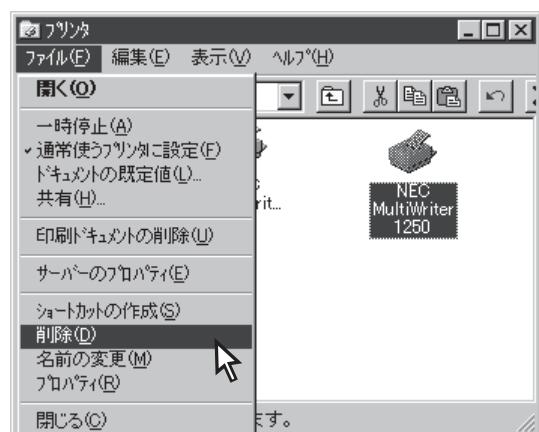
「NEC PrintAgent」の表示が消えている

[カスタム]インストールを使った方法

[カスタム]インストールを使った方法はWindows 98/95の手順と同じです。124～125ページを参考にしてください。

プリンタードライバーの削除

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. 「NEC MultiWriter 1250」アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

4. [はい]をクリックする。

MultiWriter 1250プリンタードライバーが削除されます。

Windows NT 3.51の場合

- すでに他のMultiWriterをお使いの場合

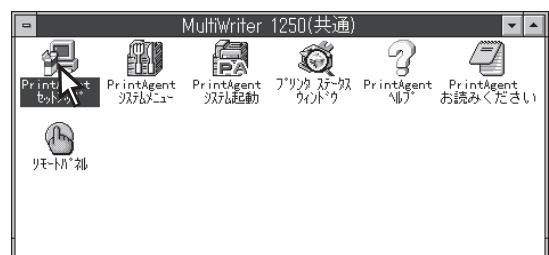
  すでに他のMultiWriterのプリンタソフトウエアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウエアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために。」(181ページ)をご覧ください。

- PrintAgentを削除する場合は、実施者が「Administrators」または「Domain Admins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、アンインストールを行うことはできません。
- PrintAgentをインストール時に指定した、PrintAgentモジュールのディレクトリー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、アンインストールは正常に行えません。変更されているディレクトリー名をインストール時のディレクトリー名に戻してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとアンインストールを行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 1250で印刷中はアンインストールを行えません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

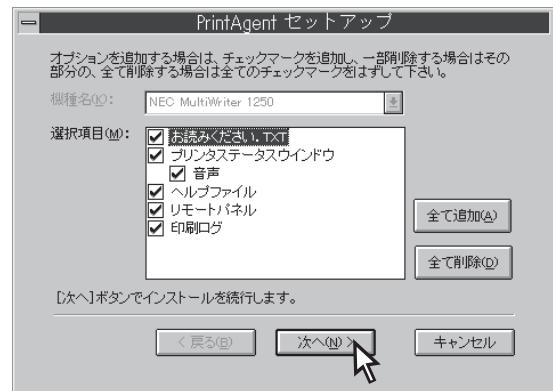
PrintAgentの追加と削除

[アプリケーションの追加と削除]を使った方法

1. プログラムマネージャ中の[MultiWriter 1250]グループ内の[PrintAgentセットアップ]アイコンをダブルクリックする。

セットアッププログラムが起動します。

2. **[NEC MultiWriter 1250]を選択してからボックスのチェックマークを変更して[次へ]をクリックする。**

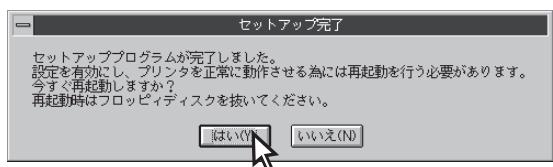
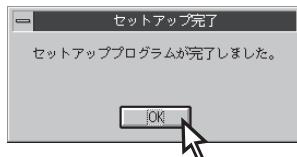
オプションの追加・削除が開始されます。
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除です。

- MultiWriter 2050などの他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- 必要な場合、プリンターの接続先を機種分設定してください。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

複数機種のチェックマークを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

3. **以下に示すどちらかの画面が表示されるので、画面の指示に従う。**

右の画面が表示された場合は[OK]をクリックしてください。

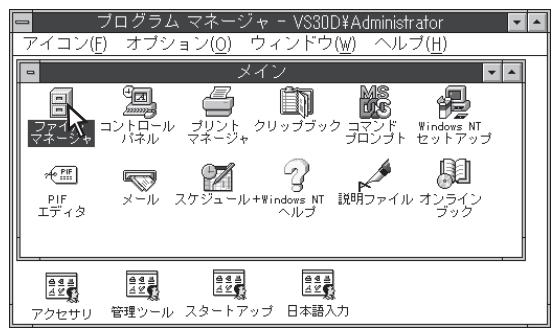
右の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてコンピュータを再起動してください。

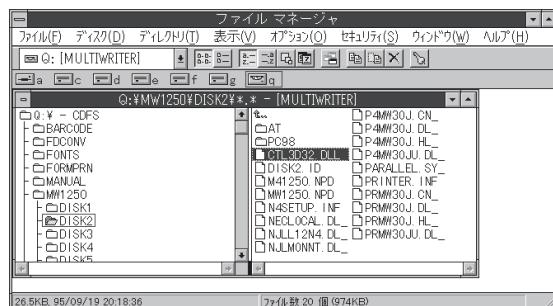
MultiWriter 2050など他のプリンターがインストールされていると、それぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。

［カスタム］インストールを使った方法

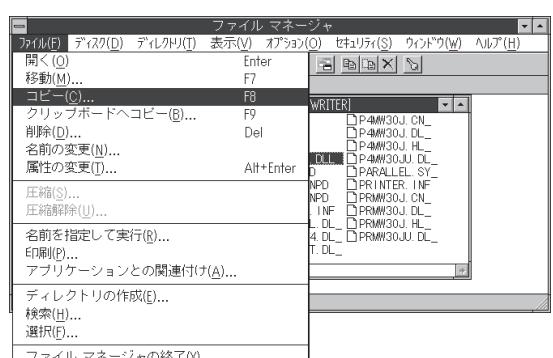
1. MultiWirter 1250の電源をONにして、OSを起動する。

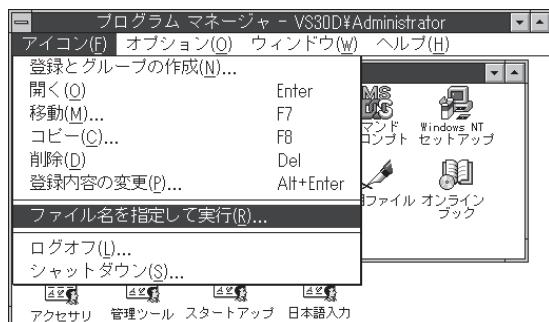
2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

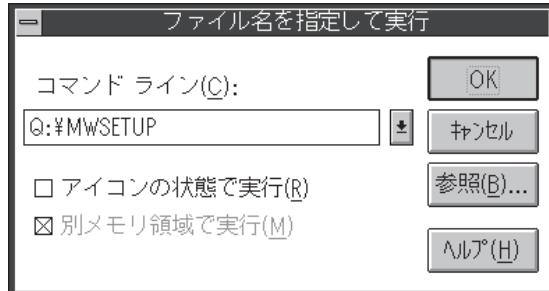
3. プログラムマネージャ中の［メイン］グループから［ファイルマネージャ］をダブルクリックする。

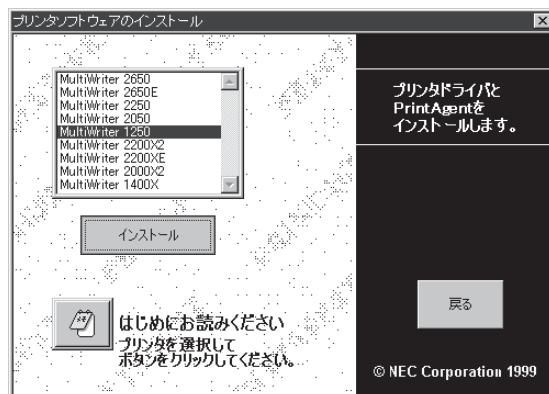
4. CD-ROMを挿入したドライブを選択し、「MW1250」ディレクトリー内の「Disk2」の中から「CTL3D32.DLL」を選ぶ。

5. ［ファイル］メニューから［コピー］をクリックする。

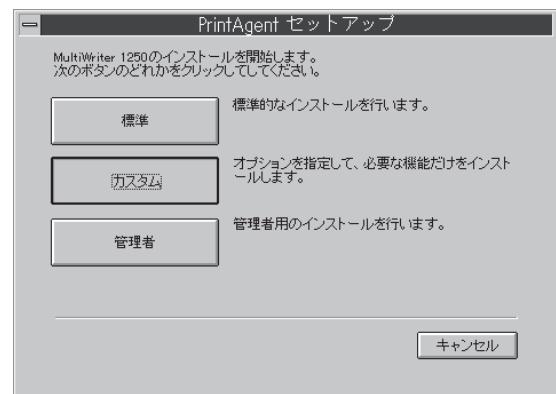
コピー先を入力して、［OK］ボタンをクリックする。

6. ［コピー先］ボックスにWindows NT 3.51をインストールしたドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）、Windows NT 3.51をインストールしたディレクトリ名、円記号（¥）、「CTL3D32.DLL」と入力する。

「CTL3T32.DLL」モジュールがインストールされます。

7. ［ファイルマネージャ］を閉じる。

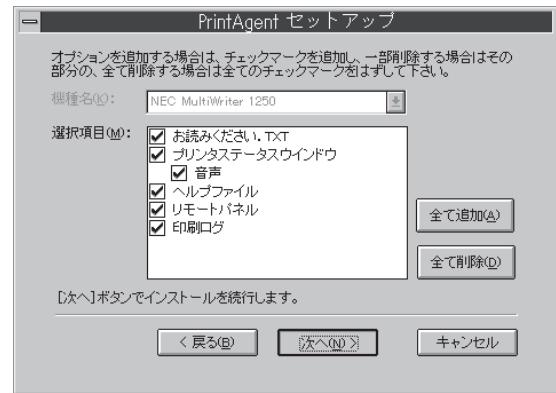
8. ［アイコン］メニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

9. セットアッププログラムを起動する。

［コマンドライン］ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)、に続けて「MWSETUP」と入力し、［OK］をクリックします。

10. ［プリンタソフトウエアのインストール］をクリックする。

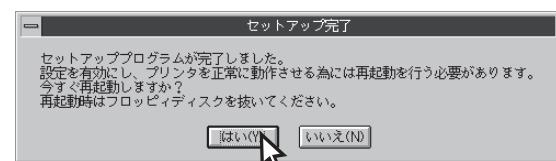
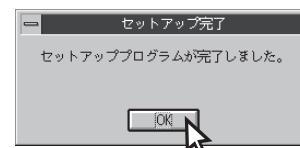
11. 「MultiWriter 1250」を選んで［インストール］をクリックする。

12. [カスタム]をクリックする。

[カスタム]は機能を選択してインストールする場合に選びます。
プリンタードライバーのみインストールするときはこちらを選びます。

13. [NEC Multiwriter 1250]を選んでからボックスのチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

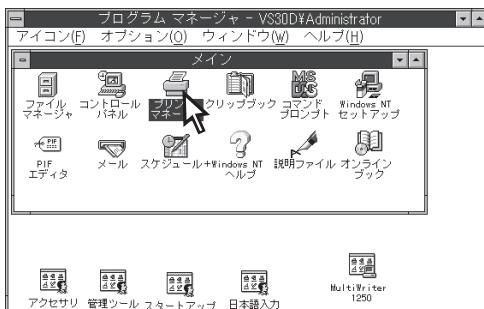
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除です。

MultiWriter 1250のオプションが既にインストールされているとすでにインストールされているオプションにチェックがついて表示されます。
プリンタードライバーのみインストールするときはチェックをすべて外してインストールしてください。

14. [OK]をクリックする。

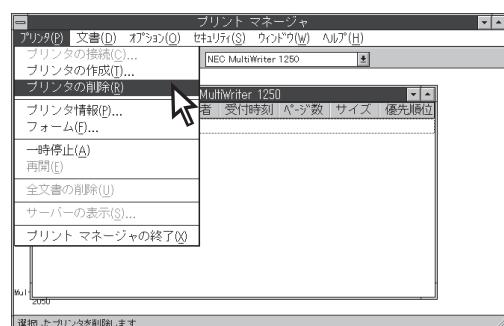
15. 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

プリンタードライバーの削除

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

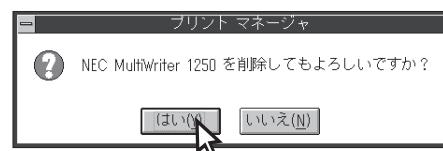
[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

2. [MultiWriter 1250]アイコンをダブルクリックする。

[MultiWriter 1250]ウィンドウが表示されます。

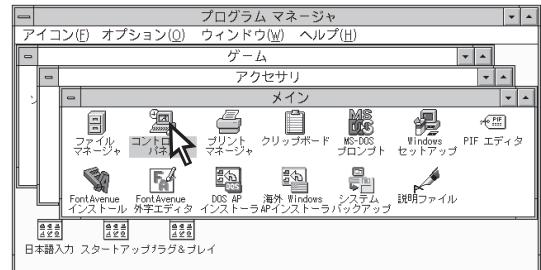
3. [プリンタ]メニューの[プリンタの削除]をクリックする。

4. [OK]をクリックする。

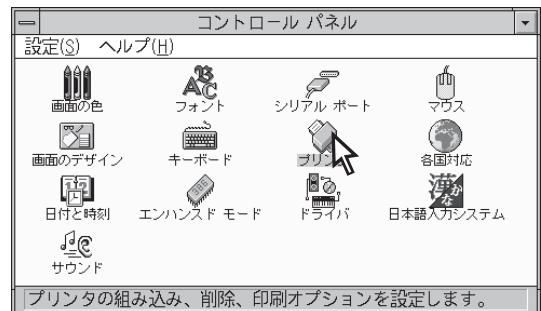
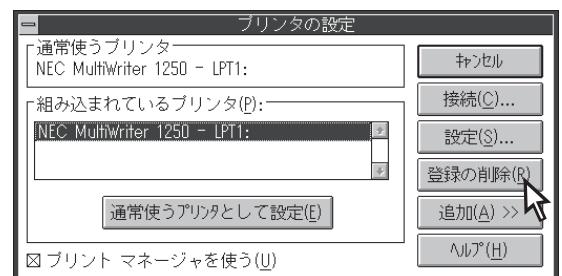
MultiWriter 1250プリンタードライバーが削除されます。

Windows 3.1の場合

重要

MultiWriter 1250が通常使うプリンターに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してからアンインストールを行ってください。

1. **[プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。**

[コントロールパネル]フォルダが開きます。

2. **[コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3. **[組み込まれているプリンタ]リストボックス内の[NEC MultiWriter 1250]を選んで、[登録の削除]をクリックする。**

4. **[はい]をクリックする。**

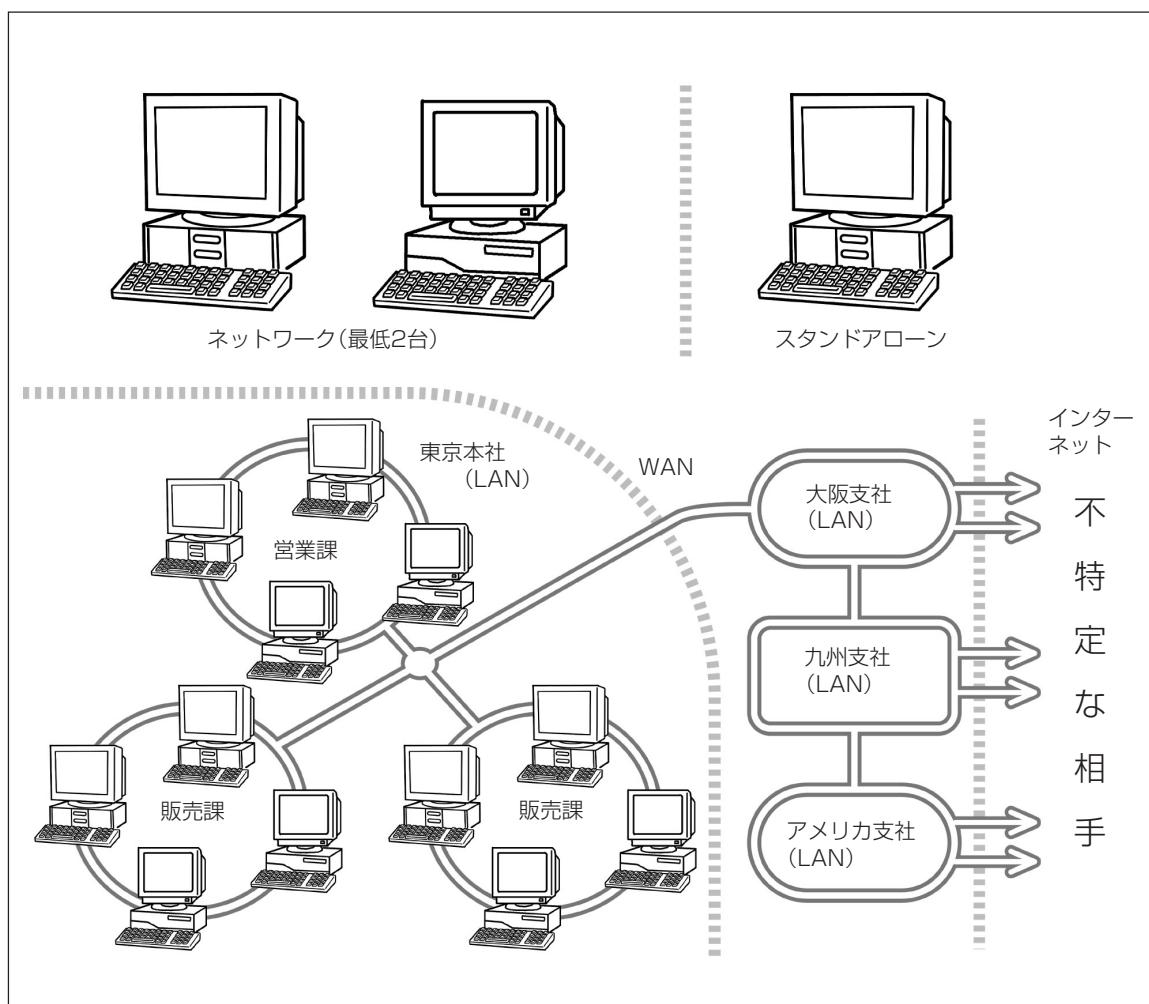
これでMultiWriter 1250プリンタードライバーは削除されます。

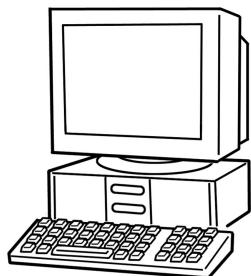
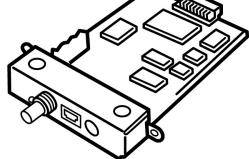
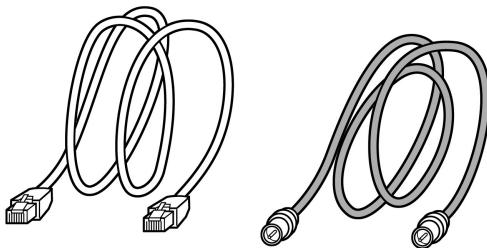
ネットワークの基礎知識

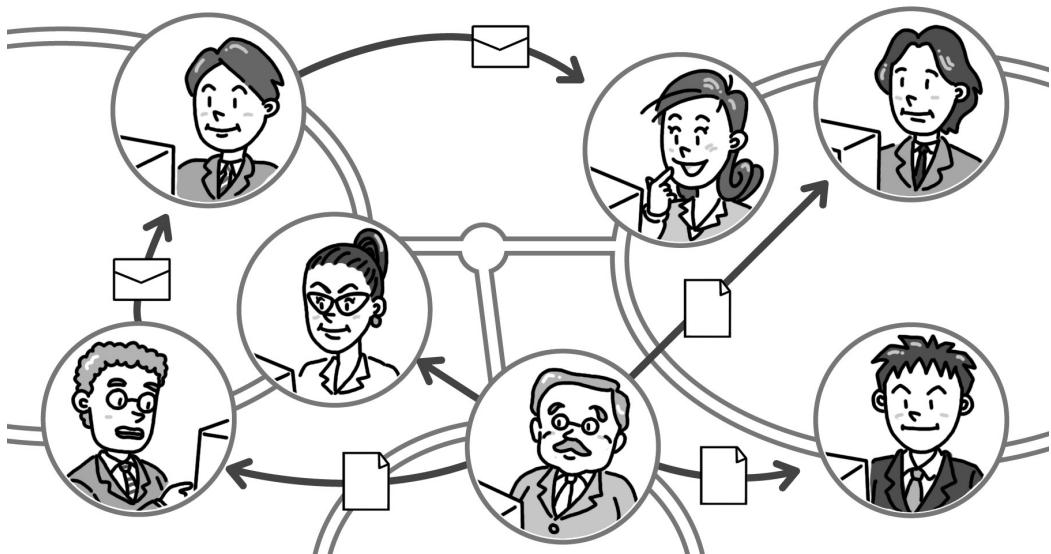
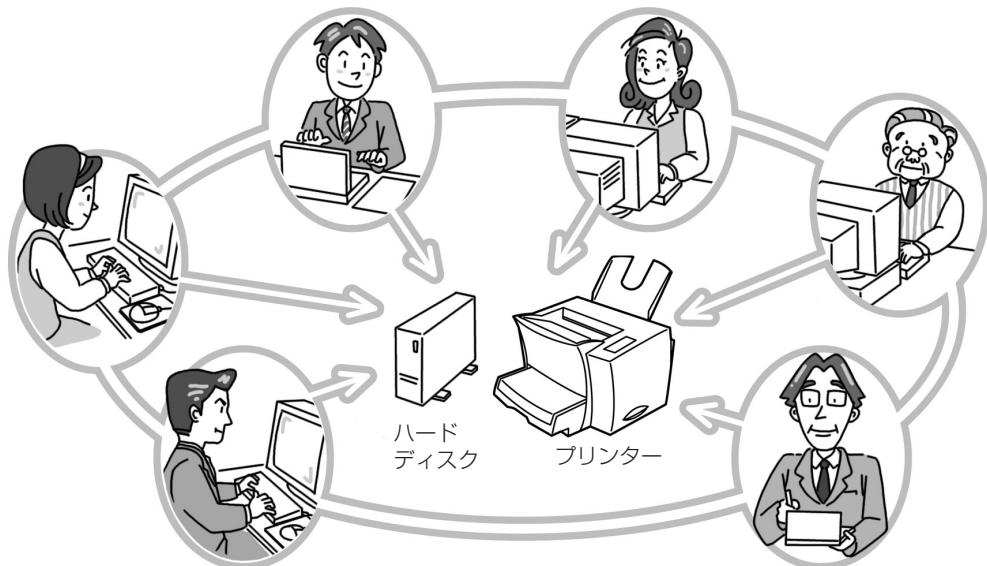
ここではPrintAgentを使う上で役に立つネットワークの基礎知識について簡単に説明しています。
必要に応じて参照してください。

ネットワークとは？

2台以上のパソコン同士がつながっていて情報のやり取りができる状態、またはこのようにパソコン同士結びついたグループのことをネットワークと呼びます。1台しかパソコンがない状態はスタンドアローン（standalone）と呼ばれます。パソコン1台にプリンターやスキャナーなど複数の周辺機器がつながった状態はネットワークとはいいません。

通常オフィスで利用するネットワークといえばLAN（Local Area Network）を指します。これは日本語で言うと「構内通信網」と呼ばれる比較的小規模のネットワークのことで、「営業課」など課レベルのものから「東京本社」など会社レベルの大規模なものまであります。もっと大規模になるとLANとLANが結びついたWAN（Wide Area Network）や地球規模のネットワーク「インターネット」と呼ばれるものもありますが、本書で説明するMultiWriterの利用できるネットワークはLANに限定します。

ネットワークに必要なものは？

少なくとも、パソコン、ネットワークOS、ケーブル、LANボードの4要素が必要です。大規模なネットワークでは「サーバー」とよばれるネットワーク専用のパソコンが必要になる場合があります。原則的にネットワークOSがインストールされている市販のパソコンであればメーカーや機種は問いません。

ネットワークのいいところは？

コンピューターをネットワークに接続すると同じネットワークに接続されている周辺機器（ハードディスク、プリンターなど）を複数のユーザーで共有することができます。また手紙や電話など従来の通信手段に代わる電子的手段を使ってネットワーク上のユーザーとメッセージを交換することができます。これらの機能は原則的に同じネットワーク内ならパソコンのメーカー、機種を問いません。

メッセージの交換

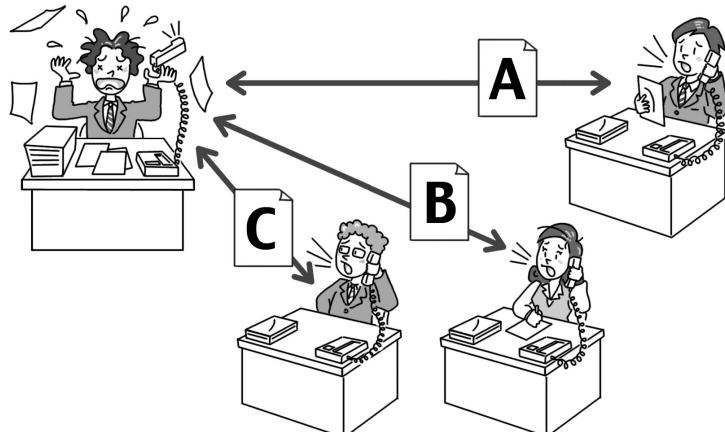
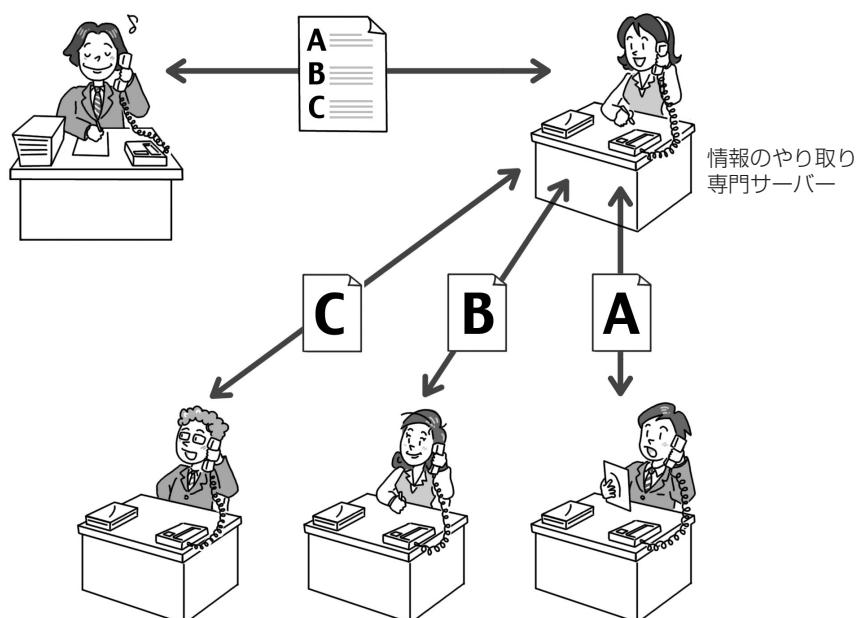
- ハードディスク（データ）の共有→「ファイルサーバーとは？」参照
- プリンターの共有→「プリントサーバーとは？」参照
- メッセージの交換→「メールサーバーとは？」、「Webサーバーとは？」参照

サーバーとは？

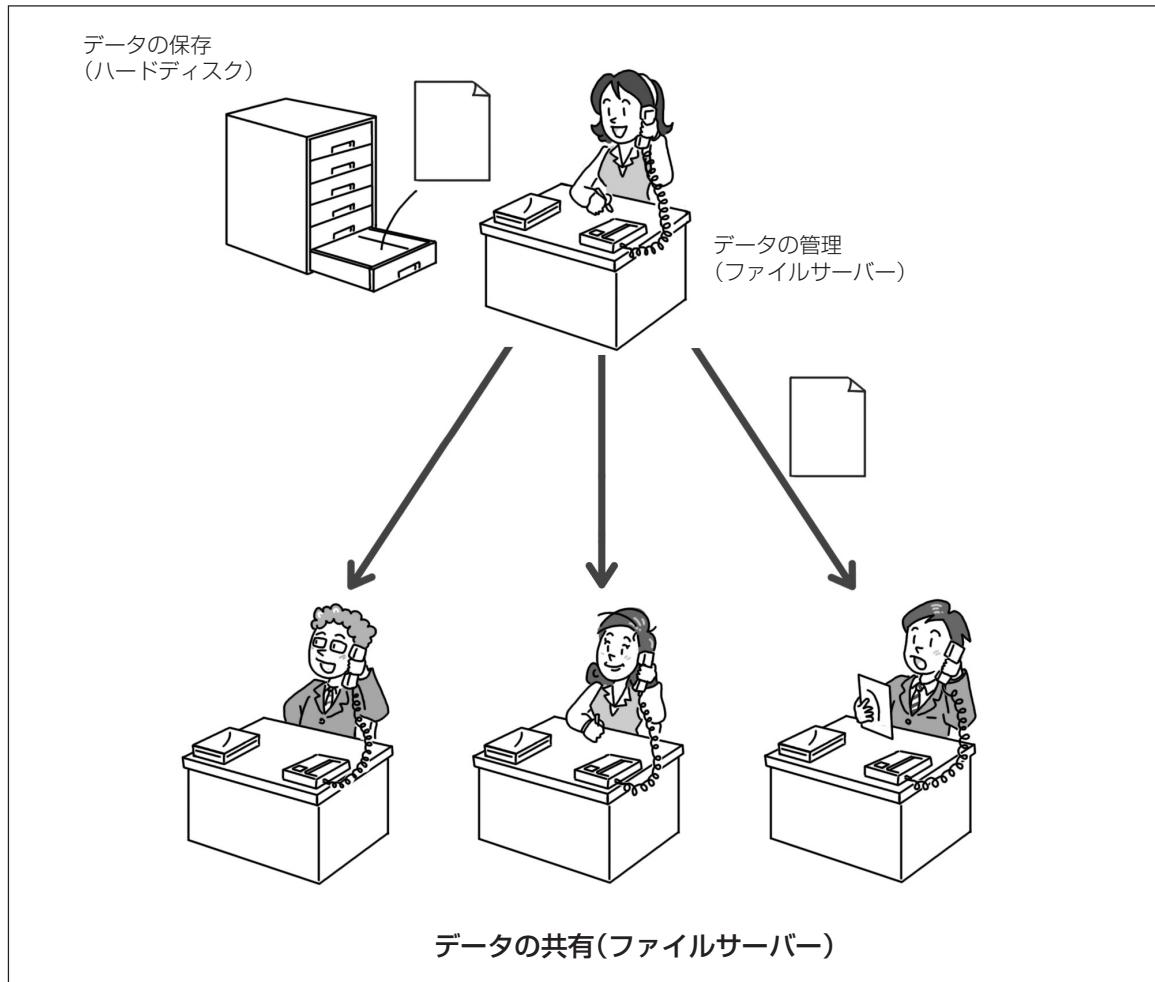
小規模なネットワークで1対1で情報のやり取りをしている限りは通信速度に問題はありません（1対1で情報のやり取りをする形態をピア・ツー・ピアと呼びます）。ネットワーク内のパソコンの数が増え、規模が大きくなってくると1対複数、複数対複数のパソコン同士でランダムに情報をやり取りし始めることになり、たちまち情報の「渋滞」になりスムーズな情報のやり取りができなくなってしまいます。

また本来パソコンは文書を作ったり計算したりするための装置です。言い換えればパソコンは情報を「加工する」装置です。いくら1対1で情報のやり取りをしていてもパソコンの処理能力にも限界があります。ワープロ作業を並行しながらのネットワーク処理では装置本来の処理能力は活かすことはできません。

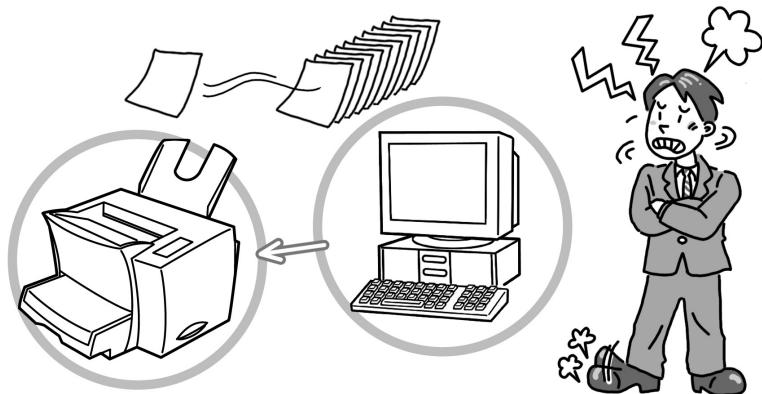
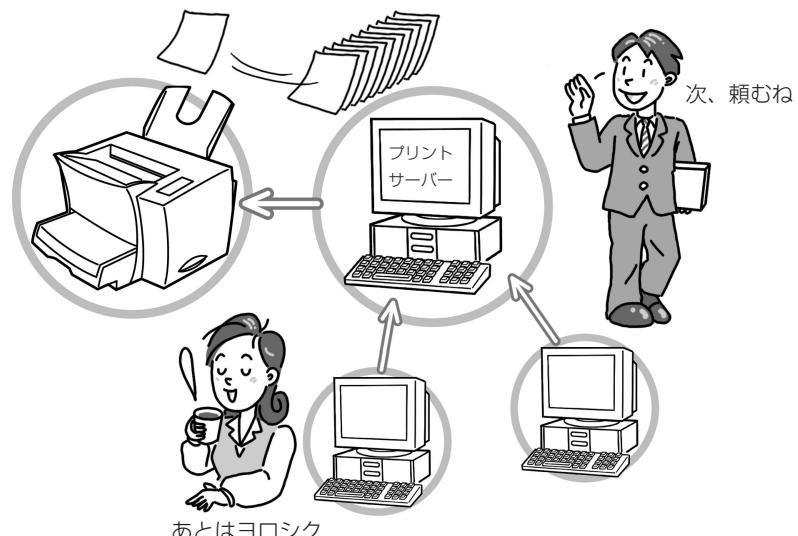
この問題はネットワーク内に情報のやり取りを一手に引き受けるパソコンを設けることで解決されます。このネットワークの仕事を専門にやらせるためのパソコンを「サーバー」と呼んでいます。このネットワークの形態を1対1の接続形態「ピア・ツー・ピア」に対して「クライアント・サーバー（システム）」といいます。

一般的にサーバーと呼ばれるものにはファイルサーバー、プリントサーバー、メールサーバーなどがあります。

ファイルサーバーとは？

一つのデータをネットワーク内の人たちで利用することを「データを共有する」といいます。一つの場所（ハードディスク）にデータを保存しておき、共有を希望する人に対して利用を許可したり、拒否したりして管理・処理するパソコンをファイルサーバーといいます。つまり「ハードディスクを共有させる」パソコンです。

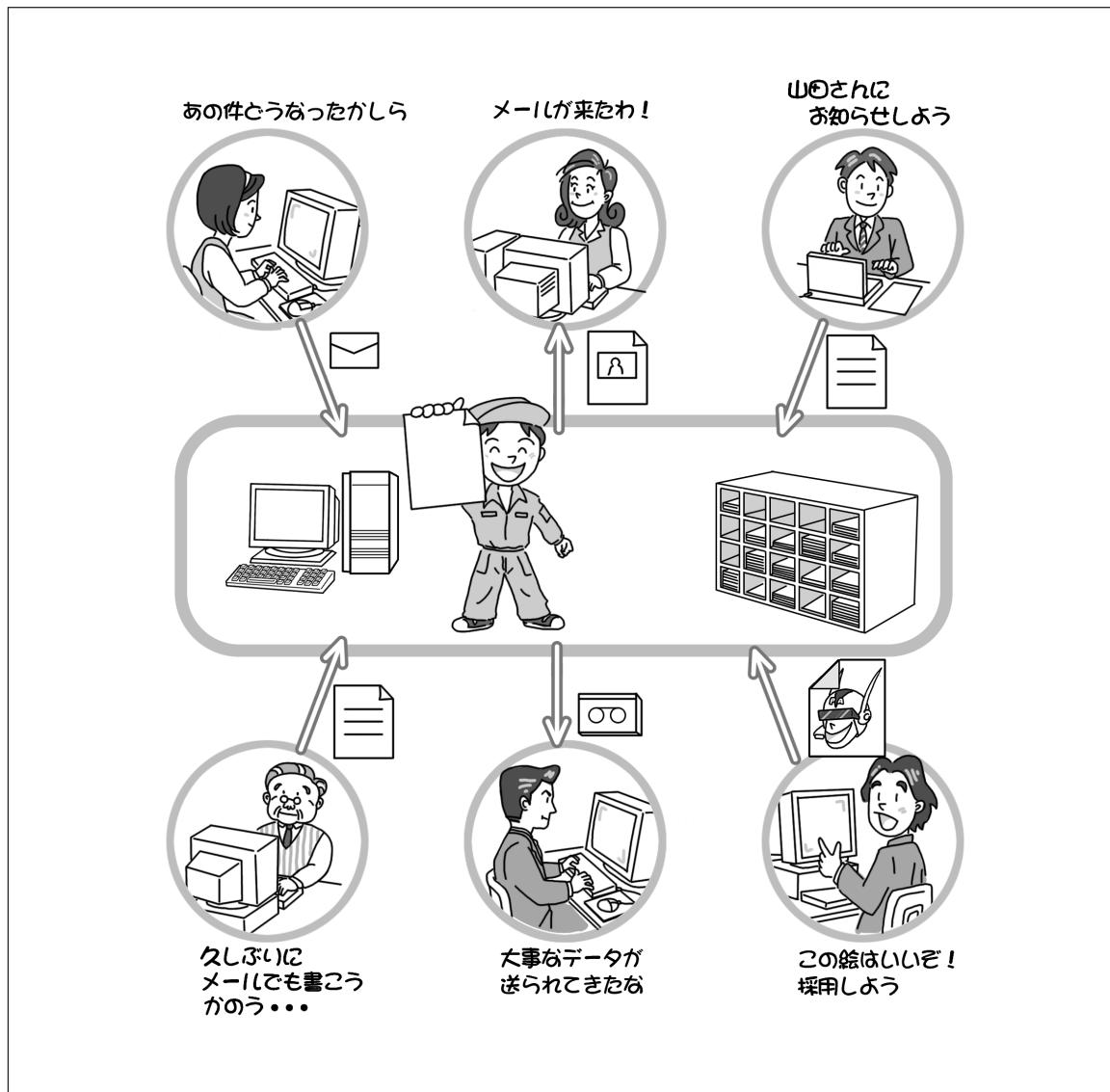
データの共有（ファイルサーバー）

プリントサーバーとは？

「ハードディスクを共有させる」パソコンに対して「プリンターを共有させる」ためのパソコンをプリントサーバーと言います。1台のパソコンに1台のプリンターをつないで利用している場合(この形態をローカル接続といいます)パソコンはプリンターが最後の用紙を出し終えるまで処理を続けなければなりません。

プリントサーバーはこの処理を一手に引き受けます。プリントサーバを設けると、印刷するために利用者は印刷データをプリントサーバーに送るだけで済みます。あとはプリントサーバが引き継いでくれるので利用者のパソコンは負担が軽くなり、時間の節約にもなります。

メールサーバーとは？

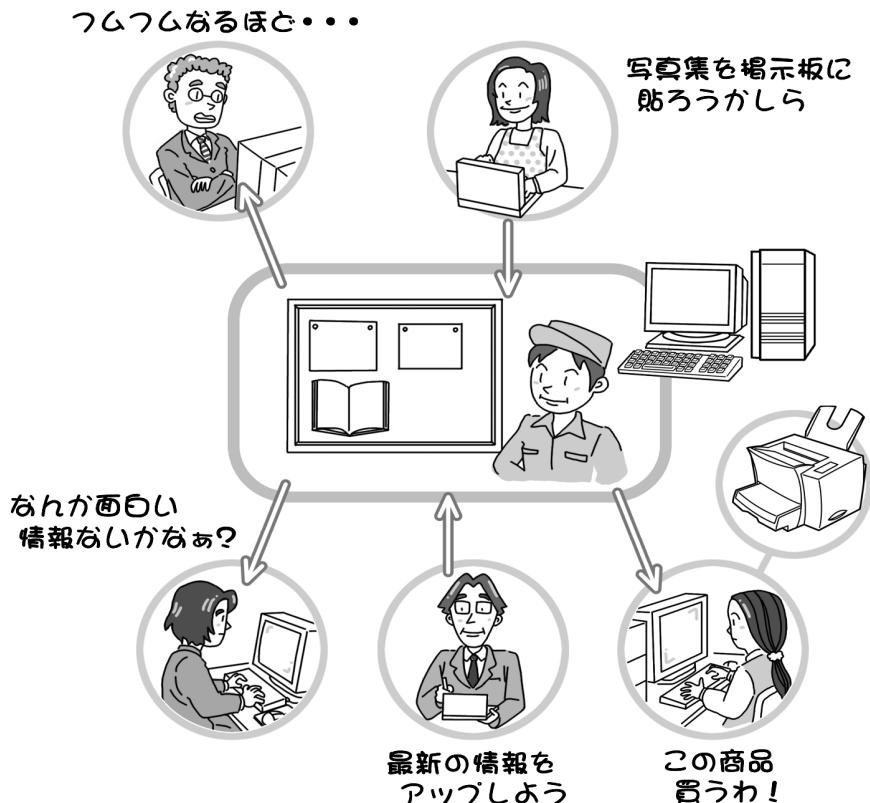
ネットワークの中でメッセージのやり取りを専門に管理・処理するコンピューターを「メールサーバー」といいます。ネットワーク内のパソコンはすべてケーブルでつながっているので、ネットワーク内であればパソコンを使ってお互いメッセージを交換することができます。従来の郵便、電話、ファクスに代わるもので一般的に「電子メール」などと呼ばれている電子的な通信手段です。

電子メールの利点は郵便に比べてはるかに速く届くこと、電話のように相手の都合に合わせる必要がないことなどです。また画像も電子データとして送れますのでファクスのような画質の劣化がありません。さらに動画、音声なども送ることが可能です。

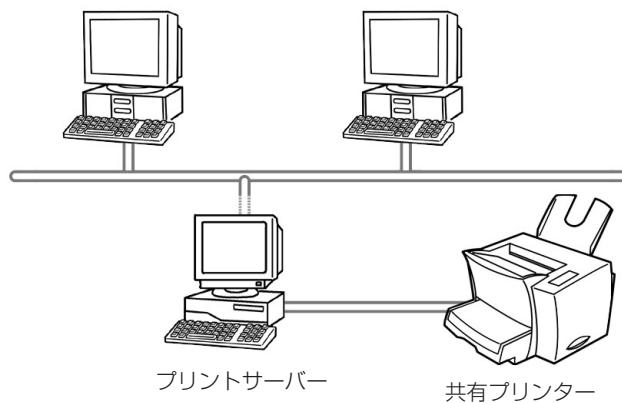
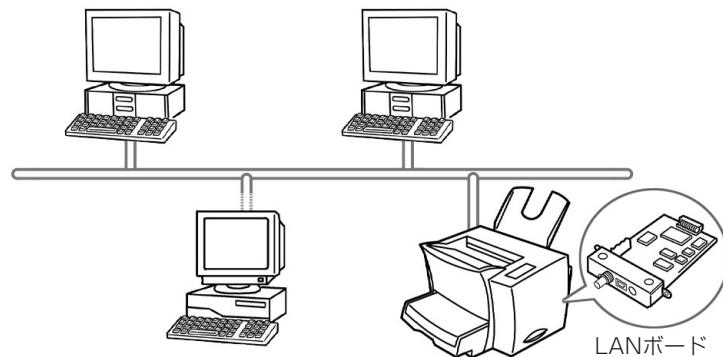
ネットワークを使った通信システムでは、このようなメッセージ(電子メール)は直接、相手のパソコンに送るのではなく、いったんある特定のパソコンに送られます。そして送り先のパソコンがアクセスしてきたときにメッセージを渡す。このような手順でメッセージは伝えられます。この「集配センター」のような役目をするパソコンがメールサーバーです。

Webサーバーとは？

相手を決めたメッセージのやり取りが電子メールですが、いわば不特定多数の人々に対して情報を発信・受信できるシステムもあります。これは一般的にWWW（World Wide Web）と呼ばれるシステムで地球レベルのネットワーク「インターネット」で利用できる機能として知られていますが、 小規模なネットワークでも利用可能な機能です。

WWWはNetscape NavigatorやInternet Explorerといったブラウザーと呼ばれるソフトウエアを使ってネットワーク上に公開されている情報を検索・閲覧するものですが、この情報を公開する「電子掲示板」的役目をするパソコンをWebサーバーと呼びます。

MultiWriterの機能のひとつに「Web PrintAgent」というものがあります。これは従来のプリンターソフトウエアを使わなくてもブラウザーを使ってプリンターの状態、設定の更新などができるようにしたものです。ネットワークにWebサーバーを設置すればこの機能が利用できます。つまりこの機能を使うと「インターネット」レベルでMultiWriterをコントロールできるようになります。

LANプリンターとは？

プリンターをネットワークで使えるようにするためには2通りの方法があります。一つはプリントサーバーとなるパソコンに直接つないで共有設定をする方法です。もう一つはプリンターをパソコンと同じようにそのままネットワークに直接、接続する方法です。ネットワークに接続するためにはパソコンと同様にネットワーク用のケーブルとLANボード(LANアダプター)が必要です。このような形態で接続されたプリンターをLANプリンターといいます。

LANプリンターは直接ネットワークに接続できるので設置場所に制約を受けません。同じネットワーク内のパソコンならプリンターと直接つながっていなくてもプリンターを共有設定にすることができます。

＊ LANプリンターはそのまま共有プリンターではありません。LANプリンターとは単にLANボードを使ってネットワーク接続されたプリンターのことを言います。PrintAgentの画面ではNEC製LANボードを使ってネットワーク接続されているLANプリンターを他と区別して「NECプリントサーバ」と表示させています(91ページ「プリンタ管理ユーティリティ」参照)。

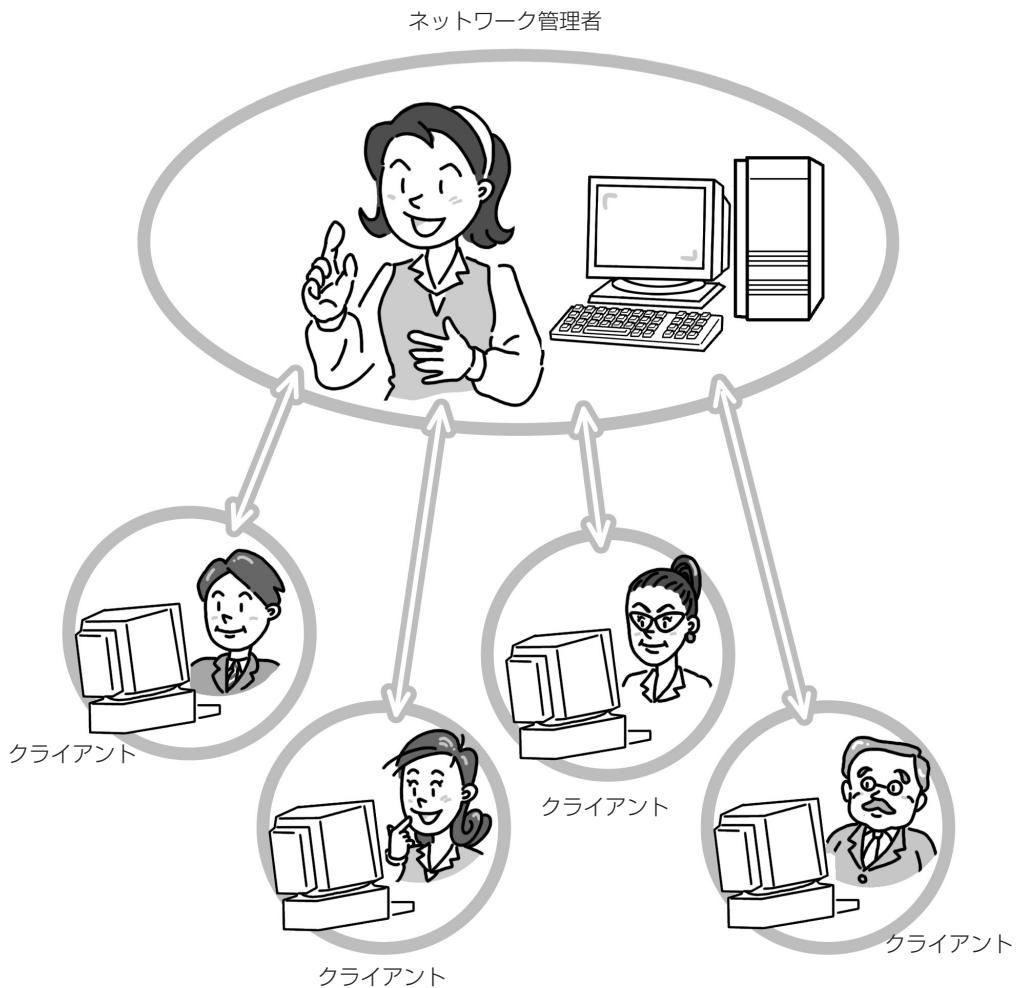
ネットワーク管理者とは？

ネットワークではパソコン、ネットワークOS、ケーブル、LANボードの4要素さえあればメーカー、機種問わずデータやプリンターを共有することができます。しかしそのためには一定のルールが必要です。たとえば新しくネットワークに参加するためにはネットワーク内での名前（ユーザーID）、サーバーにアクセスするための暗証番号（パスワード）などが必要です。

ネットワーク管理者はこれらのIDを発行する権利を持ち、ユーザーがネットワークをスムーズに利用できるようネットワークを設定・管理します。ネットワーク管理者はその他、共有の機器（ハードディスクやプリンターなど）を安全に管理するための機能を利用する特権を持っています。設定の内容上サーバーを管理する人はネットワーク管理者になる例がほとんどです。

システム管理者、アドミニストレーター（Administrator）と呼ばれることもあります。

クライアントとは？

ネットワーク管理者に対してネットワークを利用するユーザーのことを、こう呼びます。単にユーザー、ネットワーク利用者と呼ぶこともあります。

プロトコルとは？

パソコン、ネットワークOS、ケーブル、LANボードの4要素さえあればメーカー、機種を問わずネットワークに参加できることは前に述べたとおりです。加えてネットワーク管理者から発行されたIDを使って共有の資産を利用できるようになるのですが、さらにネットワーク上で使う通信（データのやり取り）方法の共通化が必要になります。

これは人間同士のコミュニケーションに例えれるなら英語や日本語などの言語にあたります。ネットワーク内でコミュニケーションするためには同じプロトコルを使わなければなりません。

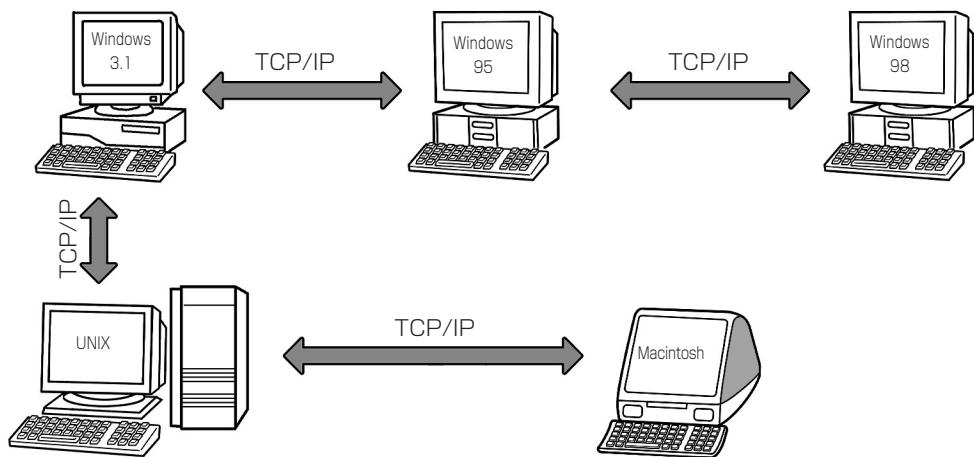
代表的なプロトコルにはTCP/IP、NetBEUI（ネットビューと読みます）、IPX/SPX、AppleTalkなどがあります。どのプロトコルを使うかは実際使われるネットワークOS、LANボードによって異なります。

コミュニケーションには共通の言語（プロトコル）が必要

共通の言葉（プロトコル）を使ってスムーズなコミュニケーション（ネットワーク）

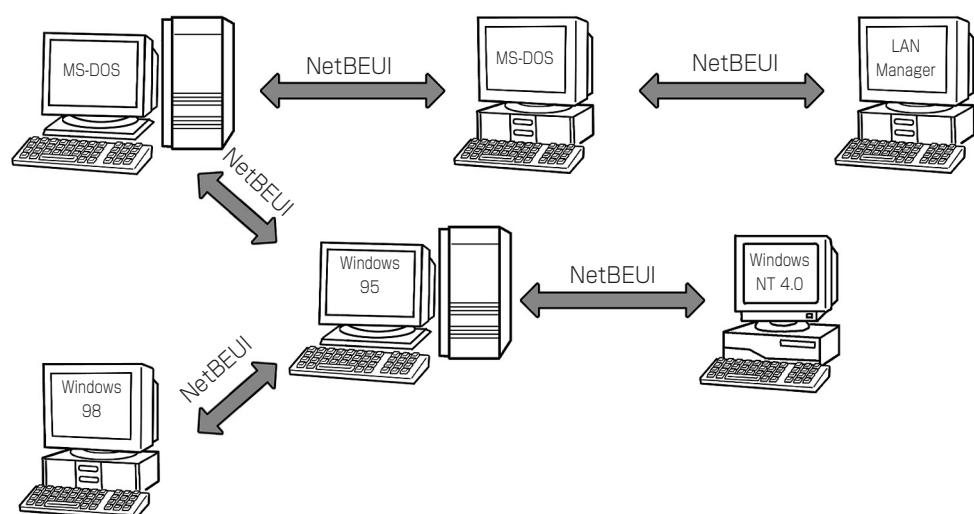
TCP/IPとは？

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略でインターネットなど大規模なLANに適したプロトコルです。 最近のパソコンではOSに標準で添付されているのでもっとも普及されているプロトコルの一つといっていいでしょう。Windows 3.1からMacintosh、UNIXまで広く利用されています。

MultiWriter 1250をTCP/IPプロトコルで利用するにはマルチプロトコルLANボード（型番：PC-PR-L01、PC-PR-L02）、LANボード（型番 ：PR-NP-01T2）、LANアダプター（型番：PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2）のいずれかが必要です。

事実上の標準プロトコル＝TCP/IP

NetBEUIとは？

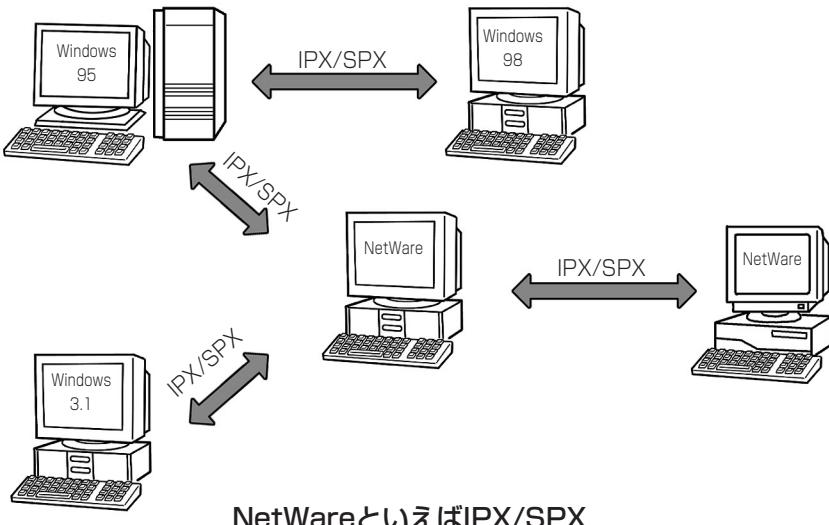
NetBIOS Extended User Interfaceの略でWindows 95/98、Windows NT ServerなどMicrosoft社のOSに標準で添付されているプロトコルです。ピア・ツー・ピアのネットワーク形態に適したプロトコルの一つです。IBM社によって開発されたMS-DOSを使ったパソコンの通信ルール「NetBIOS」を元にしているためMS-DOS環境では広く普及しています。

MultiWriter 1250をNetBEUIプロトコルで利用するにはマルチプロトコルLANボード（型番：PC-PR-L01またはPC-PR-L02）が必要です。

Windowsを使ったピア・ツー・ピアといえばNetBEUI

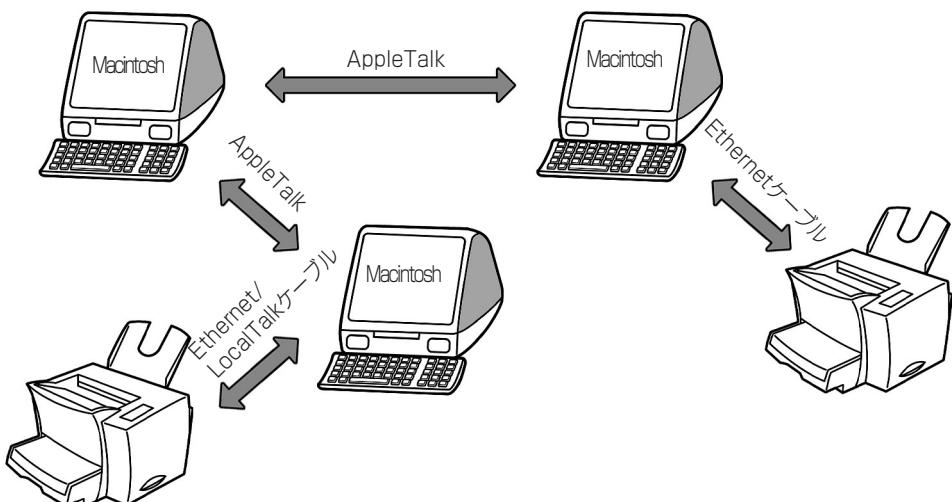
IPX/SPXとは？

Internetwork Packet eXchange/Sequenced Paket eXchangeの略。ノベル社の開発したネットワークOS「NetWare」プロトコルとして採用されているプロトコルです。クライアント・サーバ・システム、ピア・ツー・ピアともに対応し、パソコンLANでは標準的なプロトコル。

MultiWriter 1250をIPX/SPXプロトコルで利用するにはマルチプロトコルLANボード(型番：PC-PR-L01またはPC-PR-L02)が必要です。

NetWareといえばIPX/SPX

AppleTalkとは？

Apple社が開発したMacintosh専用のプロトコル。Macintosh同士ならLANボードは不要でケーブルをつなぐだけでピア・ツー・ピアのネットワークが可能です。

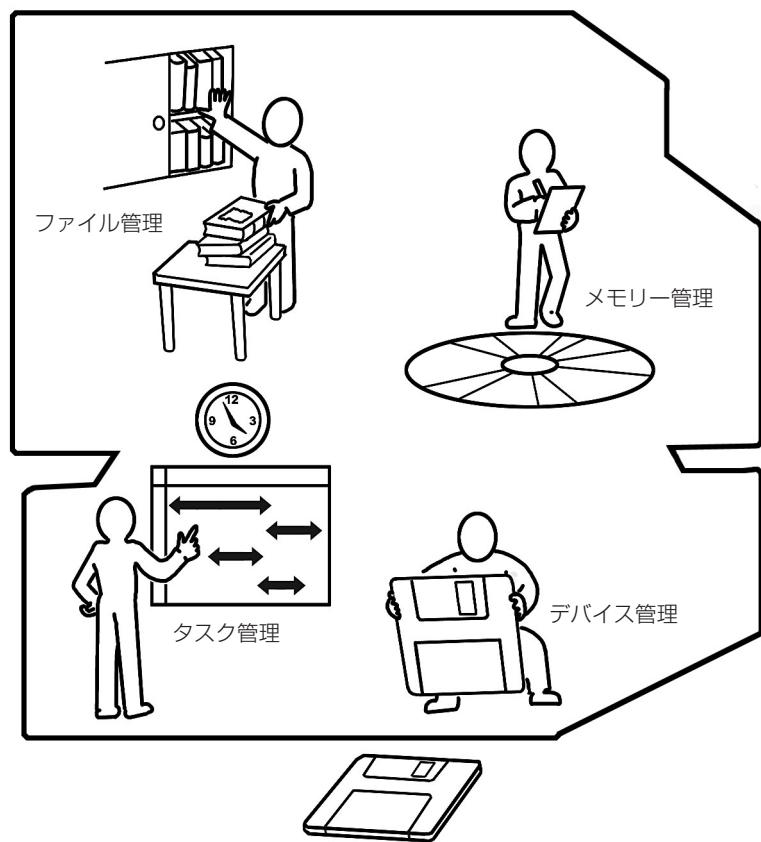
MultiWriter 1250をAppleTalkプロトコルで利用するにはマルチプロトコルLANボード(型番：PC-PR-L01)が必要です。

OSとは？

Operating Systemの略でオペレーティングシステムといいます。コンピューターの基本的な操作環境を提供するソフトウエアのこと。基本ソフトとも呼ばれます。OSの仕事は主に次の4つです。

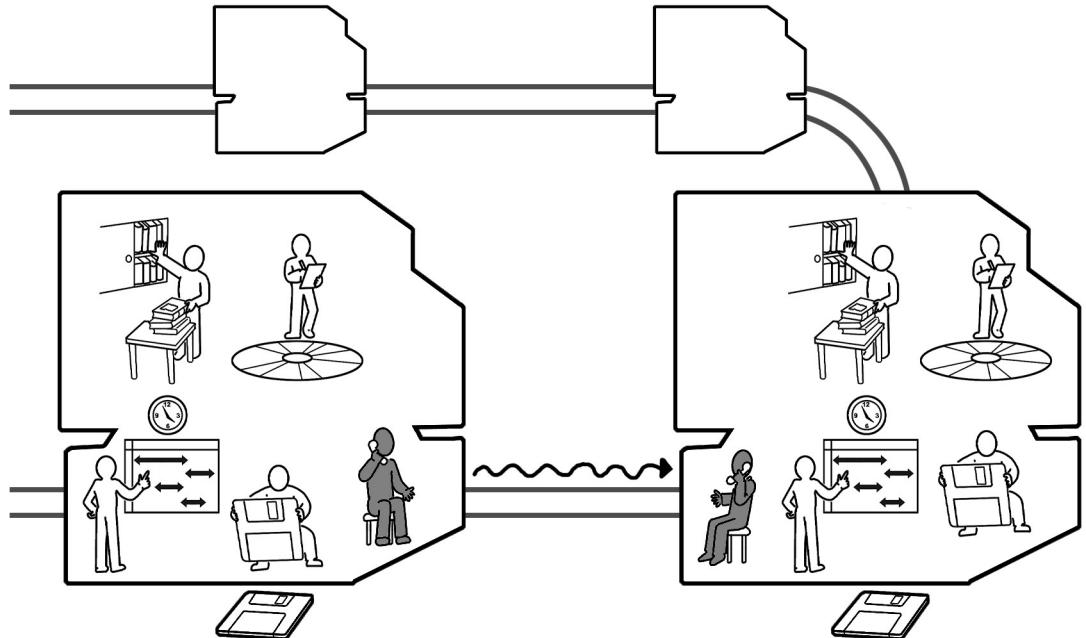
ファイル管理	ハードディスクなどへデータを記録・管理する。
メモリー管理	アプリケーションが使うメモリー領域を割り当てる。
タスク管理	ソフト実行の順序・優先度を管理する。
デバイス管理	入出力(キーボード、マウス、プリンター、スキャナーなど)の制御。

コンピュータはOSがなければ動作しません。代表的なパソコンのOSとしてはMS-DOS、Windows *、Mac OS、UNIXなどがあります。

これら基本ソフトに対してワープロや表計算など目的ごとに作られたソフトをアプリケーション(ソフト)と呼びます。

* Windows 3.1、Winsdows 95、Windows 98、Windows NT 4.0などを含む。

OSの主な仕事

ネットワークOSとは？

ネットワークで使われることを意識してOSにネットワークに関する機能を追加したソフトウエア。代表的なものにNetWareやWindows NTなどがあります。Windows 95/98やMac OSなどもピア・ツー・ピアのネットワーク機能なら標準で備えているのでネットワークOSのひとつといえます。特に基本ソフトを意識するなら「基本OS」、ネットワークを意識するなら「ネットワークOS」と呼び分けることがあります。

ネットワークOSはネットワーク機能を追加したOS

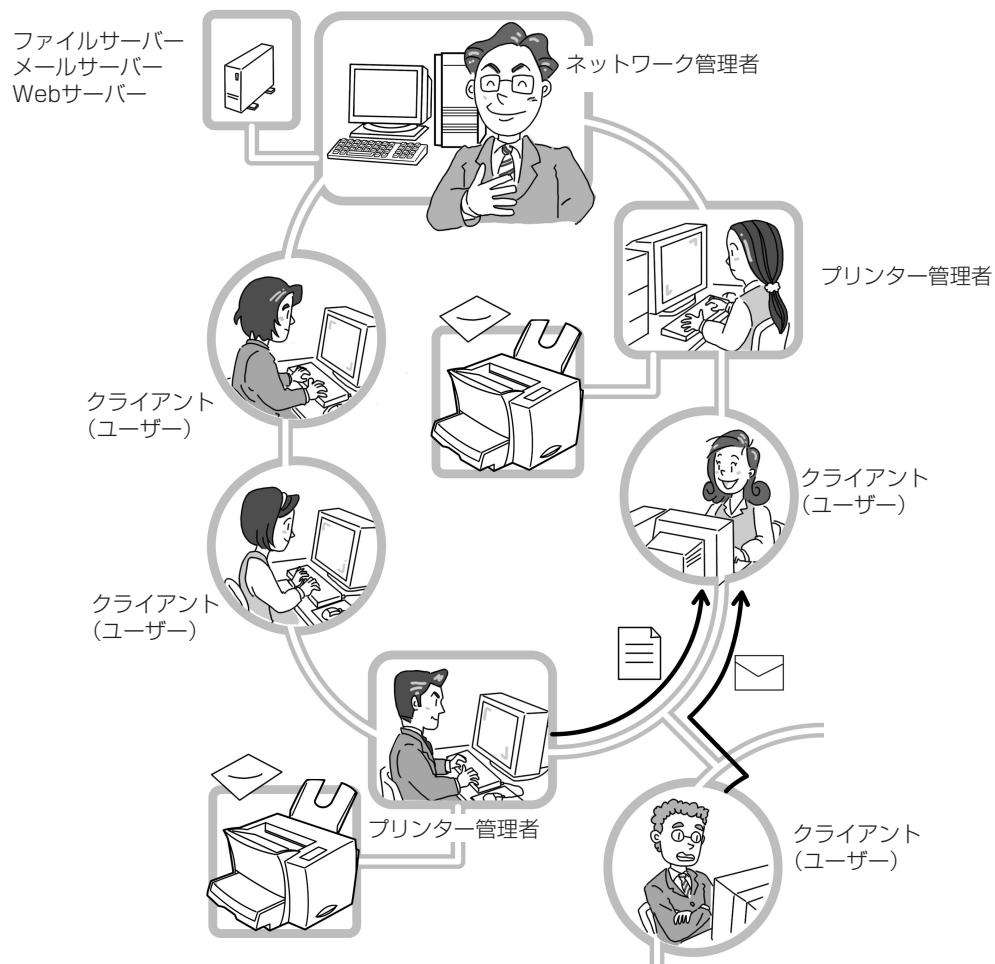
ソフトウエアをインストールする前に

プリンター管理者とは？

MultiWriterは印刷統合ソフト「PrintAgent」を使ってプリンターの色々な設定を変更することができます。だからといって皆が利用するプリンターの設定をそれぞれユーザーが無秩序に変更していては大変なことになってしまいます。

ネットワークにネットワーク管理者がいるようにプリンターにはプリンター管理者が必要です。プリンター管理者はネットワーク管理者と同様にプリンター設定に関する色々な特権を持ち、MultiWriterを利用するユーザーのために調整・管理の業務にあたることができます。

プリンター管理者は必ずしもネットワーク管理者である必要はありません。プリンターソフトウエアをインストール時に「管理者」を選択すれば誰でもプリンター管理者になることができます。ただMultiWriterはネットワークで使用することによって威力を発揮するプリンターですからネットワークに関する多少の知識は必要ですし、時にはネットワーク管理者の方との相談も必要になるでしょう。もちろん、ネットワーク管理者の方がプリンター管理者も兼ねることには問題ありません。

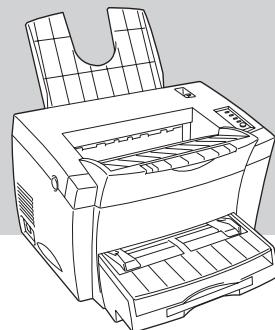
実際のインストール画面では一般の利用者のために[標準]ボタン、プリンター管理者のために[管理者]ボタンが用意されています。以上のことを考慮してインストールを始めるとよいでしょう。

Windows OSについて

MultiWriterは市販のものであれば、どのパソコンからもご利用になれます。そのためにはその環境に合わせたプリンターソフトウエアをインストールすることが必要です。NECでは現在一般的に使われていると思われる以下のMicrosoft社製OS「Windows」に合わせたソフトウエアをプリンターに添付しています。ご使用になっているOSの種類をご確認になってインストールを始めてください。

- Windows 98 日本語版
- Windows 95 日本語版
- Windows 3.1 日本語版
- Windows NT 4.0 日本語版
- Windows NT 3.51 日本語版

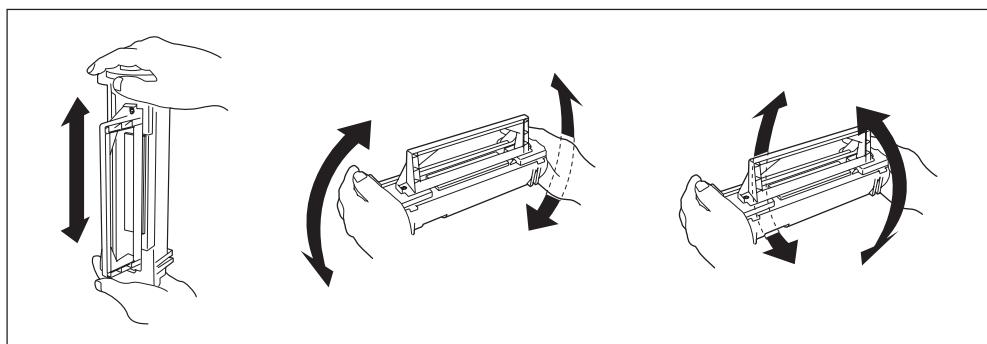
PrintAgentをご利用になっているコンピューターのOSを他のOSにアップグレードする際には、あらかじめPrintAgentをアンインストールする必要があります。*
OSアップグレード後、そのOS用のPrintAgentをインストールしてください。

* Windows 95からWindows 98にアップグレードする場合にはPrintAgentはそのままご利用できます。

日常の保守

トナーカートリッジの交換

印刷が薄くなったり、縦線の形状で白く印刷されない部分があったりなど、印刷に異常が見られるときは、トナーカートリッジ寿命です。トナーカートリッジを交換してください。

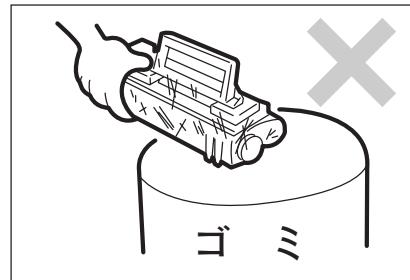
交換する前に

交換する前に使用中のトナーカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。

トナーカートリッジは取っ手を持って振らないでください。

もう一度セットしてテスト印刷をしてみてください。印刷が状態が改善されていれば、そのトナーカートリッジをしばらくは使用することができます。それでも正常に印刷されなかった場合は、新しいトナーカートリッジに交換します。

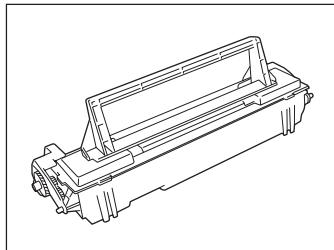
トナーカートリッジの回収と購入

回収について

NEC のトナーカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収しています。お手数ながら、お客様にはご使用後、古いトナーカートリッジをそのまま捨てずにお買い上げの販売店または、最寄りの NEC サービス網にお持ち寄りください。

購入について

新しいトナーカートリッジは、MultiWriter 1250 をお買い求めになった販売店、NEC Bit-INN、NEC マイコンショップなどでお求めになれます。

MultiWriter 1250専用のトナーカートリッジをお選びください。他のモデルに対応したトナーカートリッジは使用できません。

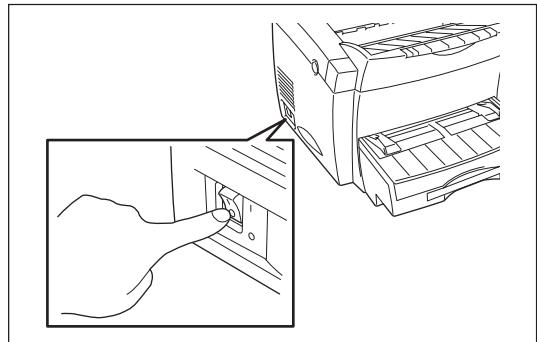
トナーカートリッジ（PR-L1250-11）

1個あたり、約6,000ページの印刷が可能なトナーカートリッジです。
MultiWriter 1250購入時に1個添付されています。

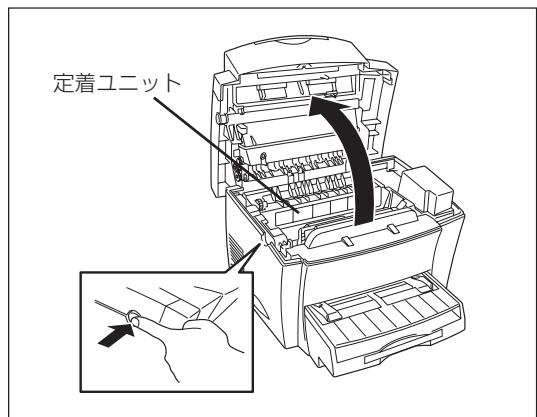
チェック

- トナーカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%で連続印刷を行ったときの値です。（161ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、ドラムカートリッジ寿命などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。

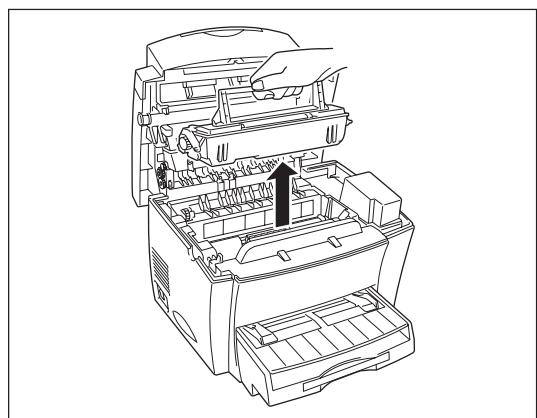
トナーカートリッジの交換手順

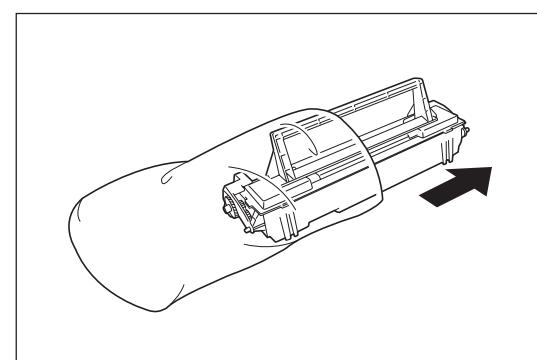
1. 電源スイッチをOFFにする。

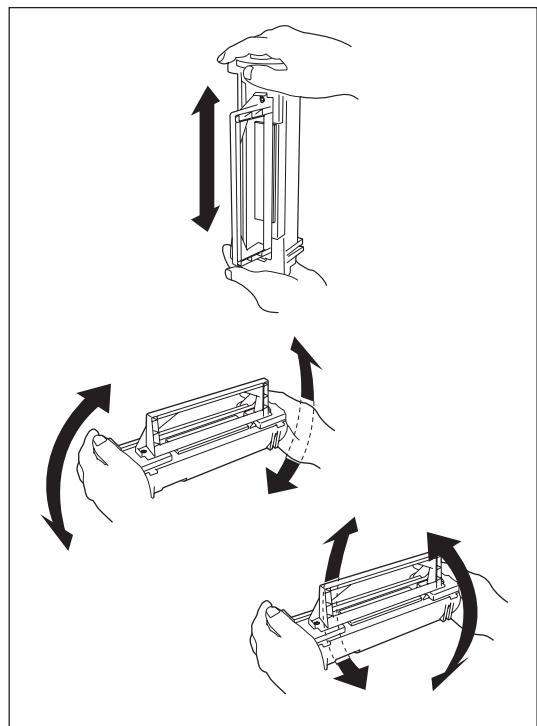
印刷可ランプが消灯します。

2. トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。

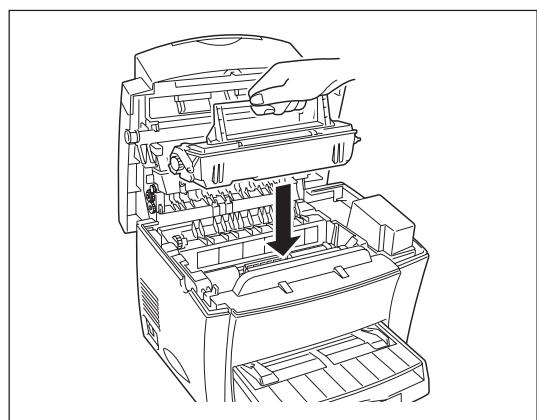
定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

3. 取っ手を持ち、使い終わったトナーカートリッジを取り出す。

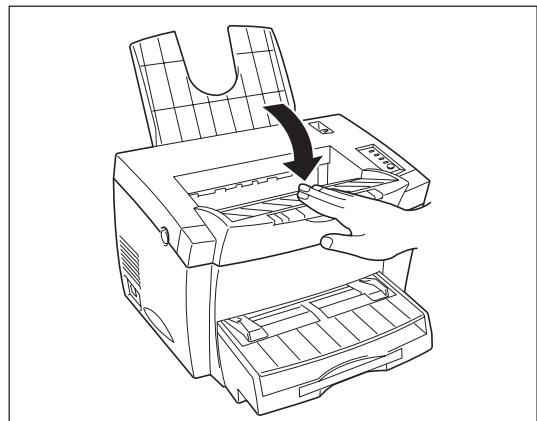
トナーカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しています。お手数ながら、お客様にはご使用後お買い上げの販売店または、お近くのNECサービス網にお持ち寄りください。

4. 新しいトナーカートリッジを袋から出す。

出した袋に使い終わったトナーカートリッジを入れて回収するまで保管しておいてください。

5. **トナーを均一にするため、水平に持って5〜6回程度、図に示す方向にゆっくり振る。**

このとき取っ手を持って振らないでください。

6. **溝に合わせてトナーカートリッジをプリンターにセットする。**

プリンター側の「2」（青色と緑色）とトナーカートリッジ側の「2」（青色と緑色）をそれぞれ合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。

7. **トップカバーを閉じる。**

カチッと音がするまで押し下げます。

6. **テスト印刷を実行する。**

「テスト印刷をする」（198ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

トナーカートリッジの寿命

プリンターに添付されているトナーカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約6000枚(PR-L1250-11使用時)になります(画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります)。

画像面積比5%の印刷例

トナーカートリッジの寿命について

本プリンターの消耗品の「トナーカートリッジ」の寿命は6000枚（A4，画像面積比5%）となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびトナーカートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンター（ドットインパクトプリンターや熱転写プリンターなど）では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンターのようなページプリンターでは、「何枚」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何枚」に変えた理由には、
① ページプリンターでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。
の２つがあります。

トナーカートリッジの寿命を決定するものの１つに、その内部に収容されているトナー（インクに相当するもの）の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、トナーカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです）。

従って、「枚数」で寿命を考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

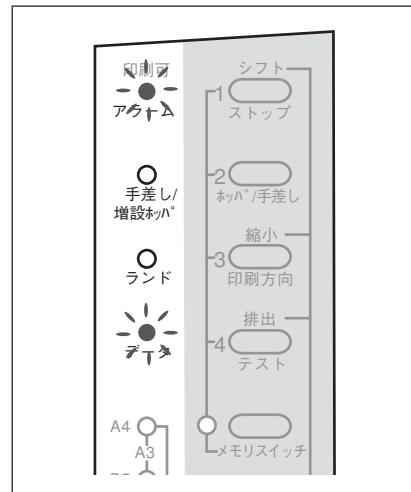
１ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。１ページの中に黒い部分（印刷）がまったくない状態が0%、まっ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、トナーカートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、6000枚印刷する前にトナーカートリッジの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンターではトナーカートリッジの寿命が印刷枚数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

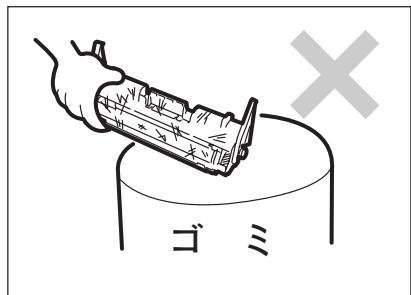
なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど印刷品質が低下し、アラームランプが次の様に点滅します。アラームランプが点滅したら、ドラムカートリッジを交換してください。

交換の際にはMSW10-4のドラムカートリッジ寿命検出用カウンターをクリアしてください。

ドラムカートリッジの回収と購入

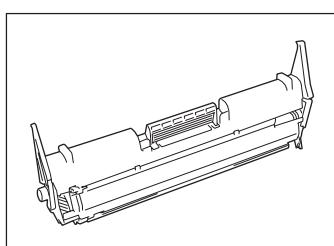
回収について

NECのドラムカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収しています。お手数ながら、お客様にはご使用後、古いドラムカートリッジをそのまま捨てずにお買い上げの販売店または、最寄りのNECサービス網にお持ち寄りください。

購入について

新しいドラムカートリッジは、MultiWriter 1250をお買い求めになった販売店、NEC Bit-INN、NECマイコンショップなどでお求めになれます。

重要

MultiWriter 1250専用のドラムカートリッジをお選びください。他のモデルに対応したドラムカートリッジは使用できません。

ドラムカートリッジ（PR-L1250-31）

1個あたり、約20,000ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。
MultiWriter 1250購入時に1個添付されています。

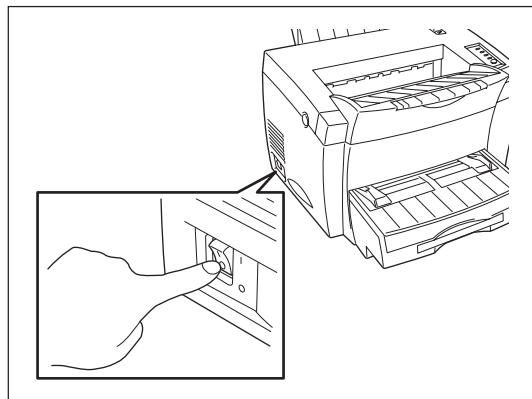
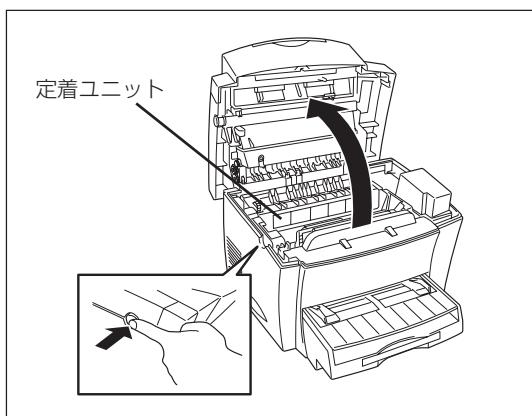
- ドラムカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%で連続印刷を行ったときの値です。（161ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。

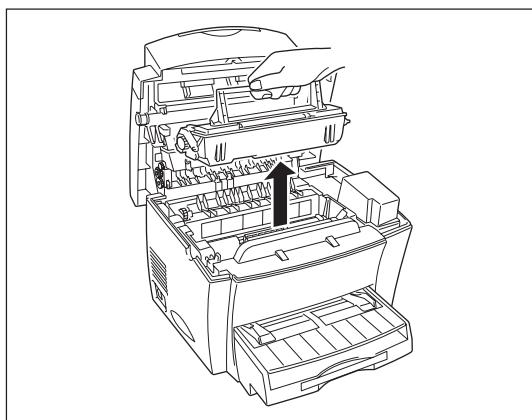
ドラムカートリッジの交換手順

1. 電源スイッチをOFFにする。

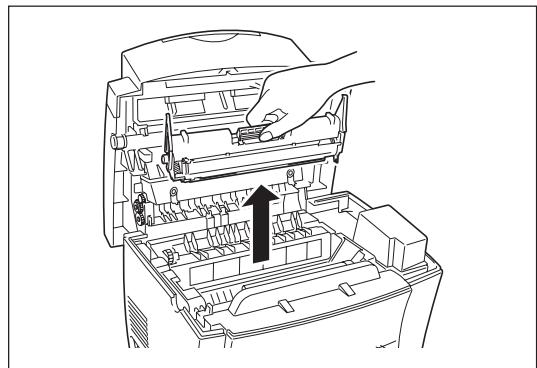
印刷可ランプが消灯します。

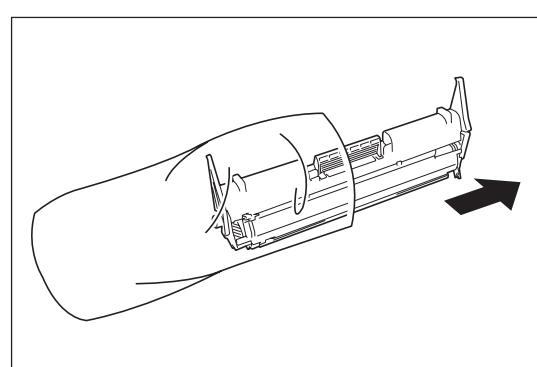
2. トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。

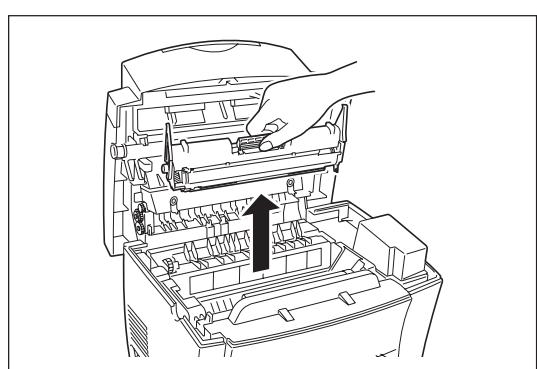
⚠ 注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

3. トナーカートリッジを取り出す。

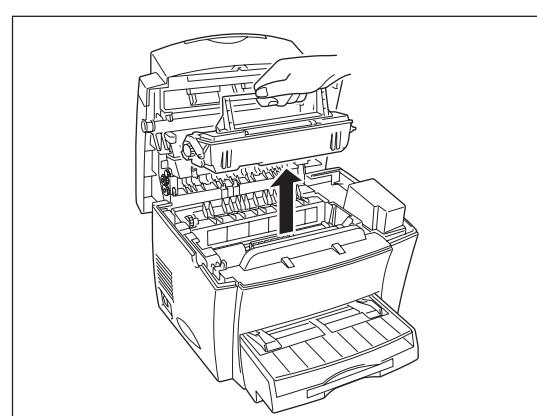
トナーカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。

4. 使い終わったドラムカートリッジを取り出す。

ドラムカートリッジは斜めに持ち上げれば簡単に取り出せます。

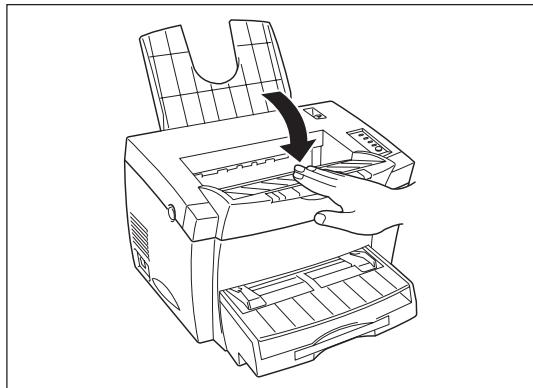
このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しています。お手数ながら、お客様にはご使用後お買い上げの販売店または、お近くのNEC サービス網にお持ち寄りください。

5. 新しいドラムカートリッジを袋から出す。

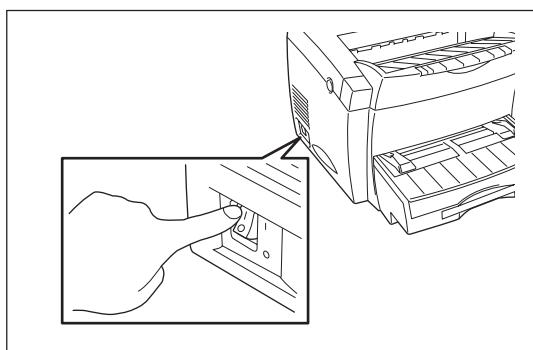
すぐにドラムカートリッジを入れ換え無い場合は、布などでドラムカートリッジを覆って感光しないようにしてください。
ドラムカートリッジを出した袋に使い終ったドラムカートリッジを入れて回収するまで保管しておいてください。

6. 溝に合わせてドラムカートリッジをプリンターにセットする。

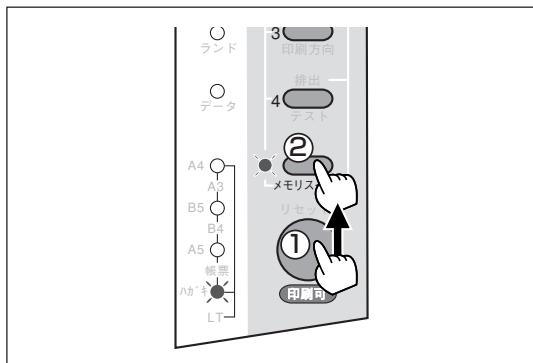
プリンター側の「1」(青色と緑色)とドラムカートリッジ側の「1」(青色と緑色)をそれぞれ合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。

7. 溝に合わせてトナーカートリッジをプリンターにセットする。

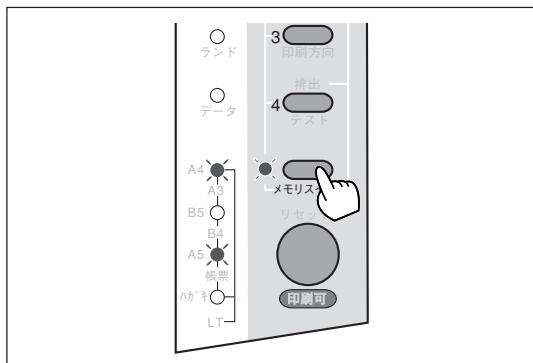
プリンター側の「2」(青色と緑色)とドラムカートリッジ側の「2」(青色と緑色)をそれぞれ合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。

8. トップカバーを閉じる。

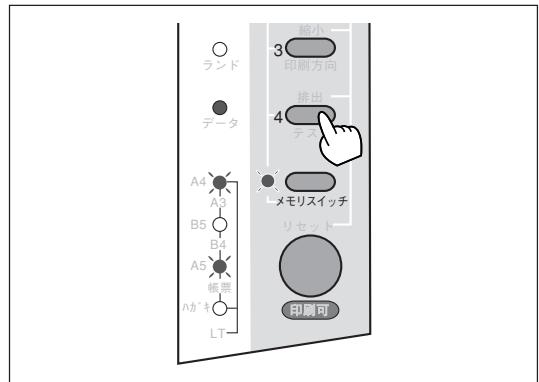
カチッと音がするまで押し下げます。

以上でドラムカートリッジの取り付けは完了です。次に、以降の手順でドラムカートリッジ寿命検出用カウンターをクリアします。

9. プリンターの電源を入れる。

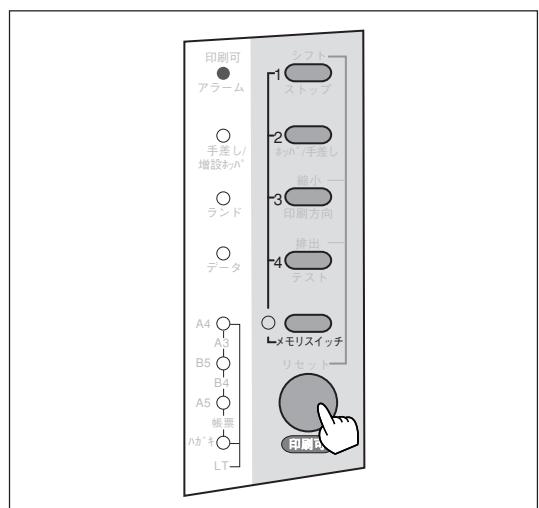
すべてのランプが一度点灯し、20秒ほどで印刷可ランプ以外は消灯します。

10. メモリースイッチ設定モードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メモリスイッチ]を2秒以上押してメモリスイッチランプを点滅させます。

11. [メモリスイッチ]を9回押す。

メモリスイッチランプと用紙ランプが次のように点滅します。

12. MSW10-4をONにする。

[4]スイッチを押してその横のランプを点灯させます。

13. [印刷可]スイッチを押す。

メモリースイッチ設定モードを抜けて印刷可ランプが点灯します。

✔チェック

ドラムカートリッジ交換後は必ずメモリースイッチ設定モードに入り、ドラムカートリッジ寿命検出用カウンターをクリア(MSW10-4をON)にしてください。クリアしない場合は、寿命アラームが出続けたり、正確な寿命アラーム検出ができなくなります。

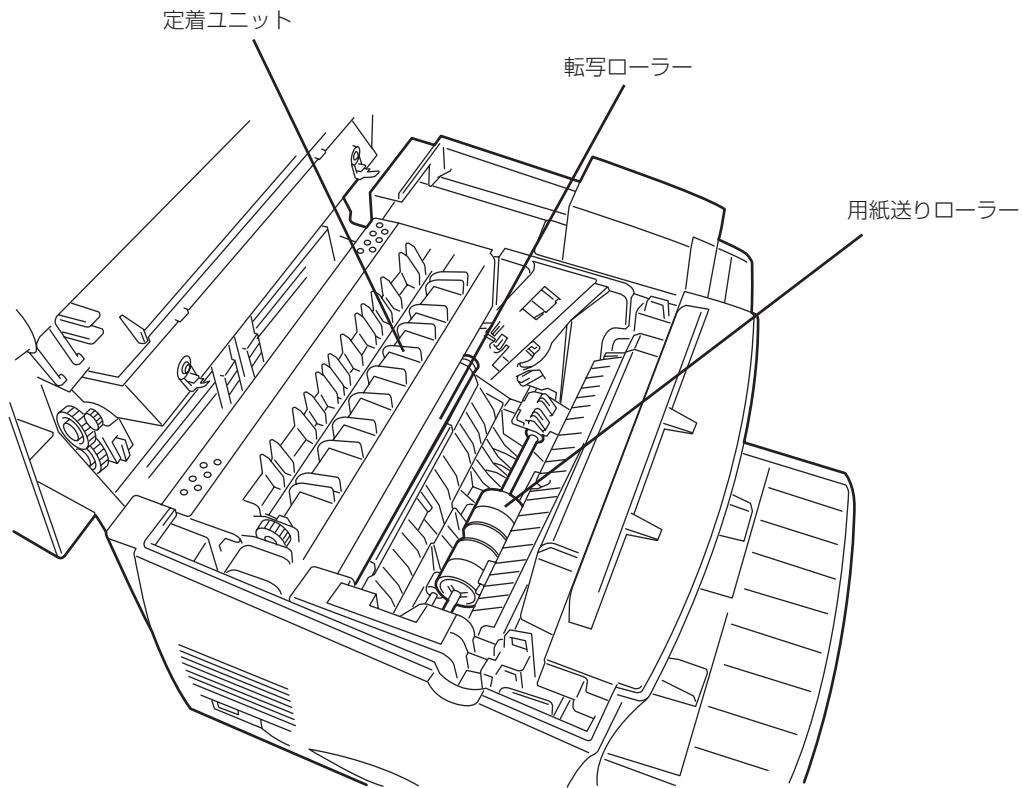
清　掃

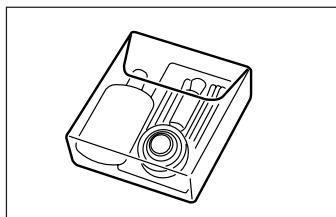
清掃箇所と清掃時期

次に清掃する場所について示します。以下の図はトップカバーを開けてトナーカートリッジとドラムカートリッジを取りだしたときのプリンター内部です。

定着ユニット

転写ローラー

用紙送りローラー

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。

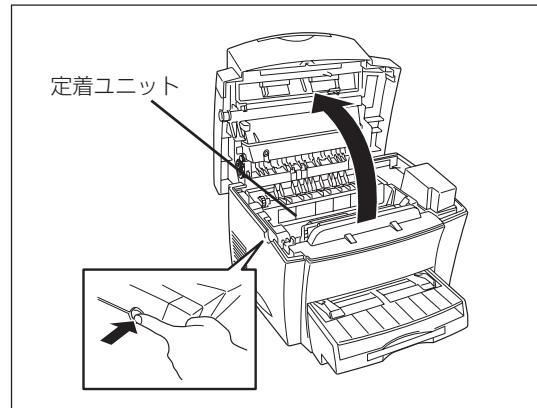
クリーニングキット（PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

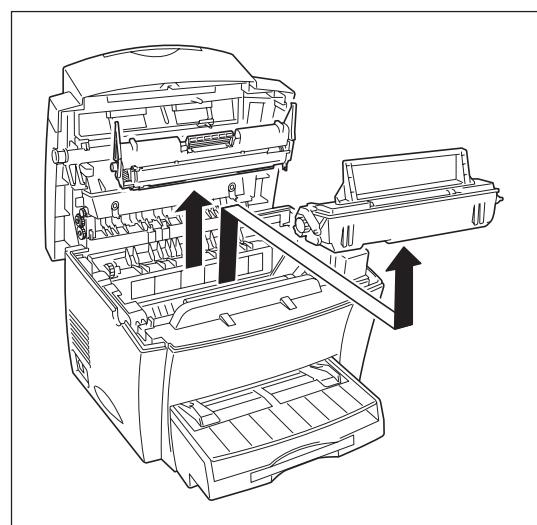
清掃手順

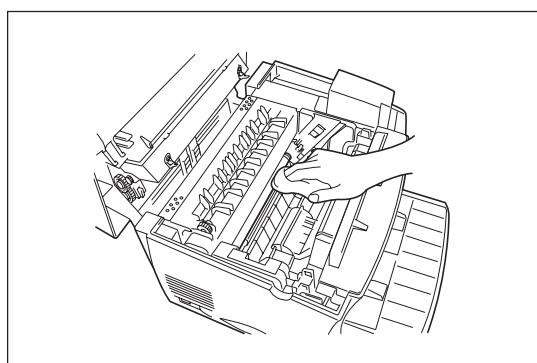
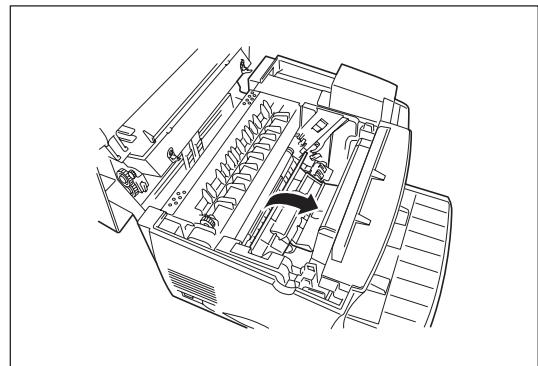
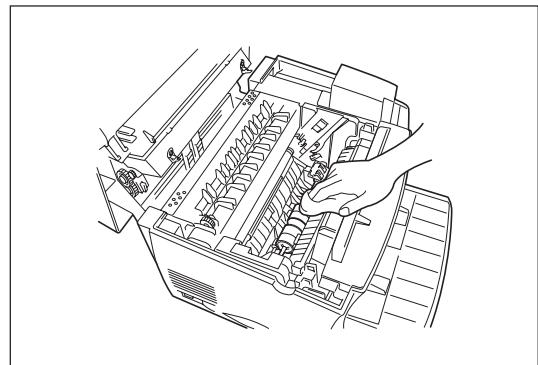
⚠注意

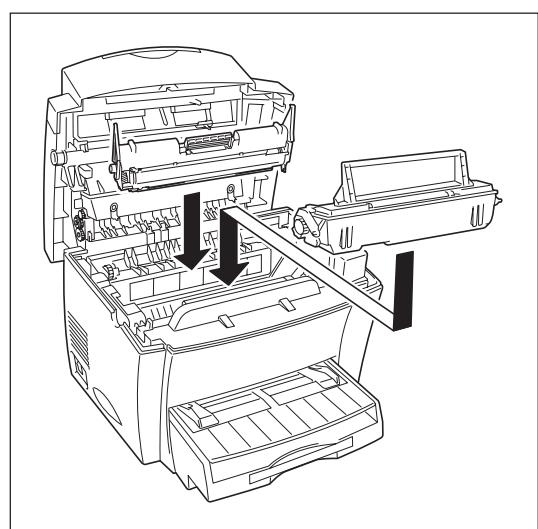
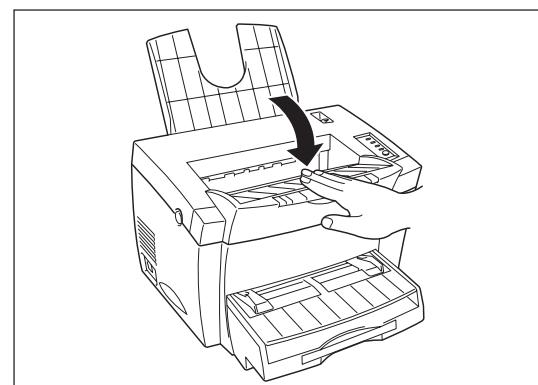
清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

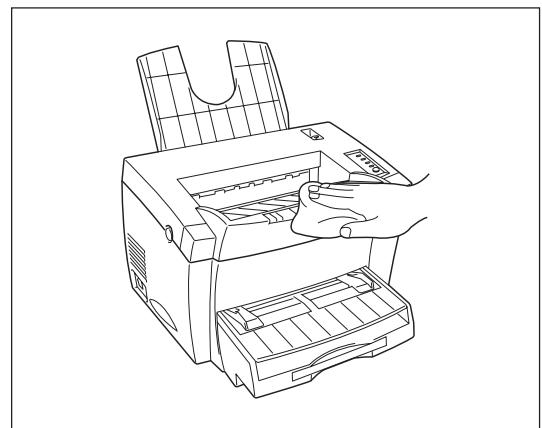
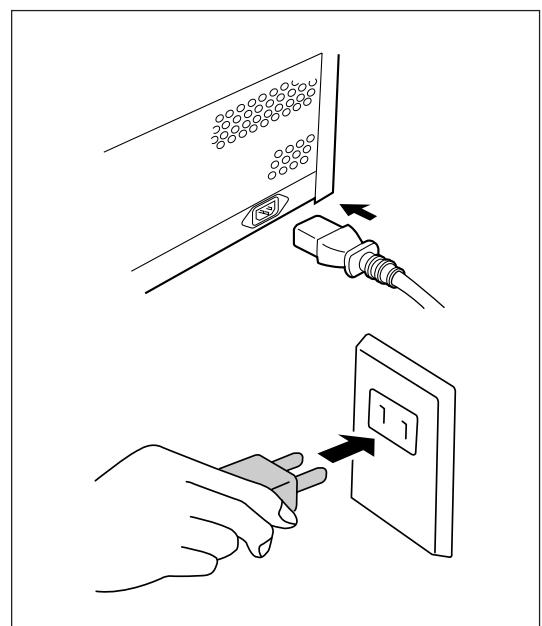
1. トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。

2. トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す。

ドラムカートリッジは布などをかぶせて感光させないようにしてください。

3. やわらかい布等で転写ローラーの汚れを軽く拭き取る。

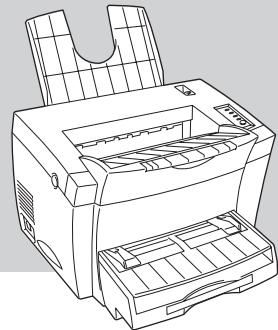
駆動ギアを回しながらローラーを拭いてください。

4. **プリンター底の用紙送りローラーカバーを開ける。**

5. **やわらかい布等で用紙送りローラーの汚れを軽く拭き取る。**

6. **トナーカートリッジとドラムカートリッジを本体に再びセットする。**

ドラムカートリッジは「1」(青色と緑色)、トナーカートリッジは「2」(青色と緑色)をそれぞれプリンター側の番号と合わせて、カチッと音がするまで押し込んでください。

7. **トップカバーを閉じる。**

8. 外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取る。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませてた布で拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー等はプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。

9. プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。

10. プリンターの電源を入れ、テスト印刷をする。

198ページを参照してテスト印刷をしてください。

故障かな?と思ったら

本章では「故障かな？」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな？」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「PrintAgentがおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」に分けて説明しています。

印刷がおかしいときは

プリンターの動作がおかしかったり、印刷結果が思うように出なかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンターが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては利用先のポート(LPT1:、COM1:など)に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのマニュアルを参照して、他のプリンターのポートを本プリンターと違うポートに変更するか他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのMSW4-1とMSW9-1がONになっている。** → Windowsから印刷を行う場合やPrintAgentの機能をご利用になる場合、MSW4-1をOFFにしてご利用ください。ただし、プリンターをPC-PTOSからお使いの場合は、MSW4-1をONにする必要があります。またこの時MSW9-1〜2とMSW11-3〜4の「双方向通信」が「ニブル」もしくは「ナシ」に設定されている必要があります。設定の変更を行った場合はプリンターの電源の再投入が必要です。

症　状	原因と処理方法
斜線の太さが均一でない （線の角度によって線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「使用する」になっている。** → リモートパネルまたはプリンタードライバーでSETの設定を「使用しない」にしてください。 SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → リモートパネル、プリンタードライバーまたはMSW7-1でトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。 ソフトウエアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → MSW1-3またはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「使用できる用紙について」(11ページ)を参照して、確認してください。 MultiWriter 1250のようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターとMultiWriter 1250との間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL (Level2) 対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。
データランプが点灯したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがない。** → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、MSW3-3またはリモートパネルで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。

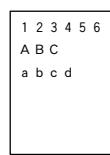
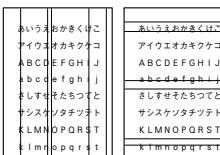
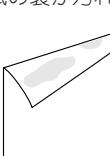
症　状	原因と処理方法
データランプが点灯したまま印刷を開始しない（続き）	**コンピューターからのデータ送信が途切れている。** → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない、または、1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** → MSW3-3またはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** → MSW1-4またはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 5 1 2 3 4 E A B C D e f a b c d 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** → ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、MSW1-3またはリモートパネルを使ってにしてA4ポートレート桁数を80桁にしてください 。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 → MSW1-4またはリモートパネルを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください 。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

症　状	原因と処理方法
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** → ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** → セットアップマニュアルの「印刷してみる」の各OSの章をご覧ください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** → MSW1-1をONにしてエミュレーションモードを選択し直してください。動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切替器を使用している。** → プリンターバッファーや切替器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** → シートフィーダー付きになっている場合は、MSW1-4をONにして「136桁モード」を有効にしてください。
リプリント機能が使用できない	**プリンターとコンピューターは双方向通信が設定されていない。** → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** → ドライバーの設定を確認し、[出力制御]シートの[リプリント機能を使用する]を選択してください。 **[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。（ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。）
TrueTypeフォントおよびFAフォントをプリンターフォントに置換する設定で、一部の文字が印刷されない、またデザインの異なる文字が印刷される	**プリンターフォントとしてインストールされていない文字が使用されている、または画面の書体と異なるデザインでインストールされている文字が使用されている可能性がある。** → ドライバーの設定を確認し、[フォント]シートの[特殊文字をそのまま印刷]をチェックしてください。

印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**用紙が規格に合っていない。** → 「使用できる用紙について」(11ページ)を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** → 「用紙のセット」(14ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **標準ホッパー、手差しトレーの「用紙種類」がセットされている用紙に対して、正しく設定されていない。** → リモートパネル、プロパティダイアログボックス、MSW8-1～2で設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** → MSW7-2～4またはプリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**プリンターの内部が汚れている。** → 「清掃」(168ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**トナーがない。** → トナーカートリッジの交換時期です。「トナーカートリッジの交換」(157ページ)を参照して、トナーカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** → MSW7-1、プリンタードライバー、またはリモートパネルでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** → MSW7-2～4、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **トレー給紙の「用紙種類」がセットされている用紙に対して、正しく設定されていない。** → リモートパネル、プロパティダイアログボックス、MSW8-1～2で設定し直してください。

症　状	原因と処理方法
何も印刷されない	**トナーがない。** → トナーカートリッジの交換時期です。「トナーカートリッジの交換」(157ページ)を参照して、トナーカートリッジを交換してください。 **トナーカートリッジがセットされていない。** → トナーカートリッジをプリンター本体に取り付けてください。 **ドラムカートリッジがセットされていない。** → ドラムカートリッジをプリンター本体に取り付けてください。 **ドラムカートリッジの交換時期である。** → ドラムカートリッジの交換時期です。「ドラムカートリッジの交換」(162ページ)を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
真っ黒に印刷されたとき	**トナーカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「トナーカートリッジの交換」(157ページ)を参照して、トナーカートリッジを取り付け直してください。 **トナーカートリッジそのものに問題がある。** → 「トナーカートリッジの交換」(157ページ)を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。
文字のグレイ印刷ができない	**[文字を白黒で印刷する]がチェックされていない。** → ドライバーの設定を確認し、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**ドラムカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「ドラムカートリッジの交換」(162ページ)を参照して、ドラムカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **ドラムカートリッジそのものに問題がある。** → 「ドラムカートリッジの交換」(162ページ)を参照して、新しいドラムカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**転写ローラーが汚れている。** → 数枚テスト印刷をしてください。 **転写ローラーまたは用紙送りローラーが汚れている。** → 「清掃」(168ページ)を参照して、プリンターの内部を清掃してください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙のセット」(14ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「使用できる用紙について」(11ページ)を参照して、確認してください。 **冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。** → 電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。

症　状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき（続き）	**トナーカートリッジそのものに問題がある可能性がある。** →「トナーカートリッジの交換」（157ページ）を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**ドラムカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「ドラムカートリッジの交換」（162ページ）を参照して、ドラムカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **ドラムカートリッジそのものに問題がある。** →「ドラムカートリッジの交換」（162ページ）を参照して、新しいドラムカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** → 切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 → LANボード接続に変更してください。

印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症 状	原因と処理方法
印刷可ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。** →　218ページを参照してプリンターケーブルを確認し、正しく接続し直してください。 **改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、MSW3-3またはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。

症 状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない(続き)	**用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(アラームランプ(赤)、ランドランプ(緑)点灯)。プリンターの規格に合っていない。** → 「用紙のセット」(14ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ(赤)が点灯している。** → 「アラーム表示が出ているときは」(188ページ)をご覧ください。 **データ送信中** → プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 1250が「通常使うプリンター」として選択されていない。** → MultiWriter 1250を「通常使うプリンター」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** → コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙のセットのしかたが悪い。** → 「用紙のセット」(14ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。
トレーから印刷ができない	**給紙方法が自動またはホッパーになっている。** → プリンタードライバーの給紙方法をトレーに設定し直してください。 **アラームランプが点灯している。** → 手差しトレーからの給紙を選択した場合は用紙をセットし[印刷可]スイッチを1枚ごとに押してください。 **トレーにセットした用紙の種類が正しく設定されてない。** → MSW8-1〜2で用紙の種類を設定してください。(83ページ参照) **用紙が正しくセットされていない。** → 「手差しトレーにセットする」(16ページ)を参照して用紙をセットし直してください。 手差しトレーにセットできる用紙は1枚のみです。そのつど[印刷可]スイッチを押してください。

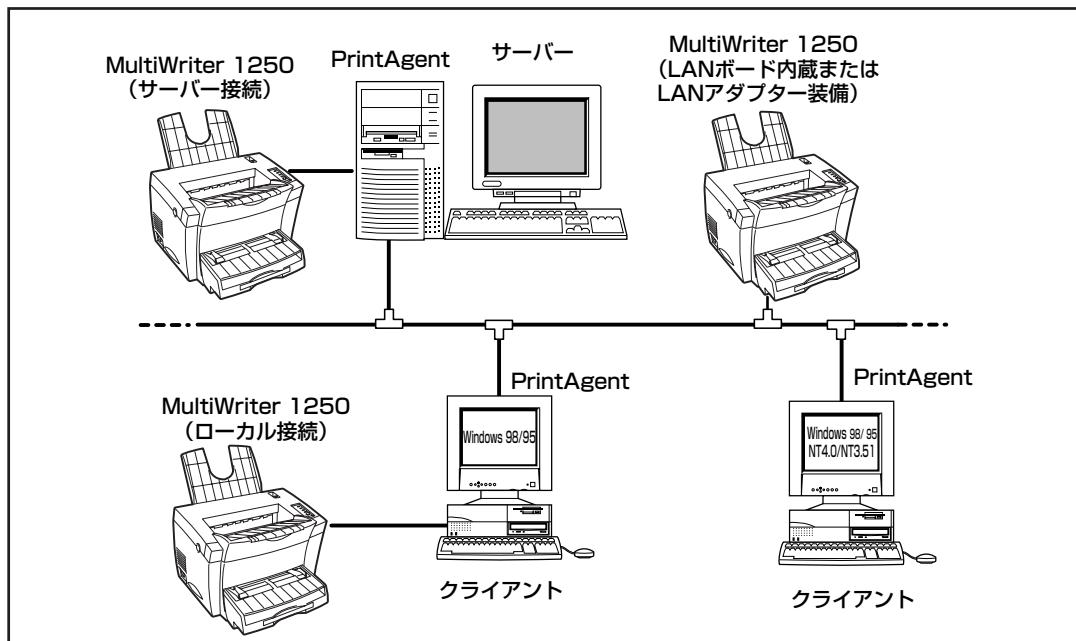
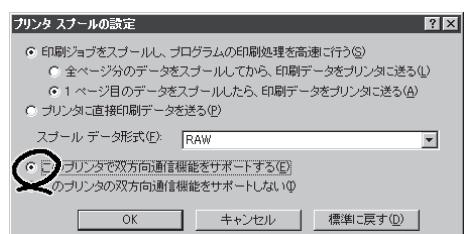
PrintAgentがおかしいときは

PrintAgentが思うように使えなかったり、動作がおかしかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

● PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバー、クライアント両者にインストールされている必要があります。

● Windows 98/95の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで[双方向通信機能]をサポートするように設定しておく必要があります。

- Windows NT 4.0の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows NT 4.0の場合のプリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューターのプリンタープールを無効にするにはサーバーコンピュータ上ですべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]ー[ポート]タブの[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合はネットワーク管理者に連絡してください。

- Windows NT 3.51でローカルプリンターをお使いになる場合、印刷先を「LPTNx」に設定しておく必要があります。正しく設定されていないとPrintAgentが正常に機能しません。

- PrintAgentをクライアント・サーバー・システムでご使用の場合、1台のサーバーに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentの動作中は

- 一つのコンピューターにPrintAgent対応プリンタードライバーが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウまたはリモートパネルを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。Windows NT 3.51の場合、[プリンタの選択]ダイアログボックスは[システムアイコン]をクリックしたときのメニューから表示させることができます。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート(パラレルポート)の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照しプリンターポート(パラレルポート)の設定を変更していただくか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メモリースイッチ設定モードを使って設定する」(75～90ページ)を参照してください。

正しく動作しないときは

次の表にPrintAgentが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

PrintAgentが正しく動作しない(1/3)

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで、「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。** →チェックしてください。Windows 98/95の場合、次回起動時から、Windows NTの場合、次回ログオン時から自動的に表示されます。
	PrintAgentを終了している。 →Windows 98/95/NT 4.0: [スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 1250]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。 →Windows NT3.51: [プログラムマネージャ]-[MultiWriter 1250]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが［スタート］メニューまたは［プログラムマネージャ］に登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →システムの管理者にご相談ください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウやリモートパネルが選択できない	**プリンタフォルダまたはプリントマネージャに「NEC MultiWriter 1250」のプリンターが登録されていない。** →プリンタドライバをインストールしてください。
	プリンタドライバが変更されている。 →プリンタドライバを「NEC MultiWriter 1250」に変更する、または再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
	コンピューターのメモリー不足。 →必要のないアプリケーションを終了してください。
	プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。 →コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
	パラレルポートの設定が正しくない。 →コンピューターのパラレルポートの設定を変更してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。
	[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。 →設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →このインターフェースではプリンターの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。

PrintAgentが正しく動作しない(2/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →Windows 98/95: プリンターのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]をチェックしてください。 →Windows NT 4.0: プリンターのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 →Windows NT 3.51: ［印刷先］をLPT1（LPT2、LPT3）からLPTN1（LPTN2、LPTN3）に変更してください。
	プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows NT 4.0でプリンタープールを使用している。 →Windows NT 4.0上のすべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。
	コンピューターのサスペンド機能を使用している。 →お使いのコンピューターの説明書を参照しサスペンド機能が動作しないように設定してください。USBプリンターケーブルを使用してUSBプリンターケーブルの抜き差しを行う場合は、プリンタステータスウィンドウを閉じてください。
	お使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのセントロ設定が異なっている。 →双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（182ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声を通知しない設定となっている。** →[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。
	[プリンタステータスウィンドウのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が自動起動するになっていない。 →自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。
	ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。 →設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの一時停止、削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →すでにプリンタへ送信済みのドキュメントに対しては、一時停止、削除はできません。
	プリンターのアクセス権がない。 →ネットワーク管理者に権限を確認してください。
	印刷先がネットワーク共有プリンターである。 →ネットワーク共有プリンターに対してはセキュリティーにより一時停止はできません。
	OSがWindows NTである。 →Windows NTではセキュリティーにより一時停止はできません。

PrintAgentが正しく動作しない(3/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定を変更されている。** →設定を確認してください。 **LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。** →LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンターが、双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファー等を経由して接続されている。** →プリンターの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタードライバーから設定が可能です。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できていない。** →ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により正しくプリンターの情報がとれなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。自動的に情報の再取得が行われます。
リモートパネルでプリンターの設定が読み込めない	**プリンターの[印刷可]スイッチが押されていない。（ディセレクト状態）** →セレクト状態でないとプリンターの設定を読み込めません。[印刷可]スイッチを押してください。 **プリンターが印刷中である。** →印刷中の場合はプリンターの設定は読み込めません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください。
リモートパネルでプリンターへの設定ができない	**プリンターのアクセス権がない。** →権限を確認してください。 **プリンターの[印刷可]スイッチが押されていない。（ディセレクト状態）** →セレクト状態でないとプリンターの設定ができません。[印刷可]スイッチを押してください。 **プリンターが印刷中である。** →印刷中の場合はプリンターに設定できません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください **共有プリンターを使用している。** →共有プリンターへの設定はセキュリティーによりできません。
リモートパネルでの表示と実際のプリンターの設定が異なる	**プリンターと双方向通信ができていない。** →プリンターの現在の設定は読み込むことができません。 **リモートパネルを表示後、プリンターで直接設定が変更された。** →リモートパネルの設定読み込みボタンをクリックしてプリンターの設定を読み込んでください。

Windows NT 3.51 日本語版をお使いのお客様への注意事項

Windows NT 3.51 日本語版をお使いのお客様で、すでに他のプリンターのPrintAgentをインストールしてLANプリンターとして接続（NEC Network Portを利用）してご使用の場合、接続ポートの更新が必要な場合があります。対象となるポートは“xxx.xxx.xxx.xxx”と表示されているポートです。以下の手順で削除してから、MultiWriter 1250のソフトウエアをインストールして、再設定、更新を行ってください。

ポートの削除

すでにインストールしてあるNEC Network Portを利用して、印刷先を設定してあるプリンタードライバーから以下の手順でポートの削除を行います。いくつかプリンターが登録されている場合は、登録されているすべてのプリンターに対して、ポートの削除を行ってください。

- この後、再設定を行いますので、プリンタードライバーとIPアドレスの関係をメモしておいてください。
- 削除するポートは“xxx.xxx.xxx.xxx (NEC TCP/IP Port)”または“xxx.xxx.xxx.xxx”です。

1. **プログラムマネジャの[メイン]グループから[プリントマネジャ]をダブルクリックする。**

[プリントマネジャー]が表示されます。

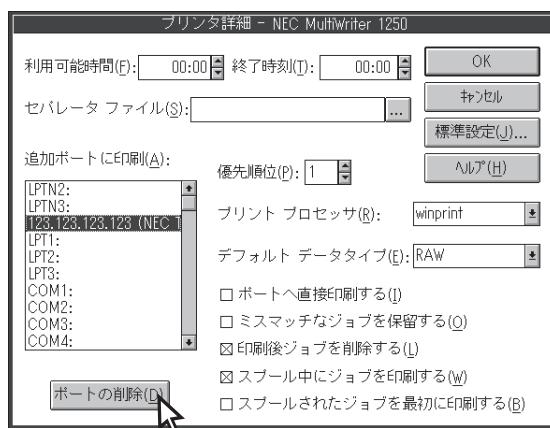
2. **ポートを削除するためのプリンターを選択する。**

3. **[プリントマネジャ]の[プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。**

4. **[接続先]を仮設定として、「LPT1:」を選択する。**

5. **再び[プリントマネジャ]の[プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。**

6. **[プリンタ情報]ダイアログボックスの[詳細]をクリックする。**

7. **[プリンタ詳細]ダイアログボックスの[追加ポートに印刷]リストボックスから削除するポートを選択し、[ポートの削除]をクリックしてポートを削除する。**

8. **再起動する。**

プリンターソフトウエアのインストール

すべてのポートの削除を終えたら、セットアップマニュアルの「Step 3プリンターソフトウエアをインストールします」の方法でプリンターソフトウエアをインストールしてください。

ポートの再設定

削除したポートは下記の手順で再設定を行います。

この時、ポートの削除時にメモしておいた内容に従って、削除した他のプリンタードライバーの印刷先を再設定します。

1. プログラムマネジャの中の[メイン]グループから[プリントマネジャ]をダブルクリックする。

2. 先にポートを削除したプリンタを選択する。

3. [プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。

4. [プリンタ情報]ダイアログボックスの[印刷先]コンボボックスで[その他...]を選択する。

5. [印刷先]ダイアログボックスの[利用可能な印刷モニタ]リストボックスで[NEC Network Port]を選択し、[OK]をクリックする。

6. [NEC Network Port]ダイアログボックスの[IPアドレス入力]テキストボックスに先ほどメモしておいたIPアドレスを入力し、[OK]をクリックして、ポートを追加します。

7. 再起動する。

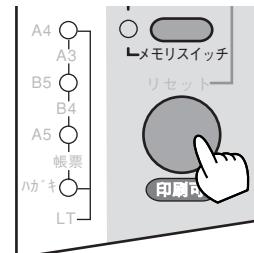
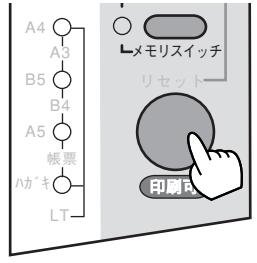
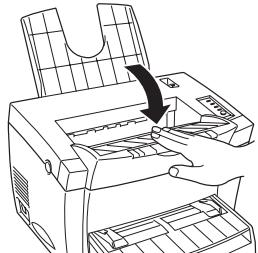
MultiWriter 1250の印刷先が、共有プリンタやLANプリンターへの接続が必要な場合は、セットアップマニュアル Step 3「プリンターソフトウエアをインストールします」を参照して変更を行ってください。

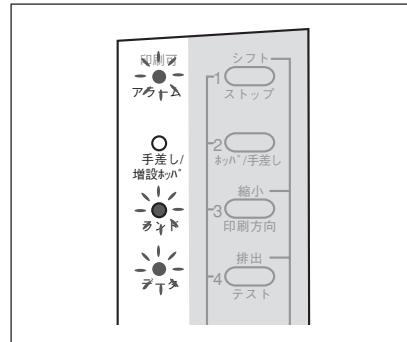
アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったり、エラーが発生したりすると、アラームランプ（赤）が速く点滅し（1/4秒おき）、手差し / 増設ホッパランプ（緑）、ランドランプ（緑）データランプ（橙）のうち1つ以上が同時に速い点滅をしてアラーム内容を表します。

ランプの表示は、早い点滅＝（点滅マーク）で表します。

次の表に、ランプの表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

アラーム表示	アラームの内容と処理方法
アラーム（点滅） 手差し/増設ﾎｯﾊﾟ（点滅） ランド データ	**フォーム登録のためのメモリーが足りない。** → [印刷可]スイッチを押して一度プリンター内の印刷データを出力(消去)してください。もう一度1ページづつ出力し直してください。 A4 A3 B5 B4 A5 帳票 ﾊｶﾞｷ LT メモリスイッチ リセット 印刷可
アラーム（点滅） 手差し/増設ﾎｯﾊﾟ ランド（点滅） データ	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期である。** → 販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。このアラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
アラーム（点滅） 手差し/増設ﾎｯﾊﾟ ランド データ（点滅）	**ドラムカートリッジの交換時期である。** → 「ドラムカートリッジの交換」に従ってドラムカートリッジを交換後、トップカバーをきちんと閉じてください。 ドラムカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、アラームランプは点滅を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしてもこのアラームは解除できません。 ドラムカートリッジ交換後はMSW10-4をONにして寿命カウンターをクリアしてください。（166ページ参照）

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
アラーム(点灯) 手差し/増設ホッパ(点灯) ランド(点灯) データ(消灯)	**指定と異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をセットし直して[印刷可]スイッチを押してください。
アラーム(点灯) 手差し/増設ホッパ(点灯) ランド(消灯) データ(点灯)	**トップカバーが開いている。** → トップカバーをカチッと音がするまで押し下げてください。
アラーム(点灯) 手差し/増設ホッパ(消灯) ランド(点灯) データ(点灯)	**紙づまりが発生している。** → この後の「紙づまりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いてください。
アラーム(点灯) 手差し/増設ホッパ(点灯) ランド(点灯) データ(点灯)	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると次の様にアラームランプ(赤)、データランプ(橙)が速い点滅をします。同時にプリンターは印刷を中止します。

紙づまりの処理

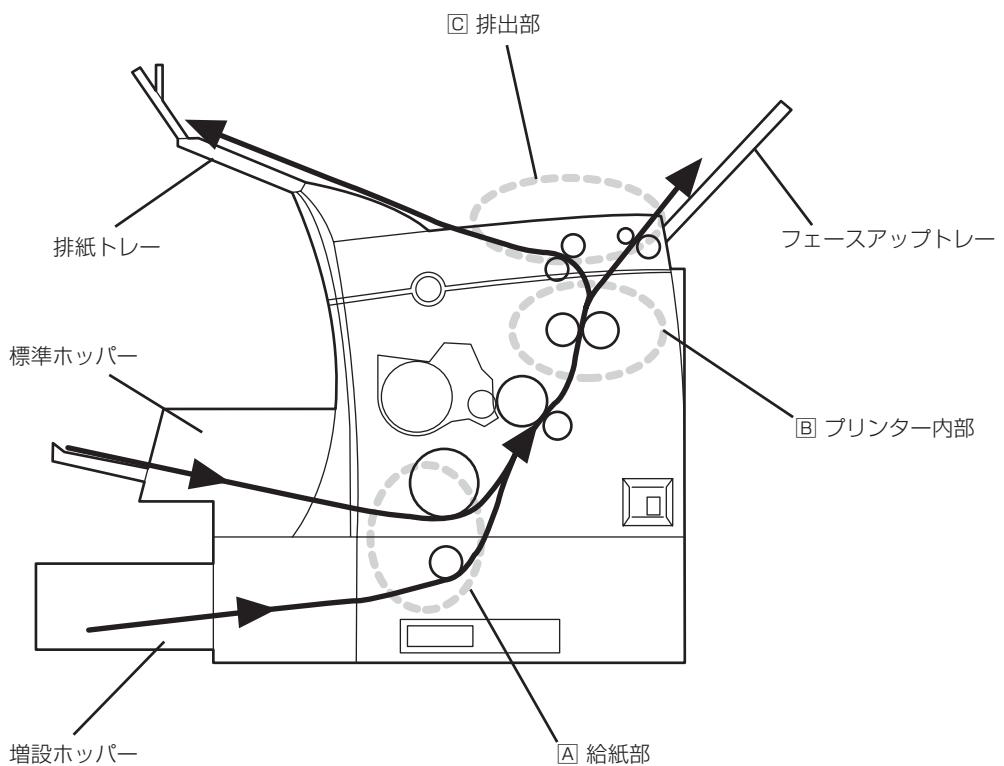
紙づまりが発生する箇所は次の3種類です。

A 給紙部
B プリンター内部
C 排出部

つまった用紙を取り除くことができたら、トナーカートリッジとドラムカートリッジを元の場所にセットし直し、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます(通常、印刷は紙づまりを起こしたページから再開されますが、紙づまりの状態によってはそれ以降のページから再開される場合があります)。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(197ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、MultiWriter 1250では、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

⚠注意 定着ユニット周辺は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

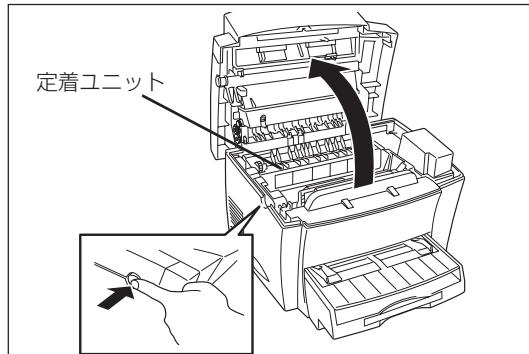
紙づまりの発生箇所

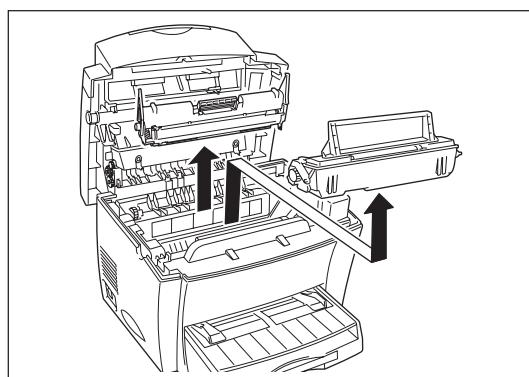
A 給紙部の紙づまり

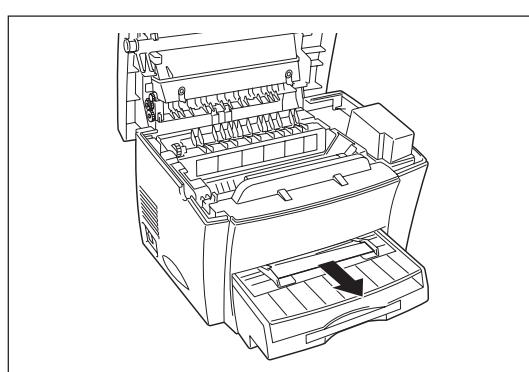
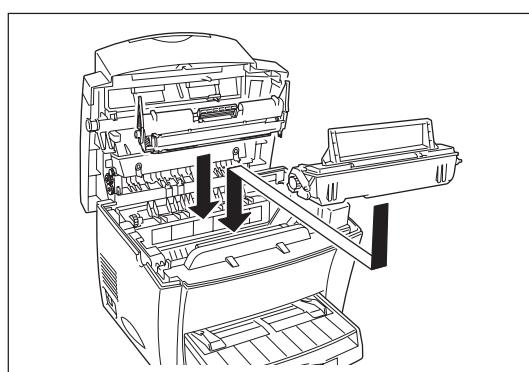
■標準ホッパー/手差しトレーで紙づまりが発生した場合

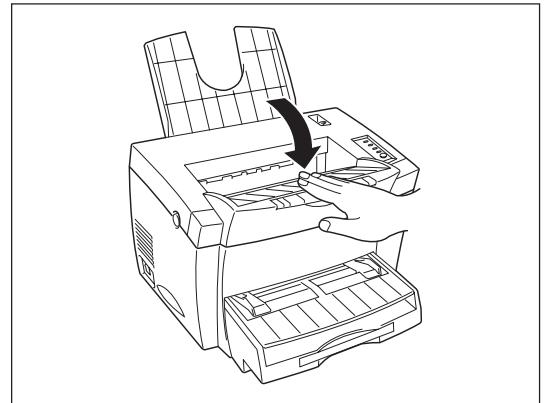
1. トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。

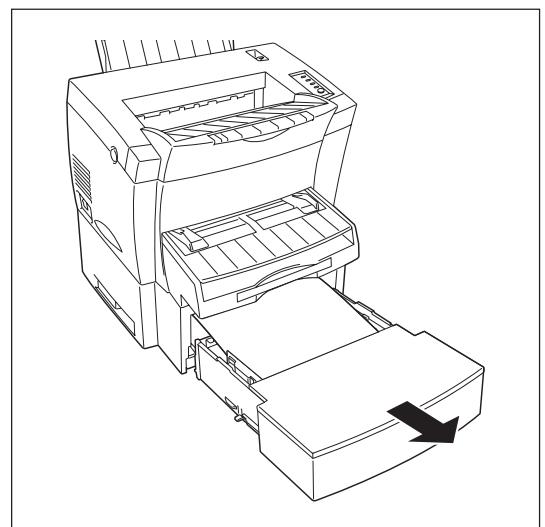
⚠ 注意

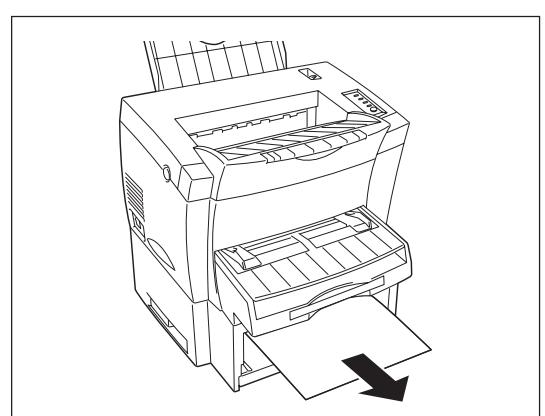
定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

2. トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す。

ドラムカートリッジには布などをかぶせて感光させないようにしてください。

3. 手差しトレー、ホッパー部分につまった用紙を取り除く。

トップカバーが開いてからつまった用紙を取り除いてください。
開かずにつまった用紙を引き抜いてもアラームランプは消えません。

4. トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットする。

5. トップカバーを閉める。

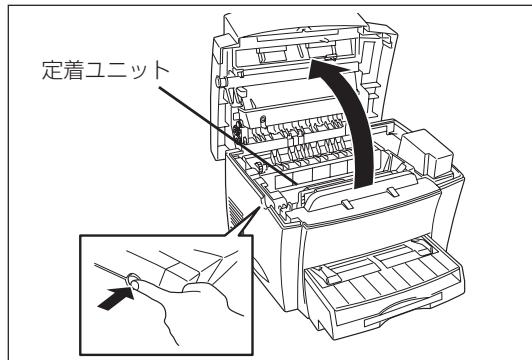
カチッと音がするまで押し下げます。

■ 増設ホッパー(オプション)で紙づまりが発生した場合

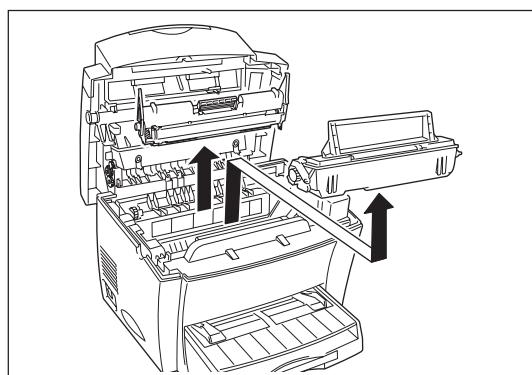
1. カセットを静かに引き出す。

2. つまった用紙をゆっくり引き抜く。

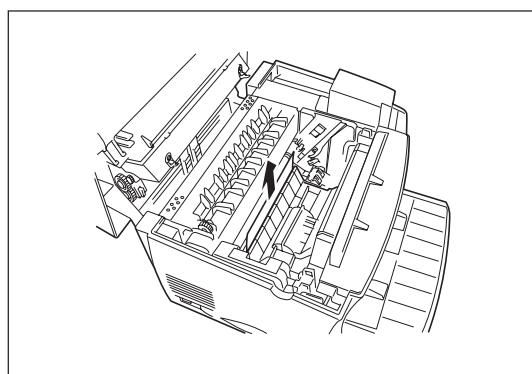
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

B プリンター内部の紙づまり

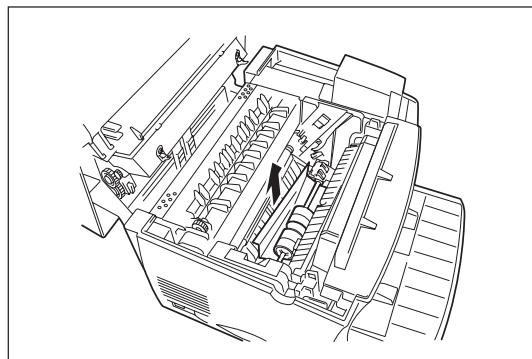
1. **トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。**

⚠ 注意

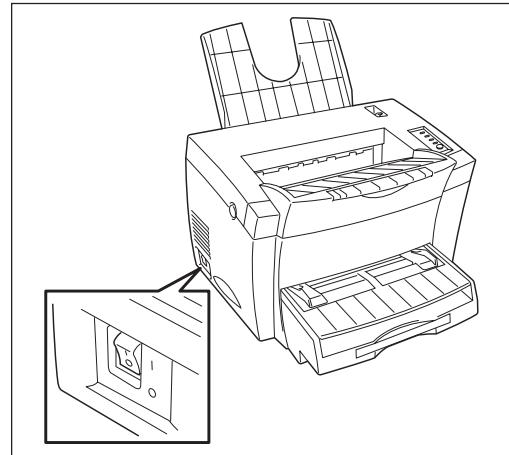
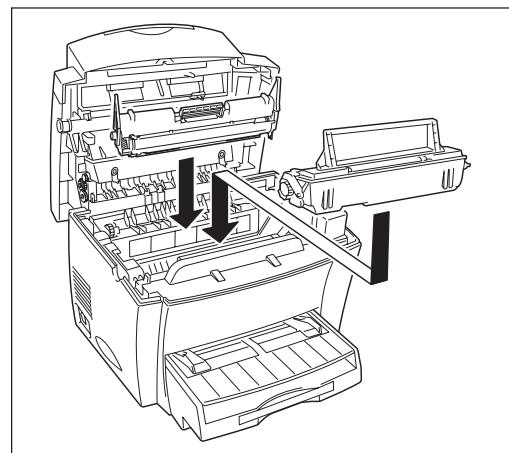
定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

2. **トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す。**

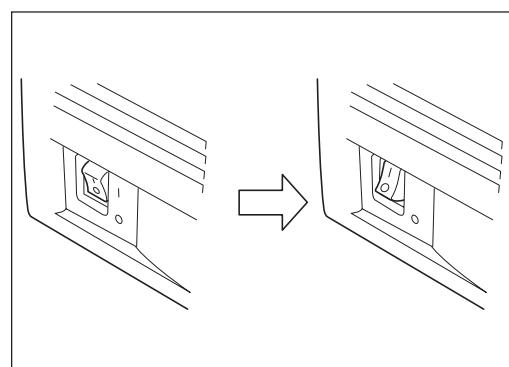
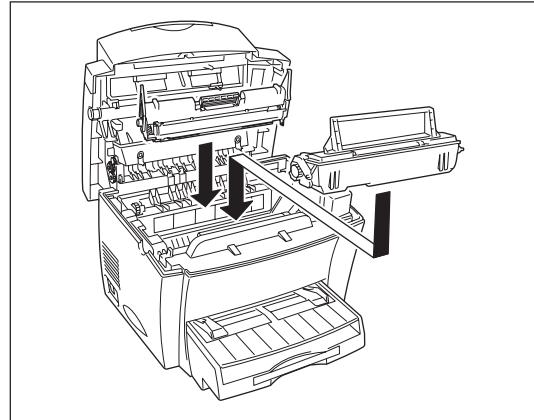
ドラムカートリッジには布などをかぶせて感光させないようにしてください。

3. **プリンター内部につまった用紙を、ゆっくりと引き抜く。**

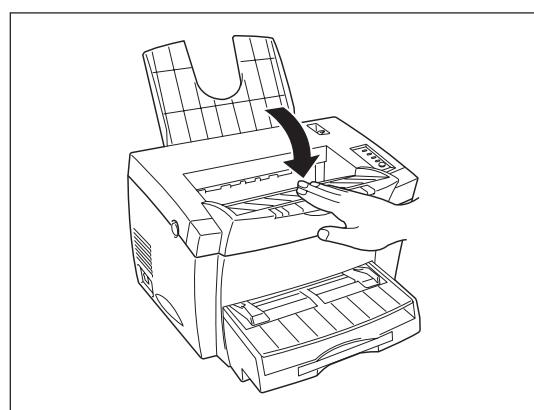
用紙を強く引っ張ると途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなるので、ゆっくりと引き抜いてください。

4. **プリンター内部のローラー部分につまった用紙を、ゆっくりと引き抜く。**

用紙を強く引っ張ると途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなるので、ゆっくりと引き抜いてください。

用紙の切れ端がプリンター内部に残ってしまった場合

つまった用紙を引き抜いたときに、切れ端がプリンター内部に残ってしまい、とれなくなった場合は次の手順に従って切れ端を取り除いてください。

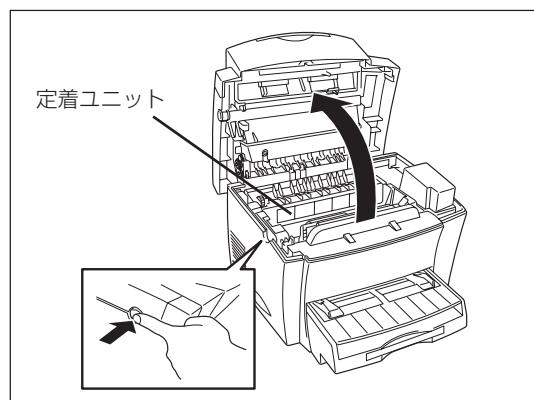
① **プリンターの電源がOFFになっている事を確認する。**

② **トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り付けトップカバーを閉める。**

③ **プリンターの電源を一度ONにしてまたOFFにします。**

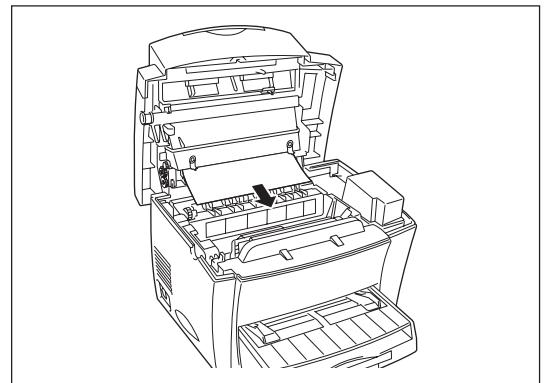
内部のローラーが少し動いて用紙の切れ端の位置が変わります。
用紙の切れ端が手でとれるようになるまで数回この動作を繰り返してください。

5. **トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットする。**

6. **トップカバーを閉める。**

カチッと音がするまで押し下げます。

C 排出部の紙づまり

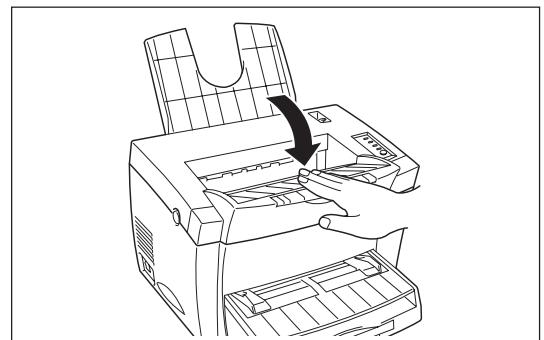
1. **トップカバーボタンを押してトップカバーを開く。**

⚠ 注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

2. **プリンター排出部につまった用紙をゆっくり引き抜く。**

排出ローラー側から用紙をゆっくりと引き抜きます。

排出トレー側から用紙をゆっくりと引き抜きます。

3. **トップカバーを閉める。**

カチッと音がするまで押し下げます。

紙づまり処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

□ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
□ トップカバーは確実に閉じられていますか。
□ 用紙カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
□ 用紙ガイドは用紙サイズに合っていますか。
□ 用紙は正しくセットされていますか。
□ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「使用できる用紙について」(11ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
□ 用紙の量が多すぎませんか。(標準ホッパーの容量は、普通紙の場合連量55kg用紙で約150枚です。)
□ 片面印刷されている用紙を使用していませんか。

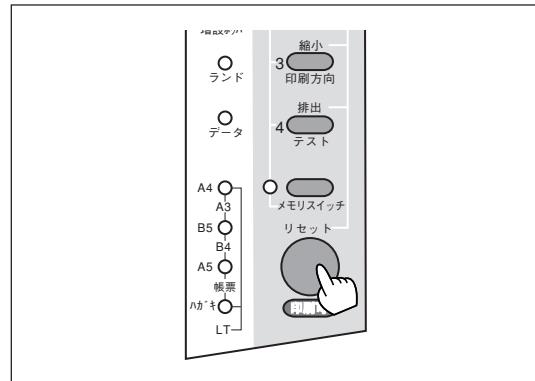
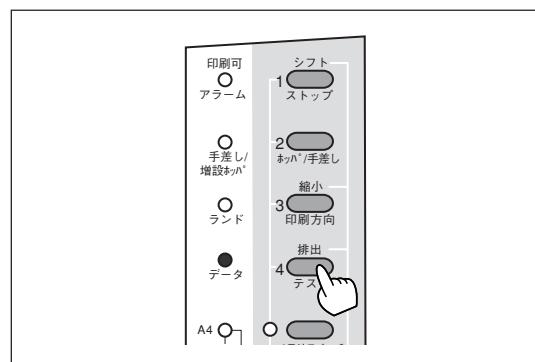
テスト印刷をする

つまった紙を取り除いた後、テスト印刷をして印刷が正しく行われることを確認してください。紙づまり処理直後は、ローラー等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。

1. プリンターの電源を入れる。

すべてのランプが一度点灯し、20秒ほどで印刷可ランプ以外は消灯します。

2. ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。

3. ［テスト］スイッチを押してテスト印刷をする。

右の図は「ステータス印刷」のプリント結果です。

「16進ダンプ」でテスト印刷する場合はMSW5-1をONにしてください（81ページ参照）。

16進ダンプ印刷を選択した場合は［ストップ］スイッチを押して、テスト印刷を終了してください。

＊＊ プリンタ設定環境 ＊＊

Version
エンジン　　：００．０４
コントローラ：１Ｖ．０５

給紙構成
ホッパ１：Ａ４　（Ａ４、Ａ５、Ｂ５、レター、はがき、封筒、往復はがき）
ホッパ２：Ａ４　（Ａ４）
トレー　：Ａ４　（Ａ４、Ａ５、Ｂ５、レター、封筒）

動作モード
サポート言語：ＮＰＤＬ　ＥＳＣ／Ｐ
パラレルインターフェイス　：ＮＰＤＬ
オプションインターフェイス：ＮＰＤＬ

動作双方向
パラレルインターフェイス　：ニブル
オプションインターフェイス：ニブル

メモリ
メモリ容量：８ＭＢ

メモリスイッチ設定

	1234		1234		1234
ＭＳＷ１	:0000	ＭＳＷ２	:0000	ＭＳＷ３	:0000
ＭＳＷ４	:0000	ＭＳＷ５	:0000	ＭＳＷ６	:0000
ＭＳＷ７	:0000	ＭＳＷ８	:0000	ＭＳＷ９	:0000
ＭＳＷ１０	:0000	ＭＳＷ１１	:0000	ＭＳＷ１２	:0000
ＭＳＷ１３	:0000	ＭＳＷ１４	:0000	ＭＳＷ１５	:0000

保守メモリスイッチ設定

	1234		1234		1234
ＭＳＷ１	:0000	ＭＳＷ２	:0000	ＭＳＷ３	:0000
ＭＳＷ４	:0000	ＭＳＷ５	:0000	ＭＳＷ６	:0000
ＭＳＷ７	:0000	ＭＳＷ８	:0000	ＭＳＷ９	:0000
ＭＳＷ１０	:0000	ＭＳＷ１１	:0000	ＭＳＷ１２	:0000
ＭＳＷ１３	:0000	ＭＳＷ１４	:0000	ＭＳＷ１５	:0000

１バイト系内蔵フォント
Standard　:PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL
Italic　:*PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL*
Courier　:PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL
Gothic　:PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL

２バイト系内蔵フォント

書体番号	ファイル名	フォント名
０３１	ＮＭＩ３＿ＣＦ	ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅ明朝体−Ｌ
２５１	ＮＧＯ５＿ＣＦ	ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅゴシック体−Ｍ

ユーザーサポートについて

NECはMultiWriter 1250の「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、本章で説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

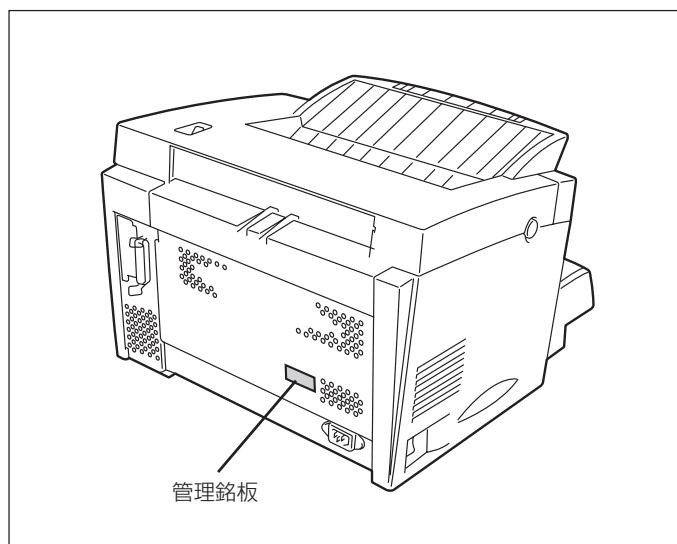
お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に所定事項をご記入の上、投函してください。

保証について

プリンターには『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」をご覧の上、プリンターをお買い上げの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
② 定期的な清掃を行っていたか、またトナーカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認してください。
③ 「印刷がおかしいときは」（173ページ）、「PrintAgentがおかしいときは」（181ページ）をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際に操作パネルのランプ表示の内容もお知らせください。故障時の操作パネルによるランプ表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンターをお持ち込みいただくときは本書や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

保守サービスについて

保守サービスはNECが指定した保守サービス会社によってのみ実施されます。部品交換は純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心いただけます。しかもお客様のご都合に合わせてご利用いただけるように次の4種類を用意しております。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、お買い上げの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

- 契約保守　　年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理(スポット修理)　　サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持込修理　　お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。
本プリンターは持込修理対象品です。
- 引取修理　　修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた年間一定料金		年間一括前払い	お買い上げ販売店 NECカスタマサービス(株) NEC Bit-INN NECマイコンショップ
出張修理(スポット修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*	修理料 ＋ 出張料	修理完了後そのつど清算	
持込修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		
引取修理	お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合は、もよりのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。	引き取り料 ＋ 返却料	修理料 ＋ 引き取り料 ＋ 返却料		NECカスタマサービス(株) NECマイコンショップ

*　プリンターは出張修理対象品につき無料です。出張修理品の対象になっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 1250の製品寿命は印刷枚数15万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。継続使用される場合は、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

マニュアルの再購入について

もしソフトウエアマニュアル、ユーザーズマニュアルを紛失されたときは、お買い求めの販売店または、お近くのBit-INN、NECマイコンショップに品名と型名を次のように指定してお申し込みください。マニュアルを再度購入することができます。

- 品名　MultiWriter 1250　ユーザーズマニュアル
- 型名　PR-L1250-UM

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名と型名をメモしておくようにしてください。

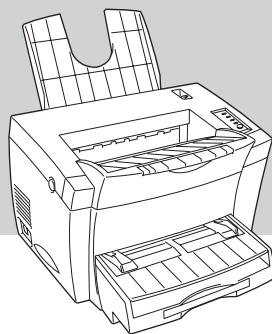
情報サービスについて

プリンターに関するご質問・ご相談は、NEC Bit-INNおよび当社指定のサービス窓口でお受けしています。また技術的なご質問・ご相談はNECパソコンインフォメーションセンターにご連絡ください。

上記窓口の電話番号、受付時間については、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

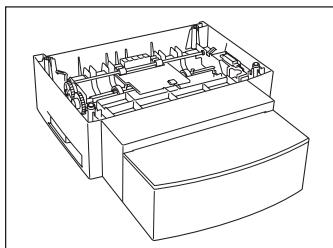
また以下のパソコン情報サービスから、NEC製品に関する最新情報やプリンタードライバーがダウンロードできます。ご利用ください。

インターネット	98インフォメーション（http：//www.nec.co.jp/98/） パソコンインフォメーションセンタロボ（http：//www.nec.co.jp/picrobo/）
FAXサービス	NECパソコン情報FAXサービス 東京　03-3769-9821 大阪　06-6304-9821

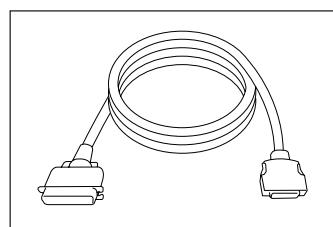
オプション

この章では、MultiWriter 1250で使用できるプリンターケーブルや、MultiWriter 1250用として提供される別売品(オプション)を紹介し、その取り付け、取り外しの方法などについて説明します。

オプションの紹介

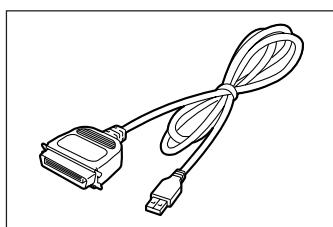
オプション品のご購入にあたりましては、お買い求めの販売店またはお近くのBit-INN、NECマイコンショップなどにお問い合わせください。

増設ホッパ(500)(PR-L1250-03)

A4の用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。

サイズ：　380(W)×472(D)×120(H)mm
重量：　約4.0kg

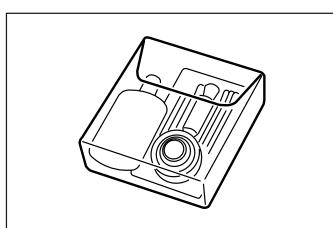
プリンターケーブル

プリンターケーブルはお使いのコンピューターの種類によって違います。

詳しくは218ページの「使用できるプリンターケーブルについて」をご覧ください。

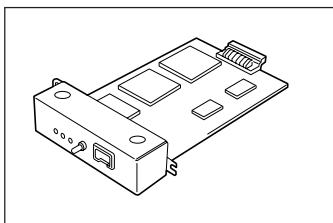
USBプリンタケーブル(PR-CA-U01)

USBプリンタケーブルは、PC98-NXシリーズでご使用いただけます。

USBプリンタケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンタケーブルドライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにケーブルドライバーがインストールされている場合、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

- USBプリンタケーブルに関する最新情報は情報サービス窓口より提供していますので、ご利用ください。(情報サービスの問い合わせ先は、USBプリンタケーブルのマニュアルを参照してください。)

クリーニングキット (PC-PR601-14)

プリンター内部を清掃するためのキットです。

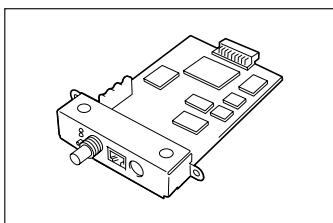
クリーナー、クリーニングパッド、綿棒、ブロアブラシなどがセットになっています。

LANボード(PR-NP-01T2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している内蔵型LANボードです。さらに、MultiWriter 1250と組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

ネットワークOS		プロトコル
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP
Windows	95/98(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

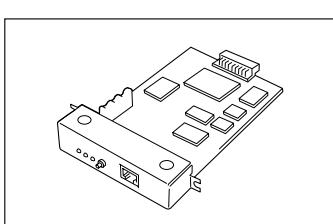
ヒント

Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの双方向通信モードをECPモードにする必要があります。詳しくは、(85ページ)を参照してください。

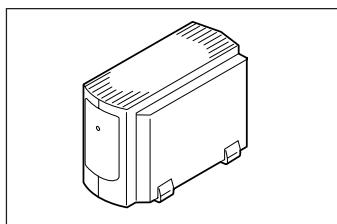
マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)

10BASE-2、10BASE-T、LocalTalkインターフェースを装備している内蔵型LANボードです。

また別売の拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J(NDS対応)	IPX/SPX
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN ServerJ3.0	NetBEUI
Windows	98/95(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
Macintosh	漢字Talk7.1.X、7.5.X、 Mac OS 7.6.X、8.0、8.1、8.5 (ただしQuickDraw GXには未対応)	AppleTalk EtherTalk
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)

100BASE-TX、10BASE-Tにインターフェースを装備している内蔵型LANボードです。

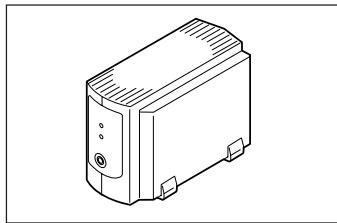
ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J(NDS対応)	IPX/SPX
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
Windows	98/95(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

LANアダプタ(TCP/IP)(PR-NP-02T2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANボードです。さらに、MultiWriter 1250と組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

ネットワークOS		プロトコル
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP
Windows	98/95 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

ヒント

Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの双方向通信モードをECPモードにする必要があります。詳しくは「メモリースイッチを使って設定する」(75ページ)を参照してください。

LANアダプタ(TCP/IP)(PR-NP-03TR2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANボードです。さらに、MultiWriter 1250と組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンタの管理が行えます。

PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。

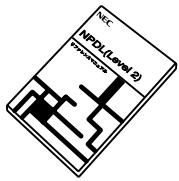
ネットワークOS		プロトコル
Windows NT	3.5、3.51、4.0	TCP/IP
Windows	98/95 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

ヒント

Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの双方向通信モードをECPモードにする必要があります。詳しくは「メモリースイッチを使って設定する」(75ページ)を参照してください。

LANボード/LANアダプターが対応している環境は以下のとおりです。

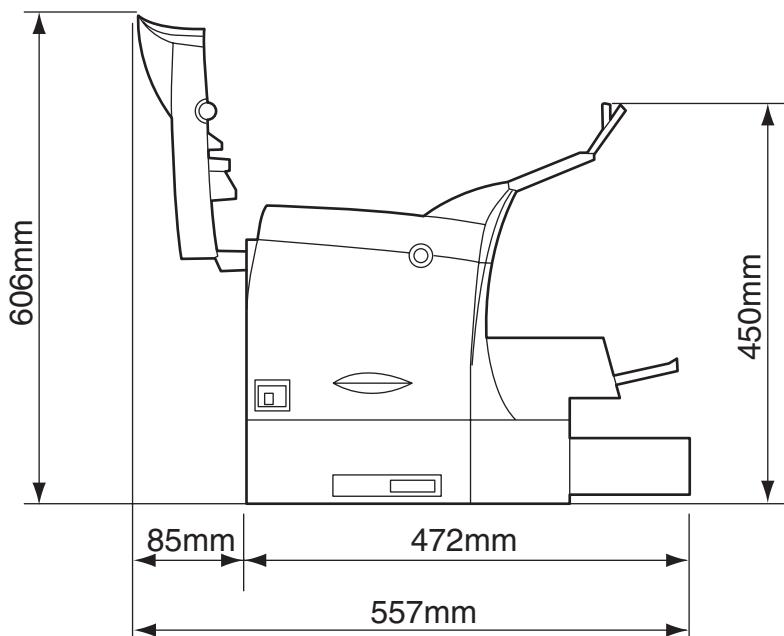
タイプ/ネットワーク環境		PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
内蔵/外置き型		内蔵	内蔵	内蔵	外置き	外置き
マルチプロトコル対応		X	○	○	X	X
TCP/IPプロトコル対応		○	○	○	○	○
	リモート電源制御	X	X	X	X	○
100BASE-TX		○	X	○	○	○
10BASE-T		○	○	○	○	○
10BASE-2		X	○	X	X	X
LocalTalk		X	○	X	X	X

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル(PC-PRNPDL2-RM)

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 1250にはPR-L1250-03増設ホッパ(500)が用意されています。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

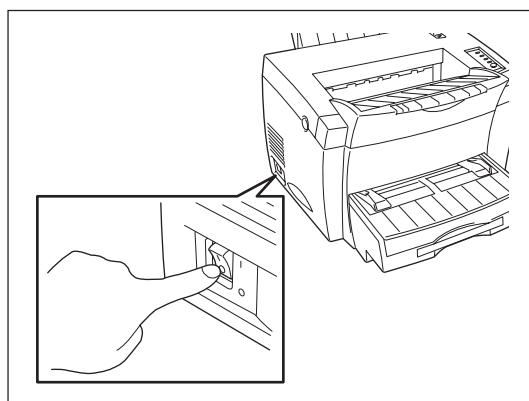
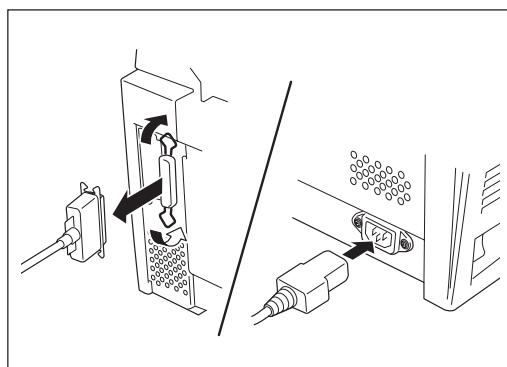
増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについてはセットアップマニュアルの12ページをご覧ください。

設置に必要な高さ

増設ホッパーの取り付け

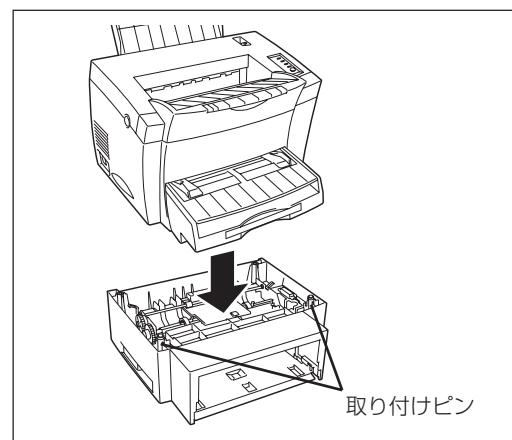
増設ホッパーを取り付ける方法を以下に示します。

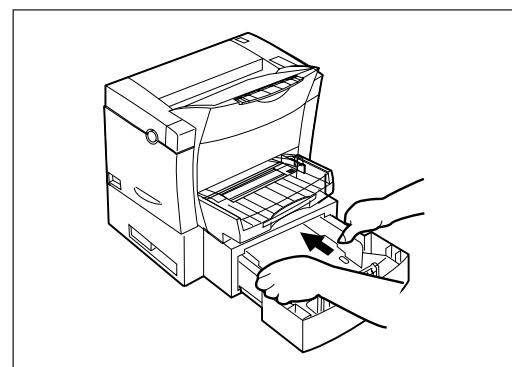
1. プリンターの電源をOFFにします。

重要

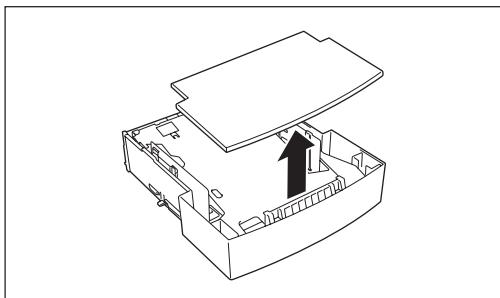
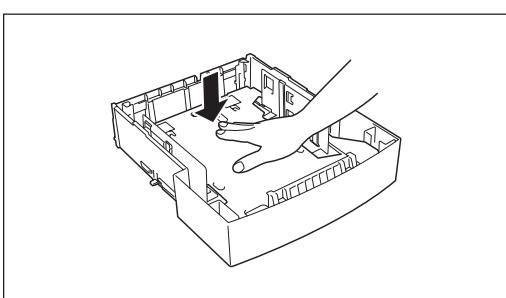
電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

2. 電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外します。

3. 増設ホッパーを梱包箱から取り出し、貼り付けてあるテープを取る。

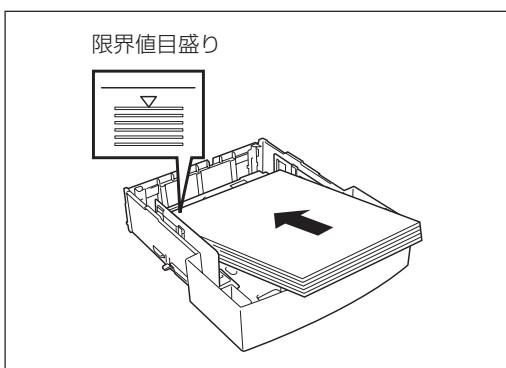
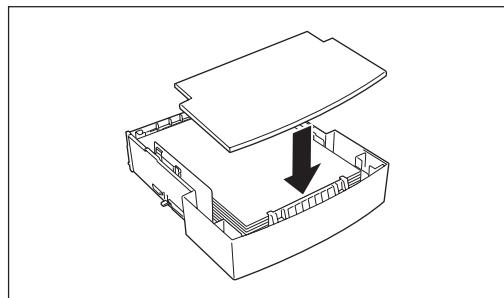
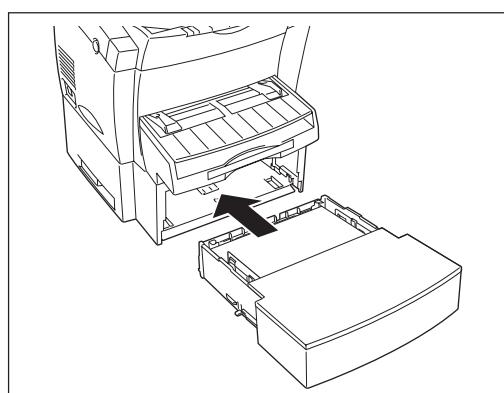
4. 増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。

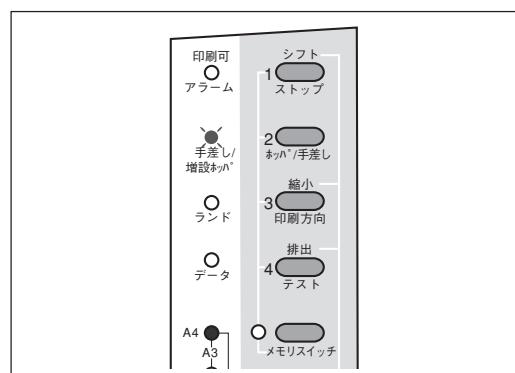
取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

5. カセットを増設ホッパーにセットする。

カセットは両手で持ってセットしてください。

増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパにセットできる用紙はA4縦のみです。
以下の手順でセットします。

1. **カセットカバーを取り外す。**

2. **カセット内にあるペーパーリフティングプレートを矢印の方向に押し下げる。**

3. **印刷する面を上にして用紙をセットします。**

- 用紙は限界値目盛りを越えないようにセットしてください。
- 用紙は途中でつぎ足したりしないでください。

4. **カセットカバーをかぶせる。**

5. **カセットをプリンターに差し込む。**

6. **給紙方法を増設ホッパーに設定する。**

[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にしてから、[ホッパ/手差し]スイッチを押して用紙ランプを以下のように点灯させます。

チェック

プリンタードライバーから設定する場合は、プロパティの[用紙]シートの[給紙方法]を[増設ホッパ]にしてください。

テスト印刷

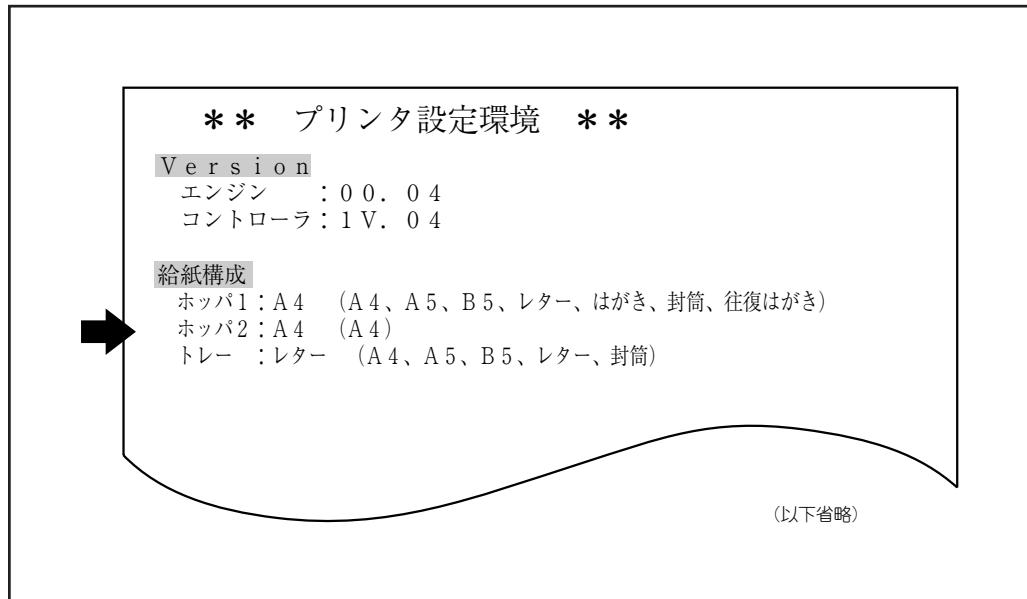
増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

増設ホッパーが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように印刷されます。

＊＊　プリンタ設定環境　＊＊

Ｖｅｒｓｉｏｎ
エンジン　　：００．０４
コントローラ：１Ｖ．０４

給紙構成
ホッパ1：Ａ４　（Ａ４、Ａ５、Ｂ５、レター、はがき、封筒、往復はがき）
ホッパ2：Ａ４　（Ａ４）
トレー　：レター　（Ａ４、Ａ５、Ｂ５、レター、封筒）

（以下省略）

増設ホッパーのステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外すときは、取付けの手順を逆に行ってください。

LANボード

各種のネットワークに接続するLANボードは3種類用意されています。

PR-NP-01T2

「PR-NP-01T2 LANボード(TCP/IP)」は、プリンターに内蔵できる、100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応したボードです。さらに、MultiWriter 1250と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。Windows 98/95(TCP/IP)、Windows NT (TCP/IP)、UNIX (TCP/IP (ftp, lpr))の各ネットワークに対応しています。

PC-PR-L01

「PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード」はプリンターに内蔵できる、10BASE-T、10BASE2、LocalTalkに対応したボードです。NetWare(IPX/SPX)、LANマネージャ(NetBEUI)、Windows 98/95 (TCP/IP)、Windows NT(TCP/IP, DLC)、UNIX(TCP/IP (ftp, lpr))、Macintosh(AppleTalk)の各ネットワークに対応しています。

PC-PR-L02

「PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード」は、プリンターに内蔵できる、100BASE-TX、10BASE-Tに対応したボードです。NetWare (IPX/SPX)、Windows 98/95(TCP/IP)、Windows NT (TCP/IP, DLC)、UNIX (TCP/IP (ftp, lpr))の各ネットワークに対応しています。

LANボードが対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

ネットワークOS		PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02
NetWare	NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J*1 IntranetWare(4.11J)*1	X	○	○
Windows NT	Windows NT 3.1、3.5、3.51、4.0	○	○	○
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1、OS/2LANサーバJ3.0	X	○	X
Windows	98/95(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	○	○	○
Machintosh	漢字Talk7.1X、7.5.X Mac OS7.6.X、8.0、8.1、8.5*2	X	○	X
UNIX	TCP/IP(ftp、lpr)	○	○	○

＊1 NDS対応。
＊2 QuickDraw GXには対応していません。

LANボードの取り付け方によってはUSBプリンタケーブル(OR-CA-U01)が取り付けにくくなることがあります。

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。使用する環境に合わせて、以下に示すケーブルを別途お求めください。
MacintoshにLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

PR-NP-01T2の場合

- 100BASE-TX　　PC-9868-28, PC-9868-29
- 10BASE-T　　PC-9868-21, PC-9868-22, PC-9868-28, PC-9868-29

PC-PR-L01の場合

- 10BASE-T　　PC-9868-21, PC-9868-22, PC-9868-28, PC-9868-29
- 10BASE2　　PC-9867-21, PC-9867-22, PC-9867-23

PC-PR-L02の場合

- 100BASE-TX　　PC-9868-28, PC-9868-29
- 10BASE-T　　PC-9868-21, PC-9868-22, PC-9868-28, PC-9868-29

PC-PR-L01を使用し、Macintoshから印刷を行うには、別売のPR2200NW2-21 拡張プリンタドライバが必要です。また、Macintoshからの印刷においては、リプリント機能、拡大縮小機能などサポートしていない機能があります。

次にLANボードの取り付け手順を説明します。PC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2の取り付け手順は同じです。ここでは、PR-NP-01T2 LANボード(TCP/IP)を取り付ける場合の手順を示します。使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

チェック

- LANボードは正しく取り付けられていても、ステータス印刷の「オプションボード」の欄に印刷されません。正しく取り付けられたかどうかはコンフィグレーションページの印刷を行って確認します(詳細はLANボードの取扱説明書を参照ください)。
- PR-NP-01T2を使用し、Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの双方向通信モードをECPモードにする必要があります。詳しくは「メモリースイッチを使って設定する」(75ページ)を参照してください。

LANボードの取り付け

重要

LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター後面のセントロニクスインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

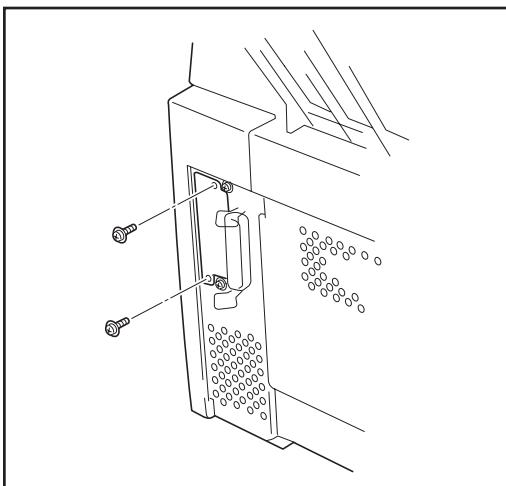
1. プリンターの電源をOFFにし、電源コードとインターフェースケーブルをプリンターから取り外す。

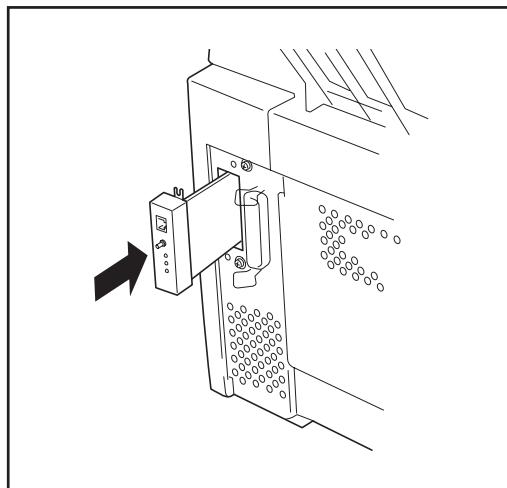
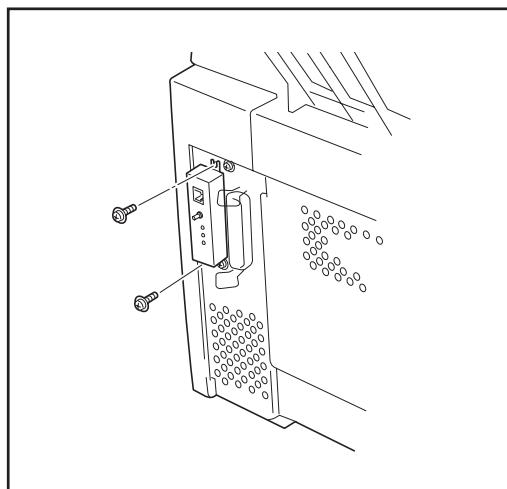
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. LANボード用スロットのプレートをネジ2か所を回して取り外す。

チェック

LANボード用スロットのプレートはボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。

3. LANボードのネットワークコネクターを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。

4. ネジ2本でボードを固定する。

5. **接続用のケーブルを取り付ける。**

6. **電源コードを取り付け、プリンターの電源をONにする。**

7. **LANボード取扱説明書に従いコンフィグレーションページ印刷をして、正しく動作することを確認する。**

LANボードの取り付け方によってはUSBプリンタケーブル(PR-CA-U01)が取り付けにくくなることがあります。

LANボードの取り外し

LANボードを取り外すときは、取り付けの手順6から逆に行ってください。

LANアダプター

各種のネットワークに接続するLANアダプターが2種類用意されています。

PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2

「PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP）」は、インターフェースケーブルを使ってプリンターに接続する外置き型のLANアダプタです。100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応したアダプターです。さらに、MultiWriter 1250と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンタの管理が行えます。Windows 98/95（TCP/IP）、Windows NT (TCP/IP)、UNIX (TCP/IP (ftp, lpr))の各ネットワークに対応しています。

PR-NP-03TR2 LANアダプタ（TCP/IP）では、PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。

PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP）が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

ネットワークOS		プロトコル
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP
Windows	98/95（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

PR-NP-03TR2 LANアダプタ（TCP/IP）が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

ネットワークOS		プロトコル
Windows NT	3.5、3.51、4.0	TCP/IP
Windows	98/95（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

チェック

- アダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2を使用し、Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの双方向通信モードをECPモードにする必要があります。詳しくは「メモリースイッチを使って設定する」（75ページ）を参照してください。

次にLANアダプターの取り付け手順を説明します。PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2の取り付け手順は異なります。ここでは、PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP）を取り付ける場合の手順を示します。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

LANアダプターは正しく取り付けられていても、ステータス印刷の「オプションボード」の欄に印刷されません。正しく取り付けられたかどうかはコンフィグレーションページの印刷を行って確認します（詳細はLANアダプターの取扱説明書を参照ください）。

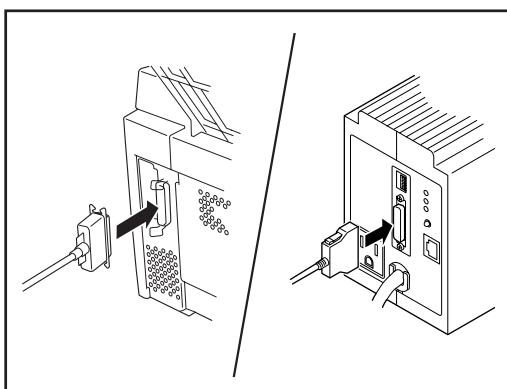
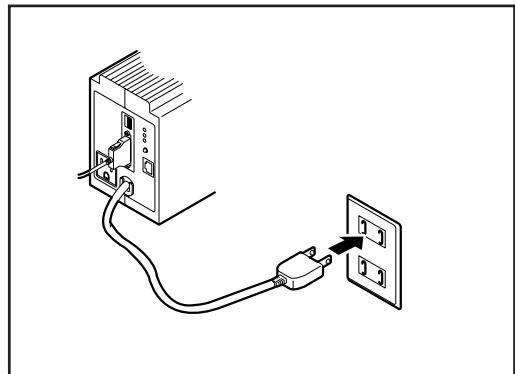
LANアダプターの取り付け

LANアダプターを取り付ける前にLANアダプターの取扱説明書をお読みください。

1. プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル（前面、背面とも）をプリンターから取り外す。

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. LANアダプターとプリンターを添付のインターフェースケーブルで接続する。

3. プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込みます。

4. 電源ケーブルをコンセントに差し込む。

5. LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。

6. プリンター、LANアダプターの順に電源をONにする。

7. LANアダプター取扱説明書に従いコンフィグレーションページ印刷をして、正しく動作することを確認する。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、取り付けの手順6から逆に行ってください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 1250で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。

コンピューター		プリンターケーブル
DOS/V対応機 *1	PC98-NXシリーズ	PR-CA-U01 PC-PRCA-01 PC-CA205*5
	Packard Bell NEC Japan、IBM、富士通、東芝、EPSON、DEC、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *4	PC-CA202*2 PC-CA204*5
	PC-98XA・XL・XL^2・RL*4	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA201R*3 PC-CA203*5
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *4 SV-98シリーズ	PC-CA202*2 PC-CA204*5
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*2 PC-CA204*5
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースをつ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*2 PC-CA204*5
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*2 PC-CA204*5

*1 MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS J5.0/V以上が動作するIBM PC/AT 100%互換機。

*2 PC-H98-K05と同等。長さ1.5m。

*3 PC-CA201と同等。長さ1.5m。

*4 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*5 PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

付録

ここでは、プリンターソフトウエアのウィンドウクイックリファレンスや、仕様、用紙の規格など、技術情報について説明しています。

ウィンドウクイックリファレンス

プリンタステータスウィンドウ

PSWは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷の一時停止やとりやめなどの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー＆ツールバー
送信中ドキュメントの制御(中止・再開・一時停止)したりリプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

プリンター名
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダーや「プリントマネージャ」で設定した名前です。

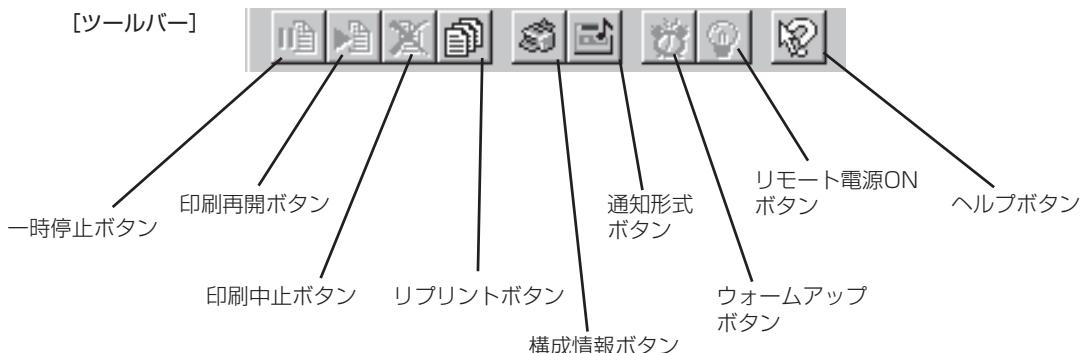
バルーンメッセージ
プリンターの状態やエラー時の対処方法をより詳細に表示します。

PrintAgent PSW - NEC MultiWriter 1250
ドキュメント(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
用紙がありません
標準ホッパにA4用紙を補給してください。
印刷中ドキュメント情報　名称 ドキュメント　所有 NEC　完了 0 ページ　印刷詳細(R)...
送信中ドキュメント情報　名称　所有　送信詳細(T)...
機種 - MultiWriter 1250　接続先 - 123.123.123.123

ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ビジュアル情報エリア
装置の構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。

ドキュメント情報エリア
印刷中、送信中のドキュメント情報を表示します。

ステータスバー
プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。
プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定・管理します。

メニューバー

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態を選択しているツリービューによって表示内容は異なります。

ツリービュー
ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

利用可能なプリンタ：
ネットワークに接続されているプリンターのうち実際コンピューターにプリンタードライバーがインストールされているプリンターです。

ネットワーク共有プリンタ：
ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。

NECプリントサーバ：
NEC製のLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

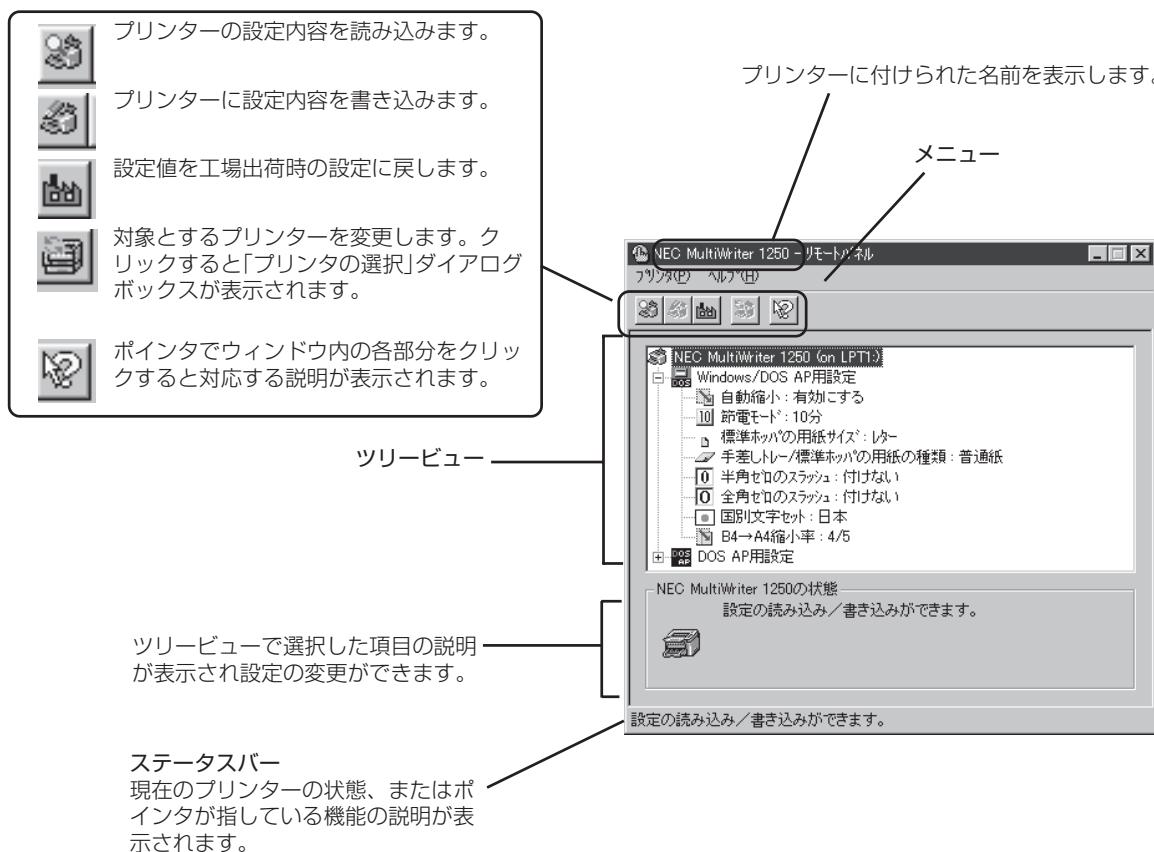
ステータスバー

リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。

[ツールバー]

* ボタンの表示は、ツリービューで利用可能なプリンターを選択時です。

リモートパネル

リモートパネルで共通に使うボタン類の機能について説明します。

仕　様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋6面ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度*	約8枚/分 * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時 ：約20秒以内（室温23℃、定格電圧にて）
ファーストプリントタイム	標準ホッパ：19.0秒以下（A4サイズ） 増設ホッパ：20.3秒以下（A4サイズ） （データ受信を開始してから、A4用紙をホッパーより吸入、印刷し、用紙後端が排出し終るまでの時間。データ：1バイト1文字＋改頁）
用紙容量	ホッパー：150枚（連量55kgの用紙の場合） トレー：1枚 増設ホッパ（オプション）：500枚（連量55kgのA4用紙の場合）
スタック容量	フェースダウン：最大100枚（連量55kgの用紙の場合） フェースアップ：最大20枚（連量55kgの用紙の場合）
ドット間隔	1/600インチ×1/600インチ
CPU	IDTRV4640（100MHz）
RAMメモリー	8MB
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠** ** IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース
言語	NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）、ESC/Pエミュレーション
環境	動作時　温度：10〜32.5℃　湿度：20〜80%RH（結露しないこと） 　高度：0〜2500m（760〜570mmHg） 停止時　温度：10〜32.5℃　湿度：10〜80%RH（結露しないこと） 　高度：0〜2500m（760〜570mmHg） 保管時　温度：0〜35℃　湿度：10〜80%RH（結露しないこと） 　高度：0〜4000m（760〜456mmHg） 塵埃量：　一般事務室程度　ガス成分：一般事務室程度 気圧：　1.013×10^5 〜 0.7524×10^5 Pa（海抜0〜2500m）
騒音	動作時：　48dBA 待機時：　30dBA

付録

電源	電圧：　AC 100V±10% 周波数：　50/60Hz±3Hz
消費電力	動作時最大（プリンター単体時）：580 W 動作時最大（フルオプション時）：590 W 動作時平均（プリンター単体時）：200W 節電モード時：15W以下
寸法	幅394mm×奥行き399mm×高さ267mm 幅394mm×奥行き558mm×高さ499mm（フルオプション時）
重量	約8kg（消耗品、オプション含まず）
製品寿命	印刷枚数15万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命	トナーカートリッジ：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時） ドラムカートリッジ：　約20,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）
対応OS	● Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 PC-PTOS Ver. 1.0～2.3でお使いの場合は、「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS（ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） ● Macintosh 漢字Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6.X、8.0、8.1、8.5（PC-PR-L01使用時）、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

用紙の規格

- **普通紙（乾式PPC用紙）**

寸法	A4判（210×297mm）、A5判（148×210mm）B5判（182×257mm）、レターサイズ（約216×約280mm）、定形外用紙（100〜216×148〜356mm）（定形外用紙はトレーのみ）
連量	ホッパー給紙：55〜135kg（ただし、71Kg以上は厚紙とする） トレー給紙：55〜70kg （連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。）
坪量	ホッパー給紙：64〜163g/m^2 トレー給紙：64〜90g/m^2 （坪量とは、用紙1000×1000mm（1m^2）のサイズの用紙1枚あたりの重さを示します。）
表面電気抵抗	1×10^9〜1×10^{12} Ω
繊維方向	縦目

- **はがき**

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。
ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。

寸法	官製はがき（100×148mm）　官製往復はがき（200×148mm）
連量	135kg相当
坪量	157g/m^{2}相当

- **OHPフィルム**

寸法	A4判（210×297mm）
厚さ	0.1mm±0.025mm（100μm±25μm）

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

- **ラベル紙**

寸法	A4判（210×297mm）、B4判（257×364mm）

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

- **封筒**

洋形4号（LIFE洋封筒E506ライフ（株）製）を推奨します。

寸法	105×235mm

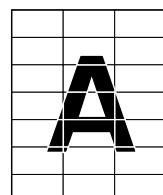
一般的に使用されている連量55Kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。
用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参考にしてください。

- 坪量　64〜67g/m^2　（JIS P8124）
- 紙厚　0.085〜0.092mm　（JIS P8118）
- 平滑度　25〜50sec　（JIS P8119）
- 剛度　60cm/100以上　（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗　1×10^9〜1×10^{12} Ω

次のような用紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉(ミクロパウダー)が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- のりがついている封筒
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙

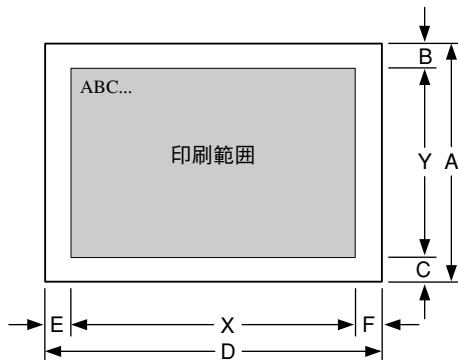
  台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに片面が印刷されている用紙

- 再生紙、ラベル紙の使用については、制限があります。お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、封筒、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- OHPフィルム、ラベル紙をプリンターにセットするときは十分にさばいてから行ってください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

印刷範囲

以下に示す印刷範囲は、定形用紙の理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。添付ドライバーを使用した場合、ドライバーの機能により余白量はすべて約5mmになります。

Windows環境*1／MS-DOS環境*2

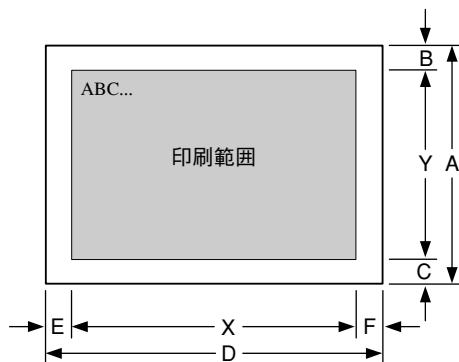
データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット	行*3	mm	mm	mm	ドット	文字*4	文字*5
A3	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2（80）	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

ーランドスケープー

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット	行*3	mm	mm	mm	ドット	文字*4	文字*5
A3	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2（80）	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 添付プリンタードライバーのプロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]にチェックした場合
*3 改行ピッチが6LPIの場合
*4 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*5 10.8ポイントのフォント使用時

PC-PTOS（Ver.1.0以上）

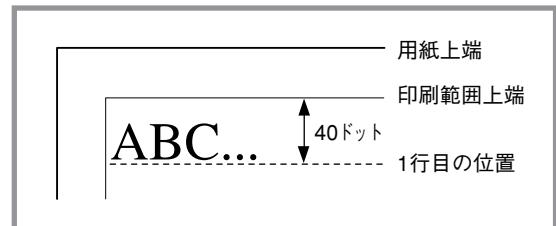
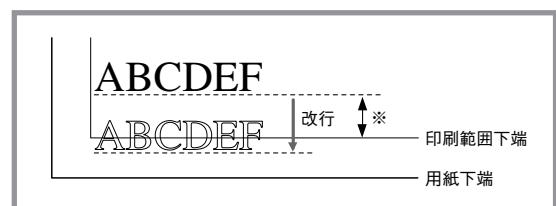
データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット	行*1	mm	mm	mm	ドット	文字*3	文字*4
A3	A4	297	16.01	8.37	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A4(2/3)	297	30.82	31.86	3320	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	7.54	8.37	3320	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	12.18	3320	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A4	297	5.00	8.37	2680	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	11.97	2680	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
A4×2（80）	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
B5	A4	297	9.23	7.10	2320	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	6.47	2320	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	6.68	3272	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	3.10	840	35	23
レター	レター	280	5.00	5.76	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

―ランドスケープ―

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット	行*1	mm	mm	mm	ドット	文字*2	文字*3
A3	A4	210	7.27	11.39	2712	67	297	16.85	7.52	3864	161	107
B4	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	30.80	3336	139	92
	A4(4/5)	210	5.57	11.39	2280	57	297	7.01	7.52	3336	139	92
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	8.58	3336	139	92
A4	B4(80)	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	A4	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	A4(80)	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	B5	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
	B5(80)	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
A4×2	A4	210	9.49	11.39	2680	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2（80）	A4	210	7.27	11.39	2712	-	297	12.62	7.52	3924	-	-
B5	A4	210	7.48	8.95	1600	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.85	1600	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.43	8.85	2320	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	A4	210	12.35	11.39	2640	66	297	30.82	30.80	3336	139	92
ハガキ	ハガキ	100	5.64	5.46	840	21	148	5.00	3.30	1320	55	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 改行ピッチが6LPIの場合
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*4 10.8ポイントのフォント使用時

補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240DPIで規定されています。600DPIでの印刷可能ドット数は240DPIのドット数を5/2倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240DPI相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。

  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)(240DPI) を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。
  - 値はすべて240DPIでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240DPIで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

付録

文字コード表

MultiWriter 1250は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10												ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15（00～10）
注 17（20～30）
注 13（90～A0）
注 14（B0～D0）
注 13（E0～F0）
注 16（30～F0）

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10												ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15（00～10）
注 17（20～30）
注 13（90～A0）
注 14（B0～D0）
注 13（E0～F0）
注 16（30～F0）

国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12　各国特殊文字が入ります。
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC Sで指定)の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体は「0̸」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース(SP)です。

<table>
<tr><th></th><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th></tr>
<tr><td>0020</td><td></td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td></tr>
<tr><td>0030</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>?</td></tr>
<tr><td>0040</td><td>@</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td></tr>
<tr><td>0050</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td></tr>
<tr><td>0060</td><td>`</td><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td></tr>
<tr><td>0070</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td>{</td><td>|</td><td>}</td><td>‾</td><td></td></tr>
<tr><td>0080</td><td></td><td>。</td><td>「</td><td>」</td><td>、</td><td>・</td><td>を</td><td>ぁ</td><td>ぃ</td><td>ぅ</td><td>ぇ</td><td>ぉ</td><td>ゃ</td><td>ゅ</td><td>ょ</td><td>っ</td></tr>
<tr><td>0090</td><td>ー</td><td>あ</td><td>い</td><td>う</td><td>え</td><td>お</td><td>か</td><td>き</td><td>く</td><td>け</td><td>こ</td><td>さ</td><td>し</td><td>す</td><td>せ</td><td>そ</td></tr>
<tr><td>00A0</td><td></td><td>。</td><td>「</td><td>」</td><td>、</td><td>・</td><td>ヲ</td><td>ァ</td><td>ィ</td><td>ゥ</td><td>ェ</td><td>ォ</td><td>ャ</td><td>ュ</td><td>ョ</td><td>ッ</td></tr>
<tr><td>00B0</td><td>ー</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td><td>オ</td><td>カ</td><td>キ</td><td>ク</td><td>ケ</td><td>コ</td><td>サ</td><td>シ</td><td>ス</td><td>セ</td><td>ソ</td></tr>
<tr><td>00C0</td><td>タ</td><td>チ</td><td>ツ</td><td>テ</td><td>ト</td><td>ナ</td><td>ニ</td><td>ヌ</td><td>ネ</td><td>ノ</td><td>ハ</td><td>ヒ</td><td>フ</td><td>ヘ</td><td>ホ</td><td>マ</td></tr>
<tr><td>00D0</td><td>ミ</td><td>ム</td><td>メ</td><td>モ</td><td>ヤ</td><td>ユ</td><td>ヨ</td><td>ラ</td><td>リ</td><td>ル</td><td>レ</td><td>ロ</td><td>ワ</td><td>ン</td><td>゛</td><td>゜</td></tr>
<tr><td>00E0</td><td>た</td><td>ち</td><td>つ</td><td>て</td><td>と</td><td>な</td><td>に</td><td>ぬ</td><td>ね</td><td>の</td><td>は</td><td>ひ</td><td>ふ</td><td>へ</td><td>ほ</td><td>ま</td></tr>
<tr><td>00F0</td><td>み</td><td>む</td><td>め</td><td>も</td><td>や</td><td>ゆ</td><td>よ</td><td>ら</td><td>り</td><td>る</td><td>れ</td><td>ろ</td><td>わ</td><td>ん</td><td>゛</td><td>゜</td></tr>
</table>

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。(本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。)ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
4570	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	潑	発
4830	醱	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	撹	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	桧	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	梼	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	涛	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	潅	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	砺	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竃	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	篭	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	薮	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蝿	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諌	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頚	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鯵	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鴬	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

用語解説

英数字

[?] ボタン

Windows 98/95、Windows NT4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

```
1B 48 1C 30 36 46 31 2D 30 30 30 1B 73 30 1B 24    .H.06F1-000.s0.$
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F     !"#$%&'()*+,-./
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F    0123456789:;<=>?
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F    @ABCDEFGHIJKLMNO
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F    PQRSTUVWXYZ[¥]^_
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F    `abcdefghijklmno
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F    pqrstuvwxyz{¦}~.
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 8A 8B 8C 8D 8E 8F    ................
90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 9A 9B 9C 9D 9E 9F    ................
A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 AA AB AC AD AE AF B0    ｡｢｣､･ｦｧｨｩｪｫｬｭｮｯｰ
B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 BA BB BC BD BE BF C0    ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀ
C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 CA CB CC CD CE CF D0    ﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐ
D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 DA DB DC DD DE DF E0    ﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝﾞﾟ.
E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 E9 EA EB EC ED EE EF F0    ................
                        :
```

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

「ネットワークの基礎知識」151ページ参照。

CR

Carriage Return キャリッジリターンの略。キャリッジを左端に戻すこと。プリンタの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有をはかることができる。

DIMM

Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

DPI

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

「ネットワークの基礎知識」151ページ参照。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization：国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

「ネットワークの基礎知識」138ページ参照。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。 MultiWriter 1250の場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」か「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

LPI

Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

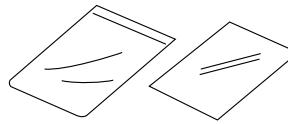
MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。Windows 98/95、Windows NT 4.0/NT 3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンターの設定が可能。

NetBEUI
ネットビューと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN Managerをネットワーク OSにしたときに用いられる。
「ネットワークの基礎知識」150ページ参照。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード「PC-PR-L01」、「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。
「ネットワークの基礎知識」151ページ参照。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHP フィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、標準ホッパーまたは手差しトレーを用いる。

OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに持ち至れる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating Systemの略。オペレーティングシステムとも言う。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。
「ネットワークの基礎知識」152ページ参照。

PrintAgent
双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウエア。NECマルチライタシリーズに搭載。

PPM
Pages Per Minuteの略。1分間に印刷できるページ数のことでプリンターの印刷速度を表す単位。

RGB ガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。NECのマルチライタシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間はMIBで定義された管理情報がやり取りされる（→MIB）

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows98/ 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。
「ネットワークの基礎知識」150ページ参照。

TrueType
アップルコンピュータ社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクターを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクターとコンピューターのUSBコネクターを結ぶことができる。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 98
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。PrintAgentをインストールすることによりネットワークでの印刷を可能にする。

Windows 95
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。PrintAgentをインストールすることによりネットワークでの印刷を可能にする。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。PrintAgentをインストールすることによりネットワークでの印刷を可能にする。

Windows アプリケーション
Windows専用のソフトウエアプログラム。Windowsオペレーティングシステム(OS)がないと起動できない。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

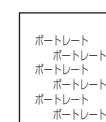
アドミニストレーター
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)
「ネットワークの基礎知識」147ページ参照。

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長(ランドスケープ)と縦長(ポートレート)がある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクターでセントロニクスの仕様に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともプリンタステータスウィンドウのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウエアの制御コードをこのプリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す(単位はDPI)。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて3文字で表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。(↔基本制御コード)

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。(↔拡張制御コード)

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピューター。

「ネットワークの基礎知識」148ページ参照。

クライアント・サーバー(システム)

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

「ネットワークの基礎知識」141ページ参照。

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレイスケールイメージ

それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字
1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能
データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者
コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウェアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。
「ネットワークの基礎知識」147ページ参照。

自動給紙
カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

[スタート] ボタン
Windows 98/95、Windows NT4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷
テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

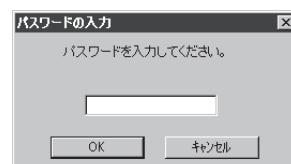
スプール
ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

セントロニクス・インターフェース
旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。
双方向通信にはセントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。

ダイアログボックス
プリンターの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

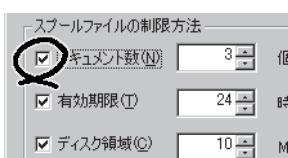
タブ

tab。Windows 98/95では、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。
ワープロなどでカーソルの移動機能を指すこともある。

ダブルクリック

マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン／オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。本プリンターで印刷を行う前に必ず通常使うプリンタとして設定しておく必要がある。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

ドライバー

周辺装置やその]インターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ドラムカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。MultiWriter 1250の場合、ドラムカートリッジとトナーカートリッジに分かれる。ドラムにトナーを付着させ印刷像(潜像)を形成させる。PR-L1250-31の場合1本のドラムカートリッジで約20,000枚印刷できる(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したりや機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。
「ネットワークの基礎知識」138ページ参照。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハーフトーン

グレイスケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。
（→クライアント・サーバー）
「ネットワークの基礎知識」141ページ参照。

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー
インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフト、WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigator がある。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル
コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー
コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー
一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール
印刷するデータをプリンターに一時保存し、状況に合わせて印刷すること。

プリントマネージャ
Windows 3.1、Windows NT3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ
Windows 3.1やWindows NT3.5/3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル
コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。
「ネットワークの基礎知識」149ページ参照。

プロパティ
ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字
印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語
１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター
ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）
マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↔ランドスケープ)

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

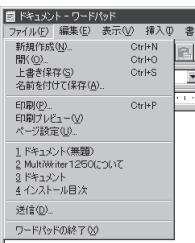
マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なります。

丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

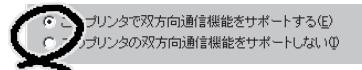
メモリースイッチ(MSW)

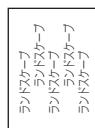
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン/オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(↔ポートレート)

リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした本プリンターの印刷機能のひとつ。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

用紙1枚1m^{2}単位の重さを坪量という。国際的にはm^{2}で表すのが望ましいが、国内では連量が慣用されている。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンタケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

C

E

F

I

L

N

O

P

S

U

W

ア

イ

オ

カ

キ

ク

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

ツ

テ

ト

ニ

ネ

ノ

ハ

ヒ

フ

ホ

マ

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品
この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品 高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。